

史料館所蔵史料目録 第71集

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書

(その2)

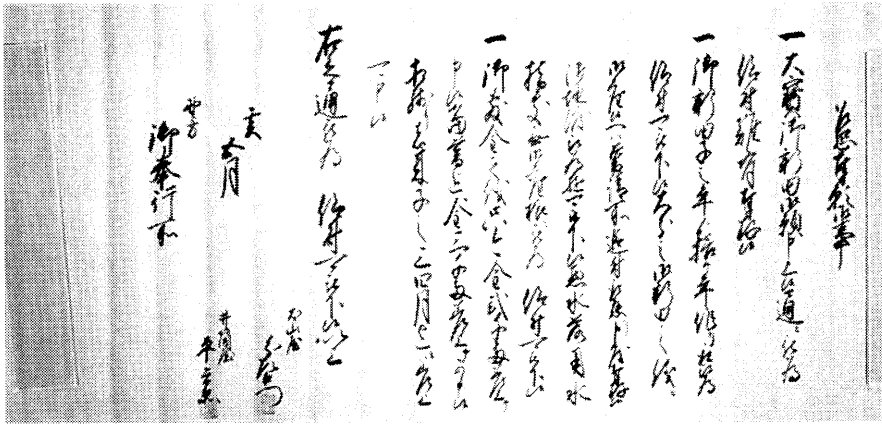
平成12年 8 月

史 料 館

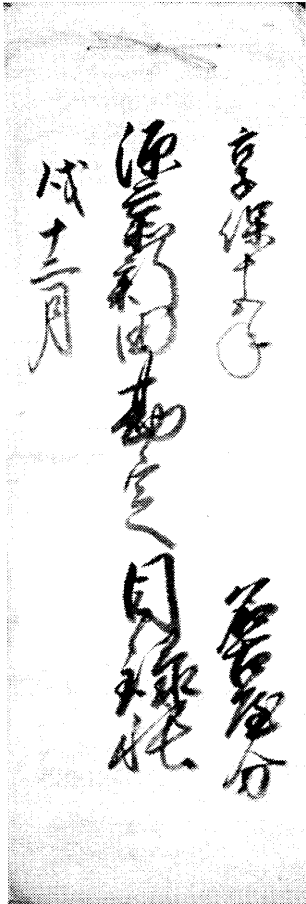
史料館所蔵史料目録 第71集

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書

(その2)



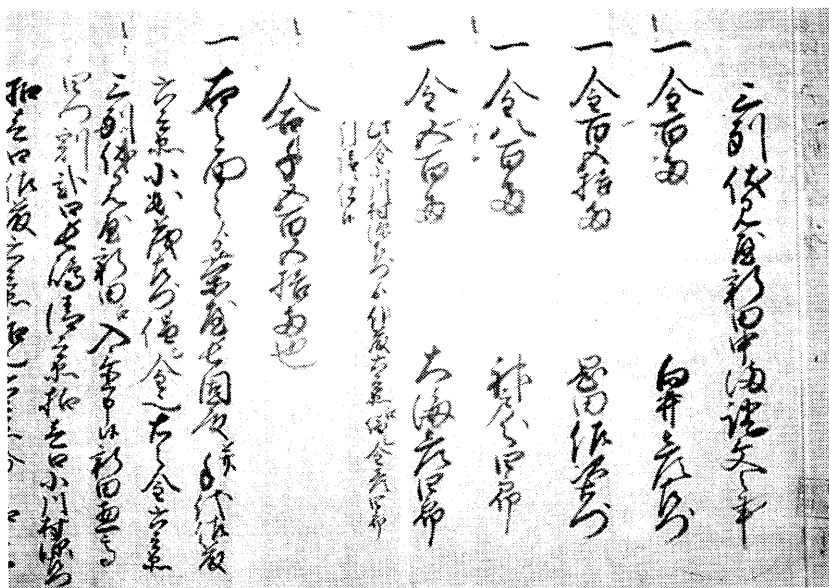
い285-61 宝永4年大宝前新田開発願書



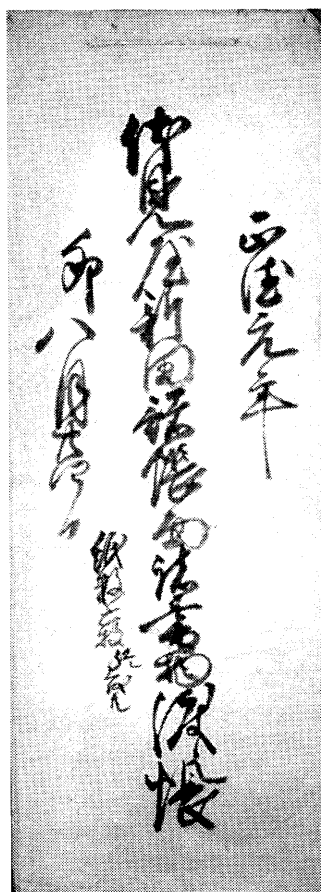
あ2310 享保15年大高源兵衛新田勘定目録帳



(裏表紙)



い12-9 元禄17年三州伏見屋新田仲間証文 (冒頭部分)



あ3689 正徳元年三州伏見屋新田地主引継文書目録

凡 例

- 一 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第71集「尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書（その2）」として同文書のうち冊子型史料の残り分と書付型史料の一部を取めた。
- 一 史料は、史料群全体の構造を表現することができるように配列した。すなわち、史料群を発生させた神戸家内部の組織のあり方に留意し、史料群の内部構造を復元しようとする形で、大・中・小の項目を立てて分類・配列した。
- 一 小項目のなかの史料の配列は、原則として年代順にした。ただし、一括史料で、分割して掲載する事が不適当な場合には、史料の物理的配列の順に従ったものもある。年欠文書は、それぞれの小項目の末尾に配列した。なお、*印は史料を目録上に重出させたことを示す。
- 一 史料目録の記載欄は、①表題および作成者・差出人・宛名、②作成年月日、③形態・数量、④整理番号の順である。
- 一 表題は冊子型も書付型も原表題をとり、表題のないものについては（ ）で仮表題や内容を示した。
- 一 作成年月日は和年号で示し、干支のみの場合はそれを採録した。推定の場合は（ ）で示した。そのほかに（ ）を用いて内容年代を記入した場合もある。
- 一 形態は以下のように示した。冊子型史料では、半（半紙縦折判）、美（美濃縦折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃横折判）、横半半（半紙半載横長判）、横美半（美濃半載横長半）などの略称によって原書の大概を示すに止めた。また、/を挟んで綴じ方も表記した。書付型史料は、縦紙・折紙・切紙・堅切紙・横切紙・堅継紙・横切継紙・小切紙などと表記した。また、絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。
- 一 史料の利用にあたっては解題を参照されたい。
- 一 解題中の文献引用については、〔 〕に著者・刊行年などを記した。論文名・書名等は解題末の参考文献リストを参照されたい。

総目次

口 絵

凡 例

総目次

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その二）本文目次	1
解 題	5
1 犬山屋神戸家文書の伝来と整理の方針	5
2 犬山屋神戸家の歴史	6
3 犬山屋神戸家の組織と文書群の構造	11
4 文書群の内容	13
(1) 神戸家・勘定場	13
(2) 家	16
(3) 新田支配人（庄屋）	16
(4) 大宝前（神戸）新田	16
(5) 四郎兵衛新田	17
(6) 飛鳥新田古台分	18
(7) 服岡新田下之郷	19
(8) 海部郡の新田	21
(9) 愛知郡の新田	21
(10) 大高源兵衛新田	23
(11) 知多郡の新田	24
(12) 三州伏見屋新田	25
(13) 三河国の新田	27
(14) 三重県の新田	27
(15) 領主御用	27
(16) 元材木町	27
(17) 江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）	28
(18) 御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎	28
目録本文	33

もとざいもくちよういぬやまやかんどけ
尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その二）本文目次

神戸家・勘定場	33	願書等	59
経営全体	33	御用金・貸上金	59
諸帳簿	33	国家との関係	59
奉公人	34	貴族院議員互選名簿	59
仕切状	42	不動産	60
送り状	44	家	61
売渡証文等	45	由緒書など	61
その他	45	家計	61
金融	45	冠婚葬祭ほか	61
個別金融	45	道中入用	61
領主金融	46	普請	62
借入	46	墓所・寺	62
証人	47	講	62
材木取引	47	その他	62
名古屋町屋敷経営	47	新田支配人（庄屋）	63
全体	47	新田経営	63
元材木町	48	複数新田管理	63
下材木町	48	新田不明	64
五条町	50	庄屋役	65
正万寺町	51	輪中	66
車町	53	^{おおたからまえ} 大宝前（神戸）新田	67
木挽町	53	開発	67
塩町	53	願書	67
小舟町	53	新田堤普請	67
南武原町	54	粟石・杭木代金	73
町名不明	54	丁場金配符	76
地主経営全体	56	その他	77
諸帳簿	56	掬米徴収	77
葭山書入証文	57	納米目録	77
田畑売渡証文	57	掬米計算	79
新田不明	57	坪附帳	79
公儀との関係	58	地主仲間	80

経営費用	80
諸事用留・日記	82
小作人	82
水路	83
公儀との関係	85
敷金・拝借金・上納金	85
普請	86
土地	87
用悪水	88
庄屋役	89
年貢・諸役	89
作徳米	90
農業	90
村況	91
地租改正	91
小作証書	91
県・郡との関係	91
<small>しろうべえ</small> 四郎兵衛新田	97
全体	97
取得	97
取得	97
地主引継文書	97
掬米徴収	97
検見帳	97
納米目録	99
経営費用	99
年貢・村入用負担	99
土地	100
争論・願書	101
神戸外新田	101
検地	101
検見帳	102
納米并勘定帳	102
その他	103
近代	103

<small>とびしま</small> 飛島新田古台分	104
開発	104
経営費用	104
請取金勘定帳	104
取替帳	105
入用帳	105
その他	106
飯米帳・役米帳	107
地渡一件	107
一件記録	107
願書等	107
入用	107
<small>ふくおか</small> <small>しものごう</small> 服岡新田下之郷	110
全体	110
経営収支	110
掬米徴収	110
検見	110
米納配符帳	111
経営費用	112
土地	112
替地・地分ケ	112
地直シほか	112
切坪符帳	113
譲渡証文	114
年貢・村入用負担	114
下之郷	114
惣郷	115
公儀との関係	116
庄屋進退一件	116
願書	117
取立金・調達金	117
その他	117
小百姓	117
地租改正	118
<small>あま</small> 海部郡の新田	119

<small>なべふた</small> 鍋蓋新田	119
諸帳簿	119
願書・一件留	119
田畑質取	120
<small>じゆんおく</small> 潤屋新田	120
<small>とりがんじ</small> 烏ヶ地新田	120
愛知郡の新田	121
<small>ばけもの</small> 化物新田	121
<small>きざえもん</small> 紀左衛門新田	121
諸帳簿等	120
地券	121
小作証書	122
<small>はちざえもん</small> 八左衛門新田	124
記録	124
掬米徴収	124
地租改正	125
<small>ちかま</small> 千竈村	125
全体	125
取得	125
地券	125
地番分割	126
その他	126
<small>おおたかげんべえ</small> 大高源兵衛新田	127
経営収支	127
掬米徴収	127
検見帳	127
米納帳	129
仲間検見	133
近代	133
経営費用	133
入用金銀帳	133
小買物帳	133
その他	134
年貢計算	134
村入用	136

入用割符帳	136
作徳米計算	139
納米入用割賦	139
土地	144
普請	144
公儀との関係	145
検地帳	145
地券	145
明治期購入分	146
知多郡の新田	147
<small>なわさき</small> 名和前新田	147
諸事留帳ほか	147
経営帳簿	147
地概	147
讓渡証文	148
<small>たけとよ</small> 武豊町	148
<small>さんしゅうふしみや</small> 三州伏見屋新田	149
取得	149
取得	149
地主引継文書	149
経営収支	150
統轄帳簿	150
経営費用	150
入用金諸払目録	150
払小帳	150
諸帳簿	152
入用金請取	152
請払目録	152
その他	153
年貢	153
公儀との関係	153
普請	154
三河国の新田	156
吉塩崎永岡新田	156
三重県の新田	157

<small>いずみ</small> 和泉新田	157	元材木町	164
<small>なかいずみ</small> 中和泉新田	158	分左衛門組	164
領主御用	160	江戸町屋敷経営 (神戸彦七・家守来家太七)	165
全体	160	家屋敷譲渡証文	165
借上金御用	160	町入用書上	165
御勝手御用達	161	書状	165
小納戸御用	161	雛形	165
融通講取締役	162	<small>みその</small> 御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎	166
町払金	162	仕切状	166
元材木町	164	その他	167

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録解題

1、犬山屋神戸家文書の伝来と整理の方針

当館所蔵の神戸家文書は、1949（昭和24）年に第10代当主神戸分左衛門有文氏（当時名古屋市中区木挽町、現丸の内一丁目）より当館に譲渡されたものである。当館書庫内での書架延長は約30メートル、総点数は15,000～20,000点にのぼるものと推定される。神戸家文書は史料館で所蔵しているもの他に、現在の神戸家にも伝来しており、木箱8、葛籠1、袋1、段ボール箱1の計11の保管容器に収納されている。

聞き取りによれば、神戸家文書は太平洋戦争中に名古屋元材木町の本宅から海西郡十四山村神戸新田の神戸家居宅に疎開のため移され、戦後そのまま新田宅に置かれていたものを、元材木町の本宅に戻すことなく、直接東京の当館に輸送したとのことである。神戸家の新田宅は幕末から存在したものと推定されるため、この伝来事情からすれば、幕末以来蓄積されてきた新田宅の文書との合体もしくは新田宅文書の混入の可能性が存在することになる。しかし、目録（その1）および本目録に収録した史料の範囲では混入や合体を明確に示すような史料は見あたらないので、現在確認されている神戸家文書は全て元材木町（現中区丸の内一丁目）に近世以来伝来した文書と今の所は考えてよい。あるいは、新田宅が神戸家内部の組織体として元材木町の本宅とは相対的に独自に史料を授受作成する主体としての性格を持っていなかった可能性も考えておいてよいのかもしれない。そうであれば、文書の出所が空間的には分離していても、構造的には出所は単一と考えられるわけである。いずれにせよ、以下の解題における考察は、本文書群が元材木町神戸家という単一の出所であることを前提として行われることとなる。

当館では、受け入れ以後、仮整理による出納カードで閲覧に供してきたが、冊子型史料の大半と関連の書付型史料若干に限っては目録（その1）により閲覧請求が可能となった。今回の目録刊行にあたっては、目録（その1）と同様にこの仮整理の史料配列順、つまり現在の書庫内での配列にしたがって、新たに整理番号を付与した。そのなかで、冊子の綴り、丁間史料、下げ紐結付史料、冊子結付の束・袋内の史料の場合に枝番・孫番を多用した。ただし、番号を孫番までに留めるため、冊子と冊子結付の袋を別の親番号とした場合、また以上の番号付与の原則からはずれている番号も一部ある。

さらに、枝番号・孫番号を与えず、目録に収録していない史料について述べておきたい。今回の整理作業においても、こよりを解いたり切断したりしなければ開披できない史料はそのまま残している。これは原形保存の観点からそのようにしているのであり、閲覧請求があっても初めて開披するという方針にしている。従って、こうした史料については即日閲覧ができない場合もあることをご了解いただきたい。

次に、形態欄に/を挟んで示した綴じ方の表記について説明しておく。これは大藤修氏が提唱した名称に従い、一ツ綴・二ツ綴・三ツ目綴・下げ綴・下げ二ツ目綴・列帖綴・鎖綴・ひねり綴などの名

称を用いた〔大藤・安藤1986年、250頁〕。ただし、大藤氏が示した以外の綴じ方も神戸家文書中には存在したため、下げ一ツ目綴・二ツ結・二ツひねり綴を仮称として新たに加えた。さらに、帳面の背に綴じた上から紙片をかぶせている場合は、かぶせ、または角かぶせと表記している。

史料の整理・分類編成においては、史料群の有する階層構造を可能な限り追求することに努めた。つまり、神戸家内部の組織体を明らかにし、その組織体ごとに大項目を設定して、それぞれの組織体の機能に応じて中項目以下を編成した。このような整理の方針は〔大藤・安藤1986年〕、〔国文学研究資料館史料館1988年〕、〔安藤1991年〕において展開されている議論を基本的には踏襲しているので、詳しくはこれらの文献を参照されたい。

2、犬山屋神戸家の歴史

まず最初に神戸家の歴史について述べる。適宜、表1「神戸家略歴」と解題末に掲載した「神戸家系図」および関連地図を参照して頂きたい。

本史料群を生み出した母体である犬山屋神戸家は、犬山の鵜飼屋神戸弥兵衛家政の次男神戸^{かんべ}文左衛門安政が、1669（寛文9）年に名古屋元材木町に間口5間・奥行17間の家屋敷を代金100両で買い取ったことに始まる。本家の鵜飼屋神戸家は、犬山を拠点とする在地主豪の系譜を持ち、豊臣政権期から木曾・飛騨の材木輸送において「木曾川締方役」として特権的地位を保持し、領主用木を中心に経営を展開していた。したがって、犬山屋神戸家の経営も、本家の鵜飼屋神戸家がそうであったように当初は材木商を中心としたものであり、例えば犬山屋神戸家は鵜飼屋神戸家が材木を江戸の奈良屋茂左衛門などに販売する場合の仲介を行うというような関係にあった〔所1967・1970年〕。1688（元禄元）年ごろには余剰資金を他商人への間接投資にまわすか、あるいは領主権力への金融を行っている。さらに1694（元禄7）年には、商業への直接投資を行い絹・麻・木綿などを扱うようになる。しかし、一方では領主米を引当とした金融を大規模に展開するようになり、1706（宝永3）年には経営内容は領主金融に集中していく。つまり、商業経営を展開する方向には向かわなかったのである〔大石1951年〕。

以上の経営動向の帰結として、二代目神戸文左衛門正種は1707（宝永4）年、井筒屋伊兵衛を共同出資者として、大宝新田の伊勢湾地先に大宝前新田125町歩を開発し、敷金として7811両余を尾張藩に差し上げることとなる。しかしその開発は順調ではなく、翌1708（宝永5）年には高潮により破堤し、規模を100町歩に縮小した。この時から出資者に本家の鵜飼屋神戸弥左衛門・江戸の分家神戸彦七・萱津屋伊右衛門の3人が加わった。これら出資者の結合を神戸家では「地主仲間」と呼んでいる。さらに、1723（享保8）年には3度の高潮に遭い、全体を45町7反に縮小することにより大宝前新田の規模が確定した〔菊池1986年〕。大宝前新田には支配人小川只助を置き、新田経営を担当させた。また、「新田小屋」あるいは「新田会所」という経営機関も開発当初から存在したようである。神戸家は、大宝前新田の周辺の新田にも、少なからず土地を所有していた。それは四郎兵衛新田・飛島新田・鍋蓋新田・服岡新田などであるが、これらの小作地の経営も新田支配人小川唯助が担当していた。

表1 神戸家略歴

(あ3476「初租ヨリ六代迄之記」中の「由緒書」を主とする)

西暦元号年月日	事	項
1669寛文0903	初代犬山屋文左衛門(犬山神戸弥兵衛次男)元材木町(当時清須材木町)で開業。	
1695元禄08	江戸下船町に間口9間の町屋敷を取得。	
1697 1012	借上金大分に差出し誉めを受ける。	
1699 12	三州伏見屋新田に出資。	
1700 1301	借上金裁許精出し、銀二枚下付。初代分左衛門他三人の商人と共に借上金御用を勤める。	
1712正徳021120	初代分左衛門病死。	
1706宝永03	大高源兵衛新田の開発に出資。	
1707 04	二代目犬山屋分左衛門、海西郡大宝前新田125町歩を開発、敷金として7811両余差上。	
1723享保08	大宝前新田高潮により破堤し、45町歩に縮小。	
1725 1012	父の代より「御金之支配」を勤め、近年も借上金御用出精につき年頭お目見得を許される。	
1731 1612	三代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1740元文050908	二代目分左衛門病死。	
1743寛保030417	三代目病死。	
12	四代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1745延享2	大宝前新田、領主による検地	
1766明和03	大宝前新田「宗門村立」となる。	
1775安永0411	五代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1794寛政060810	四代目病死。	
10	宗門改め町並御除自分一礼を認められる。	
1801享和01	大宝前新田旧水没地に服岡新田・飛鳥新田を開発。	
1802 0212	御勝手御用仰せ付けられる。その後病気により退役。	
1811文化0804	六代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1815 1204	大宝前新田を神戸新田と改称。	
1823文政06	勘定場成立か。	
07	町奉行所ご用達就任。9月退役。	
1829 120114	五代目病死。	
1838天保0906	貧民へ施物につき金1両2分下付。	
1841 1208	七代目神戸文左衛門米切手償却に協力。	
12	七代目継目お目見得。	
1842 1309	御勝手御用達、七人扶持。	
1843 1401	御勝手御用達退役、扶持方引き揚げ。扣借家引当金300両上納は返還。	
0821	六代目病死。	
1849嘉永0201	町役金引当調達金御用向。	
1853 0602	先祖以来の調達金差上切りとなる。	
1855安政0207	上記につき色々拝領。 「講等他所商人共寄合籤引調達入講申勤方格別骨折」につき銀五枚下付。	
1856 0311	町御役所御用達格につき纏・提灯使用許可。	
1857 0405	町役所御用達格差し免。御勝手御用達につき肩衣着用許可。	
12	借財引受申上につき「一代限年頭名披露御目見」。	
1858 0502	一代限り苗字御免。	
1859 0608	神戸新田への転宅願許可される。	

村としての大宝前新田には庄屋・組頭が置かれているが、いつから存在するのかわからない。1720（享保5）年に庄屋唯助が存在することが確認できる（整理番号い287-3-3）のが今の所最も遡れる時点である。その後も、庄屋は表2に見られる通り只助（唯助）であることが多く、天保末年から安政期にかけての綱蔵も只助の倅であることから、大宝前新田の庄屋は概ね新田支配人の小川唯助家が世襲で勤めていたと考えてよい。なお、大宝前新田は1814（文化11）年に神戸新田と改称された。

大宝前新田とその周辺の新田以外にも、神戸家は新田経営に関わっていた。1699（元禄12）年には、江戸かいば町の商人伏見屋が1666（寛文6）年に開発した三州伏見屋新田を尾州茶屋新田の坂野ほか2名が買い取るにあたり、神戸家はほか3名とともに資金を出資している。また、大宝前新田開発の前年の1706（宝永3）年には愛知郡大高村庄屋源兵衛による源兵衛新田の開発にも出資している（地図1参照）。

このように神戸家は新田地主として近世社会に位置づいていくことになるのだが、そのほかに江戸において町屋敷経営*をも行っていたことが重要である。神戸家は1695（元禄8）年に江戸下船町一丁目に表間口京間9間1尺の家屋敷を2680両で購入している。この町屋敷の経営は初代文左衛門安政の弟彦七（彦七郎）が担当し、直接には家守**来家太七が町屋敷の管理業務を行った。江戸霊岸島東湊町に居住する神戸彦七は、先述したように1708（宝永5）年以後の大宝前新田の出資者としても登場しており、彦七家が文左衛門家の経営にとって不可欠の存在であることを窺わせる。

なお、神戸家は名古屋城下町においても遅くとも1701（元禄14）年には町屋敷経営を行っていた。それは、居住地の元材木町のほか、周辺の下材木町・正万寺町・五条町・小舟町など（地図2参照）のほか、城下町東端の町続き地である新出来町、あるいは城下町南端の大木戸外にある古渡繁町などに存在し、これらも神戸家の重要な収入源となっていた。

*町屋敷経営とは、近世都市の町方において、街路に面した短冊状の土地および家屋（町屋敷）をその所有者が店舗や長屋として他者に貸与することによって収益を得ようとする行為のことである。

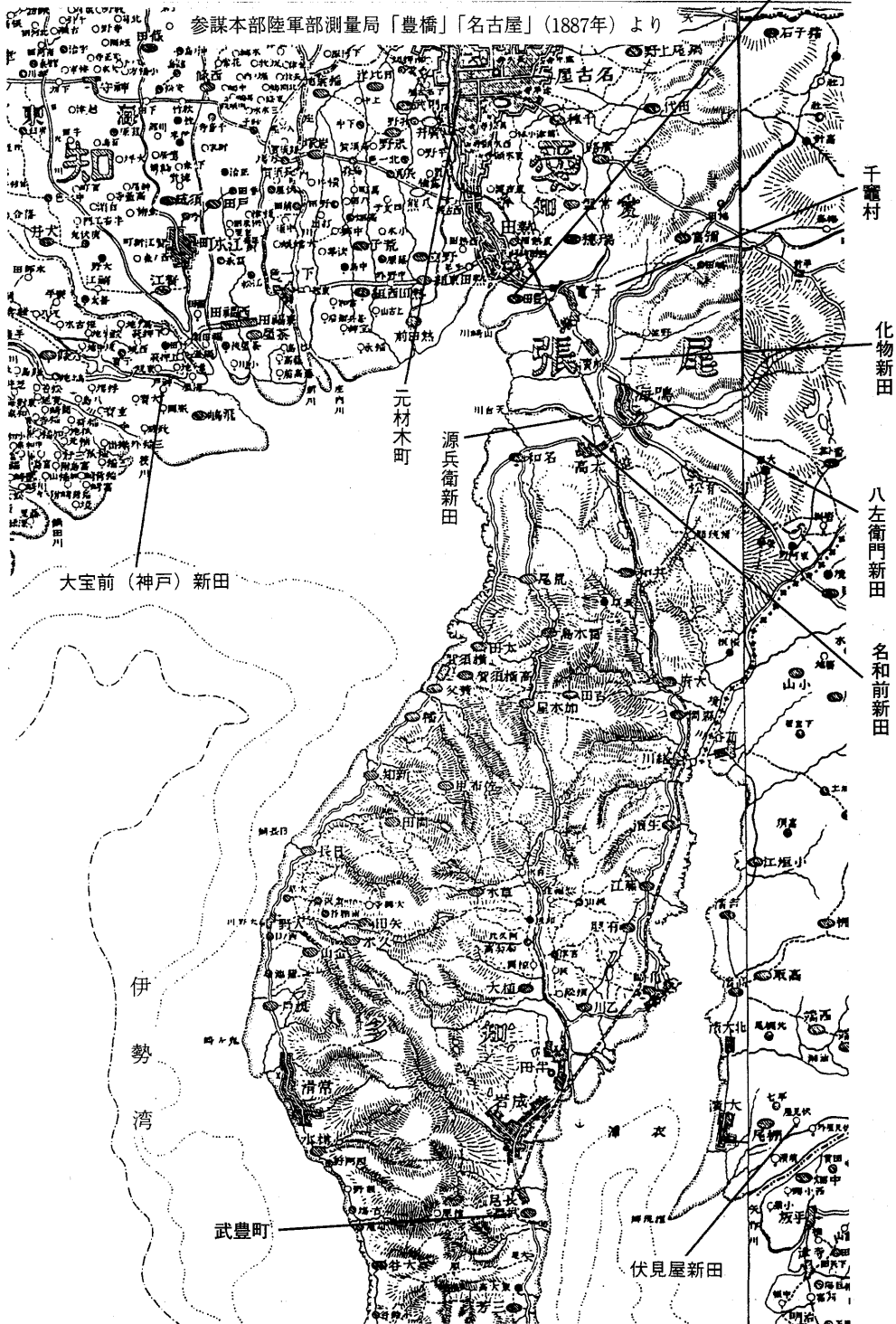
**家守とは、町屋敷の所有者（家持）がそこに居住していない場合、その町屋敷を維持・管理する人のことである。神戸家は名古屋に居住しているため江戸下船町には管理人として来家太七を置いているのである。

以上のように神戸家の経営は、時期によって異なるものの、材木商・領主金融・地主経営・江戸町屋敷経営・名古屋町屋敷経営と多岐に亙るが、大宝前新田に支配人を置き、新田会所を設置した以外には、その内部に見るべき経営組織を持たないことが特徴的である。近世の代表的な商家である三井家や、あるいは松代八田家は数種の営業を分担する例えば木綿店・呉服店といった内部組織を設立し、それらを三井でいえば大元方、八田家で言えば内方といったような機関が統轄するという店制をとっていた。それに対して神戸家は、その経営の志向が商業経営の拡大に向かわず、新田地主と町屋敷経営といういわば都市・農村の両方に跨る地主として存在したために、店制を組織することはなかったわけである。ただし、1823（文政6）年に元材木町の神戸家に「勘定場」という機関が成立する。もっとも、1823年以後に神戸家で作成される種々の経営帳簿の作成者は「勘定場」であるよりも、「神戸文左衛門」あるいは「神戸」であることが多く、「勘定場」の職掌を明確にすることはできない。つまり、経営組織としての「勘定場」は十分には確立しなかったと考えられる。

表2 大宝前（神戸）新田村役人

西暦元号年月	庄屋	組頭
1720享保5	唯助	
1747延享4	定助	
1767明和4	重右衛門	
1774安永3	重右衛門・茂吉・藤三郎（庄屋・組頭の別不明）	
6 4月	唯助	平吉 又藏
7	〃	〃 〃 重右衛門
8	〃	〃 〃
1803享和3 閏正月	〃	〃 〃 〃 只治郎
文化元	〃	〃 〃 〃
3	〃	〃 〃 〃 喜藏
6	〃	〃 〃 〃 ——
12	〃	平吉 重右衛門
1820文政3	重右衛門	只治（只二） ——
1831天保2	〃 忠右衛門	〃 金七
6	〃 〃	忠兵衛 辰右衛門
8	網藏 〃	〃 〃
12	〃 〃	〃 〃
13	〃 〃	〃 〃
14	〃 ——	〃 ——
15	〃 ——	〃 辰右衛門
1845弘化2	〃 忠右衛門	—— 〃
1850嘉永3	〃 〃	—— 〃
4	〃 〃	金七 〃
5	〃 〃	〃 ——
1860安政7	〃 〃	〃 〃
1861万延2	唯助 〃	〃 〃
1863文久3	〃 〃	〃 〃
4	〃 〃	金左衛門 忠藏
1871明治4	〃 〃	〃 〃

紀左衛門新田



地図1 出典：『幕末・明治日本国勢地図 初版輯成20万分の1図集』（柏書房 1983年）

経営以外の神戸家の活動には、表1に見られるような様々な領主御用がある。1700（元禄13）年に借上金御用を勤めたことを皮切りに、主要なものだけでも、1802（享和2）年に御勝手御用を、1823（文政6）年に町奉行所御用達を、1842（天保13）年に再び御勝手（小納戸）御用を、1849（嘉永2）年には町役金引当調達金御用向を、1855（安政2）年には講取締役をそれぞれ勤めている。これらの活動に対応して、1725（享保10）年に年頭御目見得を許され、以後代々家督相続の際には継目御目見得を行っているから、神戸家は尾張藩の御用商人としての性格も持っていると言えよう。

そのほか、神戸家は居住町の元材木町においては、二代目の時に町代を勤めていた時期がある。また、「文左衛門組」というおそらくは五人組の組頭を勤めていたこともあった。

最後に神戸家の歴史と内部組織にかかわる事柄として重要と思われるのは、1859（安政6）年に元材木町での営業を全て停止して神戸新田に転居し純粋な地主に転換する旨の願書を尾張藩に提出し、認められていることである。おそらくはこれにより神戸家の新田宅が成立し、明治期の公式の神戸家の住所は神戸新田になる。しかし、実際には依然として元材木町の居宅は存在しつづけるから、神戸家は幕末から昭和20年代まで二つの居宅を持つこととなる。第1節で述べた出所の問題はこうした事情に起因するのである。

3、犬山屋神戸家の組織と文書群の階層構造

これまでの叙述から、神戸家の組織図をかなりの推測を交えつつ描いてみると図1のようになると思われる。まず、元材木町の神戸家において経営全体を統轄していたことは言うまでもない。1823（文政6）年以後明治期まで勘定場が存在することは確かであるが、前述のように勘定場が必ずしも経営全体を統轄していないので、図のようにしておいた。以下営業開始の順に述べれば、1695（元禄8）年に江戸下舟町での町屋敷経営が開始される。この営業部門を「神戸彦七・家守来家太七」という名称にしておいた。次に、1699（元禄12）年に三州伏見屋新田に出資し、1706（宝永3）年に大高源兵衛新田の開発に出資する。この二つの新田については、中島半右衛門を通じて経営を行っている（詳しくは後述）ので、図1のように描いておいた。最後に、1707（宝永4）年から始まる大宝前新田の経営は支配人＝庄屋が行い、かつ会所＝小屋＝庄屋場という組織も存在するため、その組織名称は正確には「大宝前（神戸）新田支配人（庄屋）/新田会所（小屋・庄屋場）」ということになるが、あまりにも煩雑なため単に「新田支配人（庄屋）」と呼ぶこととした。大宝前新田以外の周辺の新田の小作地経営もこの組織が行うから、それらの新田名は新田支配人のもとに附属させた。なお、営業以外の神戸家の諸活動は、当然元材木町の神戸家で行われているから、この図には表現していない。また、新田宅が相対的に独自の組織と判断できるかどうかは現段階ではわからないためこの図には表現していない。

以上の組織図をもとに、神戸家文書全体の文書群の構造を主要部分に限って図示すると、図2のようになる。まず、第一次構成基準（サブグループ＝組織）は、神戸家・勘定場、新田支配人（庄屋）、江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）、三州伏見屋新田、大高源兵衛新田、家、領主御用、元材木町の八つとなる。最初のサブグループ「神戸家・勘定場」のなかは、さらに機能を基準として経

図1 神戸家組織図

* [] は年代。

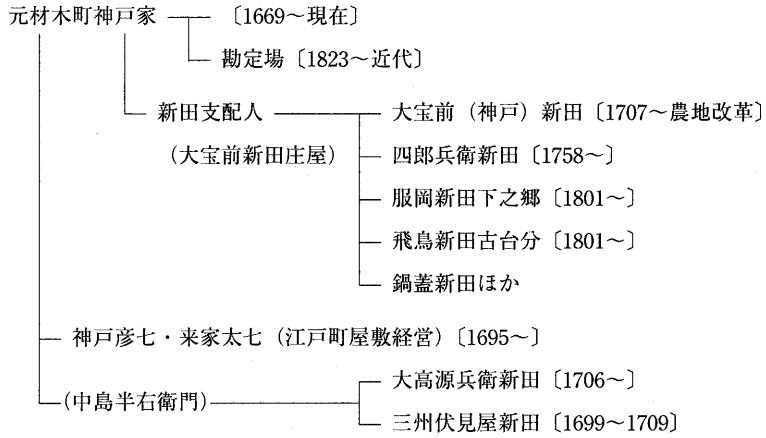
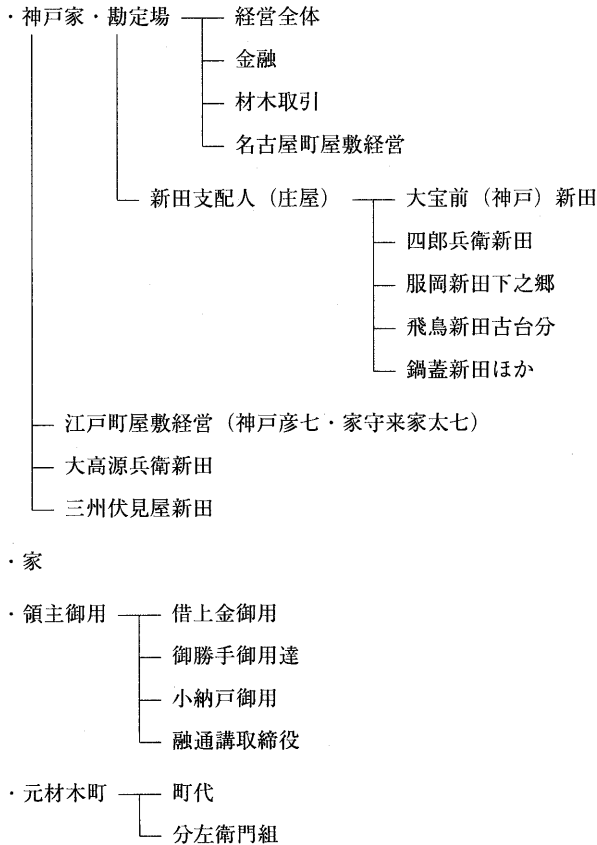


図2 文書群の構造



営全体、金融、材木取引、米取引、名古屋町屋敷経営など、といった5つ以上のシリーズレベルに分けて考えることができる。二番目の「新田支配人（庄屋）」は、大宝前（神戸）新田、四郎兵衛新田、飛鳥新田古台分、服岡新田下之郷、鍋蓋新田ほかといった五つ以上の二次的サブグループ（二次組織）に編成することが可能である。ここでは、その下によくシリーズ（機能）レベルの項目が現れる。それは「掟米徴収」「経営費用」などといったものである。三番目の「江戸町屋敷経営」以降のサブグループは、二次組織を持たず、直接にシリーズが付属することになる。

さて、通常の見録であれば以上の階層構造の説明により、各第一次構成基準がそのまま見録の大項目に、シリーズレベルの名称がそのまま中項目・小項目の名称に適用しうるのであるが、しかし、この神戸家文書見録では史料群の階層構成がやや複雑である。印刷見録の項目としては大・中・小の三つのレベルに平準化しなければならないため、決して同レベルとはいえない項目を大項目として横並びに設定したことを御了解頂きたい。

なお、見録（その1）との関係を説明しておく。（その1）では、大宝前（神戸）新田以外の新田経営帳簿については各新田の経営形態が未解明のため収録を見送っていた。また、領主御用と元材木町については点数が少なすぎるため本見録にまとめて収録することにしてきた。今回は書付型史料の一部に加えて以上の（その1）未収録分を掲載した。整理番号に「あ」と「い」が混在しているのはそのためである。「あ」は（その1）整理時に付与した番号であり、「い」は今回整理分の番号である。

もう一つ見録（その1）との関係で説明しておかなければならないことがある。それは見録編成の若干の変更である。（その1）では神戸家の経営組織を見録編成上に反映させるために同一の経営行為の文書をその作成・使用主体によって別々の大項目に所属させていた。つまり、江戸町屋敷経営に関する史料は、大項目「神戸家・勘定場」のなかの中項目「江戸町屋敷経営」と大項目「神戸彦七・来家太七（江戸町屋敷経営）」に分載し、大宝前（神戸）新田経営に関する史料は大項目「神戸家・勘定場」のなかの「大宝前（神戸）新田経営」と大項目「新田支配人（庄屋）」に分けて配列されていた。しかし、この編成には以下の二つの難点が存在することを認めなければならない。一つには、同一の経営行為の一連の流れのなかで作成された諸史料の相互関連が見録本文上のみでは理解しづらいこと。もう一つには、個々の史料の作成・使用主体が神戸家なのか、それとも新田支配人もしくは来家太七なのか確定しえない史料が少なからず存在すること。以上の問題点を解決するため、今回の見録（その2）以後は同一の経営行為に関する史料は同一の大項目に所属させることに変更したのである。

以下は大項目ごとに、解説を加えていきたい。

4、文書群の内容

(1) 神戸家・勘定場

本項目には、元材木町神戸家もしくは勘定場において授受作成管理された史料の内、商業経営関係ならびに名古屋町屋敷経営に関する史料を収録した。

「経営全体」の中項目は、「諸帳簿」「奉公人」「仕切状」「送り状」「売渡証文等」の五つの小項目

に細分した。神戸家の主要経営帳簿はすでに目録（その1）に収録しているため今回の「諸帳簿」収録史料に体系性はない。神戸家の新田地主経営も含めた経営全体に関連すると考えられる帳簿類を収録しておいた。もっとも、十二屋庄右衛門という商人の「卯之暮勘定目録帳」（あ1532）をなぜ神戸家が所持していたのかは不明である。

「奉公人」は、*点を除いては奉公人請状・宗旨請状・村請状など約200点である。年代は享保～延享にかけてが主である。

商家文書の書付型史料の代表ともいえる「仕切状」は、「売買契約が結ばれ、商品を授受するにあたって商品の名前・量目・品位・等級・代金などを詳記した」もので「売り主から買い主に渡すのが普通」〔作道1979年〕というのが一般的説明である。本目録には享保から寛延にかけての約40点が収められている。「送り状」は言うまでもなく荷主が荷受け人に荷物を送るときの添え状であるが、ここでは舟で輸送されたしかも河内屋という特定の商人からの送り状を中心に現存している。

次に中項目「金融」では、目録（その1）に収録した領主や商人に対する融資の帳簿に対応する借金証文を、商人に対する「個別金融」と「領主金融」に分けてまず配列した。次に、神戸家自身の「借入」証文を配列し、そのあとの「証人」の小項目には神戸家自身は貸借の当事者ではないが証人として関与している金融関係の証文や関連資料を収録した。

「材木取引」の今回収録分は3点しか存在しないが、目録（その1）に合わせて中項目として立てておいた。内容は仕切状1通・書状1通・帳簿1冊である。

「名古屋町屋敷経営」では、最初に小項目「全体」として「扣借家之分」という経営収支書上3冊を配した。本中項目のほとんど全部の史料は借家請状である。それを神戸家が町屋敷経営を展開している九つの個々の町ごとに分けて配列した。すなわち、神戸家が居住している元材木町、その南隣の下材木町、北隣の五条町、東隣の正万寺町、東南に隣接する車町、五条町の北側の木挽町、元材木町から五条橋を渡り右折したところにある塩町、その北方にある小舟町の八町である。元材木町の周辺の町において町屋敷経営が展開されていたことが窺われる（地図2参照）。本目録に収録した借家請状は全部で約190通であり、時期は享保期を中心としている。他に若干の家屋敷売渡証文も含まれている。なお、南武原町の方は近代の町諸入費の書上であり、しかも場所が地名辞典などでは判明し得なかった。閲覧者のご教示を乞いたい。

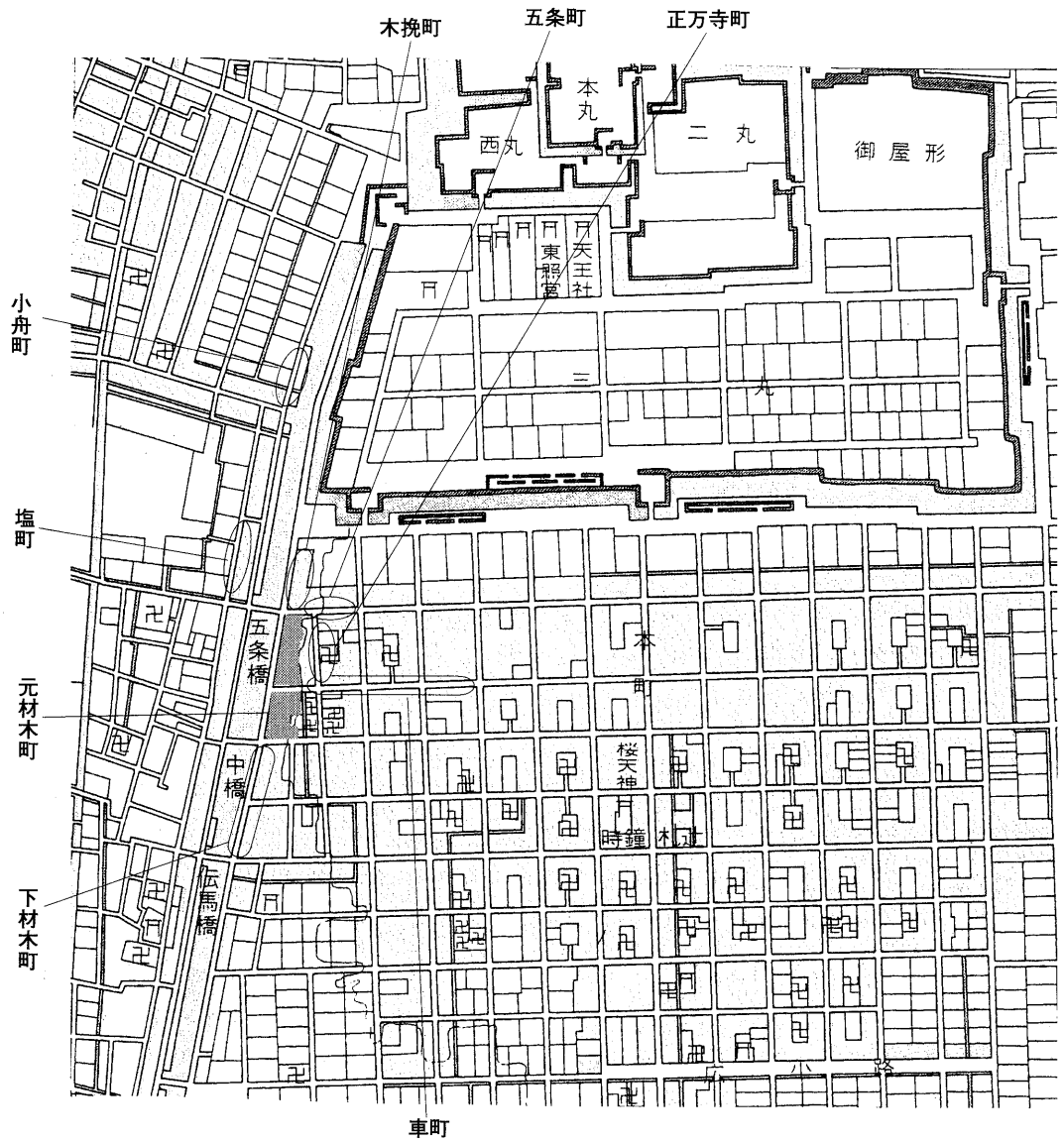
次は「地主経営全体」である。本中項目には、神戸家が宛先となっているか、あるいは神戸家で作成・使用されたと考えられる地主経営関係史料のうち、内容が複数の新田にまたがるか、あるいは大項目「大宝前（神戸）新田」以下大中項目として列挙されている合計18の新田や村以外に関わる史料を配列した。便宜的に小項目として「諸帳簿」「葭山書入証文」「田畑売渡証文」の三つに編成しておいたが、そのほか単独の新田の史料ではあるが新田の名称が確定し得ない史料を「新田不明」という小項目に集めておいた。この点についても閲覧者による発見を期待したい。

「公儀との関係」は、神戸家が主として新田開発に関連して名古屋藩に上納した御用金・貸上金関係の史料を収めた。「国家との関係」は「貴族院議員多額納税者互選名簿」3冊のみである。貴族院議員は華族の世襲・互選議員のほかは勅任議員がおり、そのなかの一つに「北海道・各都道府県の高

地図2 名古屋

出典：高橋康夫・吉田伸之・宮本雅明・伊藤毅編『図集 日本都市史』

(東京大学出版会 1993年) P166-167より



額国税納税者の互選議員があった」(吉川弘文館『国史大辞典』「貴族院」の項、大久保利謙氏執筆)。この「名簿」はその互選のために作成され各多額国税納税者に配布されたものと推察される。愛知県内の大地主・大商人の村ごとの納税額を知るのには便利であろう。

(2) 家

この大項目に、神戸家文書のうち狭義の家の史料を収めたことは目録(その1)と同様である。それぞれ点数は少ないが、目録(その1)に準拠して「由緒書ほか」「家計」「冠婚葬祭ほか」「道中入用」「普請」「墓所・寺」「講」の七つの小項目に編成した。そのほか上記七項目のいずれにも所属しえない史料が今回は存在したため小項目「その他」を新たに立項した。

(3) 新田支配人(庄屋)

本大項目には、神戸家の海西郡における新田支配人でありまた大宝前(神戸)新田庄屋でもある小川只助や重右衛門が宛先となっているか、あるいは小川只助や重右衛門のもとで作成・使用されたと考えられる史料のうち、内容が複数の新田にまたがるか、新田会所の運営に関わると思われる史料、あるいはどの新田に関わるのか不明の史料を配列した。「複数新田管理」「新田不明」という小項目はまさに上記の史料が体系的なく配列されることになってしまったが、「庄屋役」については大宝前新田を中心としたいくつかの新田の庄屋に関する史料をここの集めた。したがって、各新田の項目にもこれらの史料の殆どが重出されている。

(4) 大宝前(神戸)新田

大宝前新田に関する主要帳簿はほとんどが目録(その1)に収められているので、ここに配列された史料はほとんどが書付型史料である。中項目はおおむね目録(その1)における大項目「神戸家/勘定場」の中項目「大宝前(神戸)新田経営」内の小項目名に準拠して決定した。

最初の「開発」ではまず開発願書を置き、次に小項目「新田堤普請」に主として堤普請請負証文約60通と汐垣堤代金の覚約70通を並べた。三つ目の小項目「栗石・坑木」は新田普請に必要な栗石や坑木の調達・運送に関する請負証文・送り状・領収書である。四番目の小項目は「丁場金配符」で9通ある。冒頭の願書を除いたこれらの書付型史料は目録(その1)に収録した1707~1710(宝永4~7)年の開発関係諸帳簿とおそらくは関連するものと思われる。

第二の中項目「掬米徴収」の最初は「納米目録」約40通である。これは支配人が神戸家に掬米(年貢+小作料)を納入する際の最も基本的な史料なのではないかと思われる。目録(その1)にも一年間の経営費用決算報告である「普請入用金目録」の丁間史料として13通が収められている。

第四の中項目「経営費用」は、近代の雑多な帳簿が主でありこの限りでは体系性はない。当館所蔵の神戸家文書には近代の経営帳簿は系統的には存在していないようである。第五の中項目「諸事用留・日記」は6冊あり、天保期を中心とする。目録(その1)に収録した「大宝前新田諸用留」(安永6~10年、あ3349)や「大宝前新田諸事用留」(宝暦2~文化8年、あ3348)などと同じ系統の史

料かもしれない。第六の中項目「小作人」には主として大宝前（神戸）新田の小作人（百姓）の宗門改めを地主から藩の代官に報告した史料を中心とする。目録（その1）に収録した「作人小屋宗門改庄屋一札」（80,81頁）や「宗門御改帳」（181-185頁）に関連する史料と思われる。七番目の中項目「水路」は大宝前（神戸）新田の周囲に存在する水路における漁業権を貸与し運上金を徴収していることに関する史料が主である。

第八の中項目「公儀との関係」には神戸家・新田庄屋・新田百姓から藩への願書・上申書を集めた。それを内容により、新田開発に関わる「敷金・拝借金・上納金」「普請」「土地」「用悪水」「庄屋役」「年貢・諸役」「作徳米」「農業」「村況」の九つの小項目に細分した。中項目の九番目「地租改正」には神戸新田の地券562枚と裁判に提出した地券写2通がある。次の「小作証書」は、神戸新田の小作人が神戸家に宛てて提出した、小作地耕作を請け負い明記された小作料を毎年納入することを期間を2年として「契約」した文書である。明治17年12月15日付けが約100通、同24年1月1日付けが約40通ある。特に後者は契約文言や宛先まで印刷された神戸家専用の罫紙が用いられていることが注目される。

最後の「県・郡との関係」は、官有地の民有地編入願1冊のみである。絵図が添付されている。

（5）四郎兵衛新田

この新田は1704（元禄17）年の開墾でその南側に大宝前（神戸）新田が存在する。現在は愛知県海西郡十四山村に属する〔以上平凡社地名辞典〕。同辞典に引用されている「尾張徇行記」によれば、同新田の地積は田畑15町1反4畝余あり、四郎兵衛という者が開発したが子孫は断絶している、東蜷・西蜷新田の宝川古堤外に開発された新田で、集落は古堤上にある、住人は小百姓ばかりで、大宝前新田が開発されたとき代地と引き替えに「内海用」になり年々不納であったが願いによって「引地」に立てられたという。

本大項目の冒頭に掲げた「四郎兵衛新田一件書抜帳」（あ3340-3）によれば、神戸家と四郎兵衛新田の関わりは1707（宝永4）年の大宝前新田開発に遡る。すなわち、大宝前新田開発時に、「悪水落江道」を四郎兵衛新田内に掘り割り、その替え地として大宝前新田の内から13町分を四郎兵衛新田に引き渡した。その後、1723（享保8）年の洪水破堤に伴い、大宝前新田を50町歩に縮小したため、替え地も半分の6町5反歩にした。その時点の替え地「扣主」は、竹田村庄右衛門・鮫ヶ地村紋左衛門・東蜷村治郎兵衛・四郎兵衛新田百姓藤左衛門・名古屋元材木町犬山屋分左衛門（2町4畝歩）であった。しかし、本項目の地主経営帳簿にはこの替え地分のものとは含まれていないようであり、本目録収録史料と密接に関連するのは、1758（宝暦8）年12月に金融の結果として竹田村広田庄右衛門から同新田御見取所を合計155両で取得し、絵図・御免定・小作掟帳などを引き継いだことである（い285-101,104）。この「取得」にかかわる史料を二番目に配列した。その内容は、譲渡証文写とその翌年に譲渡主から取った小作証文写である。それ以前の史料をこの時に前地主から引き継がれたと判断して「地主引継文書」という小項目に収めたが、前述の経緯からすればそれ以前から四郎兵衛新田の文書を所持していた可能性もある。しかし、上記「書抜帳」のなかの1808（文化5）年8月の上申書

写しには四郎兵衛新田替え地分の諸帳面・諸書付は同新田庄屋所に預けてあるという記述もあるので、「地主引継文書」の立項はあながち的はずれでもないだろう。

第二の中項目「掬米徴収」には宝暦から天保にかけての同新田御見取所の検見帳約30冊がある。この帳簿は言うまでもなく年貢の検見ではなく、掬米を一筆ごとに決定する帳簿である。検見帳に基づいて徴収された掬米は、次の小項目「納米目録」によって神戸家に納入されることになるわけだが、四郎兵衛新田独自の文書ではなく大宝前新田と併せて作成され、しかもその作成者は大宝前新田会所で執務を行う新田支配人である。新田支配人が四郎兵衛新田をも管轄していることを明瞭に示している。

中項目の三番目「年貢・村入用負担」には、前半が四郎兵衛新田百姓中が庄屋衆中に提出した年貢・村入用に関する帳簿、庄屋・組頭・惣百姓の三者で作成した帳簿、年貢・村入用を地主持高に応じて配分した帳簿の三種がある。次の「公儀との関係」では最初に「土地」という小項目を立て、領主による検地帳を置いた。次の小項目「争論・願書」では特定の争論に関する留帳2冊と藩への種類の願書を並べた。

最後の中項目「神戸外新田」は、この新田が四郎兵衛新田内に存在することが判明したのでここに配列しておいた。30点ほどしかないが、「検地」「検見帳」「納米并勘定帳」「近代」に細分した。

(6) 飛鳥新田古台分

四郎兵衛新田の項で既述したように、大宝前新田は1723(享保8)年に大幅縮小した。縮小した堤防の外側で、開発当初の堤防の内側を「大宝前新田古台」と呼んでいたようである。この「古台」は1801(享和元)年に再開発されることとなった。以下「四郎兵衛一件書抜帳」(あ3440-3)「古台用」(あ3417)、「覚(飛鳥新田古台分引渡証文)」(い351)の三点の史料によって、具体的な開発の経過を辿ってみたい。

1801(享和元)年4月に地祭が行われ、同年5月1日に用水を初めて曳き入れている。ついで5月28日に新御新田御取立御見分が藩の役人によって行われ、「御傍示御建」(あ3417)があり新田の領域が公的に確定された。これを受けて1802年6月、「鋤始」つまり着工し、同年12月6日に「御海用留」が行われた。「御海用留」とは堤防を締め切って海水が入らないようにすることを意味するのであるうか。

以上の開発工事に並行して新たな新田の管理体制も整備される。1802(享和2)年3月26日に大宝前新田庄屋只助俣周蔵が古台会所守・組頭に、同組頭平吉と十右衛門が古台組頭兼役に、金七・忠右衛門が古台水廻り兼役にそれぞれ任命されている(あ3417)。さらには1803(享和3)年12月には飛鳥新田古台分庄屋唯助が確認される(あ3417末尾)ので、それ以前に大宝前新田と飛鳥新田古台分の双方の庄屋を小川唯助が兼ねることになったと思われる。

藩との関係では、1805(文化2)年11月25日より飛鳥新田に検地役人が出張し、12月8日古台郷へ移り、13日に終了した。検地された地積は92町2反9畝24歩であり、これを受けて新田の管理権が藩から地主に委譲されることになるのだが、92町余のうち80町分については1798(寛政10)年から1802

(享和2)年にかけての調達金・上納金など合計5600両を引当とし、残り12町2反9畝24歩の分については1229両3歩銀3匁を支払うことによってそれは実現された。そして、それまでの調達金証文と金子受取書は勘定所に返却されたという(以上い351)。以上の手続きを経て、1806(文化3)年9月に「地渡」が行われることになった。

以上が現段階で把握している大宝前新田古台の再開発経過であるが、子細な検討を経たものではないので誤りを多く含むものと思われる。そもそも、大宝前新田古台の正確な範囲が未確認であり、どうやら飛島新田の一部分と服岡新田の一部分なのではないかと現段階では思われるがそれも確認できていない。角川地名辞典によれば、飛島新田は、大宝前新田荒廢地を「寛政11年藩の許可を得て鳥ヶ地新田庄屋の佐野周平と鎌島新田庄屋の木村徳右衛門が発起人となり、6人の援助者を得て再開発に着手。(中略)享和元年完成し(中略)文化3年服岡新田が当地から独立。」とあり、上記の再開発経緯と異なる内容となっているが、その理由も今のところ判然としない。

さて、本大項目に収めた史料を略述したい。まず冒頭に上述の開発経緯の説明に使用した帳簿を1冊のみではあるが、これを「開発」という中項目の先頭に置いた。次に開発に要した費用に関する諸帳簿7冊を並べた。第二の中項目「経営費用」のうち、「請取金勘定帳」は支配人が神戸家から新田経営の費用として月ごとに受け取った金額を記した帳簿であり、目録(その1)に収録した大宝前新田の「請取勘定帳」と同じ史料類型に属する。「入用帳」には一年分の入用帳と月ごとの入用帳が見られこの点についても目録(その1)に収めた大宝前新田の入用帳と同様のシステムをとっている。以上は同一の支配人が双方の新田を管理しているのだから当然のことであろうか。

第三の中項目は「飯米帳・役米帳」は現段階に至っても目録(その1)の時と同様にその内容は不明のままであることをお許し頂きたい。便宜的にここに纏めておいた。第四の中項目「地渡一件」は前述の開発経緯のなかの1806(文化3)年に新田管理権が藩から神戸家に委譲されたことに関する史料を集めた。この一件に関する記録2冊を「一件記録」という小項目に、藩に提出された願書の控え・下書きなど24点を小項目「願書」に、この一件に関する入用帳類5冊を小項目「入用」にそれぞれ収めた。

(7) 服岡新田下之郷

「覚(服岡新田名請人書上)」(い355-7)によれば、享和元年開発、文化2年12月検地と明記されている。この検地における服岡新田全体の名請人は表3の通りである。半分近くは同新田の岡谷惣七が名請人であるが、神戸家以外の名古屋の商人2名分も岡谷惣七と同じくらの田畑を名請けしている。神戸家は4町7反余を名請けしているが、その他に神戸新田の金七と庄屋唯助が名請人として現れていることに注目したい。金七と唯助は神戸新田においては小作人であるが、隣の服岡新田では本百姓なのである。

服岡新田には和泉之郷・笹之郷・古台郷の三郷があり、郷々に庄屋役が置かれていた(あ3440-3末尾)。このうちの古台郷が服岡新田下之郷であり、先述の四郎兵衛新田替え地分6町5反歩のことである(あ2515、あ3440-1.2)。6町5反歩の高は65石8斗8升3合であり、その内訳は表4の通りであ

った。先の表3との関係がよくわからないが、ここでも神戸新田の小作人の名前が見え、両新田の密接な関係が窺われる。さらに服岡新田下之郷庄屋辰右衛門は神戸新田組頭でもあり(い355-1)、総じて地主の地域的な支配が、単に支配人を通じた小作人把握だけで成り立っているのではなく、村役人・名請人などといった領主支配と複合的連関構造を成していたらしいことが窺われる。

表3 文化2年12月検地における服岡新田の名請人(い355-7)

居 所	名 前	田 畑 反 別	備 考
服岡新田	岡谷惣七	田畑43町6反3畝21歩7厘	
名古屋長者町	和泉屋権右衛門	田畑15町6反 28歩9厘	
名古屋茶屋町	伊藤屋治郎左衛門	田畑27町8反5畝 4厘	
名古屋材木町	犬山屋文左衛門	田畑4町7反 13歩1厘	
蟹江本町村	甚平	田畑1町 1歩	
鍋蓋新田	常助	田畑 5反4畝22歩5厘	
神戸新田	金七	田畑 2反5畝 5厘	
神戸新田	唯助	田 5反4畝9歩9厘	神戸新田庄屋
	(合計)	94町1反4畝8歩	

表4 服岡新田下之郷の名請人(あ2515)

高65石8斗8升3合	
35石6斗8升6合	犬山様(只助)
17石5斗2升6合	重右衛門
10石1斗3升6合	平吉
2石5斗3升4合	金七

以下は本目録収録史料について説明する。まず先頭に飛鳥新田古台分のところでも掲げた「古台用」という帳面を重出させた。この服岡新田においても先の飛鳥新田同様再開発後の検地を経て「地渡」が行われたので、それについての帳面もこの中項目「全体」に含めておいた。次に中項目「経営収支」として10年分の収支を記した帳簿を配した。これも神戸新田と合冊で作成されていることは本新田と神戸新田の関係を示しており注目される。第三の中項目「掟米徴収」では、耕地一筆ごとに掟米を確定する検見帳とその関係史料を「検見」という小項目でまとめた。四番目の中項目「経営費用」は入用帳と入用金の通い帳であり、次の「土地」では割地帳簿や切坪附帳がある。第六の中項目「年貢・村入用負担」は一般的な村役人文書とは性格を異にする。本新田には上述の通り複数の地主が存在するため、その所持高に応じて地主が年貢・村入用を負担することになることは当然であるが、この算用に「惣地仲間」という地主の結合体が立ち合っているのである。その帳簿が「免割諸下用割賦帳」である。弘化-嘉永期には「免割諸入用帳」に名称が変わる。

七番目の中項目「公儀との関係」では、最初に年代不明の丑年に生じた「庄屋進退一件」に関する一連の史料を置いた。次に名古屋藩の陣屋に提出した「願書」を収めた。その内容は、年貢減免や文書関係といったものである。また藩に上納した取立金・調達金に関する帳簿もある。中項目の八番目は「小百姓」である。ここには新田百姓への貸米・貸金関係の史料がある。最後は「地租改正」で、「地価取調帳」1冊と地券14枚がある。

(8) 海部郡の新田

本大項目は全く便宜的なものでしかない。大宝前（神戸）新田にいる神戸家の支配人は海部郡の諸新田を統括していたように見受けられるが、そのうちの点数の少ない三つの新田の史料をここにまとめたに過ぎない。

①鍋蓋新田

この新田は大宝前（神戸）新田の北方にあり（地図3参照）、村高370石余、反別25町余、戸数7、人口53という小規模の新田である（角川地名辞典）。収録史料からすると、享保期から神戸家はこの新田に土地を持っていたらしい。そしてそれは小川唯助を通してのものであったらしいことが納米の請取通帳（あ1683）から知られる。また、地主は少なくとも神戸家のほかに伊藤次郎左衛門がいたこともわかる。最初に「諸帳簿」を並べたが、地主経営史料の代表的な史料の一つである検見帳も1冊しかなく、断片的である。次の「願書・一件留」は願書については年代が宝暦期に集中している。また水利組合争論の一件帳簿があり、神戸家文書中の他新田の関連史料と突き合わせていけばこの地域の水利秩序が明らかになってくるであろう。三番目の「田畑質取」は安永期に神戸家がこの新田のもう一人の地主伊藤次郎兵衛からその所持地を質に取ったことに関する一連の史料である。名古屋の大地主商人同士の関係の一端が窺えて興味深い。

②潤屋新田

大宝前（神戸）新田の北東隣にあり（地図3参照）、1823（文化6）年成立、反別2町余の新田である〔角川地名辞典〕。今回の整理分は1839（天保10）年の南野跡検地帳1冊のみであった。

③鳥ヶ地新田

この新田は大宝前（神戸）新田の北東隣にあり（地図3参照）、この新田の百姓が大宝前（神戸）新田へ多く出作していたというように、神戸新田とは密接な関係にあったが、今回整理分の限りでは地券11枚があるのみである。

(9) 愛知郡の新田

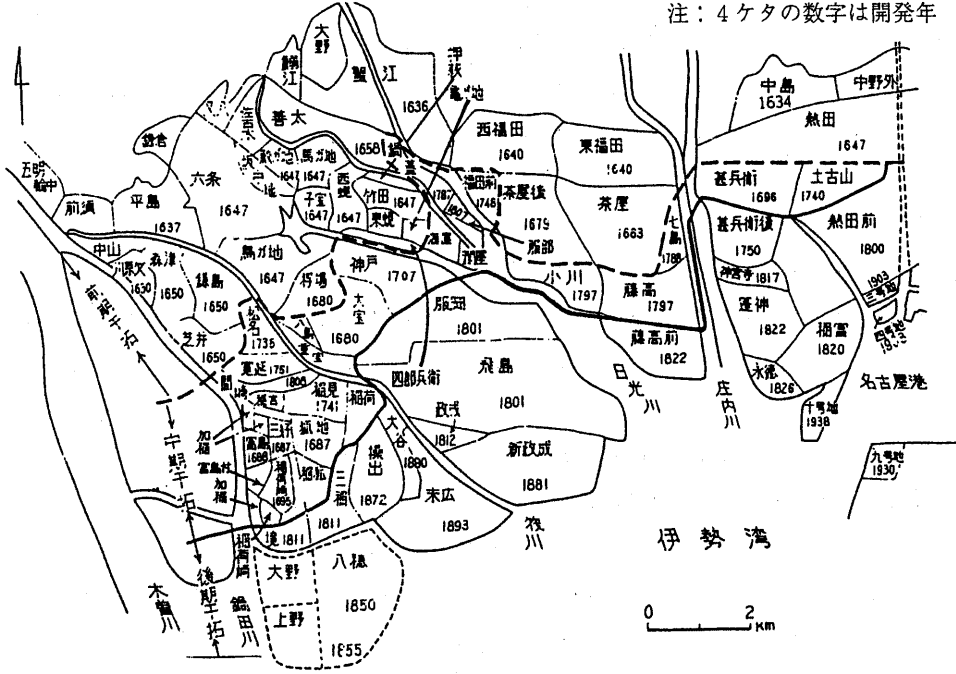
この大項目も前項同様全く便宜的であり、後述の大高源兵衛新田を除く愛知郡の四つの新田・村をここに一括したというだけである。ただ地図1に示したように、これらの新田・村は熱田神宮の東南方で大高源兵衛新田よりも北に位置し、一定の地域的なまとまりは存在したようである。

①化物新田

加福新田の俗称で、明治期は愛知郡前浜村に属していた。現在は名古屋市南区である〔角川地名辞

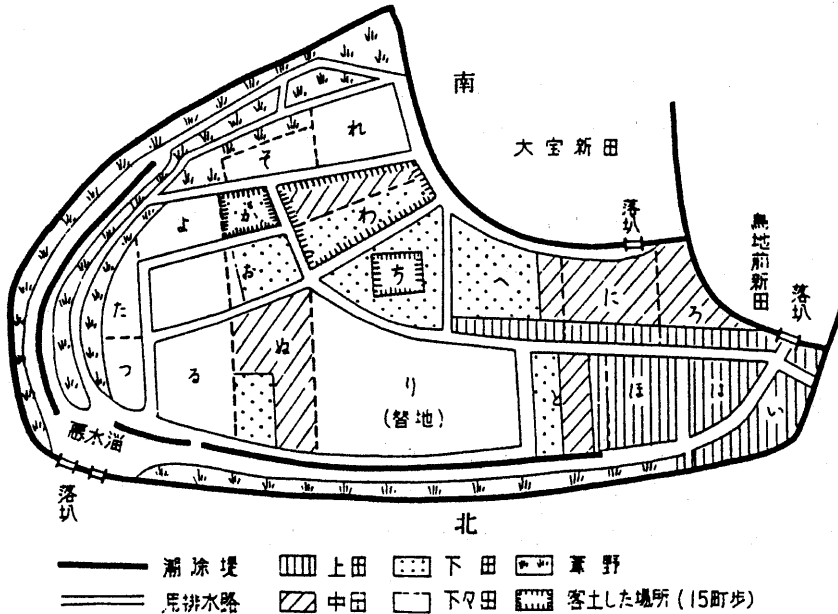
地図3 大宝前（神戸）新田周辺図

出典：菊地利夫 1986年
注：4ケタの数字は開発年



地図4 大宝前新田（安永8年）

出典：菊地利夫 1986年



典〕。地券61枚と地価帳1冊、小作米取立帳2冊などがある。

②紀左衛門新田

明治期は愛知郡豊田村に属する〔角川地名辞典〕。内容は、「諸帳簿」が断片的に4冊、「地券」73枚、「小作証書」37通で全て明治期の史料である。

③八左衛門新田

明治期は愛知郡星崎村に属す〔角川地名辞典〕。この新田の史料も明治期のものである。検見帳1冊・掬米取立帳2冊・地価帳1冊・地券74枚などといった史料がある。

④^{ちかま}千竈村

これは明治11～20年の村名である〔角川地名辞典〕。点数は少ないながら、神戸家による記録が1冊あり、また「取得」に所属させた史料から明治13年に神戸家がこの村に地所を購入したこともわかる。他に「地番分割」に関する帳簿4冊と地券12枚がある。

(10) 大高源兵衛新田

この新田は、1706（宝永3）年大高村の山口源兵衛が開発し、地積は田畑38町8反余である。明治期には愛知郡鳴尾村に属し、現在は南区源兵衛町・三吉町・鳴浜町にある〔以上角川地名辞典〕。神戸家との関わりは開発当初からと思われるが、1706年の史料を欠くために不明である。この新田には神戸家のほかにも地主がおり、現在判明している限りでは、1710年代中頃には神戸家が7町5反、近藤武兵衛が6町の田畑を所持している（あ2430）。1718（享保3）年では近藤武兵衛（3町）・近藤伊右衛門（3町）・神戸分左衛門（7町5反）であり（あ2372）、1740年頃（元文・延享期）には武兵衛分に変化があり、雲心寺（3町）・伊右衛門（3町）・文左衛門（7町5反）という所持構成になり（あ2316）、1750、1760年代（寛延～明和期）は伊右衛門（3町）・文左衛門（7町5反）（あ2328）、1814（文化11）年でも萱津屋伊右衛門（3町）・文左衛門（7町5反）（あ2371）と変化していく。要するに神戸家は一貫して7町5反分の地主である。以上に略述した3ないし2人の地主グループを「名古屋方」と呼んでいた。

この新田における神戸家の経営組織は現段階ではあまりよくわからない。但し、中嶋半右衛門が名古屋方の支配人の役割を果たしていることは確実である。中嶋半右衛門は、もしも彼が後述の大項目にある中島屋半右衛門と同一人物であるとすれば、名古屋御菌町の商人であり、神戸家とは商業面でも経営提携を行っていた家である。つまり、大高源兵衛新田名古屋方の支配人は名古屋に居住している。これに対して現地の新田小屋で直接地主経営に従事していると見られる人物が惣助である。惣助には地主グループから給分が支払われている。惣助が本大項目収録史料に現れるのは享保期（1716-1735年）を主としており、元文～延享期（1736-1747年）になると惣兵衛が享保期の惣助の役割を果たしている。1814（文化11）年における「支配役」は儀兵衛というが、彼は困窮のため5年間支配役を清兵衛に交代し、その後支配役を儀兵衛息子に相続させるという取り決めがある（あ2371）ことから支配人は家で継承する性格も有していたこともわかる。ただ、以上の叙述はいくつかの仮定の上になりたっており、享保期の惣助と文化期の支配役儀兵衛が同一の機能を果たしていたかどうかは全く

未検討である。また、当然のことながら小作人から徴収した掬米を年貢と作徳米に計算する過程では村役人が深く関与していることはわかるが、名古屋支配人・現地支配人・村役人三者の相互関係は未解明である。ここでは名古屋支配人と現地支配人および村役人によって神戸家における大高源兵衛新田経営が成り立っていたらしいと言うに留めたい。

目録の冒頭には中項目「経営収支」を設け、「大高源新田仕徳米之帳」1冊のみを所属させた。享保期から20年余にわたる年毎の利益を記してある帳簿であり、大高源兵衛新田の帳簿体系の頂点に位置する帳簿と思われるため冒頭に掲げておいた。

第二の中項目は「掬米徴収」である。最初に一筆ごとの掬米を決定するために毎年作成される「検見帳」約30冊を並べた。次に掬米の皆済請求帳簿である「米納帳」約60冊（名古屋支配人から現地支配人あて）を配列した。ここで注意すべきは「検見帳」という表題でも内容は「米納帳」であるものが少なからず存在することである。この点、今回整理における点検が不十分である可能性があるので閲覧者は注意されたい。

三つ目の中項目「経営費用」では、まず統括的位置にあると考えられる「入用金銀帳」2冊と「小買物帳」2冊を配した。前者は10年間機能した帳簿であり、後者は「小払」・納米・給金・日用・「物成」といった多様な内容を持つ。

次の中項目「年貢計算」では、「年貢勘定帳」「年貢書き出し帳」といった表題が見える。これは村役人が掬米から「小作納」額を差し引いた額を算出したものであることから年貢分と判断したのだが、さらなる検討が必要である。四番目の中項目は「村入用」であり、「入用割符帳」約50冊である。これは村役人が作成するもので、一年ごとの村入用帳である。村入用は「地持」で立会割賦されており、それに神戸家の代表者も参加している。1755（宝暦5）年の場合は平次郎であった（あ2287）。

五番目の中項目「作徳米計算」の小項目「納米入用割賦」は、掬米・年貢・諸入用などを集計差し引きして各地主持ち分に割賦することに関係すると思われる帳簿を配列した。この種の帳簿は享保期には「納米并入用割賦帳」「納米割賦勘定帳」といった表題であるが、1730（享保15）年以後は「勘定目録帳」という表題がようやく定着する。もっとも、形式は多様性があり、上記項目を単に併記したものとそれをさらに差引計算したものなどがあり年によって異なる。

その次の中項目「土地」には地主としての土地台帳があり、新田経営の基幹情報ともいべきものと思われる。田畑一筆ごとの耕作者（小作人）と面積が把握されている。

「公儀との関係」では、領主支配との関係で作成される土地台帳である「検地帳」が5冊ある。「地券」は60枚あり、さらに「明治期購入分」としておそらくは明治10年に永井松右衛門から購入した土地に関する諸史料その他を配した。

(11) 知多郡の新田

①名和前新田

知多半島基部の天白川河口左岸にあり（地図1参照）、1695（元禄8）年に開発された。天白川をはさんで北隣に上述の源兵衛新田がある。犬山神戸家の一族伝八郎が出資したという〔以上角川地名

辞典]。

一番目の小項目中には「諸事留帳」があって経営形態はこれによりある程度判明してくるであろう。「経営帳簿」には掟米徴収関係1冊と土地台帳2冊がある。「地概」は「じならし」と読むのであろうか、ここでは耕地整備普請のようなものを意味しているらしい。

②武豊町

知多半島東海岸のほぼ中央部にある港湾都市である〔角川地名辞典〕。近代の簿冊が1点あるだけであるが、豊富な内容を含んでいるようである。

(12) 三州伏見屋新田

三州伏見屋新田は、1666年(寛文6)江戸茅場町の伏見屋又兵衛が開発した(い12-10)。開発から30年余を経て、1699年(元禄12)に同新田は尾州茶屋新田坂野新右衛門・同小川村塚本源左衛門・同名古屋佐藤六兵衛へ譲り渡されることとなった(い12-11)。譲渡証文によれば伏見屋新田180町6反3畝25歩、高1853.951石のうち、以下の地積・石高が譲渡されたという。

113町2反5畝10.57歩、高1042.728石(御蔵入分)

12町 1畝 1.43歩、高 117.479石(松平与右衛門領分)

28町6反7畝 4歩、高 286.713石(松平弾正領分)

5町8反8畝 27歩、高 58.893石(松平万次郎領分)

以上の田畑には、伏見屋新田居屋敷1構、池川葭原蒲原并大堤外芦柳、伏見屋村小屋も付属していたことが明記されている。代金は1500両であった。こうした物件に付随して、①新田取立時の「御公儀御証文」(い12-10か、これはその時の代官のところにあるのを追って渡す、今は伏見屋所持の扣を渡す。)②「御給領方先年の御証文」「御蔵入御給領之御検地帳」「新田反畝割之大絵図」③「新田惣作人江之預り方地帳」「年々之年貢積諸帳」「諸書物等」、④「作人より取置申候預ヶ方之証文」、といった文書も引き渡されている。

この譲渡証文に神戸家は出てこないが、実はこのときの買い取り資金を神戸家は他の3名とともに新地主の一人名古屋佐藤六兵衛(茶屋長固手代)に融資していた。融資は茶屋長固・佐藤六兵衛・小出茂左衛門の三人に対して行われ、その融資額は合計1550両で、その融資者別内訳は、向井彦左衛門が100両、岡田佐次右衛門が150両、神戸分四郎(初代分左衛門とは別人)が800両、大海彦四郎が500両である。

伏見屋新田は「四つ割」になっており、二口が佐藤六兵衛、一口が長嶋清兵衛と小川村塚本源左衛門という分割であった。佐藤六兵衛分のうち一口を、分四郎を名代として1550両で譲り受けている。これは元禄17年のことである(以上い12-9)。すなわち、神戸家は伏見屋新田のうち1505.813石のなかの四分の一分の地主4人の名代となったわけである。このとき神戸分四郎の手元にある「(佐藤)六兵衛より之譲証文」を互いに写し取り、また新田入用金の負担及び作徳米の配分は出金額に応ずること、それらの勘定は長嶋清兵衛・源左衛門・分四郎の「惣仲間」が立ち会って行い、分四郎が「仲間」(分四郎・向井彦左衛門・岡田佐次右衛門・大海彦四郎)へその結果を伝達することも取り決められ

た（同前）。つまり、伏見屋新田における地主仲間は上位の「惣仲間」と下位の「仲間」に重層化しており、神戸家は「惣仲間」の一員と「仲間」の名代を兼ねていたことになる。神戸家が所属していた「仲間」は「尾州方」と呼ばれていた。

伏見屋新田における「尾州方」の支配人的存在は、1708（宝永5）年以前は若山佐助と佐治豊蔵、同年以後は中島半右衛門であった。

1711（正徳元）年12月、「伏見屋新田四ツ割一分」を「連中」として「扣」ていたが、「惣新田」が三州鷲塚村片山甚五郎に520両で売り払われたため、神戸家は「地代銘々当金」つまり自分の持ち分に応じた金額を受け取った（あ3695）。これに伴い、新田諸帳面を新地主に引き渡し、これに伴い引渡目録も作成されている（あ3689）。

このように神戸家は1704年から1711年までのわずか足かけ8年しか伏見屋新田との関わりを持たなかったのであるが、史料の伝存は比較的良好である。

冒頭の「取得」には上述の資金供与の事実を直接示す地主仲間証文をまず掲げた。そのほかにこの行為に関連する音物代の記録がある。次の小項目「地主引継文書」には1704年の資金供与に際して入手したと考えられるそれ以前の年代の史料を配列し、最後に1711年の売却に際して作成された次の地主への引継文書の受取目録を置いた。

そのあとは新田経営関係史料ではあるが、ここで注目されるのは、これまでの諸新田とは異なり、神戸家の伏見屋新田への関与のあり方は直接経営ではなくあくまで資金供与に留まっているのではないかとと思われることである。それは前述のように「惣新田」が売却されることは同時に自分持ち分の売却をも意味する、つまり売却に神戸家の主体性を読みとることができないことから推測されるし、また現存史料構成に検見帳や米納帳といった掬米徴収に関する史料が全く存在しないことにも現れているようにも思われるが、現段階では断定は避けたい。

第二の中項目「経営収支」では、最初に「統括帳簿」としていずれも複数年にわたる帳簿であり、うち2冊（あ3693,3695）は上述の「仲間」レベルの帳簿である。次の「入用金諸払目録」は支配人が種々の新田入用名目で神戸家から受け取った金額が項目別にまず記され集計され、そのあとに実際の支出が、三番目の小項目「払小帳」に基づいて列記合計され、収支が計算されている。これを支配人から神戸家に報告しているのである。8番目の小項目「請払目録」は書付型史料であるが、これを見ると支配人が神戸家から受け取った経営費用は先の「入用金請払目録」記載分だけではなく、定期的に受け取る分も存在しそれも含めた収支の計算が行われている。両者の関係は今のところわからない。支配人が定期的に受け取る経営費用のその都度の受取書が7番目の小項目「入用金請取」に5点並べた「請取申金子之事」という柱書を持つ書付型史料である。

三番目の中項目「年貢」には「御年貢金納帳」3冊と「御年貢并小物成目録」4冊と年貢割付状2通ほかを入れた。第四の中項目「公儀との関係」には代官や領主への上申書や願書を集めた。

(13) 三河国の新田

①吉塩崎永岡新田

地名辞典の限りでは所在不明である。検地帳1冊と経営費用関係帳簿2冊の計3点しかないが、時期は元禄—宝永期と比較的古い。

(14) 三重県の新田

①和泉新田

桑名郡にあり近世以来明治22年までこの村名である。木曾川河口の乱流域にある〔角川地名辞典〕(地図1参照)。収録史料は地券のみで54枚ある。

②中和泉新田

上記和泉新田の南側に開発された新田である〔角川地名辞典〕。神戸家はこの新田のなかの地所を明治10年に桑名郡見入新田黒宮嘉左衛門から買い取り(あ3657)、同33年に早川忠蔵に売り渡している(あ3596,3597)。また、取得当初2年間の経営記録もある。

(15) 領主御用

神戸家が元禄期以降様々な領主御用に従事していたことは、本解題第2節「犬山屋神戸家の歴史」において述べたのでここでは繰り返さない。冒頭に「御金御用」免除願を、「御金御用」が御勝手御用その他の領主御用全般を総称していると考えられるため、「全体」という小項目のもとに置いた。「借上金御用」には神戸家が同役の一人として作成した帳簿や発給した回状もあり内容豊富である。時期は元禄から天保までと幅広い。それに対し「御勝手御用達」は主として年代不明の退役・休役願書のみである。「小納戸御用」は同役に関する神戸家からの願書や藩小納戸役所からの下達文書の写帳1冊のみであり、「融通講取締役」も掛銭勘定帳が1冊あるのみである。「町払金」は機能不明であるが、嘉永—安政期の月々調帳10冊、月々メ上書抜帳5冊がある。以上の諸史料は、神戸家が特定の役職や機能を担いそれに伴って授受作成された史料であり、神戸家が単なる名古屋の一町人として例えば調達金を上納している史料とは性格が異なることに注意されたい。そのような史料は大項目「神戸家・勘定場」下の中項目「公儀との関係」下の小項目「御用金・貸上金」に配列したことを蛇足ながら付け加えておく。

(16) 元材木町

神戸家が居住している町一団体としての町一の史料である。「元材木町」には書付型史料2点しかないが、元材木町の間口構成が判明し、また各町屋敷における借家数もわかる好史料である。い392に「丁代分佐衛門」とあるのでその関係で残された史料である可能性がある。「分左衛門組」には享保期のこの五人組に関する宗旨改め帳下書き5冊が所属している。

(17) 江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）

この項目に関する主要帳簿はすでに目録（その1）に収録されているので、今回は全て書付型史料である。このなかの「町入用書上」は宛先が下舟（小舟）町の家守であるので下舟町の町入用書上である可能性がある。「書状」4通の作成者理仙は二代目神戸彦七の妻余肆のことである。町屋敷経営と関係ある内容の書状は1通だけであるが、理仙書状としてここにまとめておいた。「雛形」2通はあるいは名古屋のものかもしれないが便宜的にここに配列した。

(18) 御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎

目録（その1）では、彼らの作成した商業経営帳簿など38冊を末尾に収録し、彼らの経営体は神戸家からは独立していたと推測した上で、なぜ彼らの経営帳簿が神戸家文書に含まれるのかを目録（その2）以降の課題としておいた。この課題は本目録においても果たされないままに終わっている。ただ、大高源兵衛新田と三州伏見屋新田の項で既に述べたようにこの中嶋半右衛門は両新田において支配人のような役割を果たしており、神戸家との関係は単なる重要な取引先というだけでなく、極めて密接であったことが新たに判明した。また本大項目収録史料の大半は「仕切状」23通であり、そのなかには宛先が神戸文左衛門と連名になっているものが2通ある。有物勘定帳（棚卸帳）はそれぞれ独立していても（目録その1参照）、経営提携が行われていたことを否定することにはならないのかもしれない。

【参考文献】（著者の50音順）

安藤正人 「記録史料目録論」（『歴史評論』497、1991年）

飯島利夫・小杉正・中村一朗・三宅明彦・安井宮一編『神戸家文書 御用留』（十四山村教育委員会、1992年）

大石慎三郎「町人請負新田の成立事情—神戸新田（大宝前新田）の場合—」（『史学雑誌』60-9、1951年、のち同著『封建的土地所有の解体過程』御茶ノ水書房、1968年に収録）

大藤 修・安藤正人『史料保存と文書館学』（吉川弘文館、1986年）

菊地利夫 「先進地型町人請負新田としての大宝前（神戸）新田の諸問題」（同著『続・新田開発』事例編第十四章、古今書院、1986年）

作道洋太郎「取引・証文、経営・帳簿」（『日本古文書学講座』7 近世編Ⅱ、雄山閣、1979年）

史料館編 『史料の整理と管理』岩波書店、1988年

所 三男 「運材中継基地としての犬山—木曾川運材史の一齣—」（『徳川林制史研究所研究紀要』昭和42年、1967年）

同 「近世初期商人による用材生産」（『徳川林制史研究所研究紀要』昭和45年、1970年）

同 『近世林業史の研究』（吉川弘文館、1980年）

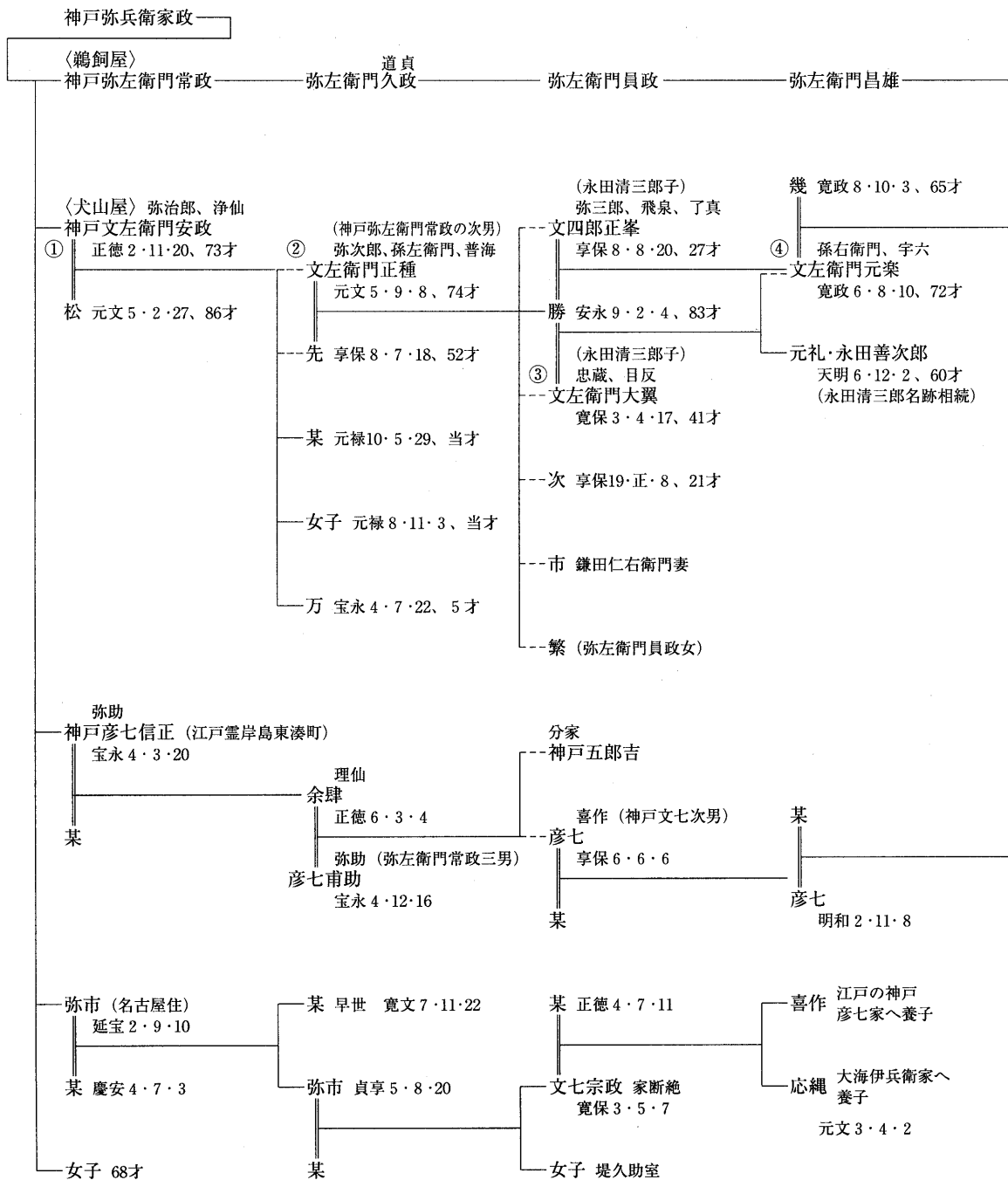
水野 潔 「尾州商人神戸家の江戸町屋敷経営」（『法政史論』16、1988年）

新修名古屋市史編集委員会編 『新修名古屋市史』4（名古屋市 1999年）

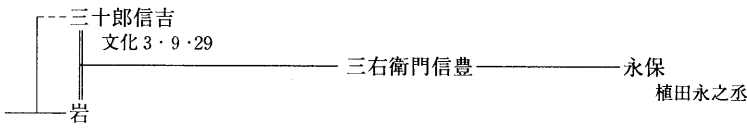
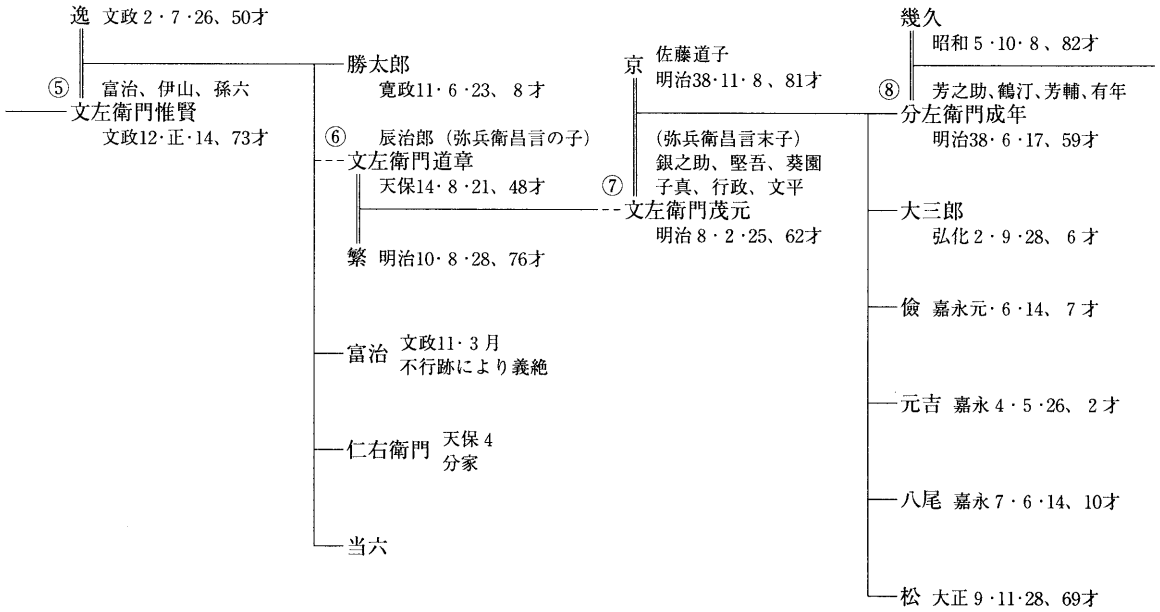
『角川日本地名大辞典23 愛知県』（角川書店、1991年、〔角川地名辞典〕と略記）

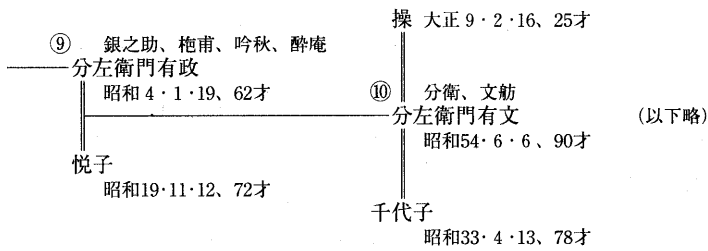
[付記] 本目録の編成と解題執筆は渡辺浩一が担当した。整理作業では坂本達彦氏の協力を得た。
記して感謝したい。

神戸家系図



弥兵衛昌言 (以下省略)





- 注 (1) 襲名上の名は幼名、元服名、号、隠居名などである。
 (2) 名前右下の年月日は命日、年令は死亡日年令を示す。
 (3) 実線は血縁、点線は非血縁関係を表わす。
 (4) 典拠は、『神戸氏系譜』(二種あり)、『永田家系譜大略』
 (寛政11年)。 (いずれも神戸家所蔵)

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

神戸家・勘定場／経営全体／諸帳簿

卯之暮勘定目録帳 十二屋庄右衛門	元禄13年正月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ1532
古懸書出帳 犬山屋	宝永6年正月	横美大半/列帖綴・1冊	あ3502
古懸書抜 神戸文左衛門	正徳4年正月	横美半/列帖綴・1冊	あ3503
年々米勘定帳	明和4年暮（～明和8年7月）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1547
通表請取金メ出シ勘定帳	文政11年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ1182
通表請取金利足メ出シ勘定帳	文政12年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ1183
通表請取金利足メ出シ勘定帳	天保2年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ1184
覚（書入分・借金分・買物代分書上） 結び付け史料あり（1775-1-1） （経営収支計算書付）	享保～天保 （閏暮）	横長半/一ツ綴・（5冊のうち） 断簡・1通	あ1775-1 あ1775-1-1
（飯米出方、当春売米之分、売米、ほん之分、八月份、九月份、文久二戊三月地改に付間地之事）	（近世）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-6
（盆前拂惣メ高、なこや地並帳出ス新田御普請拂申候分）	（近世）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-8
（勘四郎金指引覚、勘四郎買米残金覚、勘六買米残金）	（近世）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1774-2
*（勘四郎買米損徳指引覚、覚（金銭覚書）、穀物売買指引）	（近世）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1774-3
米請取通ひ 米山屋半右衛門	（辰正月）	横長美/一ツ綴・1冊	あ1777-3
（新田入用書上）	（近世後期）	横長半/一ツ綴・	あ1777-4
篠屋年々入用金九右衛門年々仕埋来り候覚	寅11月	横切継紙・1通	い357-11-13
（奥より金請場、銭買場、卯年分米代金請取覚、出之場、町入用之覚、取者場、請取覚）	（寅、卯）	横長美/一ツ綴・1冊	あ961
備用金年済覚	戌7月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1776-1
十九年戌十二月掛メ出シ、新田金左衛門・辰右衛門から木挽町御勘定場への米代金申受書、米搗揚ケ記、御米搗揚ケ記	（明治20年2月7日～4月23日）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1775-2
記（道具蔵・土堀・郷蔵普請大工左官手間賃書上） 崔太郎	（近代） 8月25日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1776-2
手形割引契約證書	（近代）	罫紙「神戸氏蔵」/一ツ綴・1冊	あ3468-7

奉公人

請状之事（十兵衛亮子奉公ニ付） 名古屋芦町請人清左衛門・濃州本巢郡拾七条村請人半右衛門→元材木町神戸分左衛門	元禄6年5月	縦継紙・1通	い122
請合手形之事（ひさ奉公人召抱ニ付） 長者町下宿請人六左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	宝永4年9月	縦紙・1通	い278-1
御請状之事（ひと奉公人召抱ニ付） 末広町宿作兵衛→元材木町犬山屋分左衛門	享保4年9月	縦継紙・1通	い278-2
御請状之事（権助奉公人召抱ニ付） 春日井郡児玉村市右衛門・同村請人平七郎→犬山屋分左衛門	享保5年2月	縦継紙・1通	い280-1
御請状之事（つた召抱ニ付） 伊勢町宿請人左助→元材木町犬山屋分左衛門	享保5年3月	縦継紙・1通	い277-1
御請状之事（ひさ奉公人召抱ニ付） 光明寺町新平→元材木町分左衛門	享保5年9月	縦紙・1通	い278-3
御請状之事（市助奉公人召抱ニ付） 愛知郡中嶋村之内大わた村請人弥次兵衛→名古屋元材木町犬山屋分左衛門	享保7年2月	縦継紙・1通	い281-1
御請状之事（春日井郡高田村つま奉公人に召抱ニ付） 納屋裏町宿請人八左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保8年9月	縦継紙・1通	い27-1
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 中橋裏又七郎→犬山屋分左衛門	享保10年3月	縦紙・1通	い27-2
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 車町長八郎→犬山屋分左衛門	享保10年3月	縦紙・1通	い27-3
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 正万寺町受人八右衛門→犬山屋分左衛門	享保10年9月	縦紙・1通	い27-4
一札（奉公人つま寺請証文） 東寺町禅宗宋吉寺→犬山屋分左衛門	享保10年9月	縦継紙・1通	い277-2
御請状之事（つた召抱ニ付） ミその町請人佐七郎→犬山屋分左衛門	享保10年9月	縦継紙・1通	い277-3
一札（奉公人権助寺請証文） 丹羽郡勝栗村本願寺宗徳法寺→犬山や文左衛門	享保11年2月	縦紙・1通	い280-2
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 末広町宿請人次兵衛→犬山屋分左衛門	享保11年3月	縦紙・1通	い26-3
差出シ申宗門一札之事（奉公人つま寺請証文） 中嶋郡西嶋村光円寺→犬山屋分左衛門	享保11年3月	縦紙・1通	い27-6
請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 花井町新助→犬山屋分左衛門	享保11年3月	縦紙・1通	い27-7
御請状之事（つた召抱ニ付） 伝馬橋鋪宿請人甚六郎→犬山屋分左衛門	享保11年3月	縦紙・1通	い277-6
請状之事（つた召抱ニ付） ふしみ町善六良→犬山屋分左衛門	享保11年7月	縦紙・1通	い277-4
差出シ申一札之事（そよ奉公ニ付寺請証文カ） →犬山屋分左衛門	享保11年9月	縦切紙・1通	い26-1
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 宿請人かはやき町庄助→犬山屋分左衛門	享保11年9月	縦紙・1通	い26-2

御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 人善七郎→犬山屋分左衛門	光明寺町宿請	享保11年9月	縦紙・1通	い26-4
指出申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 宗願殿院→犬山や分左衛門	南寺町浄土	享保11年9月	縦紙・1通	い26-5
差出申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 金久寺→名古屋元材木町犬山屋分左衛門	植田村禪宗	享保11年9月	縦紙・1通	い26-6
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 平→犬山屋分左衛門	浦町宿請人武	享保11年9月	縦紙・1通	い27-5
御請状之事（つた召抱ニ付） →犬山屋分左衛門	みその町老丁め請人左七	享保11年9月	縦紙・1通	い277-7
御請状之事（つた召抱ニ付） 屋分左衛門	戸田道宿請人甚七→犬山	享保11年9月	縦紙・1通	い277-8
請状之事（つた召抱ニ付） 左衛門	請人新道町彦助→犬山屋分	享保11年10月	縦紙・1通	い277-5
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 八郎→犬山屋分左衛門	桜町宿請人平	享保11年11月	縦紙・1通	い27-8
御請状之事（新助奉公人召抱ニ付） 治左衛門・右同所（日置村）請人左衛門→名古屋元材 木町犬山屋分左衛門	愛知郡日置村親	享保12年正月	縦紙・1通	い278-6
差出シ申一札（奉公人市助寺請証文） 田井村禪宗法源寺→犬山屋分左衛門	春日井郡上小	享保12年2月	縦紙・1通	い281-2
一札（奉公人そよ寺請証文） 木町犬山屋分左衛門	植田村禪宗金久寺→元材	享保12年3月	縦紙・1通	い26-7
一札（奉公人そよ寺請証文） →元材木町犬山屋分左衛門	愛知郡植田村禪宗金久寺	享保12年3月	縦紙・1通	い26-8
御請状之事（つた召抱ニ付） 山屋分左衛門	永安寺町宿請人清助→犬	享保12年3月	縦紙・1通	い277-9
差出シ申一札之事（奉公人はる寺請証文） 嶋新田本願寺宗安法寺→名古屋元材木町犬山屋分左衛門	海西郡平	享保12年3月	縦紙・1通	い278-4
一札（奉公人勘兵衛寺請証文） 寺内西伯庵→分左衛門	濃州各務郡鷺沼村大安	享保12年3月	縦紙・1通	い31
差出シ申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 願寺宗心海寺→元材木町犬山屋分左衛門	赤塚町本	享保13年3月	縦紙・1通	い26-9
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 伝九郎→犬山屋分左衛門	花屋町宿請人	享保13年3月	縦紙・1通	い26-12
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 助→犬山屋分左衛門	袋町宿請人半	享保13年3月	縦紙・1通	い27-9
差出申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 宗願殿院→元材木町犬山屋分左衛門	南寺町浄土	享保13年9月	縦紙・1通	い26-10
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 円七郎→元材木町犬山屋分左衛門	長者町宿請人	享保13年9月	縦紙・1通	い26-11
御請状之事（つた召抱ニ付） 材木町犬山屋分左衛門	永安寺町宿請人平蔵→元	享保13年9月	縦紙・1通	い277-10
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） 稻生村日蓮宗妙本寺→元材木町犬山屋分左衛門	春日井郡	享保13年9月	縦紙・1通	い277-11
御請状之事（かや奉公人召抱ニ付）	本重町宿請人権	享保13年9月	縦紙・1通	い282-1

右衛門→元材木町犬山屋分左衛門			
御請状之事（藤七奉公人召抱ニ付） 愛知郡御器所村奉公人藤七郎・右同所（御器所村）請人次平→元材木町犬山屋分左衛門	享保14年2月	縦継紙・1通	い278-7
御請状之事（藤七奉公人召抱ニ付） 愛知郡御器所村奉公人藤七郎・右同所（御器所村）請人次平→下材木町勘四郎	享保14年2月	縦紙・1通	い278-8
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 宿請人手代町善吉→犬山屋分左衛門	享保14年3月	縦継紙・1通	い26-13
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） →犬山屋分左衛門	享保14年3月	縦継紙・1通	い277-12
御請状之事（つた召抱ニ付） 七間町宿新助→犬山屋分左衛門	享保14年3月	縦紙・1通	い277-13
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） 中嶋郡七ツ寺村真言宗桂林寺→犬山屋分左衛門	享保14年3月	縦紙・1通	い277-14
差出シ申一札之事（奉公人藤七郎寺請証文） 愛知郡御器所村禪宗久松寺→下材木町勘四郎	享保14年3月	縦紙・1通	い278-5
差出シ申一札（奉公人かや寺請証文） 東寺町東漸寺→犬山屋分左衛門	享保14年3月	縦継紙・1通	い282-2
御請状之事（かや奉公人召抱ニ付） 桜町請人宿金右衛門→犬山屋分左衛門	享保14年3月	縦紙・1通	い282-4
指出申一札之事（奉公人かや寺請証文） 朝日町本願寺宗光円寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保14年9月	縦紙・1通	い282-3
御請状之事（かや奉公人召抱ニ付） □小路宿請人藤右衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保14年9月	縦紙・1通	い282-5
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 江戸屋筋宿請人甚右衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保15年3月	縦紙・1通	い27-10
御請状之事（つた召抱ニ付） 桜之町宿請人勘助→元材木町犬山屋分左衛門	享保15年3月	縦紙・1通	い277-15
御請状之事（つた召抱ニ付） 御園町式丁目宿請人七左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保15年9月	縦紙・1通	い277-16
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） 愛知郡広井村本願寺宗慶榮寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保15年9月	縦継紙・1通	い277-17
御請状之事（つま奉公人に召抱ニ付） 永安寺町筋宿請人佐助→犬山や分左衛門	享保16年3月	縦紙・1通	い27-11
御受状之事（つた召抱ニ付） 車町宿権七郎→犬山屋分左衛門	享保16年3月	縦紙・1通	い277-18
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） 海東郡仲萱津村日蓮宗正善坊→犬山屋分左衛門	享保16年3月	縦継紙・1通	い277-19
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 広井俣行院筋宿請人兵助→犬山屋分左衛門	享保16年5月	縦紙・1通	い277-20
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） 愛知郡広井村本願寺宗慶榮寺→犬山屋分左衛門	享保16年5月	縦紙・1通	い277-22
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） 宿請人東田町藤助→犬山屋分左衛門	享保16年9月	縦継紙・1通	い27-12
差出し申一札之事（奉公人つた寺請証文） 愛知郡栄村禪宗兼泉寺→犬山屋分左衛門	享保16年9月	縦紙・1通	い277-21

御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） →犬山屋分左衛門	宿請桑名町庄助	享保16年9月	縦紙・1通	い277-23
差出シ申一札之事（奉公人かや寺請証文） 代官町善林寺→材木町分左衛門	本願寺宗	享保16年10月	縦紙・1通	い282-6
御請状之事（かや奉公人召抱ニ付） 六→材木町犬山や分左衛門	六句町請人宿源	享保16年10月	縦紙・1通	い282-7
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 宿茂七郎→元材木町犬山屋分左衛門	桑名町水谷長屋	享保17年3月	縦継紙・1通	い277-24
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） 人伊勢町角平→犬山屋分左衛門	宿請	享保17年9月	縦紙・1通	い27-13
差出シ申一札之事（つま奉公ニ付寺請証文） 町本願寺宗正福寺→元材木町犬山屋分左衛門	御園片	享保17年9月	縦紙・1通	い27-14
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） 宿請人政右衛門→元材木町犬山屋分左衛門	桜町	享保18年3月	縦継紙・1通	い27-15
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 六郎→犬山屋分左衛門	宿請人七間町善	享保18年9月	縦紙・1通	い277-25
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） 願寺宗善龍寺→元材木町犬山屋分左衛門	本重町本	享保18年9月	縦継紙・1通	い277-26
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） 町老丁目宿請人庄助→犬山屋分左衛門	桑名	享保19年3月	縦継紙・1通	い27-16
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 助→犬山屋分左衛門	杉ノ町宿請人源	享保19年4月	縦紙・1通	い277-29
差出し申一札之事（奉公人つた寺請証文） →元材木町犬山屋分左衛門		享保19年9月	縦継紙・1通	い277-27
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 小八郎→犬山屋分左衛門	宿請人小田原町	享保19年9月	縦紙・1通	い277-28
一札（奉公人たけ寺請証文） 衛門	赤塚町禪宗大用寺→文左	享保19年10月	縦紙・1通	い278-9
一札（奉公人林蔵寺請証文） 法心寺→只助	海東郡蟹江本町村浄土宗	享保20年2月	縦紙・1通	い278-11
御請状之事（権助奉公人召抱ニ付） 請人市左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	春日井郡沖村村	享保20年2月	縦紙・1通	い280-3
差出シ申一札（奉公人權助寺請証文） 禪宗徳岩寺→元材木町犬山屋分左衛門	春日井郡沖村	享保20年2月	縦紙・1通	い280-4
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文） 子村蓮徳寺→元材木町分左衛門	愛知郡荒	享保20年3月	縦紙・1通	い277-30
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 七→元材木町分左衛門	宿請人伏見町左	享保20年3月	縦紙・1通	い277-31
差出シ申一札（奉公人勘兵衛寺請証文） 鶴沼村大安寺之内曹広→犬山屋文左衛門	濃州各務郡	享保20年3月	縦紙・1通	い278-10
御請状之事（かや奉公人召抱ニ付） 元材木町分左衛門	宿大津町源助→	享保20年3月	縦継紙・1通	い282-8
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 兵衛→犬山屋分左衛門	梶川町請人八	享保20年9月	縦紙・1通	い26-14
差出シ申一札之事（つま奉公ニ付寺請証文カ） 材木丁犬山屋分左衛門	→元	享保20年11月	縦継紙・1通	い27-17

差出し申一札之事（つま奉公ニ付寺請証文） 郡法成寺村本願寺宗徳円寺→犬山屋分左衛門	春日井	享保20年11月	縦紙・1通	い27-18
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） はくろう町宿請人忠兵衛→元材木丁犬山屋分左衛門	押切	享保20年11月	縦紙・1通	い27-19
御請状之事（金助奉公人召抱ニ付） 請人茂八郎・海東郡舟入奉公人金助→大宝前新田只助	海西郡竹田新田	享保20年12月	縦紙・1通	い279-1
宗門御改手形之事（三介寺請証文） 郷村浄土真宗善万寺亮慧→尾州名古屋文左衛門	濃州厚見郡日置	享保21年2月	縦紙・1通	い283-1
御請状之事（三助奉公人召抱ニ付） 公人三助・桑名町請人仁左衛門→犬山屋分左衛門	羽栗郡南宿村奉	享保21年2月	縦紙・1通	い283-2
指出し申一札之事（つま奉公ニ付寺請証文） 秀寺中禪宗南昌院→元材木町犬山屋分左衛門	南寺町政	享保21年3月	縦紙・1通	い27-20
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） 人住吉町新八→犬山屋分左衛門	宿請	享保21年3月	縦紙・1通	い27-21
差出し申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 井村本願寺宗浄信寺→犬山屋分左衛門	愛知郡広	元文元年9月	縦紙・1通	い26-15
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 町与伏見丁之間宿請人忠助→犬山屋分左衛門	本重町筋御園	元文元年9月	縦紙・1通	い26-16
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） 人桜町御園之伏見町之間徳兵衛→犬山屋分左衛門	宿請	元文元年9月	縦紙・1通	い27-22
差出し申一札之事（奉公人つま寺請証文） 蓮宗本住寺→犬山屋分左衛門	東寺町日	元文元年9月	縦紙・1通	い277-32
一札（奉公人金助寺請証文） 寺→犬山屋分左衛門	海東郡蟹江村浄土宗法応	元文2年2月	縦紙・1通	い279-2
御請状之事（三助奉公人召抱ニ付） 奉公人兄与六・同村請人権兵衛→犬山屋分左衛門	海西郡鎌島新田	元文2年2月2日	縦紙・1通	い283-4
指出し申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 本願寺宗正福寺→犬山屋分左衛門	御園片町	元文2年3月	縦紙・1通	い26-17
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 筋杉町上ル所太郎兵衛→犬山屋分左衛門	宿請正万寺町	元文2年3月	縦紙・1通	い26-18
御請状之事（奉公人つま宗旨并請立之儀ニ付） 車町又助→犬山屋分左衛門	請人	元文2年3月	縦紙・1通	い27-23
指出し申一札之事（つま奉公ニ付寺請証文） 郡上小田井村法源寺→犬山屋分左衛門	春日井	元文2年3月	縦紙・1通	い27-24
指出し申一札之事（奉公人三助寺請証文） 村本願寺宗宝泉寺→元材木丁犬山屋分左衛門	海東郡戸田	元文2年3月	縦紙・1通	い283-3
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 町ト長者町之間磯右衛門→犬山屋分左衛門	請人入江町本	元文2年9月	縦紙・1通	い26-20
差出し申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 佐村正長寺→犬山屋分左衛門	知多郡須	元文2年9月	縦紙・1通	い26-21
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 日重助→犬山屋分左衛門	請人伏見町老丁	元文2年9月	縦紙・1通	い277-33
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 町ト伏見町之間宿請人吉右衛門→犬山屋分左衛門	代官町筋御園	元文3年3月	縦紙・1通	い26-22
差出し申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 寺宗延広寺→犬山屋分左衛門	橘町本願	元文3年3月	縦紙・1通	い26-23

差出シ申一札（奉公人つた寺請証文） 宗海音寺→犬山屋分左衛門	知多郡大野禪	元文3年3月	縦紙・1通	い277-34
御請状之事（そよ奉公人に召抱二付） 入横町両側宿請人分七郎→犬山屋分左衛門	禪寺町下東江	元文3年6月朔日	縦紙・1通	い26-24
差出シ申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 願寺宗光円寺→犬山屋分左衛門	朝日町本	元文3年6月	縦継紙・1通	い26-19
御請状之事（孫三郎奉公人召抱二付） 孫三郎親金六・名古屋杉ノ町筋正万寺町卜御園町之間北 側請人彦八→名古屋元材木町犬山屋文左衛門	海東郡小路村	元文3年6月	縦紙・1通	い278-12
御請状之事（権助奉公人召抱二付） 助兄源助・同村請人又吉→元材木町犬山屋分左衛門	愛知郡牛立村権	元文3年6月	縦紙・1通	い280-5
指出申一札（奉公人権助寺請証文） 願寺宗願興寺→犬山屋分左衛門	愛知郡牛立村本	元文3年6月	縦紙・1通	い280-6
御請状之事（権助奉公人召抱二付） 助兄源助・同所請人又吉→元材木町犬山屋分左衛門	愛知郡牛立村権	元文3年6月	縦紙・1通	い280-7
御請状之事（奉公人つま宗旨并請立之儀二付） （句）町中切宿請人と八郎→犬山屋文左衛門	六具	元文4年7月	縦継紙・1通	い27-26
御請状之事（奉公人つま宗旨并請立之儀二付） 橋裏庄助→犬山屋分左衛門	天満	元文4年9月	縦継紙・1通	い27-25
御請状之事（つた奉公人召抱二付） 側請人伝七郎→犬山屋分左衛門	伏見町老丁目西	元文4年9月	縦継紙・1通	い277-35
御請状之事（つた奉公人召抱二付） 善左衛門長家請人金右衛門→犬山屋分左衛門	伝馬橋鋪大野屋	元文5年2月	縦継紙・1通	い277-37
御請状之事（つた奉公人召抱二付） 武兵衛町之間七助→犬山屋分左衛門	杉ノ町筋久やと	元文5年3月	縦紙・1通	い277-36
御請状之事（つた奉公人召抱二付） 町と七間町間請人久七→犬山屋分左衛門	本重町筋こふく	元文5年3月	縦継紙・1通	い277-38
御請状之事（かや奉公人召抱二付） と加治屋町之間請人善助→犬山屋分左衛門	永安寺筋大津町	元文5年5月	縦紙・1通	い282-9
御請状之事（つた奉公人召抱二付） 町とかち屋町之間北側宿請人半六郎→犬山屋分左衛門	永安寺町筋大津	元文5年9月	縦継紙・1通	い277-39
差出シ申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 蓮宗常德寺→犬山屋分左衛門	東寺町日	寛保元年3月	縦紙・1通	い26-25
御請状之事（そよ奉公人召抱二付） 宿請人半右衛門→犬山屋分左衛門	戸田町一文字屋	寛保元年3月	縦紙・1通	い278-13
御請状之事（かや奉公人召抱二付） 町と呉服町之間宿請人清七郎→犬山屋分左衛門	永安寺町筋七間	元文6年3月	縦継紙・1通	い282-10
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀二付） 筋長嶋町と桑名町ノ間南側宿請人庄助→犬山屋分左衛門	袋町	寛保元年9月	縦継紙・1通	い27-28
御請状之事（つた奉公人召抱二付） 助→犬山屋分左衛門	鷹匠町宿請人惣	寛保元年9月	縦継紙・1通	い277-40
御請状之事（かや奉公人召抱二付） とこふく町ノ間北側宿請人六右衛門→犬山屋分左衛門	本重町筋伊勢町	寛保元年9月	縦継紙・1通	い282-11
御請状之事（そよ奉公人に召抱二付） 町請人喜助→犬山屋分左衛門	長者町下入口	寛保2年3月	縦継紙・1通	い26-26
御請状之事（奉公人つま宗旨并請立之儀二付）	車町	寛保2年6月	縦紙・1通	い27-29

請人新八→犬山屋分左衛門			
御請状之事（奉公人つま宗旨并宿請之儀ニ付） （句）町江川端宿請人基助→犬山屋分左衛門	六工	寛保2年9月	縦紙・1通 い27-27
御請状之事（かや奉公人召抱ニ付） 町ト代官町ノ間西側宿請人と兵衛→犬山屋分左衛門	こふく町筋本重	寛保2年9月	縦継紙・1通 い282-12
差出申一札之事（奉公人そよ寺請証文） 寺→犬山屋分左衛門	東寺町法花	寛保3年3月	縦紙・1通 い26-27
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 片町東側宿請人勘七郎→犬山屋分左衛門	賀がくいん前	寛保3年3月	縦紙・1通 い26-28
御請状之事（かや奉公人召抱ニ付） とかばやき町ノ間西側宿請人円七郎→犬山屋分左衛門	長者町筋本重町	寛保3年3月	縦継紙・1通 い282-13
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 人紋六→犬山屋文分左衛門	大伝馬町宿請	寛保3年9月	縦継紙・1通 い26-29
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 左衛門→犬山屋分左衛門	伊倉町宿請人小	寛保3年9月	縦継紙・1通 い277-41
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 八郎→犬山屋分左衛門	六貝町宿請人と	寛保4年3月	縦継紙・1通 い277-42
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 分左衛門	佐兵衛→犬山屋	延享元年9月	縦継紙・1通 い277-43
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 七郎→犬山屋分左衛門	上畑裏宿請人善	延享元年9月	縦紙・1通 い277-44
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） ト元堂ノ町ノ間西かわ宿請市兵衛→犬山屋分左衛門	桑名町筋代官町	延享2年3月	縦継紙・1通 い277-47
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 伝吉→犬山屋分左衛門	尾頭町宿請人	延享2年9月	縦継紙・1通 い26-30
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 永嶋町ト桑名町ノ間吉次郎→犬山屋分左衛門	宿請人永安町筋	延享2年9月	縦継紙・1通 い277-46
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） トかちや町ノ間宿請人又右衛門→犬山屋分左衛門	広小路筋大津町	延享2年閏12月	縦継紙・1通 い277-45
御請状之事（新八奉公人召抱ニ付） 犬山屋分左衛門	海東郡今宿村新 八伯父惣右衛門・同（今宿） 村請人半右衛門→元材木町	延享3年2月	縦継紙・1通 い278-14
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 馬町下ル西かわ長左衛門→犬山屋文左衛門	こふく町筋伝	延享3年3月	縦継紙・1通 い26-31
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 助→犬山屋文左衛門	長嶋町三丁目半	延享3年3月	縦紙・1通 い277-49
宗門一札（丹羽郡森本邑久右衛門娘寺請証文） 郡長野邑真言宗万徳寺→勘藤文左衛門	中嶋	延享3年4月	縦紙・1通 い30
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） 左衛門	半□→犬山屋文	延享3年6月	縦紙・1通 い277-48
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付） 山屋文左衛門	市左衛門→犬	延享3年9月	縦紙・1通 い26-32
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付） トミゆき町ノ間宿請人林右衛門→犬山屋文左衛門	大津町筋出重町	延享3年9月	縦継紙・1通 い277-50
差出シ申一札（奉公人三助寺請証文） 沼村禪宗大安寺寺中知足庵→元材木町犬山屋文左衛門	濃州各務郡鵜	延享4年2月	縦紙・1通 い283-5

御請状之事（三助奉公人召抱ニ付）濃州各務郡鷓沼三助兄治郎三郎・右同所請人喜右衛門→名古屋文左衛門	延享4年2月	堅紙・1通	い283-6
一札（奉公人さた寺請証文）駿河町本願寺宗光蓮寺→神戸分左衛門	延享4年3月	堅紙・1通	い128
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付）駿河町宿請人登右衛門→犬山屋文左衛門	延享4年3月	堅紙・1通	い277-51
指出し申一札（奉公人そよ寺請証文）濃州可見郡兼山村禅宗大通寺→犬山屋文左衛門	延享4年9月	堅紙・1通	い26-33
御請状之事（そよ奉公人に召抱ニ付）永安寺町筋七間町とこふく町ノ間宿請人中嶋屋権右衛門→犬山屋文左衛門	延享4年9月	堅紙・1通	い26-34
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付）伏見丁通五条丁上ル宿請人平左衛門→犬山や分左衛門	延享4年9月	堅紙・1通	い277-54
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付）源八→犬山屋文左衛門	延享4年12月	堅紙・1通	い277-52
差出シ申一札之事（奉公人つた寺請証文）ミノ笠松本願寺宗福証寺→犬山屋分左衛門	延享4年9月	堅紙・1通	い277-53
御請状之事（つた奉公人召抱ニ付）勘助→犬山屋文左衛門	延享5年3月	堅紙・1通	い277-55
指出申一札之事（つま奉公ニ付寺請証文カ）→犬山屋文左衛門	寛延元年9月	堅紙・1通	い27-30
御請状之事（源蔵召抱ニ付）拾六軒之内松井屋春蔵→神戸文左衛門	天保8年9月	堅紙・1通	い47
御請状之事（濃州中島郡一之枝村みさを雇入ニ付）請人美濃屋重蔵→神戸文右衛門	慶応4年4月	堅紙・1通	い334
差出申御請状之事（古渡村清九郎召抱ニ付）請人正万寺町満寿屋留吉・同親類豆腐屋新兵衛→神戸文左衛門支配中	明治2年5月	堅紙・1通	い341
雇入御請証券（枇杷島八幡浦すみ雇入ニ付）証人美の屋重蔵→神戸文左衛門	明治5年4月	罫紙・1通	い326
雇入御請証券（中小田井村やす雇入ニ付）証人下園町美の屋重蔵→神戸文左衛門	明治7年4月	罫紙・1通	い323
雇入御請証券（荒井村しん雇入ニ付）証人美の屋重蔵→神戸文左衛門	明治7年4月	罫紙・1通	い324
御請証券（片場村平三郎雇入ニ付）証人下園町美の屋重蔵→神戸文左衛門	明治7年4月	罫紙・1通	い325
雇入御請証券（下江川町市兵衛娘雇入ニ付）証人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	明治7年4月	罫紙・1通	い327
雇入御請証券（西いつしろ村たき雇入ニ付）証人美の屋重蔵→神戸文左衛門	明治7年8月15日	罫紙・1通	い322
雇入御請証券（福德村庄大口喜兵衛娘雇入ニ付）請人江戸屋十兵衛→神戸文左衛門	明治8年1月5日	罫紙・1通	い330
御請証券（小沢町清七雇入ニ付）証人みの屋重蔵→神戸文左衛門	明治8年3月	罫紙・1通	い321
雇入御請証券（武志川村川井清十郎娘雇入ニ付）証人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	明治8年4月	罫紙・1通	い328

雇入御請証券（東枇杷島幸雇入二付） 証人美の屋重蔵→神戸文左衛門	明治8年4月	罫紙・1通	い329
雇入御請証券（森本村ちゑ雇入二付） 請人美の屋重蔵→神戸文左衛門	明治8年5月	堅切紙・1通	い343
御請証券之事（中小田井村あい雇入二付） 請人新いたや久七→神戸	明治9年10月	罫紙・1通	い332
御請証券（津嶋村さく雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	明治9年	罫紙・1通	い331
御請状之事（奥田村角雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	午3月	堅切紙・1通	い333
御請状之事（三州中島村しづ雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	午3月	堅切紙・1通	い335
御請状之事（濃州伊尾村しづ雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	午3月	堅切紙・1通	い336
御請状之事（今村丈雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	午3月	堅切紙・1通	い339
御請状之事（蟹江新田梅雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	午3月	堅切紙・1通	い340
御請状之事（清水村れい雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	未3月	堅切紙・1通	い337
御請状之事（西水主町しま雇入二付） 請人美濃屋重蔵→神戸文左衛門	未3月	堅切紙・1通	い338
三通物案文（奉公人請状・同宗旨請状・同村請状の雛形）		堅継紙・1通	い394

仕切状

御売分仕切状（釘鋸売買二付） 河内屋茂兵衛→神戸分左衛門	享保8年9月8日	堅継紙・1通	い152
御売分仕切状（出嶋白砂糖売買二付） 河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	享保14年5月4日	堅紙・1通	い191
御売分仕切状（出嶋白砂糖売買二付） 河内屋茂兵衛→神戸分左衛門	享保14年5月4日	堅紙・1通	い195
仕切状之事（尾州餅米売買二付） 深江や治左衛門→河内屋七郎兵衛	享保14年12月28日	堅継紙・1通	い214
御売分仕切状（出嶋白砂糖売買二付） 河内屋茂兵衛→神戸分左衛門	享保19年5月4日	堅紙・1通	い194
仕切目録（灯油売買二付） 河内屋作兵衛→神戸分左衛門	享保20年10月4日	堅切紙・1通	い137
仕切目録（上々しいたけ・ともし油売買二付） 河内屋作兵衛→神戸分左衛門	享保20年10月28日	堅紙・1通	い171
御買分仕切（水銀売買二付） 河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	享保20年11月晦日	堅紙・1通	い175
仕切状之事（尾州米売買二付） 深江屋治左衛門→河内屋茂兵衛・神戸分左衛門	享保21年3月12日	堅継紙・1通	い204
仕切状之事（尾張米売買二付） 深江屋治左衛門→河内	享保21年4月18日	堅継紙・1通	い213

屋茂兵衛・神戸分右衛門				
御売分仕切状（稀印甘草売買二付） →神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	元文元年12月	縦紙・1通	い157
仕切目録（灯油売買二付） 門	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	元文2年2月12日	縦切紙・1通	い138
仕切目録（蠟燭など売買二付き） 分左衛門	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	元文2年3月18日	縦紙・1通	い139
御売分仕切状（希印甘草売買二付） →神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	元文2年7月14日	縦紙・1通	い149
御買分仕切状（八万太楓子売買二付） 衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	元文3年3月5日	縦紙・1通	い170
御売分仕切状（浜印手繰売買二付） →神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	寛保元年4月晦日	縦紙・1通	い190
御売分仕切状（出嶋白砂糖売買二付） 衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	延享3年9月8日	縦紙・1通	い192
売仕切状之事（御蔵米売買二付） 兵衛	関屋十兵衛→河合嘉兵衛	寛延2年12月4日	縦紙・1通	い199
売買仕切状之事（御蔵米売買二付） 合嘉兵衛	関屋十兵衛→河合嘉兵衛	寛延2年12月13日	縦紙・1通	い201
* 売仕切状事（地実綿売買二付） 分左衛門・半右衛門	後藤利右衛門→神戸分左衛門	子3月	縦紙・1通	い188
うり仕切覚（くりわた売買二付） 分左衛門	後藤利右衛門→神戸分左衛門	丑2月	縦紙・1通	い185
御買分仕切状（針鉾売買二付） 左衛門	河内屋茂兵衛→神戸分左衛門	丑3月	縦切紙・1通	い155
御買分仕切状（針鉾売買二付） 左衛門	河内屋茂兵衛→神戸分左衛門	丑3月	縦切紙・1通	い156
御買分仕切状（針鉾売買二付） 分左衛門	河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	卯8月	縦切紙・1通	い153
御買分仕切状（新針鉾売買二付） 分左衛門	河内屋茂兵衛→神戸分左衛門	卯8月	縦切紙・1通	い154
御売分仕切状（針鉾売買二付） 分左衛門	河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	卯9月	縦紙・1通	い150
仕切（縁取売買二付）	清水八兵衛→堤文助	未9月23日	横折紙・1通	い186
御買分仕切状（薩摩蠟代金請取二付） 衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	酉4月	縦紙・1通	い140
御買分仕切（水銀売買二付） 衛門	河内屋茂兵衛→神戸分左衛門	酉7月	縦紙・1通	い177
御買分仕切状（薩摩蠟代金請取二付） 衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	酉8月	縦紙・1通	い141
御買分仕切状（朝鮮人参など売買二付） 兵衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	酉9月	縦紙・1通	い173
御買分仕切（八万斤物太風子売買二付） 兵衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛	酉9月	縦紙・1通	い174
御買分仕切（浜印蝨売買二付） 分左衛門	河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	酉11月	縦紙・1通	い189

御買分仕切状（水銀売買二付） 河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	戌3月	縦継紙・1通	い176
目録覚（代金支払二付仕切状） 門	高津兵左衛門→金左衛門	戌6月晦日	縦継紙・1通	い158
御売分仕切状（薩摩蠟代金請取二付） 衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	亥5月24日	縦紙・1通	い142
御買分仕切状（新出嶋白砂糖売買二付） 兵衛→神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	亥5月	縦継紙・1通	い193
御売分仕切状（谷山薩摩蠟商二付） →神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門	亥10月5日	縦紙・1通	い143
仕切覚（細美布売買二付） 兵衛→神戸文助	日本橋通二丁目大文字屋勘兵衛→神戸文助	3月28日	縦紙・1通	い172
覚（ふし・大ふし仕切状）	いさばや金左衛門→紋治郎	9月10日	縦紙・1通	い151

送り状

茶屋利太夫船積渡し申荷物事（白炭輸送二付） 七郎兵衛→尾州名古屋元材木町神戸分左衛門	河内屋七郎兵衛→尾州名古屋元材木町神戸分左衛門	子正月12日	縦切紙・1通	い159
半田清吉ふね積送り申荷物之事（た葉粉輸送二付） 江戸小網町鳥居久兵衛→なこや上材木町神戸分左衛門	江戸小網町鳥居久兵衛→なこや上材木町神戸分左衛門	寅5月	縦紙・1通	い162
鉄屋万十郎船江積渡し申荷物之事（ともし油輸送二付） 河内屋作兵衛→神戸分左衛門	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	卯5月吉日	縦切紙・1通	い169
前田宗三郎船江積渡し申荷物之事（ともし油輸送二付） 河内屋作兵衛→神戸分左衛門	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	卯10月吉日	縦切紙・1通	い168
信濃屋順太夫船江積渡し申荷物之事（椎茸輸送二付） 河内屋作兵衛→神戸分左衛門	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	卯11月吉日	縦切紙・1通	い164
小西万吉船江積渡し申荷物之事（ともし油輸送二付） 河内屋作兵衛→神戸分左衛門	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	卯11月吉日	縦切紙・1通	い167
大野屋彦市船送り状之事（た葉粉輸送二付） 岸嶋神戸彦七→尾州名古屋元材木町神戸分左衛門	江戸岸嶋神戸彦七→尾州名古屋元材木町神戸分左衛門	辰正月22日	縦紙・1通	い163
加納屋順吉船送状之事（池田炭等輸送二付） 太兵衛→なこや材木町神戸分左衛門	平野屋太兵衛→なこや材木町神戸分左衛門	辰2月10日	縦紙・1通	い161
送り状之事（麦輸送二付） 木町犬山屋文左衛門行・後藤利右衛門売	米屋又兵衛→尾州名古屋元材木町犬山屋文左衛門行・後藤利右衛門売	辰7月22日	縦紙・1通	い197
井つ、や清蔵船江積渡し申荷物之事（ともし油輸送二付） 付）	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	巳6月朔日	縦切紙・1通	い166
鉄屋悦蔵船へ積渡し申荷物事（風呂釜輸送二付） 内屋作兵衛→神戸分左衛門	河内屋作兵衛→神戸分左衛門	巳7月14日	縦継紙・1通	い160
鉄屋悦蔵船江積渡し申荷物事（ともし油輸送二付） 河内屋甚右衛門→神戸分左衛門	河内屋甚右衛門→神戸分左衛門	巳12月吉日	縦切紙・1通	い165

売渡証文等

売渡申証文之事（南京焼物皿売渡二付） →犬山屋嘉兵衛	中島屋善藏	明和7年11月	縦紙・1通	い305
売申米之事	神戸文左衛門・口入弥吉→米屋長右衛門	明和8年11月	縦紙・1通	い320-1
売申米之事	神戸文左衛門・口入弥吉→米屋長右衛門	明和8年11月	縦紙・1通	い320-2
売申米之事	神戸文左衛門・口入弥吉→米屋長右衛門	明和8年11月	縦紙・1通	い320-3
売申米之事	神戸文左衛門・口入弥吉→伊藤忠左衛門	明和8年11月	縦紙・1通	い320-4
売申米之事	神戸文左衛門・口入万吉→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-5
売申米之事	神戸文左衛門・口入万吉→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-6
売申米之事	神戸文左衛門・口入万吉→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-7
売申米之事	神戸文左衛門・口入万吉→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-8
売申米之事	神戸文左衛門・口入次郎九→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-9
売申米之事	神戸文左衛門・口入万吉→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-10
売申米之事	神戸文左衛門・口入万吉→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-11
売申米之事	神戸文左衛門・口入万吉→吉島屋市兵衛	安永2年5月	縦紙・1通	い320-12
*覚（和州今井紙屋七兵衛宛金子請取二付） 右衛門→神戸分左衛門・中嶋半右衛門	後藤利	卯8月	堅切紙・1通	い179
覚（朱扇蒔絵代等請取二付）	笹屋→神戸	未8月27日	横切継紙（包紙付）・1通	い357-3
覚（南部大豆代金請取二付）	加藤与左衛門→庄右衛門	未10月29日	堅切紙・1通	い198
大豆掛物之事（上州・仙台大豆） 宗助	内田高右衛門→神戸	西2月26日	縦継紙・1通	い391

その他

女中御使		(近世)	横長半ノーツ綴・1冊	あ1777-2
乍恐奉願上候御事（堀川通日置村地河岸場内拝借屋敷返上二付） 犬山屋文左衛門		酉11月	縦紙・1通	い301
覚（神戸新田納米預り置金子貸付二付） 水岡屋魚吉・久藏	神戸→口入	亥12月	縦紙・1通	い387-2
覚（神戸新田納米預り置金子貸付二付） 半六	神戸→口入	亥12月	縦紙（紙縫つき）・1通	い387-3

金融／個別金融

家屋敷質物書入借用申金子之事 市右衛門→犬山屋分左衛門	伏見町老丁目金借り主	享保4年12月2日	縦継紙・1通	い297-1
家屋敷質物書入借用申金子之事	浜町金借り主中嶋玄常	享保9年正月	縦継紙・1通	い297-2

神戸家・勘定場／金融／個別金融

→犬山屋分左衛門			
田畑質物書入借用申金子之事 印場村金借り主清助・同所証人小兵衛・同所庄屋久兵衛・同所請合吉兵衛→犬山屋文左衛門取次	宝暦4年12月	縦紙・1通	い293
御見取田質物書入借用申金之事 印場村金借主作右衛門・同所証人小兵衛・同所庄屋久兵衛・同所請合久左衛門→神戸文左衛門取次	宝暦4年12月	縦紙・1通	い294
田畑質物書入借用申金子之事 印場村金借り主小兵衛・同所庄屋久兵衛→犬山屋文左衛門取次	宝暦4年12月	縦紙・1通	い315
* 覚（鍋蓋新田内所持地質入借入金返済二付） 神戸字六→伊藤次郎左衛門	安永5年3月	縦紙・1通	い290-2
覚（金子借用二付） 塩町吉屋清助→神戸文左衛門取次	嘉永2年12月27日	縦紙・1通	い387-5

領主金融

乍恐書付以御訴詔申上候御事（阿部民部家臣16名を相手とした預ケ金并住送金出入） 三州刈谷町訴詔人治郎吉ほか8名→寺社奉行所役人中	宝永7年9月	縦継紙・1通	い369
覚（借入金返済二付）	寅11月	縦継紙・1通	い385-1
石川伊賀守様御屋鋪享保十九寅暮御積付三通/出村様御積書	11月	付箋（こよりに付着）・2点	い385-2-0
十ヶ年物成付	（享保6年～15年）	横折紙・1通	い385-2-1
覚（借入金覚書）	11月	横切継紙・1通	い385-2-2
覚（当暮払方不足金等二付）	寅12月	縦継紙・1通	い385-3
卯暮勝手賄方積		半/二ツ綴・1冊	い385-4

借入

家屋敷質物書入借用申金子之事 元材木町金借り主神戸分七郎→大海露祐	享保8年12月	縦継紙・1通	い292
金銀請取之覚（借金返済覚帳） 桔梗屋佐兵衛→犬山屋小右衛門	享和元年12月（～文化3年5月29日）	横長美大/一ツ綴・1冊	あ1970
借用申金子之事（米切手金50両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人神戸弥左衛門→川村九兵衛取次	天保12年7月	縦紙・1通	い344-1
借用申金子之事（米切手金200両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人神戸弥左衛門→川村九兵衛取次	天保12年7月	縦紙・1通	い344-2
借用申金子之事（米切手金200両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人神戸弥左衛門→川村九兵衛取次	天保12年7月	縦紙・1通	い344-5
借用申金子之事（米切手金50両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人神戸弥左衛門→川村九兵衛取次	天保12年7月	縦紙・1通	い344-6
借用申金子之事（米切手金100両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人天満屋九兵衛→天満屋吉十郎	天保12年10月	縦紙・1通	い344-4
借用申金子之事（米切手金100両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人天満屋九兵衛→天満屋吉十郎取次	天保12年10月	縦紙・1通	い344-8

借用申金子之事（米切手金300両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人天満屋九兵衛→天満屋吉十郎取次	天保13年4月	縦紙・1通	い344-9
借用申金子之事（米切手金300両） 金借用主犬山屋文左衛門・証人天満屋九兵衛→天満屋吉十郎取次	天保13年4月	縦紙・1通	い344-10
覚（米切手御戻ニ付請取） 天満屋九兵衛→神戸文左衛門	丑8月8日	縦切紙・1通	い344-3
改（借入金元利返済勘定帳）（18年分） （金子借用ニ付覚書）		半/ニツ綴・1冊 小切紙（包紙付）・1通	あ3472 い127

証人

家屋敷質物書入借用申金子之事（大曾根新出来町） 金かり主円右衛門→大海露祐	享保11年10月	縦継紙・1通	い297-3
永代売渡申中畑之事 畑売主熱田材木町市左衛門・証人同所彦九郎→名古屋杉之町新蔵	安永元年12月	縦継紙・1通	い291
家屋敷質物書入借用申金子之事（鍋屋町屋敷） 借主水野佐一→鍵屋善八	天保9年4月	縦紙・1通	い296
借用申金子証文之事（米切手金50両） 借用主佐藤乙三郎・証人佐藤宗三郎・同断神戸文左衛門→河村九兵衛	天保12年7月	縦紙・1通	い344-7
一札（借金加判人への御加判添証文返却につき） 野屋太蔵→天満屋九兵衛・犬山屋文左衛門	川 嘉永7年6月	横切紙・1通	い357-6
覚（市左衛門延高ひ損失のため借入金返済滞一件）	（天明）	半/ニツ綴・1冊	あ3401-3

材木取引

仕切状之事（檜売買ニ付） 八莊屋権兵衛→神戸分左衛門	元文2年9月12日	縦継紙・1通	い145
仕切状之事（檜板子売買ニ付） 才賀屋伊兵衛→神戸文左衛門	享保20年4月	縦継紙・1通	い146
（木役金などニ付書状） 神弥兵衛→神孫左衛門	3月22日	横折紙・1通	い357-8
（材木直段積り算用ニ付書状） 神弥兵衛→神戸孫左衛門	4月3日	横折紙・1通	い357-11-9
（材木代金書上）		横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-9
* 勘四郎買米損徳指引覚、穀物売買指引		横長半/一ツ綴・1冊	あ1774-3

名古屋町屋敷経営／全体

扣借屋之分（名古屋町屋敷経営収支書上）（神戸文左衛門）		半/一ツ綴・3冊	あ3465-4
-----------------------------	--	----------	---------

元材木町

借家請状之事 家借り主善兵衛・元材木丁弥兵衛→犬山屋分左衛門	享保6年正月	縦継紙・1通	い125-1
差出シ申一札之事（借家人善兵衛寺請証文） 愛知郡 広井村禅宗光明院→元材木町分左衛門	享保6年3月	縦紙・1通	い125-2
借家請状之事 元材木町家借り主勘六郎・同町請人庄兵衛→犬山屋分左衛門	享保13年2月	縦継紙・1通	い123-1
指出申一札之事（借家人勘六郎寺請証文） 東田町法 町寺→元材木町分左衛門	享保13年2月	縦継紙・1通	い123-2
借屋請状之事 元材木町家借り主半右衛門・請人袋町喜右衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保16年6月	縦継紙・1通	い124-1
差出シ申一札之事（借家人半右衛門女房寺請証文） 下長者町本願寺宗常瑞寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保16年6月	縦紙・1通	い124-2
差出シ申一札之事（借家人半右衛門寺請証文） 愛知 郡広井村本願寺宗慶栄寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保16年6月	縦継紙・1通	い124-3
借家請状之事 家借り主太兵衛・請人蔵屋敷権右衛門→犬山屋分左衛門	享保16年9月	縦紙・1通	い118
借家請状之事 家借り主太右衛門・前津小林村請人庄右衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保20年3月	縦継紙・1通	い121
借家請状之事 家借り主六郎兵衛・請人木引町吉兵衛→犬山屋分左衛門	享保21年正月	縦継紙・1通	い120-1
指出し申一札之事（借家人六郎兵衛寺請証文） 橘町 裏町本願寺宗嵩覚寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保21年正月	縦紙・1通	い120-2
借家請状之事 家借り主吉左衛門・伝馬町七丁目請人平六→犬山屋分左衛門	元文2年7月	縦継紙・1通	い116-1
一札（借家人吉左衛門寺請証文） 南寺町金香寺→犬山屋分左衛門	元文2年7月	縦継紙・1通	い116-2
借家請状之事 借家借り主兵治郎・元材木町請人新六→犬山屋分左衛門	寛保2年9月	縦継紙・1通	い117
借家請状之事（出店二付） 木挽町忠左衛門→犬山屋分左衛門	寛保4年正月	縦継紙・1通	い119
借家請状之事（出店二付） 蔵屋鋪源右衛門→犬山屋分左衛門	寛保4年2月	縦継紙・1通	い115

下材木町

借屋請状之事 家借り主善左衛門・伝馬町請人善次郎→元材木町犬山屋分左衛門	宝永2年7月28日	縦継紙・1通	い102
借家請状之事 家借り主甚六・皆戸町請人善六→犬山屋分左衛門	宝永5年2月	縦継紙・1通	い74
借家請状之事 家借り主伝兵衛・正万寺町請人九郎七→元材木町犬山屋分左衛門	宝永5年2月	縦継紙・1通	い87
借家請状之事 愛知郡広井村請人新助・家借り主次兵衛→元材木町犬山屋分左衛門	宝永6年2月	縦継紙・1通	い83

借家請状之事 家借り主理右衛門・請人車町左七郎→元材木町犬山屋分左衛門	享保6年正月	縦継紙・1通	い78
借屋請状之事 家借り主源七郎・請人大久保見町七左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保6年正月	縦継紙・1通	い81
借家請状之事 家借り主惣兵衛・請人鍋屋町作右衛門→元材木町犬山や分左衛門	享保6年正月	縦継紙・1通	い95
借家請状之事 家借り主新蔵・請人橋町甚六郎→元材木町犬山屋分左衛門	享保6年正月	縦継紙・1通	い97
借家請状之事 家借り主新八郎・請人富沢町太左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保6年正月	縦継紙・1通	い98
借家請状之事 家借り主伝兵衛・請人吉田町新助→元材木町犬山屋分左衛門	享保6年正月	縦継紙・1通	い99
借家手形之事 (木挽小屋ニ仕候ニ付) 下材木町家借り主惣兵衛→元材木町分左衛門	享保6年3月	縦紙・1通	い129
借家手形之事 下材木町家借り主惣兵衛→元材木町分左衛門	享保6年3月	縦紙・1通	い130
借家手形之事 下材木町家借り主新八郎→元材木町分左衛門	享保6年3月	縦紙・1通	い75
借家請状之事 下材木町借家借り主甚吉・請人正万寺町弥六→元材木町犬山屋文左衛門	享保7年12月	縦継紙・1通	い91
借屋請状之事 下材木町家借り主空兵衛・かぢや町請人庄九郎→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年3月	縦継紙・1通	い92
借家請状之事 家借り主伊右衛門・請人伝馬町八左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年4月	縦継紙・1通	い101
借家請状之事 下材木町家借り主空兵衛・請人かぢや町庄九郎→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年12月	縦継紙・1通	い76
借家請状之事 下材木町家借り主新蔵・請人橋町甚六→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年12月	縦継紙・1通	い82-1
差出シ申一札之事 (借家人新蔵寺請証文) 伊倉町天台宗福泉寺→元材木町分左衛門	享保9年12月	縦紙・1通	い82-2
借屋請状之事 下材木町家借り主甚蔵・下御園町請人勘助→元材木町犬山屋分左衛門	享保14年10月	縦継紙・1通	い96-1
差出シ申一札之事 (借家人甚蔵寺請証文) 本願寺宗法蔵寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保20年5月	縦紙・1通	い96-2
差出シ申一札之事 (借家人下材木町庄蔵寺請証文) 南寺町浄土宗宝珠院→元材木町犬山屋分左衛門	享保17年11月	縦紙・1通	い28-38
借家請状之事 下材木町家借り主久兵衛後家・請人両替町市左衛門→元材木町分左衛門	享保16年2月	縦継紙・1通	い89-1
差出シ申一札之事 (借家人久兵衛後家寺請証文) 東寺町高田宗賢隆寺→元材木町分左衛門	享保16年2月	縦継紙・1通	い89-2
借屋請状之事 下材木町家借り主武兵衛・広井中橋裏請人久兵衛→元材木町犬山屋分左衛門	享保16年6月	縦継紙・1通	い88-1
差出シ申一札之事 (借家人武兵衛寺請証文) 愛知郡広井村本願寺宗慶栄寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保16年6月	縦継紙・1通	い88-2
永代売渡し申家屋敷之事 (下材木町) 家売主善蔵・組頭新六・丁代惣兵衛・同断市左衛門→元材木町孫左衛	享保17年正月	縦継紙・1通	い302

門、			
借家請状之事 下材木町家借り主藤三郎・広井村伝馬橋浦 請人清八→元材木町犬山屋分左衛門	享保17年5月	縦継紙・1通	い86-1
差出し申一札之事 (借家人藤三郎寺請証文) 東寺町 高田宗賢隆寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保17年5月	縦紙・1通	い86-2
借家請状之事 家借り主庄蔵・請人納屋町長兵衛→元材木 町犬山屋分左衛門	享保17年11月	縦紙・1通	い79
借家手形之事 (弟清蔵差置出見世商為致) 下材木町 知多屋新蔵→元材木町犬山屋分左衛門	享保19年8月	縦継紙・1通	い77
借家請状之事 下材木町家借り主五兵衛・請人葭町藤兵衛 →元材木町犬山屋分左衛門	享保19年9月	縦継紙・1通	い100-1
差出し申一札之事 (借家人五兵衛寺請証文) 広井村 本願寺宗浄信寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保19年10月	縦紙・1通	い100-2
借家請状之事 下材木町借家借り主善七・請人袋町喜右衛 門→犬山屋孫右衛門	享保20年5月	縦継紙・1通	い93-1
差出し申一札之事 (借家人善七寺請証文) 南寺町浄 土宗光明寺→犬山屋孫右衛門	享保20年5月	縦紙・1通	い93-2
借家請状之事 下材木町家借り主惣左衛門・広井村請人伝 助→犬山屋孫右衛門	享保20年5月	縦継紙・1通	い94-1
一札 (借家人惣左衛門寺請証文) 南寺町浄土宗徳林寺 →元材木町孫右衛門	享保20年5月	縦紙・1通	い94-2
借家請状之事 借家借り主奎兵衛→犬山屋文左衛門	延享5年2月	縦紙・1通	い80
借家請状之事 下材木町借家借り主久右衛門・同所請人庄 七→犬山屋文左衛門	天明6年8月	縦継紙・1通	い90
借屋請状之事 家借り主庄助・請人山本屋吉右衛門→神戸 分左衛門	寛政5年8月	縦紙・1通	い84
借家請状之事 下材木町借屋かり主磯治・桑名町下ノ切傘 屋請人政治→犬山屋文左衛門	寛政8年12月	縦継紙・1通	い85

五条町

一札 (借家人与八寺請証文) 愛知郡広井村禪宗光明院 →元材木町文左衛門	元禄16年2月11日	縦紙・1通	い72-3
差出し申一札之事 (借家人与八郎母寺請証文) 清学 院→元材木町分左衛門	元禄16年2月12日	縦紙・1通	い72-2
借家請状之事 五条町借主与八郎・請人元材木町武左衛門 →犬山屋分左衛門	元禄16年2月	縦継紙・1通	い72-1
借家請状之事 福井町請人海内屋九郎兵衛・借家借り主万 屋仁右衛門→元材木町神戸分左衛門	宝永3年6月	縦継紙・1通	い66
借家請状之事 借家借り主久左衛門・請人本町式丁目茂左 衛門→神戸分左衛門	宝永3年6月	縦継紙・1通	い58
借家請状之事 五条町借家借り主弥兵衛・木引町請人喜平 次→元材木町神戸分左衛門	宝永3年6月	縦継紙・1通	い64
借家請状之事 五条町借屋借り主孫左衛門・杉町請人善兵 衛→元材木町神戸分左衛門	宝永3年6月	縦継紙・1通	い69

借家請状之事 借家借り主七右衛門・請人五条町治右衛門 →神戸分左衛門	宝永3年6月	縦継紙・1通	い70
借家請状之事 借家借り主助右衛門・船入町請人茂右衛門 →神戸分左衛門	宝永3年12月	縦継紙・1通	い71
一札之事 (借家人惣右衛門・妻子寺請証文) 玉屋町 本願寺宗聞安寺→元材木町分左衛門	宝永6年12月	縦紙・1通	い73
借屋請状之事 車町請人庄八郎・家借り主彦八郎→元材木 町犬山屋分左衛門	宝永7年正月	縦継紙・1通	い68
借家請状之事 五条町家借り主宗吉・請人元材木町甚助→ 元材木町犬山屋分左衛門	享保9年12月	縦紙・1通	い59
借家請状之事 五条町家借り主分七郎・請人よし町金左衛 門→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年12月	縦継紙・1通	い67
借家請状之事 五条町家借り主助兵衛・請人五条町助右衛 門→元材木町犬山屋分左衛門	享保14年正月	縦継紙・1通	い60
借家請状之事 五条町家借り主与平治・請人伝馬町五兵衛 →元材木町犬山屋分左衛門	享保15年3月	縦継紙・1通	い65-1
差出シ申一札之事 (借家人与平治寺請証文) 東田町 禪宗乾徳寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保15年3月	縦紙・1通	い65-2
借家請状之事 借家借り主徳助・皆戸町請人勘右衛門→犬 山屋分左衛門	元文5年9月	縦継紙・1通	い63
借家請状之事 借家借り主甚七・大伝馬町請人佐右衛門→ 犬山屋分左衛門	寛保2年11月	縦継紙・1通	い61-1
差出シ申一札之事 (借家人甚七寺請証文) 南寺町西 光院寺中浄土宗宝珠院→犬山屋分左衛門	寛保2年11月	縦継紙・1通	い61-2
借家請状之事 借家主平八郎・広井上畑裏請人九郎三郎→ 犬山屋文左衛門	延享3年2月	縦継紙・1通	い57-1
指出シ申一札之事 (借家人平八郎寺請証文) 尾州中 嶋郡永宝村本願寺宗浄福寺→犬山屋分左衛門	延享3年2月	縦紙・1通	い57-2
借家請状之事 借家借り主治平・請人替地出来町伝内→犬 山屋文左衛門	延享5年4月	縦継紙・1通	い62-1
差出申一札之事 (借家人治平寺請証文) 南寺町禪宗 金仙寺→犬山屋文左衛門	延享5年4月	縦紙・1通	い62-2

正万寺町

借屋請状之事 正万寺町借家借り主半兵衛・押切町請人勘 右衛門→神戸分左衛門	元禄14年7月	縦継紙・1通	い39
借家請状之事 正万寺町借家借り主助右衛門・舟入町請人 茂右衛門→神戸分左衛門	宝永元年7月	縦継紙・1通	い38
借家請状之事 正万寺町御借家借り主孫七郎・中御園町請 人作兵衛→神戸分左衛門	宝永元年9月2日	縦継紙・1通	い43
借家請状之事 正万寺町借屋借り主又八郎・朝日町請人長 左衛門→神戸分左衛門	宝永元年9月2日	縦継紙・1通	い51
借屋請状之事 借家借り主仁右衛門・玉屋町請人八右衛門 →神戸分左衛門	宝永2年4月	縦継紙・1通	い34
借屋請状之事 正万寺町借屋借り主長兵衛・同町請人長八	正徳元年6月	縦継紙・1通	い103

郎→元材木町分左衛門			
借屋請状之事 正万寺町借屋借り主権左衛門・広井村之内 請人六左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	正徳4年3月	縦継紙・1通	い49
借屋請状之事 正万寺町借屋借り主理兵衛・車町請人平七 →元材木町犬山屋分左衛門	正徳4年8月	縦継紙・1通	い104
借屋請状之事 正万寺町借屋借り主新八郎・下御園町請人 仁左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保2年3月	縦継紙・1通	い50
借家請状之事 正万寺町家借り主甚八郎・車屋源七郎→元 材木町分左衛門	享保6年5月	縦継紙・1通	い48-1
指出シ申一札之事（借家人甚八郎寺請証文） 南寺町 浄土宗源受院→元材木町分左衛門	享保6年5月	縦紙・1通	い48-2
借家請状之事 正万寺町家借り主伝右衛門・桑名町請人藤 三郎→元材木町犬山屋分左衛門	享保6年7月	縦継紙・1通	い45
借家請状之事（正万寺町）家借り主団彦右衛門・請人諸 町忠兵衛→元材木町分左衛門	享保9年2月	縦紙・1通	い126-1
差出シ申一札之事（借家主正万寺町団彦右衛門・同掛 り人寺請証文） 車町高田宗至誠院→元材木町分左衛 門	享保9年2月	縦紙・1通	い126-2
借家請状之事 正万寺町家借り主半左衛門・請人車町六兵 衛→元材木町分左衛門	享保14年10月	縦紙・1通	い41-1
差出シ申一札之事（借家人半左衛門寺請証文） 駿河 町浄土宗西蓮寺→元材木町分左衛門	享保14年10月	縦紙・1通	い41-2
借家請状之事 正万寺町家借り主長助・請人元材木町新六 →元材木町犬山屋分左衛門	享保18年6月	縦紙・1通	い105
借家請状之事 請人上七間村又次郎・家借り主源右衛門→ 元材木町分七	享保19年7月	縦継紙・1通	い40
借家請状之事 家借り主九八・蔵屋敷請人半兵衛→犬山屋 分左衛門	元文2年8月	縦継紙・1通	い37-1
差出シ申一札之事（借家人九八寺請証文） 九拾軒町 本願寺宗円明寺→犬山屋分左衛門	元文2年8月	縦紙・1通	い37-2
* 永代ニ相渡シ申家屋敷之事 右（広井村西水主町）家 屋敷渡シ主正万寺町与市・証人貞助・広井村組頭勘助・ 右同村庄屋六兵衛・右同断善左衛門→元材木町善次郎	元文3年7月	縦継紙・1通	い319
借家請状之事（正万寺町）借家借り主太郎助・元材木町 請人治郎右衛門→犬山屋文左衛門	元文5年2月	縦継紙・1通	い106-1
差出シ申一札之事（正万寺町借家人太郎助・同母寺請 証文） 愛知郡中野村本願寺宗長円寺→犬山屋文左衛門	元文5年2月	縦継紙・1通	い106-2
借家請状之事 借家借り主ぬい・小田原町請人又次郎→犬 山屋文左衛門	延享5年3月	縦継紙・1通	い42-1
差出シ申一札之事（借家人ぬい寺請証文） 愛知郡広 井村本願寺宗浄信寺→犬山屋文左衛門	延享5年3月	縦紙・1通	い42-2
借屋請状之事 借家借り主徳右衛門・木挽町請人平七→犬 山屋文左衛門	寛延3年正月	縦継紙・1通	い35-1
指出シ申一札之事（借家人徳右衛門寺請証文） 海西 郡鯛浦村浄土真宗専念寺→犬山屋文左衛門	寛延3年正月	縦紙・1通	い35-2
借屋請状之事 正万寺町借家儀助・木挽町西嶋屋勘兵衛→ 犬山屋文左衛門	天保12年6月	縦継紙・1通	い44

借屋請状之事 家借り主惣六・請人伊勢町亀甲屋甚助→犬山屋文左衛門	天保12年8月	縦継紙・1通	い36
借屋請状之事 家借り主慶助・小市場町請人吉兵衛→元材木町神戸文左衛門	天保14年4月	縦紙・1通	い46

車町

借家請状之事 (車町) 家借り主彦八・請人車町藤七→元材木町犬山屋分左衛門	元文元年8月	縦継紙・1通	い107-1
差出し申一札之事 (車町借家人彦八寺請証文) 正万寺町本願寺宗長徳寺→元材木町犬山屋分左衛門	元文元年8月	縦継紙・1通	い107-2

木挽町

借屋請状之事 木挽町借主久七・町請庄兵衛・家請勘左衛門→犬山屋文左衛門	天保9年正月	縦継紙・1通	い131
-------------------------------------	--------	--------	------

塩町

借家請状之事 塩町借屋借主伊左衛門・樽屋町請人忠兵衛→神戸分左衛門	元禄15年11月27日	縦継紙・1通	い53
借屋請状之事 塩町借屋借り主善左衛門・伝馬町請人吉左衛門→元材木町分左衛門	正徳元年9月	縦継紙・1通	い55
借屋請状之事 借屋借主藤助・広井村請人与兵衛→犬山屋分左衛門	享保元年7月晦日	縦紙・1通	い52
永代売渡シ申家屋敷之事 塩町売り主妙証・一家証人惣重郎・組頭庄左衛門・町代伊兵衛・同断孫左衛門→犬山屋文左衛門	宝暦4年10月	縦継紙・1通	い318
借屋請状之事 塩町借屋太蔵・堀江町右請人徳治→犬山屋文左衛門	天保12年3月	縦継紙・1通	い56
借屋請状之事 家借り主松兵衛・右請人京町美濃屋治郎右衛門→犬山屋文左衛門	天保14年8月	縦継紙・1通	い54

小舟町

借屋請状之事 小舟町借屋借り主仁左衛門・同町請人市左衛門→神戸分左衛門	元禄14年7月	縦継紙・1通	い109
借家請状之事 家借主市江善左衛門・五条町請人万屋勘兵衛→元材木町犬山屋分左衛門	享保2年7月28日	縦継紙・1通	い108
借屋請状之事 小舟町家借り主治助・請人平田村治左衛門→元材木町犬山屋分左衛門	享保3年7月	縦継紙・1通	い111-1
差出シ申一札之事 (借家主小舟町治助・同妻子寺請証文) 春日井郡平田村浄土宗浄蓮寺→名古屋元材木町犬山や分左衛門	享保3年7月	縦継紙・1通	い111-2
借屋請状之事 小舟町借屋借り主新兵衛・堀詰町請人庄兵衛	享保9年6月	縦継紙・1通	い112-1

神戸家・勘定場／名古屋町屋敷経営／小舟町

衛→元材木町犬山屋分左衛門			
差出シ申一札之事 (借家主小船町新兵衛寺請証文) 袋町本願寺宗善林寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年6月	縦継紙・1通	い112-2
借屋請状之事 (足立御園町伊左衛門・小船町引移たき二付) (伊左衛門・請人1名カ)→(神戸分左衛門カ)	(江戸中期)	縦継紙・1通	い110
借屋請状之事 借主小船町字八・請人元重町桑名屋半左衛門→犬山屋文左衛門	天保9年10月	縦継紙・1通	い114
借屋請状之事 (小船町) 家借り主元三郎・右請人塩町佐兵衛→犬山屋文左衛門	天保14年8月	縦継紙・1通	い113

南武原町

(南武原町諸入費書上)	(明治9~15)	横長半/一ツ綴・1冊	あ1777-8
-------------	----------	------------	---------

町名不明

指出シ申一札之事 (借家人長四郎寺請証文) 車町高田宗至誠院→神戸文左衛門	宝永元年9月9日	縦紙・1通	い28-5
指出し申一札之事 (借家人六左衛門・同母寺請証文) 愛知郡古渡村一向宗善正寺→本材木町分右(左)衛門	宝永元年9月9日	縦紙・1通	い28-8
指出シ申一札之事 (借家人長七郎・同妻子寺請証文) 正万寺町長徳寺→神戸分左衛門	宝永元年9月11日	縦紙・1通	い28-2
指出シ申一札之事 (借家人権左衛門・同妻子寺請証文) 堀詰町本願寺宗崇覚寺→神戸分左衛門	宝永元年9月11日	縦紙・1通	い28-3
差出シ申一札之事 (借家人長九郎寺請証文) 正万寺町長徳寺→神戸分左衛門	宝永元年9月11日	縦紙・1通	い28-4
差出し申一札之事 (借家人又八郎・八兵衛寺請証文) 東寺町高田宗賢隆寺→本材木町文右(左)衛門	宝永元年9月	縦紙・1通	い28-1
差出シ申一札之事 (借家人弥七郎・同妻子寺請証文) 名古や巾下本願寺宗法蔵寺→文右(左)衛門	宝永元年9月	縦紙・1通	い28-6
差出申一札之事 (借家人長左衛門・同妻子寺請証文) 桜町本願寺宗円通寺→犬山屋分右(左)衛門	宝永元年9月	縦紙・1通	い28-7
指出シ申一札之事 (借家人彦六寺請証文) 玉屋町本願寺宗覚正寺→元材木町文左衛門	宝永2年2月2日	縦紙・1通	い28-10
指出シ申一札之事 (借家人平七寺請証文) 九拾軒町本願寺宗円明寺→元材木町分左衛門	宝永2年2月3日	縦紙・1通	い28-11
指出シ申一札之事 (借家人勘左衛門・妻子寺請証文) 南寺町禪宗長栄寺→元材木町文左衛門	宝永2年7月朔日	縦紙・1通	い134
指出シ申一札之事 (借家人新蔵・同妻子寺請証文) 愛知郡上中村天台宗長円寺→元材木町文左衛門	宝永2年7月18日	縦紙・1通	い28-9
一札 (借家人善左衛門寺請証文) 皆戸町本願寺宗慶栄寺→元材木丁分左衛門	宝永2年7月28日	縦紙・1通	い133
一札之事 (借家人新八郎・母寺請証文) 愛知郡日置村真言宗観福寺→神戸分左衛門	宝永2年8月	縦紙・1通	い136

差出シ申一札之事(借家人万右衛門・同妻子寺請証文) 車町高田宗至誠院→元材木町分左衛門	宝永4年3月	縦紙・1通	い28-12
差出し申一札之事(借家人六郎右衛門・同母子寺請証文) 巾下新町本願寺宗西願寺→元材木町分左衛門	宝永4年4月	縦紙・1通	い28-13
指出申一札之事(借家人伝兵衛寺請証文) 愛知郡南 野村浄土宗正行寺→元材木町分左衛門	宝永4年4月	縦紙・1通	い28-14
差出シ申一札之事(借家人九兵衛・同母寺請証文) 広井村本願寺宗浄信寺→伏(犬)山屋文左衛門	宝永6年正月	縦紙・1通	い28-17
指出シ申一札之事(借家人次兵衛寺請証文) 正万寺 町本願寺宗長徳寺→神戸分左衛門	宝永6年2月14日	縦紙・1通	い28-16
指出シ申一札之事(借家人忠介寺請証文) 愛知郡広 井村禅宗光明院→分左衛門	宝永6年2月	縦紙・1通	い28-18
一札之事(借家人源七寺請証文) 玉屋町本願寺宗聞安 寺→元材木町文左衛門	宝永6年12月	縦紙・1通	い28-15
差出し申一札之事(借家人源七郎内方寺請証文) 日 蓮宗堀川聖運寺→元材木町分左衛門	宝永7年2月3日	縦紙・1通	い28-19
指出シ申一札之事(借家人彦八妻寺請証文) 吉田町 本願寺宗浄念寺→元材木町文左衛門	宝永7年2月5日	縦紙・1通	い28-20
指出シ申一札之事(借家人庄右衛門・同妻子寺請証文) 住吉町本願寺宗守綱寺→いね(ぬ)やま屋分左衛門	宝永8年3月	縦紙・1通	い28-21
差出シ申一札之事(借家人正万寺町新八・同妻子寺請 証文) 東寺町禅宗松徳院→元材木町犬山や分左衛門	享保2年3月	縦紙・1通	い28-22
指出シ申一札之事(借家人庄助寺請証文) 飯田町本 願寺宗養念寺→元材木町神戸文左衛門	享保5年12月	縦紙・1通	い28-23
指出シ申一札之事(借家人庄助姉・同甥乙助寺請証文) 愛知郡古渡村本願寺宗善正寺→犬山屋文左衛門	享保6年正月	縦紙・1通	い28-26
差出シ申一札之事(借家人下材木町新蔵寺請証文) 伊倉町天台宗福泉寺→元材木町分左衛門	享保6年3月	堅切紙・1通	い28-25
差出シ申一札之事(借家人下材木町新八寺請証文) 愛知郡日置村真言宗観福寺→元材木町分左衛門	享保6年3月	堅切紙・1通	い28-27
差出シ申一札之事(借家人下材木町理右衛門寺請証文) 愛知郡広井村禅宗光明院→元材木町分左衛門	享保6年3月	堅切紙・1通	い28-28
差出シ申一札之事(借家人下材木町伝兵衛寺請証文) 広井村本願寺宗長円寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保6年3月	堅切紙・1通	い28-29
差出シ申一札之事(借家人惣兵衛寺請証文) 愛知郡 広井村禅宗光明寺→元材木町分左衛門	享保6年3月	縦紙・1通	い28-30
差出シ申一札之事(借家人源七寺請証文) みその片 町本願寺宗正福寺→元材木町分左衛門	享保6年3月	縦紙・1通	い28-31
差出シ申一札之事(借家人車町伝右衛門・同妻子・掛 り人寺請証文) 本重町本願寺下真広寺→元材木町犬 山屋分左衛門	享保6年7月	堅切紙・1通	い28-24
差出シ申一札之事(借家人甚吉寺請証文) 南寺町真 言宗一乗院→元材木町犬山屋分左衛門	享保7年12月	縦紙・1通	い28-32
差出シ申一札之事(借家人直兵衛寺請証文) 吉田町 本願寺宗浄念寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年3月	縦紙・1通	い28-33
差出申一札之事(借家人宗吉寺請証文) 東寺町禅宗 普蔵寺→元材木町犬山屋分左衛門	享保9年12月	縦紙・1通	い28-34

差出シ申一札之事（借家人善九郎寺請証文） 屋分左衛門	→犬山	享保14年2月	縦紙・1通	い28-36
差出シ申一札之事（借家人五条町勘兵衛寺請証文） 愛知郡北一色村本願寺宗善行寺→元材木町分左衛門		享保14年3月	縦継紙・1通	い28-35
指出シ申一札之事（借家人太兵衛寺請証文） 正敬寺→犬山屋分左衛門	針屋町	享保16年9月	縦紙・1通	い28-37
差出シ申一札之事（借家人長助寺請証文） 野村本願寺宗長門寺→元材木町犬山屋分左衛門	愛知郡中	享保18年6月	縦紙・1通	い28-39
指出シ申一札之事（借家人つる寺請証文） 本願寺宗長徳寺→犬山屋分左衛門	正万寺町	享保19年3月	縦継紙・1通	い28-40
差出し申一札之事（借家人元材木町太右衛門寺請証文） 愛知郡広井村高田宗信行院→元材木町分左衛門		享保20年3月	縦紙・1通	い28-41
指出シ申一札之事（借家人つま寺請証文） 津村禪宗長松院→勘藤文右衛門	愛知郡前	享保20年3月	縦紙・1通	い28-42
差出シ申一札之事（借家人徳助寺請証文） 土宗法蔵寺→犬山屋分左衛門	南寺町浄	元文5年9月	縦紙・1通	い28-43
差出シ申一札之事（借家人作太夫寺請証文） 本願寺宗聞安寺→犬山屋分左衛門	玉屋町	寛保元年6月	縦紙・1通	い28-44
指出シ申一札之事（借家人兵次郎寺請証文） 田宗至誠院→元材木町犬山屋分左衛門	車町高	寛保2年9月	縦紙・1通	い28-45
指出シ申一札之事（借家人西嶋村権助寺請証文） 津郡高浜町高田宗西林寺→名古屋元材木町分左衛門	石	延享3年4月	縦紙・1通	い29
指出シ申一札之事（借家人そよ寺請証文） 寺宗西願寺→元材木町犬山屋文左衛門	巾下本願	延享3年9月	縦紙・1通	い28-46
一札（借家人庄助寺請証文） 借屋請状之事 かり主勢州屋源兵衛・同人代山本屋庄八・ 丁請平の屋太古・借家請人松屋重蔵	長門寺→犬山屋孫右衛門	明和3年11月 天保10年8月	縦紙・1通 横切継紙・1通	い132 い127-2

地主経営全体／諸帳簿

* 大宝大高新田小入用帳	享保2年正月（～享保6年）	横長美/一ツ綴・1冊	あ1541
* 神戸外新田・下之郷勘定拾ヶ年書出シ帳 当古齋	天保5年11月28日（文政6年～天保7年）	横長半/一ツ綴・1冊	あ2061
（百姓困窮に付き訴願関係綴）	申2月2日	半/一ツ綴・2冊	あ3473
明治十年八月ヨリ諸賣拂品代金書抜	（明治10年8月～明治13年）	横長半/一ツ綴・1冊	あ3340
貸金請取銭仕拂書抜	明治10年～明治20年8月	横半半/下ゲ綴・1冊	あ3590
* 紀左衛門・源兵衛・八左衛門・化物・上和泉新田水害見舞覚 第八世分左衛門有年	明治22年9月11日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2590
* （勘定場と神戸新田庄屋との往復書簡留）		半/一ツ綴・1冊	あ3466

葭山書入証文

落札ヲ以請申山之事（葭代金を質物とした書入証文） 蜆村庄屋請合次郎兵衛・子宝村山請主彦右衛門→犬山屋 分左衛門・井筒屋平兵衛・西福田村弥左衛門	宝永5年9月15日	縦紙・1通	い288-1
落札ヲ以請申山之事 蟹江村庄や請合五左衛門・同村山 請主次郎三郎→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛・西福田 村弥左衛門	宝永5年9月15日	縦紙・1通	い288-2
落札ヲ以御請申葭山之事、西蜆村分六・同村庄や請人彦 八→犬山屋分左衛門・西福田村弥左衛門	宝永5年9月15日	縦紙・1通	い288-3
落札ヲ以御請申葭山之事 西蜆村分六・同村庄や彦八→ 犬山屋分左衛門・西福田村弥左衛門	宝永6年7月20日	縦紙・1通	い288-4
落札ヲ以御請申葭山之事 子宝村甚平・同村請人小七郎 →犬山屋分左衛門・西福田村弥左衛門	宝永6年7月20日	縦紙・1通	い288-5
落札ヲ以御請申葭山之事 蟹江村庄七郎・同村請人甚兵 衛→犬山屋分左衛門・西福田村弥左衛門	宝永6年7月20日	縦紙・1通	い288-6
落札ヲ以御請申葭山之事 蟹江村庄七郎・同村請人甚兵 衛→犬山屋分左衛門・西福田村弥左衛門	宝永6年7月20日	縦紙・1通	い288-7
落札ヲ以御請申葭山之事 大海用村と左衛門・同村請人 円右衛門→犬山屋分左衛門・西福田村弥左衛門	宝永6年7月20日	縦紙・1通	い288-8

田畑売渡証文

永代ニ売渡し申田畑之事 兩宮孫左衛門知行所愛知郡日 比津村田畑売主金兵衛・同村庄屋茂右衛門・同村組頭由 右衛門・同村証人長九郎→名古屋元材木町犬山屋十兵衛	元禄8年12月6日	縦紙・1通	い306
永代売渡し申田畑之事 日比津村高売主金兵衛・庄や茂 右衛門・五人くみ由右衛門・証人長九郎→犬山屋なこや 十兵衛	元禄8年12月6日	横折紙・1通	い310
永代売渡し申田畑之事（雛形）		縦紙・1通	い304
永代売渡し申田畑之事（雛形）		縦紙・1通	い317

新田不明

悪水通普請覚帳 松田忠四郎	安永2年4月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ1619
辰年新切田改帳 勘右衛門、平三郎→星野喜太郎、大森利 八郎	天明4年	横長半/一ツ綴・1 冊	あ1667-1
未年新田年数御直シ改帳	天明7年	横長半/一ツ綴・1 冊	あ1667-2
巳年勘定指引覚帳 庄屋平三郎	文政4年	横長美大/一ツ綴・ 1冊	あ1590
酉年御年貢并年内諸入用勘定覚帳 新田庄屋中	文政8年12月	横長美大/一ツ綴・ 1冊	あ1591
戌年御年貢勘定帳 新田庄屋中→星野喜太郎、昆野仙藏	文政9年12月	横長美大/一ツ綴・	あ1592

晩稲内検見帳 坤 犬山会所	天保3年11月	かぶせ・1冊 横半半/一ツ綴・1冊	あ3524
不事諸入用勘定立合改帳 神戸支配方扣	万延元年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1720
子年請取金仲満勘定 (地主仲間諸入用)	子	横長半/一ツ綴・1冊	あ1777-1
金積り (新田収益見積)	(近世)	横長半/一ツ結・1冊	あ1777-6
覚 (石船3艘めとり船32艘入用金書上)	子12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ1777-7
(新田経営費用書上)	(近世)	折紙・2枚	あ1777-9
覚 (新田経営9年分収益見積)	(近世)	折紙・2枚	あ1776-9
新田之積り (堤普請見積)	(近世)	横長半/一ツ綴・1冊	あ1776-7
壬申歳御年貢勘定帳 新田支配人亦右衛門・吉右衛門・国左衛門→御支配方	明治6年1月	横長美大/一ツ綴・1冊	あ1593
覚 (卯から寅まで12年分の元金利金計算書)		横切継紙・1通	い357-4
覚 (享保7寅年新田普請出来卯年出金後之勘定高)		横切継紙・1通	い357-5
(包紙)		包紙・1点	い357-11-1
覚 (宝永4から正徳2年、同5年、享保6・8年の物成書上) 後欠		縦紙・1通	い357-11-2
覚 (新堤入用等書上)		横切継紙・1通	い357-11-3
小堤膳坪土覚		縦紙・1通	い357-11-4
御配符写 (新堤普請見積)		縦紙・1通	い357-11-5
覚 (14年分新田経営状況書上)	卯3月18日	横切継紙・1通	い357-11-6
地積帳	寅12月	横長半/一ツ綴・1冊	い357-11-7
酉年掟方覚帳		横長半/一ツ綴・1冊	あ1659
覚 (堤防修復請負金内訳通知依頼)		縦紙・1通	あ3452-2
(検見帳)		横長半/二ツ結び・1冊	あ1711
(反別書上)		横長半/一ツ綴・1冊	あ1774-4
発杭三割分		横長半/一ツ綴・1冊	あ1774-5
(三ヶ月新田に隣接する新田の耕地割図)		38×69・1舗	あ1318
丑之春地ならし見分帳写		横長半/一ツ綴・1冊	あ1655

公儀との関係／願書等

* 鍋蓋新田洩潮痛米追願、鍋蓋新田願、大宝前新田願、三通	(宝暦3年5月)	綴の表紙・1点	あ3454-9
(熱田海辺新開普請に多数の才土切出につき褒美書付) → (犬山屋文左衛門)	享和元年12月27日	横切継紙・1通 (包紙付)	あ2193-2
覚 (大堤井水門高札二枚写) 窪嶋市郎兵衛	午5月～8月	堅継紙・1通	い9
* 乍恐奉願上候御事 (御金御用御用捨願) 犬山屋文左衛門	亥2月	半/ニツ綴・1冊	あ3453-1
* 乍恐奉願上候御事 (御金御用御用捨願) 犬山屋文左衛門	亥2月	半/ニツ綴・1冊	あ3453-2
乍恐口上之覚 (作徳米御買上御締之儀免除願、附作徳米収支報告) 犬山屋文左衛門	3月	半/一ツ綴・1冊	あ3456-3
乍恐御歎願奉申上候御事 (差上金御朱書高減少願) 犬山屋文左衛門		半/ニツ綴・1冊	あ3453-4
乍恐奉歎願上候御事 (五カ所新田地主願書)		半/一ツ綴・1冊	あ3454-5-1
乍恐御達奉申上候御事 (烏ヶ地前新田地方作毛報告)		半紙・1枚	あ3455-3

御用金・貸上金

乍恐奉再願候御事 (御利足金仰付もしくは拝借願) 犬山屋文左衛門→勘定所	丑12月	堅綴り・1綴り	い348
* 乍恐奉願上候御事 (飛鳥新田新開調達金利足下付願) 犬山屋文左衛門→勘定所	丑12月	堅切紙・1通	い353
乍恐奉願上候御事 (調達金返済願) 犬山屋文左衛門 →金森市之進陣屋	寅正月	半/一ツ綴・1冊	い347
* 覚 (調達金5600両引当として飛鳥新田古台分80町引渡証文) 勘定所→元材木町犬山屋文左衛門	寅9月	堅継紙・1通	い351
乍恐奉内願候口上之覚 (元禄から寛政期までの調達金返済につき) 元材木町犬山屋文左衛門	卯11月	半/一ツ綴・1冊	あ3456-2
* (大宝前新開普請入用金調達可仕二付) (勘定所) →大宝前新田庄屋唯助	8月	堅切紙・1通	い352

国家との関係／貴族院議員互選名簿

貴族院多額納税者議員互選名簿 愛知県	明治23年4月	美大/ニツ綴・かぶせ・1冊	あ3669
貴族院多額納税者議員互選名簿 愛知県	明治30年4月1日	美大/ニツ綴・かぶせ・1冊	あ3670
貴族院多額納税者議員互選名簿 愛知県	明治30年4月1日	美大/ニツ綴・かぶせ・1冊	あ3718

不動産

永代売渡申建物之事（丹波郡稲置村屋敷） 売渡主神戸直彦・親類惣代神戸七之輔・組長後藤善六・右用係下山唯利→神戸分左衛門	明治9年10月	縦継紙・1通	い314-1-1
明治九年十月廿七日売渡第四区丹羽郡稲置村四拾八番地建物（絵図） 愛知県第四区丹羽郡稲置村四百三拾壹番地居住建物売主神戸直彦→海西郡神戸新田式番地神戸分左衛門	明治9年10月	縦紙・1通	い314-1-2
永代売渡申建物之事 売渡主神戸直彦・親類惣代神戸七之輔・組長後藤善六・右用係村上荻八郎→神戸仲雄 い314-1に包み込まれていた	明治9年9月3日	縦紙・1通	い314-2-1
明治九年十月三日売渡第四区丹羽郡稲置村九番字建物（絵図） 愛知県第四区丹羽郡稲置村四百三拾壹番地居住建物売主神戸直彦→神戸仲雄 い314-1に包み込まれていた	明治9年10月	縦紙・1通	い314-2-2

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

家／由緒書など

乍恐御内々御歎願奉申上候御事（川並御番所御締向并御材木初諸解乗下方御用相勤につき家格維持願） 神戸弥左衛門 (先祖書など下書)	卯4月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-7
		半紙・4枚	あ3452-3

家計

本家年賦金請取帳 神戸分左衛門	明治8年8月（～9年12月）	横半半/下ゲニツ目綴・1冊	あ3554
年賦金請取之牒 神戸分左衛門→神戸直彦、神戸七之助	明治8年8月～	横半半/下ゲニツ目綴・1冊	あ3555
本家年賦金渡帳 神戸分左衛門	明治8年9月～	横半半/下ゲニツ目綴・1冊	あ3556
家賃金ヨリ取替之記 神戸知水	明治15年1月	横半半/一ツ綴・1冊	あ3557
明治16・17年分、家賃金より取替之覚 神戸知水ひかへ	(明治15年カ) 午1月	横美半/下ゲ綴・1冊	あ3558
家賃金ヨリ取換覚 神戸知水控	明治18年1月	横美半/一ツ綴・1冊	あ3559
家賃金取換記	明治20年1月	横半半/下ゲ綴・1冊	あ3561
家賃金取換帳 神戸知水扣	明治21年1月	横半半/一ツ綴・1冊	あ3562
家賃金取換帳 神戸知水扣	明治22年1月	横美半/下ゲ綴・1冊	あ3563
家賃金取換帳 神戸	明治23年1月	横美半/一ツ綴・1冊	あ3564
家賃より取換覚 神戸知水扣	明治37年1月	横美半/下ゲ綴・1冊	あ3565

冠婚葬祭ほか

(御見舞名簿)	(近世)	横長美/一ツ綴・1冊	あ1777-11
---------	------	------------	----------

道中入用

道中遣帳（名古屋－浜松往復）	元禄17年正月晦日～元禄17年2月20日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3684
正月御役所遣之覚 坂野利右衛門→十兵衛 3684に結	2月19日	折紙・1通	あ3684-1

家／道中入用

びつけられていた束 覚（金銭請取） 勘右衛門→十兵衛	2月19日	縦切紙・1通	あ3684-2
-------------------------------	-------	--------	---------

普請

井戸皮挽通覚 新三郎	寛延4年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1487
見積り書（屋敷建設費用）/記（同費用受取記録） 大工野田庄次郎→神戸分左衛門様	明治42年2月	半（罫紙）/一ツ綴・1冊	あ3468-14
別荘新築建具記 皆戸町田中松助→神戸様	明治42年11月30日	半（罫紙）/一ツ綴・1冊	あ3468-12
記（畳代金書上） 壘屋伊三郎→神戸様	明治42年12月30日	罫紙・1冊	あ3468-13

墓所・寺

正充寺金諸差引覚帳 分左衛門	丑年8月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3336
----------------	------	------------	-------

講

引請申証文之事（旦那寺普請金為手当講取結につき） 講金預り引請人柏屋小兵衛・万屋善右衛門・角屋吉兵衛・神戸文左衛門→御連中様	弘化4年11月	縦継紙（包紙つき） ・1通	い387-1
一札（当寺普請金講にて取結ニ付引請加判願） 長徳寺→神戸文左衛門	弘化4年11月	縦紙・1通	い387-4

その他

覚（諸道具目録）	（近世）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1777-5
乳母御請状之事（八ツ屋村かつ召し抱えにつき） 証 人江戸屋十兵衛→神戸文左衛門	明治4年3月	縦紙・1通	い342
詠春従東来□之歌		横切継紙・1通	い357-11-8
出征應召軍人家族救護團規程	（近代）	ガリ版・1冊	あ3468-6

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

新田支配人(庄屋) / 新田経営 / 複数新田管理

* (勘定場と神戸新田庄屋との往復書簡留)		半/一ツ綴・1冊	あ3466
御普請金請取通 源蔵・唯助	文化4年正月	横美半/一ツ綴・1冊	あ3521
子年米送状 新田庄屋綱蔵/忠右衛門/庄左衛門→地主勘定場	嘉永4年～安政6年	半/二ツ結び・1冊	あ3406
毛見日記	嘉永5・6年10月	半/二ツ結び・1冊	あ3445
諸事差引勘定元帳写 (御用捨米四新田色々差引など)	安政3年7月8日	半/一ツ綴・1冊	あ3448
御会所分掟帳	明治20年	横長半/一ツ綴・1冊	あ2014
請負証書 (飛鳥新田・服岡新田堤防北横手沈床工事) 早川忠右衛門→地主惣代徳川義恕	明治27年4月3日	罫紙「神戸氏蔵」 /一ツ綴・1冊	あ3468-8
米役書抜覚		横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-1
大宝前新田御蔵米納諸色入用之覚 平吉→小川唯助	卯極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-2
一葭野年貢請取、一井領米請取、一大宝井道渡ス一札、 一潮堤御配符、一諸事請取 (新田支配人)		袋・1点	い287-1-0
覚 (行田等735升書付) 烏ヶ地村茂右衛門→神戸新田唯助	子12月	横切紙・1通	い287-1-1
覚 (大鮎代相済二付) 忠二郎→唯助	子12月20日	堅紙・1通	い287-1-2
御蔵米入用	子12月	横切継紙・1通	い287-1-3
覚 (年貢入用関係カ) 久左衛門	11月14日	堅紙・1通	い287-1-4
覚 (人足賃カ請取) 弥右衛門→吉助・おい	11月15日	堅紙・1通	い287-1-5
覚 (いわのり等納入二付) 弥助→唯助	12月26日	横切継紙・1通	い287-1-6
覚 (舟釘代金請取二付) 才木や宅右衛門→小河唯助	2月29日	横切紙・1通	い287-1-7
覚 (金子請取二付) 川崎や太兵衛→山かたや庄兵衛	子正月18日	横切紙・1通	い287-1-8
覚 (金子渡二付) 山かたや庄兵衛→小川唯助	3月19日	横折紙・1通	い287-1-9
覚 (五寸釘代金相済二付) 才木や藤助→小八	3月21日	堅紙・1通	い287-1-10
覚 (金子取相済二付) 才木や宅右衛門→小河唯助	子2月27日	横切紙・1通	い287-1-11
覚 (金子請取二付) 伊兵衛→文六	2月7日	横切紙・1通	い287-1-12
覚 (金銭書上)	2月7日	堅紙・1通	い287-1-13
覚 (金銭書上) 山形屋庄兵衛→小川唯助	子2月10日	堅紙・1通	い287-1-14
覚 (代金受取二付) 山かたや庄兵衛→小川唯助	子2月2日	堅紙・1通	い287-1-15
覚 (金銭受取二付) 山形屋庄兵衛→小川唯助	子2月17日	堅紙・1通	い287-1-16
覚 (金銭受取二付) 山形屋庄兵衛→小川唯助	子3月26日	堅紙・1通	い287-1-17

覚（材木代金受取二付） 犬山屋半右衛門→大宝新田唯助	子7月	縦継紙・1通	い287-2-1
覚（釘・酒など代金受取二付） 金十郎→杵之入用徳左衛門	子11月25日	縦紙・1通	い287-2-2
覚（新杵造作給金請取二付） 杵大工分六	子4月	縦継紙・1通	い287-3-1
覚（杵作事小屋諸入用書上）	子4月	縦継紙・1通	い287-3-2
覚（井道筋仕直払戻金請取二付） 海西郡大宝新田庄屋孫八郎・同源左衛門→大宝前新田庄屋唯助	享保5年4月	縦紙・1通	い287-3-3
覚（野方年貢金請取二付） 佐次兵衛・平蔵→唯助	享保5年12月	横切継紙・1通	い287-3-4
村々違米	子11月晦日	横切継紙・1通	い287-3-5
請取申井領米之覚 子宝村伴六郎→大宝前新田唯助	子12月21日	横切紙・1通	い287-3-6
覚（井領米請取二付） 烏ヶ地新田庄屋才兵衛→只助	子12月17日	横切継紙・1通	い287-3-7
烏ヶ地新田・文左衛門新田立会杵 水奉行代山田埜右衛門→右村新田庄屋中	子2月	横切継紙・1通	い287-3-8
乍恐奉願御事（不作二付御救願） 大宝前新田庄屋只助→尾崎友治郎	丑7月	縦紙・1通	い285-55
小取替之覚（御祈念料書上） 春田清助→伊東庄兵衛・小川只助	寅5月2日	縦継紙（包紙つき）・1通	い373
覚（入用金等利息請取二付） 唯助	辰正月	縦継紙・1通	い250-1
覚（辰年川運上金等請取二付） 唯助	辰12月	縦継紙・1通	い250-2
覚（すみ等代金書上） 弥助→神戸会所	11月13日	横切紙・1通	い362-1
覚（とふ（豆腐カ）代金等書上） 孫長左衛門→神戸新田会所	西11月	横切紙・1通	い362-2
（とふ（豆腐カ）代金等書上） 孫八		横切紙・1通	い362-3
覚（味噌代書上） みなとや茂左衛門→小川只助	11月11日	縦紙・1通	い362-4
覚（杉等代金書上） 玉桁や店屋→小川唯助	11月20日	横切継紙・1通	い362-5-1
覚（代金書上） 烏ヶ地長左衛門→神戸庄屋 に包み込まれていた	い362-5-1	横切紙・1通	い362-5-2
*（大宝前新開普請入用金調達可仕二付）（勘定所） →大宝前新田庄屋唯助	8月	縦切紙・1通	い352
覚（入用差引勘定）	（5月）	折紙・1通	あ1768-2
覚（諸入用日付順書上）		折紙・1通	あ1768-5
（堤絵図）		縦紙・1点	あ3452-12
亥之年免割之覚（蟹江・西舘分）		縦継紙・1通	い389

新田不明

新起払方覚帳	享和元年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ1509
御替地極方土代上ヶ四ヶ年割帳	文政11年（～天保2年）	横長半/一ツ綴・1	あ1517

銭米無役人足帳	天保13年5月朔日	冊 横長半/一ツ綴・1冊	あ1989
式拾人無役人足帳	天保14年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1996
無役人足留帳 神戸新田庄屋場	天保14年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1999
無役人足覚留帳 神戸新田庄屋所	天保15年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1997
無役人足覚帳	弘化2年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1998
無役人足帳	弘化3年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2001
無役人足帳	弘化4年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2000
配符帳御年貢銘々ノ高 戊年新田益前払	(安政7年カ) (近世)	横半/一ツ綴・1冊 横美半/下ケ綴・1冊	あ1768-1 あ3537
(諸入用費目別書上・取替之覚)	正月24日	横長美/二ツ綴・1冊	あ1768-6
(普請丁場絵図)		縦継紙・1通	い354
亥年佐助払、石代金百四拾九兩二分ト八匁七厘目録式通		縦紙・2通	い356-3

庄屋役

服岡新田下ノ郷庄屋進退一件			い367-0
* (服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状) 永田新九朗 →犬山屋文左衛門		横切継紙・1通	い367-1-1
* (服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状下書) 神戸文 左衛門→永田	4月15日	横切継紙・1通	い367-1-2
* (服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状下書)		横切継紙・1通	い367-2
* (辰右衛門服岡新田下ノ郷庄屋任命状)	4月	横切継紙・1通	い367-3
* 乍恐御願申上候 (老年ニ付庄屋退役願) 新田庄屋 忠右衛門→旦那	丑12月	縦紙・1通	い367-4
* 乍恐奉願上候御事 (庄屋後役辰右衛門任命ニ付) 下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→三村平六陣屋	丑4月	縦紙・1通	い367-5-1
* 乍恐御達奉申上候御事 (庄屋後役辰右衛門任命ニ付) 下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→佐屋陣屋 い367-5-1の 封紙に同封されていた	丑4月	縦紙・1通	い367-5-2
* (服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状)	4月5日	横切継紙・1通	い367-5-3
* 乍恐奉願上候御事 (重右衛門庄屋任命願) 服岡新 田下ノ郷地主犬山屋分左衛門→石川小兵衛陣屋 い367-5-4に包み込まれていた	文政4年6月	横切継紙・1通	い367-5-4

新田支配人（庄屋）／庄屋役／

* 乍恐奉願上候（庄屋進退二付） 伊藤次郎右衛門→水島方作陣屋 い367-5-4に包み込まれていた	戌2月	横切継紙・1通	い367-5-5
* 乍恐以書付奉願上候御事（庄屋退役願二付） 海西郡服岡新田下之郷庄屋重右衛門→地主	丑年2月	縦紙・1通	い367-6-1
* 乍恐御達申上候御事（庄屋重右衛門後役辰右衛門任命二付） 下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→佐屋陣屋	丑年4月	縦紙・1通	い367-6-2
* 乍恐御達申上候御事（庄屋重右衛門後役辰右衛門任命二付） 下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→佐屋陣屋 い367-6-2に包み込まれていた	丑年4月	縦紙・1通	い367-6-3
乍恐奉願上候御事（只助・綱蔵父子に庄屋役不被仰付様） 百姓中→御地主様	亥正月	半/二ツ綴・1冊	あ3454-1
乍恐御請書旁米奉願候御事（綱蔵庄屋役拒否理由御尋につき回答） 惣百姓中→御地主様	亥4月	半/二ツ綴・1冊	あ3454-2
（庄屋名代につき廻状写） 三平六→村々庄屋	3月13日	縦紙・1通	あ3452-7

輪中

定（検見につき輪中一同地主庄屋中集会評議一決）	嘉永2年10月16日	半/一ツ綴・1冊	あ3444-2
* 悪水落新規立切江付差出申一札之事（写） 亀ヶ地新田庄屋服部鉄四郎ほか4名→神戸新田庄屋唯助ほか2名	万延2年3月	罫紙/一ツ綴・1冊	あ3468-2
乍恐奉願上候御事（川巾境杭当井組持にしたき旨） 西保村ほか19ヶ村庄屋→山田貫一郎陣屋	子11月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-6
乍恐奉願上候御事（当輪中御囲堤普請のため土取願） 東条村・又八新田・綱浦村など7ヶ村庄屋→山田貫一郎陣屋	辰4月	半/一ツ綴・1冊	あ3452-4
乍恐奉願上候御事（当井組悪水落孫室塚所堀広げ願） 井組村々惣代市江当番西条村庄屋重左衛門、引受村々惣代東条村定助ほか8名→山田貫一郎陣屋	辰5月	半/一ツ綴・1冊	あ3455-8
乍恐再応奉願上候御事（輪中御囲堤御普請につき） 子宝など神戸新田を含む27ヶ村庄屋→山田貫一郎陣屋	辰7月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-10
（海西郡四郎兵衛新田堤根草銀など負担割合取り決め）	酉極月	横長美/一ツ綴・1冊	あ1776-10
乍恐奉願上候御事（川通両側野跡葭刈取并塚普請賄土掘取の儀につき是迄の通り差し置き願）		半/一ツ綴・1冊	あ3454-4
悪水落江附差出申一札之事（悪水落塚新規立切二カ所仕込につき）		半/一ツ綴・1冊	あ3455-12
（水筒・樋敷設費用書上）		半/一ツ綴・1冊	あ3465-2
土地借用証書（雛形） 海西郡普通水利組合会管理海西郡長		罫紙/一ツ綴・1冊	あ3468-11

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

大宝前（神戸）新田／開発／願書

乍恐奉願御事（大宝前新田開発二付） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	（宝永4年カ）5月	縦継紙・1通	い285-61
乍恐奉願御事（大宝前新田開発二付） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	（宝永4年）5月	縦継紙・1通	い285-67
乍恐口上書を以申上候（大宝前新田北堤堀割堤築立願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	宝永4年5月	縦継紙・1通	い285-106
乍恐奉願上申御事（風雨破損部修復のため人足取立公儀入札願） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	（宝永5年カ）10月	縦継紙・1通	い285-26
乍恐口上之覚（海辺人足他国出稼禁止願） 大宝前小屋福田甚兵衛→野方奉行所	宝永6年2月19日	縦紙・1通	い356-11-2
奉願上御用水之事（新井道堀継用水取申度二付） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	宝永6年3月朔日	縦継紙・1通	い285-9

新田堤普請

請負申御新田堤普請所之事 愛知郡下ノ一色村普請所請負人半六→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛	宝永4年11月25日	縦継紙・1通	い346-1-1
請負申御新田堤普請所之事（写） 愛知郡下ノ一色村普請所請負人半六→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛	宝永4年11月25日	縦継紙・1通	い346-1-2
請負申御新田堤普請所之事 内津村請合人仁右衛門・同断甚七郎→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛	宝永4年11月25日	縦継紙・1通	い346-1-3
請負申御新田堤普請所之事 愛知郡下ノ一色村普請所請負人・同→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛	宝永4年11月25日	縦紙・1通	い346-1-4
請負申御新田堤普請所之事 蟹江村大宝新田堤取付長五拾間請負人彦右衛門・東福田村長五拾間請負人彦助・同所請負人平吉→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛	宝永4年11月25日	縦継紙・1通	い346-1-5
請負申御新田堤普請所之事 鳥ヶ地新田長百三拾間請負権三郎・大野村長三拾間請負甚七郎→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛	宝永4年11月25日	縦継紙・1通	い346-1-6
請負申御新田堤普請所之事 濃州米野村普請所請負人源太夫・同中野村請負人善右衛門・尾州枇杷島普請所請負人善兵衛→犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛	宝永4年11月晦日	縦継紙・1通	い346-1-7
請合申御新田堤普請所之事 舟入弥一郎→犬山屋分左衛門	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-8
請合申御新田堤普請所之事 かにへ源蔵→犬山屋分左衛門	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-9
請合申御新田堤普請所之事 美濃東中野村九兵衛→犬山屋分左衛門	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-10
請合申御新田堤普請所之事 鳥ヶ地甚右衛門→犬山屋分左衛門	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-11
請合申御新田堤普請所之事 鳥ヶ地文六郎→犬山屋分左	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-12

衛門				
請合申御新田堤普請所之事 衛門	鳥ヶ地藤三郎→犬山屋分左	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-13
請合申御新田堤普請所之事	乙川作平→犬山屋分左衛門	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-14
請合申御新田堤普請所之事 左衛門	小宝村彦右衛門→犬山屋分	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-15
請合申御新田堤普請所之事 屋分左衛門	六条新田佐之右衛門→犬山	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-16
請合申御新田堤普請所之事 衛門	蟹江村甚兵衛→犬山屋分左	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-17
請合申御新田堤普請所之事 衛門→犬山屋分左衛門	東福田村彦助・舟入村茂左	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-18
請合申御新田堤普請所之事 衛門	梶場権左衛門→犬山屋分左	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-19
請合申御新田堤普請所之事 分左衛門	下ノ一色村又六郎→犬山屋	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-20
請合申御新田堤普請所之事 →犬山屋分左衛門	蟹江村藤八郎・同村八十郎	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-21
請合申御新田堤普請所之事 衛門	今村安右衛門→犬山屋分左	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-22
請合申御新田堤普請所之事 門→犬山屋分左衛門	西福田村彦助・舟入茂右衛	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-23
請合申御新田堤普請所之事 村善右衛門・与八郎→犬山屋分左衛門	濃村米野村源太夫・同中野	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-24
請合申御新田堤普請所之事 左衛門	西福田村彦兵衛→犬山屋分	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-25
請合申御新田堤普請所之事 衛門	蟹江村善七郎→犬山屋分左	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-26
請合申御新田堤普請所之事 衛門	蟹江村善七郎→犬山屋分左	宝永5年閏正月4日	縦継紙・1通	い346-1-27
請合申御新田堤普請所之事 左衛門	下ノ一色村勘六→犬山屋分	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-28
請合申御新田堤普請所之事 右衛門・同村請人市右衛門→犬山屋分左衛門	西福田村彦兵衛・富永村丹	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-29
請合申御新田堤普請所之事 請人四郎三郎→犬山屋分左衛門	舟入請合人喜右衛門・同所	宝永5年正月19日	縦継紙・1通	い346-1-30
御請合申堤築方之事 藤兵衛→西川甚兵衛	舟入村丁場請主小兵衛・同村請人	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い345-1
御請合申堤築方之事	蟹江村請人次兵衛・蟹江村丁場請	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い345-2
御請合申堤築方之事	主源蔵・同断門左衛門・同久三郎→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い346-2-1
御請合申堤築方之事	大宝前新田請人孫八郎・大宝前新	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い346-2-1
御請合申堤築方之事	田丁場請主丹右衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い346-2-1
御請合申堤築方之事	本部田請人又左衛門・同村丁場請	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-2
御請合申堤築方之事	主伝右衛門・同断又次郎・同断与右衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-2
御請合申堤築方之事	小宝村請人次兵衛・同村請主彦右	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い346-2-3
御請合申堤築方之事	衛門・同断源助→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い346-2-3

御請合申堤築方之事 請主分藏・竹田村丁場請主清右衛門・同村請人徳兵衛→ 西川甚兵衛	龜ヶ地村請人与市・龜ヶ地村丁場	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-4
御請合申堤築方之事 市郎→西川甚兵衛	今村請人藤七郎・今村丁場請主孫	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-5
御請合申堤築方之事 市平→西川甚兵衛	西福田村請人新八・同村丁場請主	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-6
御請合申堤築方之事 請主円六郎・鳥ヶ地村丁場請主善右衛門・鳥ヶ地村丁場 請主又市郎→西川甚兵衛	蟹江村請人弥六郎・西ノ森村丁場	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-7
御請合申堤築方之事 主丹右衛門・江松村丁場請主冶右衛門→西川甚兵衛	富永村請人金兵衛・富永村丁場請	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-8
御請合申堤築方之事 請主勘右衛門・富永村丁場請主長七郎・富永村丁場請主 勘八郎→西川甚兵衛	舟入村請人太左衛門・富永村丁場	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-9
御請合申堤築方之事 場請主権六郎→西川甚兵衛	鳥ヶ地村請人藤三郎・鳥ヶ地村丁	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-10
御請合申堤築方之事 場請主権六郎→西川甚兵衛	西福田村請人善六・西福田村請主	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-11
御請合申堤築方之事 請主彦右衛門→西川甚兵衛	蟹江村請人市左衛門・蟹江村丁場	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-12
御請合申堤築方之事 請主彦右衛門→西川甚兵衛	今村請人又助源兵衛替判・今村丁	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-13
御請合申堤築方之事 場請主安右衛門・東福田村丁場請主源兵衛・同村請人林 右衛門・茶屋新田請人権七→西川甚兵衛	場請主安右衛門・東福田村丁場請主源兵衛・同村請人林 右衛門・茶屋新田請人権七→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-13
御請合申堤築方之事 同断弥市郎・証人同村分藏→西川甚兵衛	舟入村丁場請主喜右衛門・舟入村	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-14
御請合申堤築方之事 同断惣吉郎・証人同村仲右衛門→西川甚兵衛	舟入村丁場請主四郎三郎・舟入村	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-15
御請合申堤築方之事 同断惣吉郎・証人同村仲右衛門→西川甚兵衛	舟入村請人弥左衛門・東福田村丁	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-16
御請合申堤築方之事 場請主彦助→西川甚兵衛	森次村請人喜左衛門・森次村丁場	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-17
御請合申堤築方之事 請主善蔵→西川甚兵衛	茶屋新田請人甚右衛門・茶屋新田	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-18
御請合申堤築方之事 丁場請主権左衛門・茶屋新田丁場請主又右衛門→西川甚 兵衛	丁場請主権左衛門・茶屋新田丁場請主又右衛門→西川甚 兵衛	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-18
御請合申堤築方之事 請主伊兵衛→西川甚兵衛	江松村請人三右衛門・江松村丁場	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-19
御請合申堤築方之事 請主伊兵衛→西川甚兵衛	江松村請人善吉・江松村丁場請主	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-20
御請合申堤築方之事 善右衛門→西川甚兵衛	鳥ヶ地村請人分六郎・鳥ヶ地村請	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-21
御請合申堤築方之事 主甚右衛門→西川甚兵衛	東福田村請人与八郎・東福田村丁	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-22
御請合申堤築方之事 場請主吉右衛門・東福田村丁場請主善八郎→西川甚兵衛	場請主吉右衛門・東福田村丁場請主善八郎→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-22
御請合申堤築方之事 請人儀左衛門・同村丁場請主作兵衛→西川甚兵衛	東福田村丁場請主平右衛門・同村	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-23
御請合申堤築方之事 請人儀左衛門・同村丁場請主作兵衛→西川甚兵衛	東福田村丁場請主平右衛門・同村 請人儀左衛門・同村丁場請主作兵衛→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-23
御請合申堤築方之事 主作兵衛・同村同断平右衛門→西川甚兵衛	福田村請人儀左衛門・同村丁場請	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-24
御請合申堤築方之事 主作兵衛・同村同断平右衛門→西川甚兵衛	福田村請人儀左衛門・同村丁場請 主作兵衛・同村同断平右衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	竖継紙・1通	い346-2-24

大宝前（神戸）新田／開発／新田堤普請

御請合申堤築方之事 下ノ一色村請人甚次郎・下ノ一色村丁場請主勘六・東起村丁場請主長左衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-25
御請合申堤築方之事 平嶋村請人喜右衛門・同村丁場請主徳右衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-26
御請合申堤築方之事 東起村請人市左衛門・東起村丁場請主政右衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-27
御請合申堤築方之事 東起村請人甚郎右衛門・東起村丁場請主武右衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-28
御請合申堤築方之事 亀ヶ地村丁場利助・同村請人長兵衛・子宝村丁場請主勘平→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-29
御請合申堤築方之事 下ノ一色村請人仁左衛門・下ノ一色村丁場請主半六郎→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-30
御請合申堤築方之事 大海用村円右衛門・大海用村丁場請主吉右衛門・同断甚助→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-31
御請合申堤築方之事 中次村請人平右衛門・中次村彦右衛門・同断伊右衛門・同断源内→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-32
御請合申堤築方之事 舟入村丁場請主小兵衛・同村請人藤兵衛→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-33
御請合申堤築方之事 蟹江村請人治兵衛・同村丁場請主源蔵・同村丁場請主円右衛門・同断久三郎→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-34
御請合申堤築方之事 亀ヶ地新田村請人勘右衛門・竹田村丁場請主伝七郎→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-35
御請合申堤築方之事 下ノ一色村請人権六・同村丁場請主平助→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い346-2-36
御請合申堤築方之事 大宝前新田請主丹右衛門・同所請人孫八→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦継紙・1通	い345-3
御請合申堤築方之事 本部田村請人又左衛門・同村請主伝左衛門・同断又次郎・同断与右衛門→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い345-4
御請合申堤築方之事 小宝村請人次兵衛・小宝村請主彦右衛門・同断源兵衛→西川甚兵衛	宝永6年2月13日	縦紙・1通	い345-5
請合申堤石之事 鳥ヶ地村本人藤三郎・同村請人甚助→犬山屋分左衛門	宝永6年3月19日	縦紙・1通	い356-11-1
覚（丁場諸規定）	宝永6年2月	縦継紙・1通	い356-11-3
四郎兵衛新田堀割并杵先堀代堤重置入用海用留御人足代金	宝永5年7月	横長美大ノ一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2193
子年汐垣堤築方代金帳面壹冊之表		包紙・1点	い375-0
覚（汐垣築代金二付） 西川甚兵衛→神戸分左衛門・横田平兵衛	（宝永5年）11月4日	横切継紙・1通	い375-50
覚（汐垣築代金二付） 西川甚兵衛→神戸分左衛門・横田平兵衛	子11月5日	横切継紙・1通	い375-13
覚（汐垣築代金二付） 西川甚兵衛→神戸分左衛門・横田平兵衛	子11月5日	横切紙・1通	い375-46
覚（汐垣築代金二付） 西川甚兵衛→神戸分左衛門・横田平兵衛	子11月7日	横切紙・1通	い375-5
覚（汐垣築代金二付） 西川甚兵衛→神戸分左衛門・横田平兵衛	子11月7日	横切紙・1通	い375-21

覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月7日	横切紙・1通	い375-33
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月10日	横切紙・1通	い375-2
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月10日	横切紙・1通	い375-6
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月10日	横切継紙・1通	い375-14
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月10日	横切継紙・1通	い375-22
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月10日	横切紙・1通	い375-34
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月10日	横切紙・1通	い375-47
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月12日	横切紙・1通	い375-3
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月12日	横切紙・1通	い375-7
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月12日	横切継紙・1通	い375-15
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月12日	横切紙・1通	い375-23
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月12日	横切紙・1通	い375-48
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月16日	横切紙・1通	い375-8
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月16日	横切紙・1通	い375-24
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月16日	横切紙・1通	い375-35
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月20日	横切紙・1通	い375-42
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月23日	横切継紙・1通	い375-17
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月23日	横切紙・1通	い375-28
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月25日	横切紙・1通	い375-18
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月25日	横切紙・1通	い375-29
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月25日	横切紙・1通	い375-39
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月	横切紙・1通	い375-1
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月	横切紙・1通	い375-12

覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子11月	横切紙・1通	い375-45
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月4日	横切紙・1通	い375-9
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月4日	横切紙・1通	い375-25
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月4日	横切紙・1通	い375-30
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月4日	横切紙・1通	い375-36
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月4日	横切紙・1通	い375-40
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月4日	横切紙・1通	い375-43
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月8日	横切紙・1通	い375-10
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月8日	横切紙・1通	い375-26
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月8日	横切紙・1通	い375-37
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-4
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-11
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切継紙・1通	い375-16
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切継紙・1通	い375-20
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-27
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-31
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-32
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-38
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-41
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-44
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月15日	横切紙・1通	い375-49
覚（汐垣築代金二付） 横田平兵衛	西川甚兵衛→神戸分左衛門・	子12月24日	横切継紙・1通	い375-19

栗石・杭木代金

請取申運賃金之事(大宝栗石運賃二付) 太田村川合 藤十郎→堤久助・森治右衛門	宝永5年2月22日	縦紙・1通	い356-1-1
請取申運賃金之事(栗石運賃二付) 太田村川合藤十 郎→堤久助・森治右衛門	宝永5年2月24日	縦紙・1通	い356-1-2
請取申栗石前金之事 太田村川合藤十郎→堤久助・若山 佐助	宝永4年12月15日	縦紙・1通	い356-1-3
積取申栗石運賃前金之事 太田村川合藤十郎→堤久助・ 若山佐助	宝永4年12月15日	縦紙・1通	い356-1-4
請取申栗石前金之事 太田村川合藤十郎→堤久助・若山 佐助	宝永4年12月10日	縦紙・1通	い356-1-5
請取申栗石前金之事 太田村川合藤十郎→堤久助	宝永5年6月3日	縦紙・1通	い356-1-6
丑年杭木代手形一通 材木町治右衛門		包紙・1点	い374-0
杭木代金目録 濃州鷺沼村林久兵衛→神戸文左衛門代堤 久助	宝永5年7月朔日	縦紙・1通	い374-1
杭木代金目録 濃州鷺沼杭木請負主林久兵衛→神戸文左 衛門	宝永6年12月	縦紙・1通	い374-2
請合申松杭之事 鷺沼村請合人久兵衛・同(鷺沼)村 請人次平→西川甚左衛門・森治右衛門・小川唯助	宝永6年2月29日	縦紙・1通	い374-3
預り申金子之事(杭木代金受取二付) 元材木町次 右衛門→犬山屋庄兵衛	丑4月24日	縦紙・1通	い374-4
覚(杭木代金受取二付) 丁次右衛門→庄兵衛	9月19日	堅切紙・1通	い374-5
受取申金子之事(杭木代金受取二付) 丁次右衛門 →犬山屋庄兵衛	丑8月14日	堅切紙・1通	い374-6
杭木代金目録 元材木町次右衛門→神戸文左衛門	宝永6年12月	縦紙・1通	い374-7
請取申栗石前金之事 太田村川合次郎九→堤久助	宝永5年7月19日	縦紙・1通	い356-2
子年石代手形四通		包紙・1点	い372-0
請取申栗石金之事 川合藤治郎→堤久助・伊東庄兵衛	宝永5年12月22日	縦紙・1通	い372-1
請取申金子之事(栗石殘金請取二付) 太田村川合 治郎九→堤久助	宝永6年7月13日	縦紙・1通	い372-2
請取申運賃前金之事(栗石運送二付) 太田村川合 藤治郎→堤久助・森治右衛門	宝永5年10月晦日	縦紙・1通	い372-3
請取申栗石前金之事 太田村川合藤治郎→堤久助・森 治右衛門	宝永5年10月晦日	縦紙・1通	い372-4
御買上ケ栗石之事 太田村川合藤次郎→堤久助・伊東 庄兵衛	宝永6年12月19日	縦紙・1通	い372-5
石代受取通 烏ヶ地村藤三郎	宝永6年2月	横美半(ニツ綴) 1冊	い360-1
(包紙)		包紙・1点	い360-2
請取申石代金之事 山崎村古川源左衛門→神戸分左衛門	宝永7年正月27日	縦紙・1通	い360-3
請取申石代金之事 安江村伊藤理左衛門→神戸分左衛門	宝永7年2月3日	縦紙・1通	い360-4

送り申杭木之事 名古屋元材木町冶右衛門・伊尾平十郎→大宝前新田伊藤庄兵衛	丑4月23日	縦紙・1通	い363-1
(送り申杭木之事) →大宝前新田犬山屋分左衛門内早川源助 前欠	宝永6年4月22日	縦紙・1通	い363-2
送り申杭之事 美濃伊尾本町宮木平十郎→大宝御新田奉行衆中	丑卯月14日	縦紙・1通	い363-3
送り申杭木之事 元材木町冶右衛門・ミノいを平十郎→大宝前新田伊東庄兵衛	丑5月1日	縦紙・1通	い363-4
送り申杭之事 元材木町冶右衛門・ミノいを平十郎→大宝前新田庄兵衛	丑5月11日	縦紙・1通	い363-5
送り申杭之事 ミノいを平十郎・名古屋元材木町冶右衛門→大宝前新田伊藤庄兵衛	6月晦日	縦紙・1通	い363-6
送り申杭木之事 名古屋次右衛門・山口清右衛門・いを平十郎→大宝前新田伊藤庄兵衛	丑7月2日	縦紙・1通	い363-7
送り申杭之事 ミノ伊尾十郎・名古屋冶右衛門→大宝前新田所伊藤庄兵衛	7月6日	縦紙・1通	い363-8
送り下し申杭木之事 なこや屋冶右衛門・北方村権兵衛→大宝前新田伊藤庄兵衛	丑7月8日	縦紙・1通	い363-9
送り下し申杭木之事 なこや屋冶右衛門・北方村権兵衛→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑7月8日	縦紙・1通	い363-10
送り下し申杭木之事 なこや屋元材木町次右衛門・北方村権兵衛→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑7月8日	縦紙・1通	い363-11
送り下し申杭木之事 なこや屋元材木町次右衛門・北方村権兵衛→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑7月8日	縦紙・1通	い363-12
送り下申杭木之事 なこや屋元材木町次右衛門・北方村権兵衛→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑7月8日	縦紙・1通	い363-13
送り下申杭木之事 なこや屋元材木町次右衛門・北方村権兵衛→大宝御新田伊藤庄兵衛	丑7月10日	縦紙・1通	い363-14
送り下申杭木之事 なこや屋元材木町次右衛門・北方村権兵衛→大宝御新田伊藤庄兵衛	丑7月10日	縦紙・1通	い363-15
送り申杭木之事 美濃伊尾兵十郎・名古屋元材木町冶右衛門→大宝御新田伊藤庄兵衛	丑7月20日	縦紙・1通	い363-16
送り下し申杭木之事 なこや元材木町次右衛門・北方村権兵衛→伊藤庄兵衛	丑7月21日	縦紙・1通	い363-17
送り申杭木之事 ミノいを平十郎・冶右衛門→大宝御新田伊藤庄兵衛	丑7月22日	縦紙・1通	い363-18
覚(くい木請取二付) なこや元材木町次右衛門・くらせ惣右衛門→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑8月5日	縦紙・1通	い363-19
相下申くい木之事 なこや元材木町次右衛門・黒瀬惣右衛門→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑8月7日	縦紙・1通	い363-20
送り下し申杭木之事 なこや元材木町次右衛門・北方村権兵衛→大宝御新田伊藤庄兵衛	丑8月7日	縦紙・1通	い363-21
覚(くい木渡二付) なこや元材木町次右衛門・くらせ惣右衛門→大たから御新田庄兵衛	丑8月10日	縦紙・1通	い363-22
相下し申くい木事 名古屋元材木町次右衛門・黒瀬惣右衛門→御新田庄兵衛	丑8月11日	縦紙・1通	い363-23

送り申杭木之事 ミノ伊尾本町平十郎→大宝御新田伊藤庄兵衛	丑8月11日	縦紙・1通	い363-24
相下申くい木之事 くらせ惣右衛門→大たから御新田庄兵衛	丑8月17日	縦紙・1通	い363-25
送り下申杭木之事 なこや次右衛門・北方権兵へ→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑8月19日	縦紙・1通	い363-26
送り下申杭木之事 北方権兵へ→大たから御新田伊藤庄兵衛	丑8月23日	縦紙・1通	い363-27
覚(くい木請取ニ付) くらせ惣右衛門→大たから御新田庄兵衛	丑8月22日	縦紙・1通	い363-28
相下申くい木之事 くらせ惣右衛門→大たから御新田庄兵衛	丑9月2日	縦紙・1通	い363-29
送り下申杭木之事 なこや元材木町次右衛門・北方権兵へ→大宝御新田伊東庄兵衛	丑9月3日	縦紙・1通	い363-30
送り下申杭木之事 なこや次右衛門・ミノ北方権兵衛→大宝御新田伊東庄兵衛	丑9月9日	縦紙・1通	い363-31
送り下申杭木之事 なこや次右衛門・北方権兵衛→大宝御新田伊東庄兵衛	丑9月15日	縦紙・1通	い363-32
請取申金子之事(杭木代金) 町治右衛門→神戸分左衛門	丑8月8日	縦切紙・1通	い371-1
請取申金子之事(杭木代金) 元材木町杭木請合主治右衛門→神戸文左衛門	宝永6年5月28日	縦切紙・1通	い371-2
杭木目録 鵜治杭請合主林久兵衛→神戸文左衛門	宝永6年12月	縦紙・1通	い371-3
請合申松杭之事 元材木町治右衛門・同(元材木)町請人彦八郎→神戸文左衛門	宝永6年3月朔日	縦紙・1通	い371-4
覚(杭木等書上ニ付) 神戸文左衛門内庄兵衛→元材木町次右衛門	丑12月	縦継紙・1通	い371-5
送り申くい木之事 勝山村清六→犬山屋分左衛門	丑6月19日	縦切紙・1通	い356-5-1
送り申杭木之事 勝山村清六→大宝新田品川吉兵衛	丑6月25日	縦切紙・1通	い356-5-2
送り申杭木之事 勝山村清六→大宝新田西川甚右衛門・森次左衛門	丑9月14日	縦切紙・1通	い356-5-3
送り申くい木之事 とうくミ村紋左衛門→大たから新てん森次右衛門	丑10月25日	縦切紙・1通	い356-5-4
送り申くい木之事 とう組村紋左衛門→大たからしんてん森次右衛門	丑11月2日	縦切紙・1通	い356-5-5
送り申杭木之事 勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森次右衛門	丑9月21日	縦切紙・1通	い356-5-6
送り申杭木之事 勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森次右衛門	丑7月7日	縦切紙・1通	い356-5-7
送り申杭木之事 勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森次右衛門	丑7月10日	縦切紙・1通	い356-5-8
送り申杭木之事 勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森次右衛門	丑7月18日	縦切紙・1通	い356-5-9
送り申杭木之事 勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森次右衛門	丑7月23日	縦切紙・1通	い356-5-10

送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森	丑7月25日	豎切紙・1通	い356-5-11
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森	丑8月2日	豎切紙・1通	い356-5-12
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森	丑8月6日	豎切紙・1通	い356-5-13
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森	丑8月7日	豎切紙・1通	い356-5-14
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森	丑8月10日	豎切紙・1通	い356-5-15
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森	丑8月15日	豎紙・1通	い356-5-16
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門・森	丑8月19日	豎切紙・1通	い356-5-17
送り申杭木之事	勝山村清六→大宝新田西川甚左衛門	丑8月21日	豎切紙・1通	い356-5-18
送り申くい木組へ 拾本ゆい	清六→大たからしんでん	8月24日	豎切紙・1通	い356-5-19
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川善左衛門・森	丑8月25日	豎切紙・1通	い356-5-20
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川善左衛門・森	丑9月6日	豎切紙・1通	い356-5-21
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川善左衛門・森	丑9月9日	豎切紙・1通	い356-5-22
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川善左衛門・森	丑9月10日	豎切紙・1通	い356-5-23
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川善左衛門・森	丑6月22日	豎切紙・1通	い356-5-24
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川善左衛門・森	丑6月29日	豎切紙・1通	い356-5-25
送り申杭木之事 次右衛門	勝山村清六→大宝新田西川善左衛門・森	丑7月3日	豎切紙・1通	い356-5-26

丁場金配符

覚（丁場金配符） 平兵衛	福田甚兵衛→犬山屋分左衛門・横田	宝永5年12月27日～28日	綴・仮・3通	い383-1
覚（丁場金配符） 屋平兵衛	福田甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑3月18日～19日	綴・仮・38通	い383-2
覚（丁場金配符） 屋平兵衛	福田甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑3月28日～晦日	綴・仮・34通	い382
覚（丁場金配符） 屋平兵衛	福田甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑4月16日	綴・仮・36通	い384
覚（丁場金配符） 屋平兵衛	福田甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑5月16日	綴・仮・27通	い380
覚（丁場金配符） 屋平兵衛	西川甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑5月29日	綴・仮（包紙つき）・28通	い377

覚（丁場金配符） 屋平兵衛	福田甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑6月9日～14日	綴・仮・21通	い381
覚（丁場金配符） 屋平兵衛	福田甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑6月～20日	綴・仮・30通	い379
覚（丁場金配符） 屋平兵衛	西川甚兵衛→犬山屋分左衛門・井筒	丑7月4日	綴・仮・26通	い378

その他

大宝前新田普請入用帳面入日記（文書目録）	寅年8月	縦継紙・1通	い14
神戸新田開発当時書付	昭和15	包紙（罫紙）・1点	い357-1

掬米徴収／納米目録

寅年納米目録		文化3年12月	縦継紙・1通	い243
卯年納米目録		文化4年12月	縦継紙・1通	い252
卯年納米目録		文化4年12月	縦継紙・1通	い253
未年米納目録		文政6年12月	縦継紙・1通	い268
巳年納米目録		壬午正月	縦継紙・1通	い251
亥年納米目録		子3月	縦継紙・1通	い221
子歳納米目録		子12月	縦継紙・1通	い218
子年納米目録 只助		子12月	縦継紙・1通	い222
子年納米目録		子12月	縦継紙・1通	い230
子年納米目録		子12月	縦継紙・1通	い262
子年納米目録 大宝前新田唯助		子12月	縦継紙・1通	い273
丑年納米目録 大宝前新田只助		丑12月	縦継紙・1通	い234
丑年納米目録		丑12月	縦継紙・1通	い239
丑年納米目録		丑12月	縦継紙・1通	い248
丑年納米目録		丑12月	縦継紙・1通	い263
寅年納米目録 只助		寅12月	縦継紙・1通	い229
寅年納米目録		寅12月	縦継紙・1通	い242
寅年納米目録 大宝前新田唯助		寅12月	縦継紙・1通	い276
卯年納米目録		卯12月	縦継紙・1通	い217
卯年納米目録		卯12月	縦継紙・1通	い226
卯年納米目録		卯12月	縦継紙・1通	い259
卯年納米目録 定助		卯12月	縦継紙・1通	い266
卯年納米目録		辰正月18日	縦継紙・1通	い241-1

覚（葭代等請取二付）		辰正月18日	豎継紙・1通	い241-2
*辰年納米目録（大宝前新田・四郎兵衛新田） 衛門	重右	辰3月	豎継紙・1通	い244
辰年納米目録		辰12月	豎継紙・1通	い220
辰年納米目録 大宝前新田唯助		辰12月	豎継紙・1通	い250-3
辰歳納米目録		辰12月	豎継紙・1通	い261
癸巳年納米目録		巳12月	豎継紙・1通	い232
巳年納米目録 大宝前新田唯助		巳12月	豎継紙・1通	い237
巳年納米目録		巳12月	豎継紙・1通	い255
酉年納米目録		巳12月	豎継紙・1通	い256
巳年納米目録 唯助		巳12月	豎継紙・1通	い271
午年納米目録		午12月	豎継紙・1通	い258
甲午納米目録		午12月	豎継紙・1通	い269
*午年納米目録（大宝前新田・四郎兵衛新田） 衛門	十右	午12月	豎継紙・1通	い272
未年納米目録 只助		未12月	豎継紙・1通	い219
未年納米目録 只助		未12月	豎継紙・1通	い223
未年納米目録（大宝前新田） 十右衛門		未12月	豎継紙・1通	い238
未之年納米目録 大宝前新田唯助		未12月	豎継紙・1通	い270
*未年納米目録（大宝前新田・四郎兵衛新田） 衛門	十右	未閏12月	豎継紙・1通	い257
申年納米目録		申12月	豎継紙・1通	い215
申年納米目録 只助		申極月	豎継紙・1通	い227
申年納米目録 十右衛門		申12月	豎継紙・1通	い233
申年納米目録 大宝前新田唯助		申12月	豎継紙・1通	い235
申年納米目録		申12月	豎継紙・1通	い236
*申年納米目録（大宝前新田・四郎兵衛新田） 衛門	重右	申12月	豎継紙・1通	い249
酉年納米目録		酉12月	豎継紙・1通	い231
酉年納米目録（大宝前新田） 大宝前新田唯助		酉12月	豎継紙・1通	い245
*酉年納米目録（大宝前新田・四郎兵衛新田）	唯助	酉12月	豎継紙・1通	い254
戌年納米目録 只助		戌極月	豎継紙・1通	い224
戌年納米目録 只助		戌極月	豎継紙・1通	い225
*戌年納米目録（大宝前新田・四郎兵衛新田）	唯助	戌12月	豎継紙・1通	い246
戌年納米目録		戌12月	豎継紙・1通	い265
戌年納米目録		戌12月	豎継紙・1通	い274

* 亥年納米目録（大宝前新田・四郎兵衛新田）	唯助	戌12月	豎継紙・1通	い275
戌年納米目録		（戌年カ）	豎継紙・1通	い240
亥年納米目録 只助		亥12月	豎継紙・1通	い216
亥年納米目録		亥12月	豎継紙・1通	い228
亥年納米目録 大宝前新田唯助		亥12月	豎継紙・1通	い247
亥年納米目録 只助		亥12月	豎継紙・1通	い260
亥年納米目録（大宝前新田） 重右衛門		亥12月	豎継紙・1通	い264
辰年納米目録			豎継紙・1通	い267

掬米計算

（神戸新田高反別書上、拾ヶ年免附）		（文政年間）	横長美/一ツ綴・1冊	あ1775-4
（地割ごとの米高書上、御替地書上）		（天保4～13年）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1775-3
検見札 神戸		嘉永5年10月	小切紙（書板つき）・1点	い366
田面立毛之覚		万延元年7月2日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1768-4
橋蔵扣（掬米書上）			横長美/一ツ綴・1冊	あ1768-7
（地割ごとの引高書上）			横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-4
下向新郷引			横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-5
文久二戌三月地改ニ付間堰之事、文久二戌三月畑毀シ入土其三畝歩合せ人之名前ニ致し地改間地之上左之銘々江切渡候事			横長半/一ツ綴・1冊	あ1770-7
（地割ごとの地積書上）			横切継紙・1通	い357-11-11

坪附帳

坪附帳		天保15年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1993
下ゐの埋田む埋田坪附帳 金八・周吉 1015-1・2は合冊		弘化3年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1015-2
検見坪附覚帳 1016-1・2は合冊		弘化4年10月9日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1016-2
下ゐ之割切坪帳 金八・桑助 1018-1・2は合冊		嘉永2年9月29日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1018-2
下ゐ之割早稲切坪附帳 1020-1・2は合冊		嘉永4年10月16日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1020-2

地主仲間

子年初納勘定割符帳	天明元年8月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1556
*願書(萱津屋伊右衛門との地所争論返答書) 犬山屋文左衛門		半/二ツ綴・1冊	あ3458-2

経営費用

(普請入用金一部請求、堤繕仕方見物ニ付書状) 伊東庄兵衛→神分左	7月3日	折紙・1通	い356-6-1
(普請入用金ニ付書状) 伊東庄兵衛→神分左	6月3日	横切継紙・1通	い356-6-2
請取申金子之事(新田普請入用金請取ニ付) 伊東庄兵衛→神戸分左衛門	正徳2年6月7日	堅切紙・1通	い356-6-3
請取申金子之事(新田普請入用金請取ニ付) 伊東庄兵衛→神戸分左衛門	辰6月25日	堅紙・1通	い356-6-4
悪水東杵御繕諸入用帳 → 杵方神谷林吉・御勘定忝重兵衛・御国方岡村文右衛門・御目付山田只平治	宝暦12年4月5日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1428
内積り仕様(堤堰橋立切普請費用)	(近世)	横長半/一ツ綴・1冊	あ1776-3
内積り仕様(堤堰橋立切普請費用)	(近世)	横長半/一ツ綴・1冊	あ1776-4
内積り仕様(堤堰橋立切普請費用)	(近世)	横長美/一ツ綴・1冊	あ1776-5
(当座仕払書抜、払方書抜、払方書抜取繕分)	明治13年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3341-1
(高入用、田植入用など書抜)	明治13年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3341-2
(十三年辰拂方書抜、耕殖入用)	明治13年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3341-3
十四年一月廿九日調査書抜、渡帳ニ而金左衛門内渡之分書抜	明治14年1月29日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3341-5
明治十四年新田勝手耕殖諸入用勘定帳、三四五月勝手耕作諸入費帳 新田金左衛門	明治14年8月8日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3342-1
八月分耕作勝手入費帳 新田金左衛門→昆野綾三	明治14年8月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3342-2
所々拂方メ出シ帳 新田金左衛門	明治14年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3342-4
(耕作入足ほか諸入費書付帳) 新田金左衛門	明治14年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3342-3
十五年下半年分拂方書抜勝手入用	明治15年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3343-1
明治十五年分手作米取揚高	明治15年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3343-3

寅年より午年迄米勘定帳 新田金左衛門→昆野綾三	明治16年3月31日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3344-1
寅年より午年迄麦入費帳	明治16年3月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3344-2
(積金勘定帳か、記(利子受取)、網蔵分25年分利子記、小川網蔵元金返済記、廿六年十二月調)	(明治25年～明治28年)	横長半/一ツ綴・1冊	あ3605-5
積金口受取之覚 神戸	明治26年1月	横半半/二ツ綴・1冊	あ3605-1
積ミ金出之記	明治24年1月	横美半/一ツ綴・1冊	あ3605-2
神戸新田積金受取覚 神戸	明治24年1月	横美半/下ゲ二ツ目綴・1冊	あ3605-3
(入金、出金書付)		折紙・1通	あ3605-3-1
(差引勘定書)		横切紙・1通	あ3605-3-2
記(積金差引勘定) 3605-3-1～3は3605-5に結付の束		切継紙・1通	あ3605-3-3
記(積金書抜) 3605-5と結び付けられていた		折紙・1枚	あ3605-4
盆前拂方ノ出帳 小川網蔵	明治29年8月20日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1786
総計書抜帳(入費帳) 兎玉金左衛門代理竹内辰右衛門	(明治)2月5日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3339
普請入用金差引(堤普請)	寅12月	横長半/一ツ綴・1冊	い357-7
耕殖日傭帳書抜、村人足附込、勘定場小遣帳書抜		横長半/一ツ綴・1冊	あ3341-4
(耕殖入用拂方、十五年盆前分勝手払方記)		横長半/一ツ綴・1冊	あ3343-2
(石杭普請のため仲間中出合金請求ニ付書状) 伊東 庄兵衛→神分左	7月6日	横切継紙・1通	い356-7-1
(二両届ニ付書状)	7月13日	縦紙・1通	い356-7-2
(金一両此者へ請下願ニ付書状)	7月13日	縦紙・1通	い356-7-3
(挨拶状)	13日	縦紙・1通	い356-7-4
(金子請下れ度ニ付書状) →友之様		縦紙・1通	い356-7-5
覚(家賃帳面・小払帳・穀物売買よりの収益差引勘定)	辰7月15日	縦継紙・1通	い356-7-6
覚(大高飯米・大宝飯米代金差引勘定)	辰7月15日	縦継紙・1通	い356-7-7
覚(卯年勘定金・実綿代金・普請入用金引渡依頼) 分左衛門	7月12日	縦継紙・1通	い356-7-8
合力金書付		包紙・1点	い376-0
覚(金子御渡ニ付) 弥左衛門→庄兵衛	子12月	横切紙・1通	い376-1
覚(金子請取ニ付) 西福田弥左衛門→犬山屋庄兵衛	子12月28日	横切紙・1通	い376-2
覚(御手代給金ニ付) 西福田弥左衛門→犬山屋庄兵衛	丑7月11日	縦切紙・1通	い376-3
覚(金子受取ニ付) 西福田弥左衛門→犬山屋庄兵衛	寅5月3日	縦切紙・1通	い376-4

覚（金子請取ニ付） かなえ次右衛門→堤久助	丑12月26日	豎切紙・1通	い376-5
覚（金子受取ニ付） 下ノ一色村甚左衛門→犬山屋庄兵衛	丑12月20日	豎切紙・1通	い376-6
請取申金子之事（丑之年御給分金之内） 東福田村源助→伊東庄兵衛	丑12月13日	豎切紙・1通	い376-7
覚（次右衛門分請取金書上ニ付） 後欠		豎紙・1通	い376-8
覚（請取金書上ニ付） 次右衛門→久助	子	豎切紙・1通	い376-9
覚（金銭書上ニ付） 弥左衛門 後欠	6月24日	豎紙・1通	い376-10
給金指引		横長半・1冊	い376-11

諸事用留・日記

(新田諸用留)	(天保4年) 10月28日～11月4日	半/ニツひねり・1冊	あ3459
(新田諸用留)	(天保5年) 10月7日～16日	半/ニツひねり・1冊	あ3460
(新田諸用留)	(天保6年) 10月26日～11月2日	半/ニツひねり・1冊	あ3461
(新田諸用留)	(天保7年) 11月5日～11日	半/ニツひねり・1冊	あ3462
(新田諸用留)	(天保14年) 2月18日～12月9日	半/ニツひねり・1冊	あ3463
(新田諸用留)	(万延元年) 5月11日～19日	半/ニツひねり・1冊	あ3465-3
(新田諸用留)	5月28日～7月29日	半/ニツひねり・1冊	あ3464
* (勘定場と神戸新田庄屋との往復書簡留)		半/一ツ綴・1冊	あ3466

小作人

当辰年老年切ニ御請申田地之事 東福田請主平七郎・同所請人八左衛門→芝山村庄右衛門・犬山唯助	正徳2年5月	豎紙・1通	い368
差出申一札之事(大宝前新田小屋住人宗門改終了ニ付) 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→水野与左衛門・近松与治右衛門	正徳2年3月	豎紙・1通	い284-1
差出申一札之事(大宝前新田小屋住人宗門改終了ニ付) 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→水野与左衛門・堀茂兵衛	正徳3年3月	豎紙・1通	い284-2
差出シ申一札之事(大宝前新田小屋住人宗門改終了ニ付) 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→堀茂兵衛・大津瀬左衛門	正徳4年3月	豎紙・1通	い284-3
一札之事(大宝前新田井筒屋平兵衛小屋住人宗門改終了ニ付) 犬山屋分左衛門→堀茂兵衛・大津瀬左衛門	正徳5年4月	豎紙・1通	い284-4
一札(我等小屋下人宗門改寺判形我等方へ取置ニ付)	正徳5年4月	豎紙・1通	い356-9

井筒屋平兵衛→犬山屋分左衛門			
差出申一札之事（大宝前新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 犬山屋文左衛門→太田文左衛門	文化元年3月	縦紙・1通	い284-6
差出申一札之事（神戸新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 犬山屋文左衛門→佐屋代官役所	文化2年3月	縦紙・1通	い284-5
差出申一札之事（神戸新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 犬山屋文左衛門→矢野藤九郎	天保7年3月	縦紙・1通	い284-7
差出申一札之事（大宝前新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 犬山屋文左衛門→矢野藤九郎	天保7年3月	縦紙・1通	い284-8
差出申一札之事（大宝前新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 犬山屋文左衛門→矢野藤九郎	天保7年3月	縦紙・1通	い284-9
差出申一札之事（大宝前新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 犬山屋文左衛門→矢野藤九郎	天保7年3月	縦紙・1通	い284-10
差出申一札之事（神戸新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 犬山屋文左衛門→水野篤助	天保7年3月	縦紙・1通	い284-11
差出申一札之事（神戸新田輪中小屋住人宗門改終了二付） 神戸文左衛門→一色庄左衛門	安政7年3月	縦紙・1通	い284-12
宗門一札（縁付二付送状雛形） 茶屋新田庄や誰→大宝前新田唯助	天明2年3月	縦紙・1通	い33
宗門一札（六条新田村いと大宝前新田長七方江縁付二付送状） 海西郡六条新田庄屋代立会佐藤太兵衛→海西郡大宝前新田庄屋唯助	文化7年3月	縦紙・1通	い32
一札奉差上候（御救米請書） 神戸新田百姓彦助ほか38名→旦那様	嘉永3年3月2日	半/一ツ綴・1冊	い358
寶地村恤兵会会則	（明治39年）	罫紙/一ツ綴・1冊	あ3468-9
履歴書（堀野第六氏の履歴） 堀野第六	明治43年	罫紙/一ツ綴・1冊	あ3468-10

水路

沓ヶ年切御請申川之事（魚取候運上金等取極二付） 新茶屋新田助右衛門・舟入村弥左衛門→犬山や分左衛門	正徳2年4月	縦継紙・1通	い286-1
沓ヶ年切御請申川之事（魚取候運上金等取極二付） 茶屋後新田助右衛門・蟹江村之内舟入弥左衛門→名古屋元材木町犬山屋分左衛門	正徳3年4月	縦継紙・1通	い286-2
沓ヶ年切御請申川之事（魚取候運上金等取極二付） 舟入村川請主丹右衛門・右同断太左衛門・右同断甚右衛門・右同断吉右衛門・右同断八左衛門・八田村川請主四郎右衛門→名護屋元材木町犬山屋分左衛門	正徳6年3月	縦継紙・1通	い286-3
沓ヶ年切御請合申大宝前新田之内川之事（魚取候運上金等取極二付） 蜷村川請主彦八郎・からうす村川請主直右衛門→大宝前新田御元メ代小川唯助	宝永7年4月	縦継紙・1通	い286-4
川請証文（魚取候運上金等取極二付） 神戸川請主東蜷村孫兵衛・手限中請人坂場源藏・同断亀ヶ地新田忠左衛門・同断神戸新田平七→神戸新田庄屋衆中	文化13年4月	縦紙・1通	い286-5
沓ヶ年切御請申川之事（魚取候運上金等取極二付） 蟹江新田川請主新六・子宝新田源兵衛→名古屋元材木町犬山屋分左衛門	享保2年3月8日	縦継紙・1通	い286-6

壹ヶ年切御請申川之事（魚取候運上金等取極ニ付） 蟹江村川請主善七・右同断助市→名古屋元材木町犬山屋 分左衛門	享保4年3月15日	豎継紙・1通	い286-7
壹ヶ年切御請申川之事（魚取候運上金等取極ニ付） 四郎兵新田川請主藤左衛門・鳥ヶ地新田同断分六郎・子 宝新田同断源兵衛→名古屋元材木町犬山屋分左衛門	享保5年3月6日	豎紙・1通	い286-8
壹ヶ年切御請申川之事（魚取候運上金等取極ニ付） 織田藤四郎川方源蔵・右同断丹右衛門→犬山屋分左衛門	享保7年3月14日	豎紙・1通	い286-9
壹ヶ年切御請申川之事 蟹江村川請主善□□・右同断弥 □□→名古屋元材木町犬山屋分左衛門	享保3年3月15日	豎継紙・1通	い356-10
覚（川運上金上納ニ付） 八嶋林蔵→神戸文左衛門	文化4年4月	豎紙・1通	い361-1
覚（川運上金上納ニ付） 東蜆安蔵→神戸文左衛門		豎紙・1通	い361-2
覚（川運上金入札記録）	文化13年4月17日	横切継紙・1通	い361-3
覚（運上金上納ニ付） 東蜆安蔵→神戸文左衛門		豎紙・1通	い361-4
覚（運上金上納ニ付） 亀ヶ地久右衛門→神戸文左衛門	文化13年	豎紙・1通	い361-5
入札（入札札） 升田村弥兵衛	子4月	豎紙・1通	い361-6
覚（運上金書上） 亀ヶ地新田定蔵→神戸文左衛門	文化13年	横切紙・1通	い361-7
入札（川請ニ付） 升田弥兵衛	子4月	豎紙・1通	い361-8
入札覚（神戸新田川請ニ付） 東蜆村米四郎→神戸新田 庄屋中	子4月16日	豎紙・1通	い361-9
（川請ニ付書状） 唯助→鈴木五右衛門	4月6日	豎紙・1通	い361-10
（川落札主人柄悪敷弥兵衛落札ニ致度ニ付） 唯助→ 鈴木五右衛門	4月13日	横切継紙・1通	い361-11
差出申悪水御締り定御請書之事（雛形） 川請負主誰 →神戸新田御地主様御庄屋衆中	安政3年3月	半/一ツ綴・1冊	あ3455-6
乍恐奉願上候御事（川魚殺生請負につき） 川請負主 只二・重右衛門→旦那様	辰正7月	半/二ツ綴・1冊	い359-1
乍恐奉願上候御事（川魚殺生請負につき） 神戸新田 川受負人金右衛門・同新田下受負瀬兵衛・同新田同断作 左衛門・四郎兵衛新田同断常右衛門→旦那様	戌7月	半/二ツ綴・1冊	い359-2
通船地役権設定契約公正證書	（万延2年）3月	半（罫紙）/一ツ 綴・1冊	あ3468-1
* 悪水落新規立切江付差出申一札之事（写） 亀ヶ地 新田庄屋服部鉄四郎ほか4名→神戸新田庄屋唯助ほか2名	万延2年3月	半（罫紙）/一ツ 綴・1冊	あ3468-2
明治廿一年第壹号詞訟、裁判言渡書（水路并二通船之 故障物取払之訴訟につき） 始審裁判所判事津田峻徳 ほか→原告名古屋区堀詰町関戸守彦ほか39名、被告神戸 分左衛門	明治21年6月30日	半（罫紙）/一ツ 綴・1冊	あ3468-3
神戸新田地内枿場新田悪水路敷収ヨリ海岸落収字番 ノ略図	明治21年6月30日	33×45・1鋪	あ3468-3-1
通船地役権設定契約公正證書	（万延2年）3月	半（罫紙）/一ツ 綴・1冊	あ3468-4
悪水落新規立切江付差出申一札之事（写） 鳥ヶ地前 新田庄屋服部鉄四郎ら→神戸新田庄屋唯助	万延2年3月	半（罫紙）/一ツ 綴・1冊	あ3470-1
*（神戸新田地券写二通） 愛知県	明治11年6月15日・12	半（罫紙）/一ツ	あ3470-2

神戸新田略図	年7月14日 明治21年	綴・1冊 28×39・1鋪	あ3470-3
保証（神戸新田地内悪水路中の魚漁用竹簾設置につき） 四郎兵衛新田神戸新田井組横井久助ほか5名→神戸新田神戸分左衛門	明治21年1月30日	罫紙・1通	あ3470-4
証明書（近傍耕地肥料に海底の汚泥を用いるの必要性につき） 服岡新田小川馬之助ほか8名、飛島新田内藤新太郎ほか6名、子宝新田吉田清左衛門ほか5名、竹田新田6名、四郎兵衛新田17名、ほか3ヶ村9名→神戸分左衛門	明治21年5月1日	半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3470-5
（水路并通船ノ故障物取払事件書類書留）	明治21年	半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3470-6
裁判言渡書（水路并通船ノ故障物取払事件につき） 名古屋始審裁判所判事津田峻徳→原告名古屋区堀詰町関戸守次ほか、被告神戸分左衛門	明治21年6月30日	半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3470-7

公儀との関係／敷金・拝借金・上納金

乍恐奉願御事（敷金延引願ニ付） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	（正徳元年）9月	縦継紙・1通	い285-39
乍恐奉願御事（敷金上納年府願） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	（宝永8年）10月	縦継紙・1通	い285-56
乍恐奉願御事（敷金引下及年賦上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	（正徳5年）11月	縦継紙・1通	い285-36
乍恐奉願御事（年賦金差延ニ付） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	享保5年2月	縦継紙・1通	い285-68
乍恐奉願御事（度々大難ニ逢候ニ付年賦差延願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	享保5年	縦継紙・1通	い285-46
*覚（大宝前新開入用調達金請取書写） →犬山屋文左衛門	地方勘定所 享和元年12月	堅切紙・1通	い349
*覚（大宝前新開入用調達金請取書写） →犬山屋文左衛門	地方勘定所 享和元年12月	堅切紙・1通	い349
*覚（大宝前新開入用調達金請取書写） →犬山屋文左衛門	地方勘定所 享和元年12月	堅紙・1通	い350
*覚（大宝前新開入用調達金請取書写） →犬山屋文左衛門	地方勘定所 享和元年12月	堅紙・1通	い350
乍恐奉願上御事（年賦差延願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	子2月	縦継紙・1通	い285-83
乍恐奉願上候御事（敷金上納延引願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	寅12月	縦継紙・1通	い285-71
乍恐口上書を以奉願上御事（新田敷金返済延期願） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	卯8月	縦継紙・1通	い285-23
乍恐奉願御事（敷金上納延期願） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	卯10月	縦継紙・1通	い285-60
乍恐奉願御事（敷金上納延引願） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	卯10月	縦継紙・1通	い285-62
乍恐奉願御事（借入金返済分納願） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	卯10月	縦継紙・1通	い285-34

乍恐奉願御事（借入金返済延引ニ付） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未年4月	横切継紙・1通	い285-30
乍恐奉願御事（度々堤大破ニ付借入金年賦二十ヶ年延期願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未4月	縦継紙・1通	い285-18
乍恐奉願御事（大宝前新田三度之堤大破ニ付御年賦金延納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未4月	縦継紙・1通	い285-1
乍恐奉願御事（年賦金差延ニ付） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未4月	縦継紙・1通	い285-77
乍恐奉願御事（堤築ニ付敷金年賦召上願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未11月	縦継紙・1通	い285-53
乍恐奉願御事（敷金引下及年賦上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未11月	縦継紙・1通	い285-49
乍恐奉願御事（敷金引下及年賦上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未11月	縦継紙・1通	い285-48
乍恐奉願御事（敷金引下及年賦上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未11月	縦継紙・1通	い285-63
乍恐奉願御事（敷金引下及年賦上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未11月	縦継紙・1通	い285-58
乍恐奉願御事（敷金引下及年賦上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未11月	縦継紙・1通	い285-41
乍恐奉願御事（敷金引下及年賦上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	未11月	縦継紙・1通	い285-13
（数度之大難ニ付御救御容赦願）	申12月	縦継紙・1通	い285-65
覚（大宝前新田新開入用調達金千両請取写） 地方御勘定所→犬山屋文左衛門	西9月28日	堅切紙・1通包紙付	あ2193-3
乍恐奉願御事（拝借金返納差支ニ付） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	8月	縦継紙・1通	い285-7
乍恐奉願御事（度々大難ニ付敷金残金年賦ニ而上納願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	11月	縦継紙・1通	い285-12
乍恐奉願御事（三度之大難ニ付拝借金願）		縦継紙・1通	い285-57
乍恐奉願上御事（年賦金差延並今後堤修復御上より被仰度ニ付願書書き損じ） 犬山屋分左衛門→野方奉行所		縦継紙・1通	い285-74

普請

乍恐奉願御事（堤修復金返済延引願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	（享保5年）2月	縦継紙・1通	い285-27
乍恐重而奉願口上（水害ニ付堤築立入用取立願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	享保5年8月	縦継紙・1通	い285-69
乍恐奉願御事（堤大破ニ付定米借用願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	享保7年10月	縦継紙・1通	い285-43
乍恐奉願御事（堤大破ニ付定米借用願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	享保7年10月	縦継紙・1通	い285-45
乍恐奉願御事（新規堤築立ニ付定米願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	享保7年10月	縦継紙・1通	い285-54

衛門→野方奉行所				
乍恐奉願御事（堤築立入用大分ニ付定米願） 分左衛門→野方奉行所	犬山屋	享保7年10月	縦継紙・1通	い285-59
奉願上口上（堤築立入用御取立願） 兩人		子7月	縦継紙・1通	い285-95
乍恐重而奉願上口上（潮堤築立資金借用願） 分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	犬山屋	子8月	縦継紙・1通	い285-15
乍恐重而奉願上御事（堤大破ニ付修復入用金取立願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所		子8月	縦継紙・1通	い285-40
乍恐重而奉願上口上（水害ニ付堤築立入用取立願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	犬	子8月	縦継紙・1通	い285-70
乍恐奉願上申御事（水害ニ付御普請願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	犬山屋分左	子9月	縦紙・1通	い285-92
乍恐重而奉願上口上（大宝前新田冬普請入用金拝借願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所		子12月	縦継紙・1通	い285-6
乍恐重而奉願上申御事（春普請入用不足ニ付拝借金願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所		子12月	縦継紙・1通	い285-93
乍恐奉願上候御事（新田切添分御普請願） 左衛門	犬山屋分	丑8月	縦継紙・1通	い285-31
乍恐奉願上候御事（切所普請許可願） 門	犬山屋分左衛	丑8月	縦継紙・1通	い285-42
（大地震のため堤修復諸願）		卯9月	半/ニツ綴・1冊	あ3454-11
（神戸新田堤外野跡見取場土入れにつき海西村々26ヶ 村との争論一件）		巳	半/一ツ綴・1冊	あ3454-8
乍恐奉願御事（破損堤繕土採取場無之二付） 分左衛門→野方奉行所	犬山屋	午9月	縦継紙・1通	い285-64
乍恐重而奉願上口上（大宝前新田堤水害破損修復費取 立願）		8月	縦継紙・1通	い285-4
乍恐奉願御事（堤繕土芝場無御座迷惑ニ付） 分左衛門→野方奉行所	犬山屋		縦継紙・1通	い285-73

土地

奉願御事（四郎兵衛新田との境堤所帰属権返却願ニ付） 犬山屋分左衛門→野方奉行所		（正徳4年）3月	縦継紙・1通	い285-102
奉願御事（堤所帰属権返却願ニ付） →野方奉行所	犬山屋分左衛門	午3月	縦継紙・1通	い285-107
奉願御事（堤所帰属権返却願ニ付） →野方奉行所	犬山屋分左衛門	午3月	縦継紙・1通	い285-108
乍恐以書付奉願上候（芝場飛嶋山境不分明ニ付） 山屋文左衛門→鬼頭伝大夫・古川定右衛門	犬	寛延3年4月	縦継紙・1通	い285-82
乍恐追々奉願上候御事（境杭被仰付度ニ付） 大宝前新田庄や唯助・右新田地主犬山や文左衛門	海西郡	宝暦5年8月	縦継紙・1通	い285-75
（堤外御見取場所野跡代官検分につき）		安政4年10月18日	半/一ツ綴・1冊	あ3456-5
乍恐奉願上候（神戸新田堤を起畑にした地所の地主に 被仰付候様） 犬山屋文左衛門→石川小兵衛様御陣屋		（近世後期、文化12年 以後）4月	半/ニツ綴・1冊	あ3458-4

乍恐奉願御事（大宝前新田内四郎兵衛新田替地当方へ下置願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	寅正月	縦継紙・1通	い285-51
（今日御用有之二付召状） 川村庄蔵・小川彦右衛門→井筒屋平兵衛 い285-51に包み込まれていた	2月18日	縦紙・1通	い285-52
乍恐奉願御事（新田内郷綱場地ならし二付運上免除願） 犬山屋分左衛門→川方奉行所	午6月	縦継紙・1通	い285-17
乍恐追々奉願候御事（新田付扣芝場境杭立直願）	亥3月	縦継紙・1通	い285-25
*願書（萱津屋伊右衛門との地所争論返答書） 犬山屋文左衛門		半/二ツ綴・1冊	あ3458-2

用悪水

乍恐奉願御事（悪水杖伏セ替反対願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	（享保6年）4月	縦継紙・1通	い285-47
乍恐奉願上候御事（当輪中悪水落孫室坎所境杭当井組中持願） 西條村・東保村など20ヶ村庄屋→山田貫一郎陣屋	子10月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-14
乍恐奉願口上之事（大宝前新田用水普請による四郎兵衛新田内潰地の替地を井料米支払いに替えることについて） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	丑5月	縦紙・1通	い285-8
乍恐奉願口上之覚（大宝前新田用水普請による四郎兵衛新田内潰地の替地を井料米支払いに替えることについて） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	丑5月	縦継紙・1通	い285-24
乍恐以書付奉願上候（用水つふれ地井料米ニ而相渡申度二付）	丑5月	縦継紙・1通	い285-81
乍恐奉願郷綱場之事（輪中郷綱場運上金上納につき） 犬山屋分左衛門→川方奉行所	丑8月	縦継紙・1通	い285-79
乍恐奉願御事（用水井桁堤築土近所ニ無之二付替地願書下書） 井筒屋平右衛門・犬山屋分左衛門→野方奉行所	丑年9月	縦継紙・1通	い285-28
奉願御事（大風雨ニ而堤大破ニ付口上） →野方奉行所 い285-28の中に包み込まれていた	寅年正月	縦継紙・1通	い285-29
乍恐御答旁奉願上候御事（当新田扣堤御見取り場の件につき井組中説得願） 神戸新田地主犬山屋文左衛門→山田貫一郎陣屋	辰5月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-13
乍恐奉願上候御事（当井組悪水落孫室坎所堀広げ願） 井組村々惣代市江当番西条村庄屋重左衛門、引受村々惣代東条村定助ほか8名→山田貫一郎陣屋	辰5月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-15
乍恐御答旁奉願上候御事（当新田扣堤外御見取場所の件につき井組中説得願） 神戸新田地主犬山屋文左衛門→山田貫一郎陣屋	辰5月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-17
乍恐口上之覚（大宝前新田用水修復ニ付願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	巳正月	縦継紙・1通	い285-2
乍恐口上之覚（新田用水井桁より水もり御座候ニ付修復願扣） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	巳正月	縦継紙・1通	い285-76
（大宝前新田坎願付絵図）		縦紙・2通	い356-4

庄屋役

乍恐御達申上候御事（神戸新田に百姓惣代相立につき） 犬山屋文左衛門→小山清治郎陣屋	子2月	半／一ツ綴・1冊	あ3455-9
乍恐御達申上候御事（神戸新田に百姓惣代相立につき 請書扣） 犬山屋文左衛門→小山清治郎陣屋	子2月	半／一ツ綴・1冊	あ3455-10
覚（百姓惣代4名の名簿扣）	子2月	綴・1通	あ3455-11
乍恐御請書奉指上候（忠右衛門退役につき小前要求禁 止） 神戸新田彦助以下32名→矢野藤九郎陣屋	酉3月	半／一ツ綴・1冊	あ3452-1
（庄屋忠右衛門退役一件）	酉	半／一ツ綴・1冊	あ3467
乍恐御請書奉指上候御事（庄屋綱藏退役要求など不埒 の致方停止につき） 惣百姓	亥8月	半／一ツ綴・1冊	あ3455-2
別段御請書申上候御事（庄屋綱藏退役騒動のため作前 引揚につき） 惣百姓	亥8月	半／二ツ綴・1冊	あ3455-5
乍恐御請書奉指上候御事（庄屋綱藏退役騒動のため作 前引揚につき） 彦助ほか30名	亥8月	半／一ツ綴・1冊	あ3455-7
乍恐御請書奉指上候御事（村方騒動につき風儀取締請 書扣）（神戸新田）庄屋重右衛門・忠右衛門ほか組 頭・頭百姓	亥9月	半／一ツ綴・1冊	あ3454-16
乍恐御請書奉指上候御事（村方騒動につき風儀取締請 書扣）（神戸新田）庄屋重右衛門・忠右衛門ほか組 頭・頭百姓	亥9月	半／一ツ綴・1冊	あ3455-1

年貢・諸役

覚（作取年数式ヶ年指延ニ付）	（享保5年）7月29日	縦紙・1通	い364
乍恐奉願御事（地面悪敷不作ニ付検見願） 犬山屋分 左衛門→野方奉行所	（享保7年）7月	縦継紙・1通	い285-72
乍恐奉願上御事（度々大難ニ付定免願）	（享保7年）9月	縦継紙・1通	い285-84
乍恐奉願御事（年貢御免ニ付） い285-84に包み込ま れていた	寅9月	縦継紙・1通	い285-85
乍恐奉願上御事（年貢減免願） 右（大宝前）新田地主 犬山屋文左衛門	宝暦2年5月	縦継紙・1通	い285-86
乍恐奉願上候御事（年貢定免再願） 右（大宝前）新 田地主犬山屋分左衛門→森村甚左衛門	宝暦2年8月	縦継紙・1通	い285-32
乍恐奉願上御事（年貢減免願） 右（大宝前）新田地主 犬山屋文左衛門	宝暦2年8月	縦継紙・1通	い285-87
乍恐奉願御事（定免願） 犬山屋文左衛門→森村甚左衛 門	宝暦2年10月	縦継紙・1通	い285-66
乍恐奉願上御事（取賄難儀ニ付御救定免願） 犬山 屋文左衛門→森村甚左衛門	宝暦2年11月	縦継紙・1通	い285-14
乍恐奉願上候御事（定免ニ付年貢増徴反対願） 犬 山屋分左衛門→森村甚左衛門	宝暦2年12月	縦継紙・1通	い285-10
乍恐奉願上候御事（存外取入無御座ニ付反取り定納願 下書） 右（大宝前）新田地主犬山屋分左衛門	宝暦3年5月	縦継紙・1通	い285-11

奉願上候御事（定免引下願） 右（大宝前新田）地主文左衛門・右（大宝前）新田庄屋十右衛門→尾崎友次郎	（宝暦7年）11月	縦継紙・1通	い285-35
覚（不作二付破免検見願） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	壬寅8月20日	縦継紙・1通	い285-78
乍恐奉願上候御事（定免減免願） 右（大宝前）新田地主犬山屋文左衛門→尾崎友次郎	子9月	縦紙・1通	い285-33
乍恐奉願上候御事（屋敷・畑地水害ニ付伝馬役差延願扣） 新田庄屋唯助→郡奉行所	丑8月	縦継紙・1通	い285-22
乍恐奉願御事（大宝前新田堤地面悪敷水痛・汐痛ニ付検見願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	寅7月	縦継紙・1通	い285-3
乍恐奉願御事（立毛之様子御覧ニ入置度ニ付） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	寅7月	縦継紙・1通	い285-19
乍恐奉願御事（水痛・汐痛ニ付田方検見願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所	寅7月	縦継紙・1通	い285-50
乍恐奉追願上候御事（汐地ニ而地薄新田ニ付年貢減免願） 犬山屋文左衛門	申12月	縦継紙・1通	い285-21
乍恐奉願上御事（大宝前新田堤地面悪敷水痛・汐痛ニ付検見願）	8月	縦継紙・1通	い285-5
乍恐奉願御事（目論見と大分違ニ罷成候ニ付年貢減免願）		縦継紙・1通	い285-20
（大宝前新田御救定免願） 犬山屋分左衛門→野方奉行所		縦継紙・1通	い285-37
（新田立毛無之ニ付用捨願） 前欠、い285-37に包み込まれていた		縦継紙・1通	い285-38
乍恐奉願御事（度々大難ニ付定免引下願）		縦継紙・1通	い285-44
（御救定免願）		縦継紙・1通	い285-80

作徳米

御恐奉願上候（作徳米文左衛門へ積送り願い） 新田庄屋重右衛門→矢野藤九郎様陣屋	天保7年12月	半/二ツ綴・1冊	あ3355-2
乍恐口上之覚（米穀送手形を以番所通行願） 右（大宝前）新田地主犬山屋文左衛門→船番所	戌11月	縦紙・1通	い285-91

農業

乍恐御達奉申上候御事（苗草水腐れにつき追苗・貰苗・貰苗報告） 庄屋忠右衛門→一色庄左衛門陣屋	申7月	半/一ツ綴・1冊	あ3455-4
乍恐御達奉申上候（当五月深溜のため苗根切につき買苗・追苗報告） 神戸新田庄屋忠右衛門→一色庄左衛門陣屋	申9月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-3
乍恐奉願御事（来子年大宝前新田作り取開始ニ付） 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方奉行所	亥6月	縦継紙・1通	い285-16
乍恐奉願御事（芝場不足ニ付） 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方奉行所	4月14日	縦継紙・1通	い285-94

村況

新田所通検分帳（道路書上） 庄屋・組頭	文政11年12月見立	横長半／一ツ綴・1冊	あ1572
（海西郡日置庄神戸新田絵図面、村明細） 新田庄屋忠右衛門	天保15年10月	縦紙・1鋪	い15
（堤もしくは道路の長さとの幅の書上）		横長半／一ツ綴・1冊	あ1770-3

地租改正

（尾張国海西郡神戸新田地券一括） 愛知県→持主尾張国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治11年6月11日～同20年8月8日	地券紙・562枚	い16
*（神戸新田地券写二通） 愛知県	明治11年6月15日・12年7月14日	半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3470-2

小作証書

耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡東蜆村請作人結川京左衛門・引請人渡辺政七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-1
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡東蜆村請作人渡辺政七・引請人佐藤平蔵→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-2
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡東蜆村請作人奥村藤左衛門・引請人阿部紋三郎→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-3
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡東蜆村請作人佐藤平蔵・引請人渡辺政七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-4
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡東蜆村請作人横井辰蔵・引請人横井栄蔵→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-5
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡東蜆村請作人横井栄蔵・引請人横井辰造→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-6
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡東蜆村請作人阿部紋三郎・引請人奥村藤左衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-7
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡亀ヶ地新田請作人高橋忠左衛門・引請人山内要吉→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-8
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡亀ヶ地新田請作人平野利左衛門・引請人伊藤利兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-9
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡亀ヶ地新田請作人平野円助・引請人佐藤留八→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-10
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡亀ヶ地新田請作人佐藤留八・引請人平野円助→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-11
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡亀ヶ地新田請作人山内要吉・引請人高橋忠左衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-12
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡亀ヶ地新田請作人鈴木忠助・引請人奥内重右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-13

耕地請作証書（神戸新田分）海西郡亀ヶ地新田請作人浅井重三郎・引請人佐藤勘兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-14
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡亀ヶ地新田請作人佐藤勘兵衛・引請人佐藤栄九郎→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-15
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡亀ヶ地新田請作人佐藤栄九郎・引請人佐藤勘兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-16
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田替地請作人児玉金六・引請人中村常助→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-17
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田替地請作人仲村常助・引請人児玉金六→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-18
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田替地請作人仲村勇吉・引請人村上円七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-19
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田請作人横井甚三郎・引請人横井久助→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-20
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田請作人横井久助・引請人横井甚三郎→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-21
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田請作人伊藤利兵衛・引請人横井久助→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-22
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田請作人横井常右衛門・引請人横井久助→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-23
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田請作人横井八左衛門・引請人横井久助→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-24
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田請作人横井藤左衛門・引請人横井久助→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-25
耕地請作証書（神戸新田分）海東郡蠟江本町村請作人佐藤喜代八・引請人鈴木弥左衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-26
耕地請作証書（神戸新田分）海東郡蠟江本町村請作人鈴木弥左衛門・引請人佐藤喜代八→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-27
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡四郎兵衛新田替地請作人村上円七・引請人仲村勇吉→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-28
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡竹田新田請作人高橋清三郎・引請人高橋定八→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-29
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡竹田新田請作人高橋定八・引請人高橋清三郎→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-30
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡竹田新田請作人内山彦三郎・引請人高橋定八→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-31
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡服岡新田請作人伊藤源左衛門・引請人中村勇吉→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-32
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡飛鳥新田請作人浅井林四郎・引請人児玉金六→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-33
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡服岡新田請作人木飼柳右衛門・引請人小川伝治→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-34
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡服岡新田請作人小川伝治・引請人木飼柳右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-35
耕地請作証書（神戸新田分）海西郡鳥ヶ地新田請作人小林権左衛門・引受人宇佐美惣五郎→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-36

耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡鳥ヶ地新田請作人 浅野源兵衛・引請人伊藤半兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-37
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡鳥ヶ地新田請作人 伊藤半兵衛・引請人浅野源兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-38
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡鳥ヶ地新田請作人 宇佐美惣五郎・引請人小林権左衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-39
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡神戸新田請作人前 田悦四郎・引請人竹内辰右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-40
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡神戸新田請作人岡 戸伊右衛門・引請人阿部浅右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-41
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡神戸新田請作人藤 松吉兵衛・引請人早川金右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い2-42
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡神戸新田請作人都 築弥七・引請人早川金右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-43
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡神戸新田請作人岡 戸亀次郎・引請人早川金右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-44
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡神戸新田請作人都 築半左衛門・引請人早川金右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い2-45
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人藤松吉右衛 門・同郡同新田早川金右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い3-1
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人早川金右衛門 →神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い3-2
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人児玉徳平・同 郡同新田阿部涉右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-3
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人犬飼平七・同 郡同新田右引請人早川孫平→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-4
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人奥山栄吉・同 郡同新田引請人早川忠兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い3-5
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人早川孫平→神 戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-6
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人早川孫左衛 門・同郡同新田右請人早川孫平→神戸分左衛門	明治7年12月15日	罫紙・1通	い3-7
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人大橋久七・同 郡同新田右引請人早川孫平→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-8
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人阿部浅右衛門 →神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-9
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人阿部新左衛 門・同郡同新田右引請人阿部涉右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-10
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人江上織右衛 門・同郡同新田右引請人阿部浅右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-11
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人犬飼平吉・同 郡同新田早川孫平→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-12
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人犬飼太郎・ 同郡同新田右引請人早川孫平→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-13
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人前田勤治郎・ 同郡同新田井内辰右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-14

耕地請作証書 海西郡神戸新田右畑請作人鈴木権吉・同郡同新田右引請人竹内辰右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	野紙・1通	い3-15
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人鈴木留吉・同郡同新田右引請人竹内辰右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-16
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人小川綱藏・同新田右引請人児玉金七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-17
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人小林源三郎・同郡同新田右引受人阿部涉右衛門	明治7年12月15日	半・1通	い3-18
耕地請作証書（神戸新田分） 海西郡神戸新田右田畑請作人小林豊四郎・同郡同新田右引請人阿部涉右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	野紙・1通	い4-1
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人早川忠右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-2
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人早川彦助・同郡同新田右引請人早川忠兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-3
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人早川幸介・同郡同新右引請人早川忠兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-4
耕地請作証書 海西郡神戸新右田畑請作人奥田重藏・同郡同新田右引請人早川忠兵衛→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-5
耕地請作証書 海西郡神戸新右田畑請作人竹内辰右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-6
耕地請作証書 海西郡神戸新右地所請作人奥田茂十郎・同郡同新田右引請人竹内辰右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-7
耕地請作証書 海西郡神戸新田右地所請作人児玉金左衛門・同郡同新田右引請人児玉金七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-8
耕地請作証書 海西郡神戸新右田畑請作人児玉金七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-9
耕地請作証書 海西郡神戸新右田畑請作人犬飼平助・同郡同新田右引請人竹内辰右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-10
耕地請作証書 海西郡神戸新右田畑請作人児玉甚三郎・同郡同新田右引請人児玉金七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-11
耕地請作証書 海西郡神戸新田右田畑請作人前田作右衛門・同郡同新田右引請人児玉金七→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-12
耕地請作証書 海西郡神戸新右田畑請作人児玉林藏・同郡同新田右引請人阿部涉右衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-13
耕地請作証書 海西郡子宝新右田畑請作人横井長三郎・同郡同新田右引請人竹内増藏→神戸分左衛門	明治7年12月15日	野紙・1通	い4-14
耕地請作証書 海西郡子宝新右田畑請作人吉田清左衛門・同郡同新田右引請人橋本源三郎→神戸分左衛門	明治7年12月15日	野紙・1通	い4-15
耕地請作証書 海西郡子宝新右田畑請作人橋本源三郎・同郡同新田右引請人吉田清左衛門→神戸分左衛門	明治7年12月15日	野紙・1通	い4-16
耕地請作証書 海西郡子宝新右田畑請作人横井藤四郎・同郡同新田右引請人竹内増藏→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-17
耕地請作証書 海西郡子宝新右田畑請作人竹内増藏・同郡引請人横井長三郎→神戸分左衛門	明治7年12月15日	半・1通	い4-18
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村受作人佐	明治24年1月1日	野紙・1通	い5-1

藤周太郎・保証人佐藤石松→神戸分左衛門			
宅地借用証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地本人 伊藤清太郎・保証人野口鉄二郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-2
借地受作証文（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人中村甚四郎・保証人中村常助→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-3
宅地借用証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地本人 都築甚七・保証人都築梅吉→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-4
宅地借用証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地本人 野口鉄次郎・保証人伊藤清太郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-5
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人中村常助・保証人中村甚四郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-6
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人兒玉弥三郎・保証人兒玉源吉→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-7
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人安井藤助・保証人中村甚四郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-8
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人兒玉源吉・保証人兒玉弥三郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-9
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人鈴木安三郎・保証人山田要八→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-10
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人山田要八・保証人鈴木安三郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-11
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人高橋忠蔵・保証人佐藤石松→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-12
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人佐藤音次郎・保証人佐藤石松→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-13
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人佐藤音次郎・保証人佐藤石松→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-14
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人平野常三郎・保証人平野倉治朗→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-15
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人高橋周太郎・保証人後藤善太郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-16
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人後藤善太郎・保証人高橋周太郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-17
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人忍宮栄吉・保証人平野徳二郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-18
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人高橋徳三郎・保証人高橋平吉・阿部鶴次郎→神戸分左 衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-19
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人平野徳次郎・保証人立石清太郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-20
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人高橋清三郎・保証人高橋元右衛門→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-21
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人内山彦三郎・保証人内山藤三郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-22
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作 人高橋元右衛門・保証人高橋清三郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-23

大宝前（神戸）新田／小作証書／

借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人内山藤三郎・保証人内山彦三郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-24
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人立石清太郎・保証人平野徳二郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-25
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人橋本栄七・保証人吉田清吉→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-26
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人竹田増太郎・保証人横井友次郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-27
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人横井利右衛門・保証人橋本栄七→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-28
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人横井藤四郎・保証人横井市右衛門→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-29
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人犬飼孫吉・保証人吉田清吉→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-30
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡飛鳥村借地受作人小川伝治・保証人同直三郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-31
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人横井岩吉・証人絹川重太郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-32
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人阿部鶴二郎・証人佐藤音次郎→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-33
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人横井久助・証人横井東七→神戸分左衛門	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-34
借地受作証券（神戸新田分） 海西郡十四山村借地受作人佐藤石松・証人佐藤音次郎→神戸分左衛門 ※い5は紙綴一括	明治24年1月1日	罫紙・1通	い5-35

県・郡との関係

（堤敷の儀につき出頭命令） 海東西郡役所→神戸新田神戸分左衛門	（明治）13年12月17日	横切継紙（上端に青線）・1通	あ2193-4
官有地ヲ民有地ニ御編入願 →愛知県知事野村殿	明治30年	罫紙「神戸氏蔵」/一ツ綴・1冊	あ3468-5
神戸新田之内貳拾壱番北新田西ノ切四枚ノ内其四ノ終（絵図）	明治37年8月27日	27×88・1鋪	あ3468-5-1
神戸新田之内貳拾壱番北新田西ノ切四枚ノ内其四ノ終（絵図）	明治37年8月27日	27×88・1鋪	あ3468-5-2

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

四郎兵衛新田／全体

四郎兵衛一件書抜帳（正徳2年以後の経緯）	（文化10年以後）	半/二ツ綴・1冊	あ3440-3
----------------------	-----------	----------	---------

取得／取得

永代譲渡申田畑之事（四郎兵衛新田見取所譲渡証文写） 竹田村田畑渡主広田庄兵衛・四郎兵衛新田証人藤吉・同所庄屋徳兵衛→名古屋神戸文左衛門	宝暦8年12月	縦紙・1通	い285-101
覚（四郎兵衛新田見取所請作願証文写） 竹田新田広田庄兵衛・四郎兵衛新田庄屋請合徳兵衛・大宝前新田証人重右衛門→犬山屋文左衛門	宝暦9年4月	縦紙・1通	い285-100
乍恐御解願奉申上候御事（四郎兵衛新田平吉扣地所買い取りにつき） 唯助→旦那様	戌12月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-18

地主引継文書

海西郡四郎兵衛新田検地帳 尾崎小兵衛明益田安兵衛・富永金七代太田増左衛門・地方御目付武藤安左衛門・粕谷岡右衛門	元禄17年2月	半/二ツ綴・1冊	あ3399
兼山村庄左衛門名代、四郎兵衛新田式町四畝五歩私徳戌年之請取帳	正徳3年正月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2252
四郎兵衛新田中堤葭薄払帳	享保10年12月5日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2143
乍恐奉願上候御事（古新田替地御役銀諸入用免除願） 海西郡四郎兵衛新田庄屋徳兵衛→土岐市右衛門	寛延3年3月	縦継紙・1通	い285-99
乍恐奉願上候御事（四郎兵衛新田定免継続願） （四郎兵衛新田）庄屋徳兵衛→磯村藤七郎	右 宝暦6年2月	縦継紙・1通	い285-105

掬米徴収／検見帳

海西郡四郎兵衛新田見取検見帳	宝暦12年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2814
四郎兵衛新田見取検見帳	明和9年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2815
四郎兵衛新田見取検見帳	安永2年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2816
四郎兵衛新田見取検見帳	安永3年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2817
四郎兵衛新田見取検見帳	安永4年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2818
四郎兵衛新田見取検見帳	安永5年霜月	横長半/一ツ綴・角かぶせ・1冊	あ2819

四郎兵衛新田見取検見帳	安永6年9月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2820
四郎兵衛新田見取検見帳	安永7年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2821
四郎兵衛新田見取検見帳	安永8年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2826
四郎兵衛新田見取検見米納帳	安永9年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2822
四郎兵衛新田見取所検見米納帳	天明4年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2823
四郎兵衛新田見取所検見米納帳	寛政2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2824
四郎兵衛新田見取所検見帳 只助	寛政3年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2825
四郎兵衛新田見取所検見帳	寛政7年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2827
四郎兵衛新田見取所検見帳	寛政9年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2828
四郎兵衛新田見取所検見帳	寛政10年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2829
四郎兵衛新田見取所検見帳	寛政11年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2830
四郎兵衛新田見取所検見帳	享和2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2831
四郎兵衛新田見取所検見納米配符帳	享和3年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2832
四郎兵衛新田見取所検見米納帳	享和3年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2833
四郎兵衛新田見取所検見坪附帳	文化元年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2834
四郎兵衛新田見取所検見坪附帳	文化2年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2835
(内表題) 四郎兵衛新田見取所検見帳 只助	文化3年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2836
四郎兵衛新田見取所検見帳	文化5年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2837
四郎兵衛新田見取所検見帳	文化6年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2838
四郎兵衛新田見取所検見帳	文化9年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2840
四郎兵衛新田見取所検見帳	文化10年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2841
四郎兵衛新田御見取所郷畑検帳	文化14年2月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2843
四郎兵衛新田御替地検見帳 神戸文左衛門	天保4年～天保13年	横長美大/一ツ綴・10冊1綴	あ2591

納米目録

* 辰年納米目録 (大宝前新田・四郎兵衛新田) 衛門	重右	辰3月	縦継紙・1通	い244
* 午年納米目録 (大宝前新田・四郎兵衛新田) 衛門	十右	午12月	縦継紙・1通	い272
* 未年納米目録 (大宝前新田・四郎兵衛新田) 衛門	十右	未閏12月	縦継紙・1通	い257
* 申年納米目録 (大宝前新田・四郎兵衛新田) 衛門	重右	申12月	縦継紙・1通	い249
* 酉年納米目録 (大宝前新田・四郎兵衛新田)	唯助	酉12月	縦継紙・1通	い254
* 戌年納米目録 (大宝前新田・四郎兵衛新田)	唯助	戌12月	縦継紙・1通	い246
* 亥年納米目録 (大宝前新田・四郎兵衛新田)	唯助	戌12月	縦継紙・1通	い275

経営費用

四郎兵衛新田見取入用小帳		文化10年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2874
四郎兵衛新田見取米并金銀勘定帳 藤吉→唯助		文化13年12月19日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2842
辰別割物帳		文化5年12月12日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1776-6

年貢・村入用負担

四郎兵衛新田入用帳 (代官検見入用) 徳兵衛		宝暦12年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2900
* 四郎兵衛新田下之郷下用御入用帳 只助		文化11年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2899
子年御三役下用金銀割帳 海西郡四郎兵衛新田		文化13年12月12日	半/二ツ綴・1冊	あ2844
丑歳御三役諸下用免割帳 海西郡四郎兵衛新田 高持百姓→御庄屋中		文化14年12月19日	半/二ツ綴・かぶせ・1冊	あ2845
巳歳御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 高持百姓中→御庄屋衆中		文政4年2月21日	半/二ツ綴・1冊	あ2846
未年御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 惣百姓中→御庄屋衆中		文政6年2月17日	半/二ツ綴・1冊	あ2848
御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 惣百姓立合→御庄屋衆中		文政7年12月11日	半/二ツ綴・1冊	あ2849
酉年御三役諸下用免割帳 惣百姓中立合→御庄屋衆		文政8年12月19日	半/二ツ綴・1冊	あ2852
戌年御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 惣百姓中立合→御庄屋衆		文政9年12月23日	半/二ツ綴・1冊	あ2853
御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 惣百姓中立合→		文政10年12月	半/二ツ綴・1冊	あ2854

御庄屋衆			
子年御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田写 惣百姓中立合→御庄屋衆	文政11年12月	半/ニツ綴・かぶせ・1冊	あ2855
丑年御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 惣百姓中立合→御庄屋衆中	文政12年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2847
辰年御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 庄屋・組頭・惣百姓	天保3年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2856
巳年御三役諸下用免割帳 四郎兵衛新田 庄屋・組頭・惣百姓	天保4年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2857
四郎兵衛新田（三役下用）免割帳 庄屋・組頭・惣百姓	天保5年12月23日	半/ニツ綴・1冊	あ2858
未歳御年貢御三役下用免割帳 四郎兵衛新田写シ	天保6年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2850
申歳御年貢御三役下用免割帳 四郎兵衛新田	天保7年12月	半/ニツ綴・かぶせ・1冊	あ2859
酉歳御年貢御三役下用免割帳 四郎兵衛新田	天保8年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2851
丑歳御年貢御三役下用免割帳 四郎兵衛新田	天保12年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2860
卯年御年貢免割帳 下用割共 四郎兵衛新田	天保14年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2861
巳年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田	弘化2年12月23日	半/ニツ綴・1冊	あ2862
未年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田 名府神戸扣	弘化4年12月24日	半/ニツ綴・1冊	あ2863
酉年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田 元材木町神戸扣	嘉永2年12月21日	半/ニツ綴・1冊	あ2864
戌年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田 材木神戸扣	嘉永3年12月23日	半/ニツ綴・1冊	あ2866
戌年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田割帳写	嘉永3年12月	半/ニツ綴・1冊	あ2865
子歳御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田	嘉永5年12月21日	半/ニツ綴・1冊	あ2867
丑年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田 材木神戸扣	嘉永6年12月21日	半/ニツ綴・1冊	あ2869
寅年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田	嘉永7年12月21日	半/ニツ綴・1冊	あ2870
卯年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田	安政2年12月23日	半/ニツ綴・1冊	あ2871
辰年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田	安政3年12月21日	半/ニツ綴・1冊	あ2872
子年御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田 材木神戸扣		半/ニツ綴・1冊	あ2868
御年貢下用免割帳 四郎兵衛新田写		半/ニツ綴・1冊	あ2873

土地

海西郡四郎兵衛新田見取地改帳 御勘定所吟味方箕浦与右衛門・佐屋御代官岡勝右衛門→右新田庄屋	文化14年2月	美/四ツ目綴・1冊	あ3376
*海西郡四郎兵衛神戸外新田検地帳 御勘定所吟味方箕浦与右衛門・佐屋御代官岡勝右衛門→右新田庄屋	文化14年2月	美/四ツ目綴・1冊	あ3377
御替地地不足検地改帳 四郎兵衛新田庄屋藤治郎・常右衛門	天保8年3月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1986
四郎兵衛新田御替地切坪附帳	明治6年12月18日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2192

争論・願書

四郎兵衛新田享和年并文化年公事一件ニ付入用之分書 抜帳 小川唯助扣	天保14年4月	半(表紙洪紙) / 二ツ結び・1冊	あ3438
乍恐御請旁奉願上候御事(四郎兵衛新田庄屋壱人ニ而 取計申たきにつき) 地主神戸新田金七・鍋蓋新田伊 八・蟹江本町村甚平・名古屋犬山屋文左衛門→山田貫一 郎陣屋	卯7月	半/二ツ綴・1冊	あ3457-2
乍恐御請旁奉願上候御事(あ3457-2の扣) 地主神戸 新田金七ほか3名→山田貫一郎陣屋	卯6月	半/二ツ綴・1冊	あ3457-3
乍恐御答旁奉願上候御事(四郎兵衛新田庄屋につき添 庄屋聞濟願) 服岡新田下之郷地主神戸新田金七・鍋蓋 新田地主伊八・蟹江本町村船入分地主甚平・名古屋元材 木町神戸文左衛門→山田貫一郎陣屋	辰6月	半/二ツ綴・1冊	あ3457-1
乍恐書付を以奉申上候御事(四郎兵衛新田御替地の儀 につき) 犬山屋辰治郎代只助・平吉・重右衛門・金七 →岡勝右衛門	辰10月	半/二ツ綴・1冊	あ3457-4
乍恐演説書を以奉内願候御事(役前の者共私を相手取 り公事企みにつき御合点願) 犬山屋文左衛門→三村 平六陣屋	卯7月	半/二ツ綴・1冊	あ3440-1
乍恐奉御歎願上候御事(大宝前新田之内の替地を当新 田へ結込、年貢・諸役当新田にて上納につき) 四 郎兵衛新田庄屋常右衛門・藤次郎→吉田助次郎陣屋	戊2月	半/一ツ綴・1冊	あ3440-2
奉願御事(堤所帰属権返却願ニ付) 犬山屋分左衛門 →野方奉行所	午3月	縦継紙・1通	い285-103
乍恐口上之覚(四郎兵衛新田見取所質流ニ付)	午9月	縦継紙・2通	い285-104
乍恐口上之覚(四郎兵衛新田見取所質流ニ付)	午9月	縦継紙・1通	い285-105
乍恐奉願上候御事(御定納米是迄之通) 四郎兵衛新 田庄屋藤吉→木村弥治右衛門役所	未6月	半/一ツ綴・1冊	あ3452-8
(坂守居屋敷年貢一件)		半/一ツ綴・1冊	あ3452-9
乍恐演舌書を以奉内願候御事(四郎兵衛新田役前之者 共私を相手取公事企テ申につき) 犬山屋文左衛門 →三村平六陣屋	7月	半/二ツ綴・1冊	あ3435-4

神戸外新田／検地

神戸外新田細見帳	文化14年2月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2062
*海西郡四郎兵衛神戸外新田検地帳 御勘定所吟味方 箕浦与右衛門・佐屋御代官岡勝右衛門→右新田庄屋	文化14年2月	美/四ツ目綴・1冊	あ3377
神戸外新田御検地之節諸入用帳 唯助、平吉、重右衛門	文化14年3月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2059
神戸外新田細間之節諸入用帳 唯助、平吉、重右衛門	文化14年3月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2060

検見帳

神戸外新田（検見帳カ）	文政4年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2063
神戸外新田検見帳	文政6年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2064
神戸外新田検見帳	文政7年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2065
神戸外新田検見案内帳	文政8年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2070
神戸外新田検見帳	文政10年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2066
神戸外新田検見帳	文政11年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2067
神戸外新田検見帳	文政12年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2068
神戸外新田検見帳	天保5年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2069

納米并勘定帳

神戸外新田米并金銀勘定帳 藤吉→唯助	文化14年12月24日	横長半/一ツ綴・1冊	あ0942
神戸外新田納米并金銀勘定帳 神戸会所→四郎兵衛新田藤吉	文政4年12月13日	横長半/一ツ綴・1冊	あ0943
神戸外新田納米并金銀勘定帳 神戸庄屋重右衛門立合→四郎兵衛庄屋藤吉	文政6年12月19日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2071
神戸外新田納米并金銀勘定帳 神戸庄屋重右衛門→四郎兵衛新田庄屋藤吉	文政7年12月13日	横長半/一ツ綴・1冊	あ0944
神戸外新田納米并金銀勘定帳 神戸新田庄屋重右衛門立合→四郎兵衛新田庄屋藤吉	文政9年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2072
神戸外新田納米并金銀勘定帳 庄屋重右衛門立合→四郎兵衛新田庄屋藤吉	文政10年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ0945
神戸外新田納米并金銀勘定帳 庄屋重右衛門立合→庄屋藤吉	文政11年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ0946
神戸外新田納米并金銀勘定帳 神戸庄屋重右衛門立合→庄屋藤次郎・喜八	文政12年12月22日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2073
神戸外新田納米并金銀勘定帳 庄屋藤治郎・忠右衛門→地主勘定場	天保2年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ0947
神戸外新田納米并金銀勘定帳 庄屋藤治郎・忠右衛門→地主勘定場	天保3年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ0948
神戸外新田・下之郷勘定拾ヶ年差出シ帳 当古齋	天保5年11月28日（文政6～天保7年）	横長半/一ツ綴・1冊	あ2061
神戸外新田米銀勘定帳 唯助	嘉永7年12月	半/二ツ綴・1冊	あ3447

安政三辰年米目録之覚写	安政3年	半/一ツ綴・1冊	あ3449-1
安政三辰年米目録之覚	安政3年	半/一ツ綴・1冊	あ3449-2

その他

神戸外新田御年数明ニ付江堀畝歩改割当テ帳	嘉永3年3月25日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1670
譲渡申田地之事（四郎兵衛新田のうち神戸外新田一円譲渡証文写）地所譲主加藤義之助・親類惣代・証人→神戸弥左衛門・神戸昌五郎	嘉永6年12月	縦継紙・1通	い300

近代

宅地耕地小作証券記、四郎兵衛新田	明治7年	美（愛知県無印紙証書用紙）/一ツ綴・1冊	あ3663
（尾張国海西郡四郎兵衛新田地券一括）愛知県→持主同郡神戸新田神戸分左衛門	明治11年6月15日～同21年4月20日	地券・51枚	い21
宅地借用証券 借地本人十四山村四郎兵衛新田中村甚四郎・保証人中村□助→神戸分左衛門	明治24年1月1日	半・1冊	あ3721-1
借地受取証券 借地本人十四山村四郎兵衛新田中村甚四郎・保証人中村□助→神戸分左衛門	明治24年1月1日	半・1冊	あ3721-2
尾張国海西郡四郎兵衛新田地券写 神戸		半（罫紙）/一ツ綴・1冊	あ3643
一字屋敷割・四字中割・七字北堤脇地價仕出帳 旧地主永井銀太郎		半/二ツ綴・かぶせ・1冊	あ3666

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

飛島新田古台分／開発

古台入用帳	寛政7年正月（～寛政12年）	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2475
新開御願ニ付諸入用帳 唯助	寛政7年4月（～12月）	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2567
古台入用勘定帳	寛政7年5月～（文化3年5月）	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2505
古台諸入帳 当座之覚	寛政7年（～享和2年）	横長美/一ツ綴・1冊	あ2474
* 古台用（大宝前新田古台再開発につき一件留）	（寛政7年カ～享和4年）	半/二ツ綴・1冊	あ3417
（流作場朱引絵図）	寛政8年7月	34×43、1鋪	あ3417-1
（土取場朱引絵図）	寛政12年10月	34×45、1鋪	あ3417-2
（大宝前新田古台朱引絵図）	享和元年4月26日	31×43、1鋪	あ3417-3
葭野増御年貢勘定帳	寛政8年正月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ1558
古台才土切出シ諸入用帳 只助	寛政12年10月4日～	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2476
古台分なこや取替覚帳 地主方	享和元年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2465
古台土取場御役人衆入用帳 只助	享和元年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2508
古台御海用留之節入用帳 只助	享和元年12月7日	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2507
古台金扣帳	享和元年	美/二ツ綴・角かぶせ・1冊	あ3407
覚（米切手返金につき） あ3407に挟み込まれていた	（文化3年）	横切継紙・1通	あ3407-1
古台仲満勘定帳		半/二ツ綴・1冊	あ3401-1

経営費用／請取金勘定帳

古台分請取金勘定帳 只助	享和2年正月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2470
古台分請取金勘定帳	享和4年正月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2471
古台分請取金勘定帳	文化元年12月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2472
古台分請取金勘定帳	文化2年12月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2473

取替帳

古台入用取替帳 名古屋	享和2年正月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ3714
苗代田損米古台江取替帳 只助	享和2年11月	横長美/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2510
子年中古台取替覚帳	文化元年12月	横長美/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2466
丑年中古台分取替覚帳	文化2年12月	横長美/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2468
古台取替覚		横長美/一ツ綴・1 冊	あ1738
亥年中古台取替覚帳		横長美大/一ツ綴・ 1冊	あ2469

入用帳

古台年中諸入用并人足覚帳 只助	享和2年正月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2509
正月古台分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年正月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2477
古台御見分入用立合改帳	享和3年閏正月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2511
二月分古台諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年2月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2478
二月分古台諸入用帳 (2月16日伊藤様ほか見分入用ほか) 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年2月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2479
古台三月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年3月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2480
古台分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年4月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2481
古台五月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年5月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2482
古台六月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年6月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2483
古台分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年7月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2484
古台八月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年8月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2485
古台分九月諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年9月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2486
古台分十月諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年10月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2487
古台分十一月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年11月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2488

飛鳥新田古台分／経営費用／入用帳

古台十二月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	享和3年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2489
古台分諸入用帳	享和4年正月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2490
古台分二月諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化元年2月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2492
古台四月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化元年4月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2493
五月分古台諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化元年5月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2494
古台分七月諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化元年7月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2495
古台九月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化元年9月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2496
古台分十月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化元年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2497
古台分諸入用帳	文化元年12月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2491
古台分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化元年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2498
古台五月分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化2年5月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2500
古台分七月諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化2年7月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2501
飛鳥新田古台分諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2499
古台分諸入用帳	文化2年12月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2502
古台分正月より四月迄諸入用帳 只助、平吉、重右衛門、只治郎	文化3年4月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2503
古台分諸入用勘定帳	卯（文化4）年～子（同13）年	横長半/一ツ綴・1冊	あ2506

その他

飛鳥新田古台分地方御普請人足代払帳 只助、平吉、重右衛門	享和2年3月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ1457
飛鳥新田古台分諸人足帳 只助	文化2年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2464
御検地二付古台分新道築人足帳	文化2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2517

飯米帳・役米帳

古台分出入飯米帳 只助	享和2年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2460
古台分なこや出入飯米帳 地主方	享和2年正月	横町半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2461
古台諸事役米帳 只助	享和2年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2516
川内屋飯米古台分帳 只助	享和2年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2637
飛嶋新田古台出入飯米帳 只助	享和3年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2462
古台分諸事人足覚帳 諸役米帳	享和3年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2463
古台分左屋ゑひす屋飯米帳	文化2年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2599

地渡一件／一件記録

(飛島新田古台分地渡し一件) 犬山屋文左衛門	(文化3年カ) 正月～4月	半/一ツ綴・1冊	あ3458-3
今般古台願書順留(飛島新田古台分開発完成、神戸分左衛門に地所引渡しにつき) 後藤源藏扣	文化3年2月(文化2年～4年)	半/二ツ綴・1冊	あ3421

願書等

乍恐奉願上候御事(古台地主に被仰付候様願書扣) 犬山屋文左衛門→町方役所	(文化3年カ) 2月29日	半/一ツ綴・1冊	あ3457-9
乍恐奉願口上之覚(分家犬山屋神戸文左衛門を古台地主に被仰付候様願書写) 神戸弥左衛門→(犬山役所)	文化3年2月	半/一ツ綴・1冊	あ3452-11
乍恐奉願上候御事(飛島新田古台の地主に被仰付候様) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 2月	半/一ツ綴・1冊	あ3452-16
乍恐奉願上候御事(古台地主に被仰付候様願書下書) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 2月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-8
乍恐口上之覚(地代金返却につき) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 3月14日	半/綴・1綴	あ3457-12
乍恐以口上書御達申上候御事(飛島新田新開并古台分調達金延納願下書) 犬山屋文左衛門→町方役所	(文化3年カ) 3月	半/一ツ綴・1冊	あ3452-14
乍恐奉再願候御事(古台地主に被仰付候様願書下書) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 3月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-11
(古台分地主に被仰付候様願) 犬山屋文左衛門・代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 3月	半/一ツ綴・1冊	あ3465-1
覚(飛島新田古台分地代金・普請金・入用金書上) 犬山屋文左衛門、代・庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 4月	半/一ツ綴・1冊	あ3452-17

覚(金1500両にて古台80町歩地渡願) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 4月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-14
覚(金1600両にて古台80町歩御引揚願) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 4月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-15
覚(金1800両にて古台80町歩地渡願) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 4月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-16
覚(金2100両にて古台一円80町歩地渡願) 犬山屋文左衛門、代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 4月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-17
覚(金2100両にて古台一円80町歩地渡願) 文左衛門・只助→勘定所	(文化3年カ) 5月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-18
(金2600両にて古台一円80町歩地渡願) 犬山文左衛門・代庄屋只助→勘定所	(文化3年カ) 4月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-19
*覚(調達金5600両引当として飛島新田古台分80町引渡証文) 勘定所→元材木町犬山屋文左衛門	(文化3年カ) 9月	縦継紙・1通	い351
奉願口上之覚(古台地主に被仰付候様)	(文化3年)	半/一ツ綴・1冊	あ3452-10
乍恐奉再願候御事(古台分地主に被仰付候様願書下書)	(文化3年)	半/一ツ綴・1冊	あ3458-1
乍恐奉願上候御事(飛島新田古台の地主に被仰付候様)	丑12月	半/一ツ綴・1冊	あ3452-15
乍恐奉再願候御事(飛島新田古台分地渡につき) 後欠	丑12月	半紙・1枚	あ3457-6
乍恐奉願上候御事(古台検地終了につき調達金命令に対する返答猶予願) 飛島新田古台分庄屋只助→勘定所	丑12月	半紙・1枚	あ3457-7
*乍恐奉願上候御事(飛島新田新開調達金利足下付願) 犬山屋文左衛門→勘定所	丑12月	縦切紙・1通	い353
乍恐奉願上候口上之覚(新開築方切縮につき) 犬山屋新田庄屋・組頭→橋田長七郎	卯7月	半/二ツ綴・1冊	あ3457-5
乍恐奉願上候御事(御借上金利足返済願) 上林木町川方屋善右衛門ほか6名	卯11月	半/二ツ綴・1冊	あ3401-2
乍恐口上之覚(古台地主に被仰付候様願書下書) 地主代庄屋只助→勘定所	3月	半/一ツ綴・1冊	あ3457-10
(飛島新田地渡しにつき庄屋奥印の願書) →(犬山屋文左衛門) 2193-1~4は2193に結び付けられていた束	11月	切継紙・1通包紙付	あ2193-1
乍恐奉願上候御事(地渡につき) (飛島新田地主惣代) →山田貫一郎陣屋		半/一ツ綴・1冊	あ3454-5-2
*乍恐奉願上候御事(調達金上納のため年貢減免につき) 服岡・三福・重室・八島前新田地主惣代長尾治右衛門ほか3名→山田貫一郎陣屋			あ3454-5-3
乍恐御達申上候口上之覚(別紙の通り再願につき) 犬山屋文左衛門		半/綴・1綴	あ3457-13

入用

古台分御検地之節入用取替帳 名古屋分	文化2年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2504
古台分御検地ニ付入用仕払帳 新田分	文化2年12月	横長半/一ツ綴・か	あ2512

古台分御検地之節惣入用勘定帳	文化2年12月	ぶせ・1冊 横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2513
古台分御検地之節人足日役帳	文化2年12月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2514
古台分名古屋取かへ（再検地の節の買物）	寅	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2467

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

服岡新田下之郷／全体

*古台用（大宝前新田古台につき一件留）	（享和3年～4年）	半/ニツ綴・1綴	あ3417
*大宝新田築合より服岡新田築根迄御堤通法内改帳写 （服岡新田地渡しにつき） 前後欠	万延元年6月15日	横長半/一ツ綴・1冊 半紙・3枚	あ1768-3 あ3452-5

経営収支

*神戸外新田・下之郷勘定拾ヶ年書出シ帳 当古斎	天保5年11月28日（文政6年～天保7年）	横長半/一ツ綴・1冊	あ2061
-------------------------	-----------------------	------------	-------

掟米徴収／検見

下之郷検見（内題、下之郷替地分検見帳）	文化9年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2080
下之郷替地分検見帳	文化10年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2106
下之郷替地分検見帳	文化11年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2107
下之郷替地分検見帳	文政2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2108
下之郷検見帳	文政6年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2081
下之郷検見帳	文政7年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2082
下之郷検見帳	文政9年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2083
下之郷検見帳	文政10年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2084
下之郷検見帳	文政11年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2085
下之郷検見帳	文政12年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2086
服岡新田下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2087
服岡新田下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保3年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2088
服岡新田下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保4年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2089
下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保5年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2090

下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保6年10月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2091
下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保7年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2092
下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保8年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2093
下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保9年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2094
下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保10年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2095
下ノ郷検見帳	天保10年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2097
下之郷検見帳 犬山屋文左衛門	天保11年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2096
下ノ郷検見帳	天保11年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2098
下ノ郷検見帳	天保12年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2099
下之郷検見帳	天保13年11月	横長半/一ツ綴・か ぶせ・1冊	あ2100
下ノ郷検見帳	天保14年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2101
下ノ郷検見帳	天保15年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2102
下ノ郷北之方小検見案内帳	弘化2年10月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ1664
下ノ郷北之方小検見案内帳	弘化2年10月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ1665
下ノ郷検見帳	弘化2年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2103
服岡新田下之郷検見帳	明治元年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2137
服岡新田下之郷検見帳	明治2年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2138
服岡新田下之郷検見帳	明治3年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2139
服岡新田下之郷検見帳	明治4年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2140
服岡新田下之郷検見帳	明治5年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2141

米納配符帳

下之郷米納配符帳	天保7年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ1976
----------	---------	----------------	-------

服岡新田下之郷／掟米徴収／米納配符帳

下ノ郷米納配符帳	天保12年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1663
下之郷配符反五升宛外前ノ込仕立帳	嘉永2年12月上旬	横長半/一ツ綴・1冊	あ2109

経営費用

服岡新田下之郷盆前諸入用帳 下之郷庄屋唯助	文化13年7月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2116
服岡新田下之郷盆前諸入用覚 唯助、重右衛門、平吉	文化14年7月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2118
下ノ郷北ノ方中通り共入用金銀引帳	天保10年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2076
下之郷入用金請取通 下之郷庄屋辰右衛門	天保13年2月（～天保15年正月）	横半半/一ツ綴・1冊	あ3527
下ノ郷入用金請取之通 庄屋辰右衛門→神戸勘定場	弘化4年正月	横半半/下ゲ綴・1冊	あ3528
下ノ郷入用金請取之通 庄屋辰右衛門→神戸勘定場	弘化5年正月	横半半/下ゲ綴・1冊	あ3529
下之郷入用金請取通 庄屋辰右衛門→神戸勘定場	嘉永2年2月	横半半/下ゲ綴・1冊	あ3530

土地／替地・地分ケ

服岡新田ちノ割田畑掟帳	文化4年2月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2113
服岡新田之内ちノ割替地田畑掟取番附帳	文化4年4月晦日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2110
下之郷地分ケ再間帳	天保2年2月15日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2104
下之郷地分ケ再間帳	天保2年2月18日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2105
下之郷地分ケ絵図面		24.8×68.5・1鋪(包紙付)	あ2105-1

地直シほか

下ノ郷寄セ畑并地直シ帳	天保6年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1975
下ノ郷地直シ見分帳 下ノ郷庄屋	天保6年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1974
下ノ郷乗土跡埋方見分帳 あ1676～1681は1綴	天保9年2月28日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1676
下ノ郷乗土并畑寄せ見分帳	天保9年2月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1677

下ノ郷地直シニ付造用帳 林左衛門	天保9年2月	横長半(小)ノ一ツ綴・1冊	あ1679
下ノ郷地直シ見分帳	戊11月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ1678
下ノ郷地直帳	天保10年11月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ1680
下ノ郷寄畑普請ニ付当年限畑敷地麦作引覚 庄屋十右衛門	天保10年2月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2077-1
子年下ノ郷納米		横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2077-2
下之郷南之方畑并居屋敷畝歩附ケ出シ控帳	嘉永2年3月上旬	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2078
下ノ郷壺式寄畑仕用帳	天保11年2月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ1681

切坪附帳

服岡新田切坪附帳	天保4年10月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2124
服岡新田下ノ郷切坪附帳	天保7年10月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2125
服岡新田下ノ郷切坪附帳	天保8年霜月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2126
服岡新田下ノ郷切坪附帳	天保9年10月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2127
服岡新田下ノ郷切坪附帳	天保10年10月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2128
服岡新田下ノ郷切坪附帳	天保11年11月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2129
服岡新田下之郷切坪附帳	天保12年10月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2130
服岡新田下之郷切坪附帳	天保13年11月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2131
服岡新田下之郷切坪附帳	天保14年10月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2132
服岡新田下之郷切坪附帳	天保15年10月晦日	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2133
服岡新田下之郷切坪附帳	(弘化2年) 10月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2134
服岡新田下之郷切坪附帳	明治元年11月2日	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2135
服岡新田下之郷切坪附帳	明治2年11月2日	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2136

譲渡証文

質流相渡申田畑証文之事(写) 海西郡神戸新田讓主重右衛門・親類惣代服岡新田笹之郷重兵衛・名古屋元材木町地仲間神戸分左衛門代善治郎・服岡新田下之郷庄屋重右衛門・服岡新田古台郷庄屋口入唯助→笹屋惣助	天保4年8月	縦継紙・1通	い316
天保十二年七月廿四日新田会所出張江唯助持参致、服岡惣郷町放割并下用割合書式通		下げ札・1点	い355-1
地離相渡申田地証文之事(写) 右(服岡新田)地所讓渡主常助・右証人重助・地仲間惣代金七→吉田屋甚平	天保12年極月	縦継紙・1通	い355-2
(鍋蓋新田常左衛門服岡新田扣地売渡につき書状) 辰右衛門→旦那(神戸)	12月23日	横切継紙・1通	い355-3
(鍋蓋新田常左衛門服岡新田扣地売渡につき返書) 文左衛門→辰右衛門	12月24日	横切紙・1通	い355-4
(掬米書上)		横切紙・1通	い355-5
(耕地面積・代金書付)		小切紙・1通	い355-6
*覚(服岡新田地主書上) 新田庄屋只助→三村平六陣屋	丑7月11日	半/ニツ綴・1冊	い355-7

年貢・村入用負担／下之郷

下ノ郷免割勘定割符帳	文化4年5月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1675
古台郷免割諸入用割帳	文化9年12月24日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2515
*飛鳥新田服岡新田立合惣割懸り帳 只助、平吉	文化10年7月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2111
服岡新田下之郷諸下用割帳 只助、重右衛門、平吉	文化10年	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2112
服岡新田惣割懸り下ノ郷分割符帳 新田庄屋只助	文化11年7月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2114
服岡新田下之郷米并銀割覚帳 只助	文化11年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2115
*四郎兵衛新田下之郷下用御入用帳 只助	文化11年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2899
服岡新田下之郷免割帳 庄屋唯助、地中満平吉、重右衛門	文化13年3月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2117
服岡新田下之郷米銀割賦帳 唯助	文化14年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2119
申年諸下用免割帳 服岡新田下之郷	文政7年12月24日	半/ニツ綴・1冊	あ2892
亥年諸下用免割帳 惣地仲間立合→庄屋重右衛門	文政10年12月27日	半/ニツ綴・1冊	あ2893
下之郷諸下用免割帳 惣地仲間立合→庄屋衆中	文政11年12月26日	半/ニツ綴・1冊	あ2894
丑年諸下用免割帳写 惣地仲間立合→庄屋衆中	文政12年12月26日	半/ニツ綴・1冊	あ2895

午年免割諸下用割賦帳 下ノ郷 惣地仲間庄屋立合	天保5年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3353
未年免割諸下用割賦帳	天保6年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3354
下之郷免割諸下用割賦帳 写	天保7年12月	半/三ツ綴・1冊	あ3355-1
酉年免割諸下用割賦帳	天保8年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3356
戌年免割并諸下用割符帳	天保9年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3357
亥之歳免割并諸下用割符帳	天保10年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3358
子ノ年免割并ニ諸下用割符帳	天保11年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3360
丑年免割并ニ諸下用割符帳	天保12年12月	半/一ツ綴・1冊	あ3361
丑歳南方免割諸入用帳	天保12年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3359
寅之年免割并諸下用割賦帳	天保13年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3362
卯歳免割并諸入用帳	天保15年2月晦日	半/ニツ綴・1冊	あ3363
辰年免割諸入用帳	弘化元年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3364
巳年免割諸入用帳 神戸扣	弘化2年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3365
午年免割諸入用帳	弘化3年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3366
未年免割諸入用帳 神戸扣	弘化4年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3367
申年免割諸入用帳	嘉永元年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3368
亥年免割諸入用帳	嘉永4年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3369
子年免割并諸入用帳	嘉永5年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3370
丑年免割并諸入用帳	嘉永6年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3371
寅年免割并諸入用帳	安政元年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3372
(米高代銀書上)	(近世)	横長半/一ツ綴・1冊	あ1777-10

惣郷

服岡新田惣郷盆前下用凡割帳写 下之郷扣 下之郷庄屋重右衛門→旦那様	天保8年7月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2075
覚(立合用水入用割賦につき請求書) 烏ヶ池新田庄屋松吉保七→神戸新田庄屋衆中 あ2075-1~14はこより一束	天保8年12月	横切継紙・1通	あ2075-1
覚(残米送り状) 新田庄屋→地主勘定場	酉8月	横切継紙・1通	あ2075-2
覚(残米書付)		小切紙・1通	あ2075-3
覚(大名行列舟賃受取) 万場川船年寄小出林右衛門→神戸新田庄屋衆中	天保8年7月	切継紙(糊封)・1通	あ2075-4
(費用割賦計算書)		横切継紙・1通	あ2075-5
覚(六月分不足金・七月分内金書付) 新田庄屋→勘定場	酉7月	小切継紙・1通	あ2075-6
(小作料差引勘定)		横切継紙(薄墨)	あ2075-7

酉年月々入用金ノ高		・1通 横切継紙（薄墨） ・1通	あ2075-8
藤高入用		縦切紙・1通	あ2075-9
覚（上諸白代金差引勘定）→神戸庄屋衆中	（天保8年）6月15日	横切紙・1通	あ2075-10
覚（大名舟賃受取）万場川船年寄小出林右衛門→神戸新田庄屋衆中	（天保8年）12月8日	横切紙（糊封）・1通	あ2075-11
覚（金子下付につき有難頂戴）新田庄屋中→旦那様 あ2075-12～14は巻き込み一括	8月16日	縦紙・1通	あ2075-12
（添ヶ家につき書付）		小切紙・1通	あ2075-13
覚（住居家書上）新田庄屋中→旦那	8月15日	縦紙・1通	あ2075-14
服岡新田惣郷銀米下用勘定帳 当番和泉之郷	天保11年12月26日	横長美ノ一ツ綴・1冊	あ2123
服岡新田金下用盆前割賦帳 当番ハ笹之郷、割賦宿元和泉之郷	弘化4年7月8日	横長美ノ一ツ綴・1冊	あ2194

公儀との関係／庄屋進退一件

*（服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状）永田新九朗→犬山屋文左衛門		横切継紙・1通	い367-1-1
*（服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状下書）神戸文左衛門→永田	4月14日	横切継紙・1通	い367-1-2
*（服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状下書）		横切継紙・1通	い367-2
*（辰右衛門福岡新田下ノ郷庄屋任命状）	4月	横切継紙・1通	い367-3
*乍恐御願申上候（老年ニ付庄屋退役願）新田庄屋忠右衛門→旦那	丑12月	縦紙・1通	い367-4
下ノ郷庄屋進退一件		包紙・1点	い367-5-0
*乍恐奉願上候御事（庄屋後役辰右衛門任命ニ付）下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→三村平六陣屋	丑4月	縦紙・1通	い367-5-1
*乍恐御達奉申上候御事（庄屋後役辰右衛門任命ニ付）下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→佐屋陣屋	丑4月	縦紙・1通	い367-5-2
*（服岡新田下ノ郷庄屋進退ニ付書状）	4月5日	横切継紙・1通	い367-5-3
*乍恐奉願上候御事（重右衛門庄屋任命願）服岡新田下ノ郷地主犬山屋分左衛門→石川小兵衛陣屋 い367-5-3に包み込まれていた	文政4年6月	横切継紙・1通	い367-5-4
*乍恐奉願上候（庄屋進退ニ付）伊藤次郎右衛門→水島方陣屋 い367-5-3に包み込まれていた	戌2月	横切継紙・1通	い367-5-5
*乍恐以書付奉願上候御事（庄屋退役願ニ付）海西郡服岡新田下之郷庄屋重右衛門→地主	丑年2月	縦紙・1通	い367-6-1
*乍恐御達申上候御事（庄屋重右衛門後役辰右衛門任命ニ付）下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→佐屋陣屋	丑年4月	縦紙・1通	い367-6-2
*乍恐御達申上候御事（庄屋重右衛門後役辰右衛門任命ニ付）下ノ郷地主惣代犬山屋文左衛門→佐屋陣屋 い367-6-2に包み込まれていた	丑年4月	縦紙・1通	い367-6-3

願書

熟田前飛島五新田より佐屋御陣屋江歎願之写（御上納米減免願）飛島新田、服岡新田、重室新田、八島前新田各庄屋→竹腰代官役所/吉田助次郎陣屋	嘉永2年10月	半/二ツ綴・1冊	あ3444-1
※乍恐奉願上候（収納帳など一ヶ年分写取につき）服岡新田庄屋惣代唯助→三村平六陣屋	丑8月19日	堅紙・1通	あ3435-8
※乍恐御達奉申上候（検見元帳紛失につき）服岡新田下三郷庄屋辰右衛門→三村平六陣屋	丑8月	堅紙・1通	あ3435-7
※乍恐奉願上候（地主共手前に所持の収納帳・小前配符帳御下ヶ願）服岡新田庄屋惣代周助→三村平六陣屋		半/一ツ綴・1冊	あ3435-6
※乍恐奉歎願上候御事（調達金上納のため年貢減免につき）服岡・三福・重室・八島前新田地主惣代長尾治右衛門ほか3名→山田貫一郎陣屋	丑8月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-5-3

取立金・調達金

下之郷通表御取立金差引勘定帳 下之郷庄屋重右衛門	文政4年7月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1623
服岡新田下之郷より割り調達金ニ付諸事留メ帳	文政13年12月	半/二ツ綴・1冊	あ2122

その他

海西郡服岡新田之内下ノ郷田面御案内帳	嘉永2年閏4月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2079
服岡新田下之後道見分帳 庄屋金七	万延元年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2142
*覚（服岡新田名請人書上）右（神戸）新田庄屋唯助→三村平六陣屋	丑7月11日	半/二ツ綴・1冊	い355-7

小百姓

天保三辰年分村方貸米返済証文 三郷年番助蔵ほか5名→御庄屋衆中様	天保7年12月	半/二ツ綴・1冊	あ3427
村方貸米返済証文 三郷年番久兵衛、助蔵ほか3名	天保7年12月	半/二ツ綴・1冊	あ3428-1
天保七申年凶作ニ付古台郷惣百姓中貸米割り →御庄屋衆中	天保7年7月17日	半/二ツ綴・1冊	あ3428-2
凶年ニ付村方一同作喰凡取調帳 下之郷扣	天保8年7月19日	横長半/一ツ綴・1冊	あ1984
服岡新田小百姓江貸金割符帳 下之郷	天保9年3月（～12年7月）	横長半/一ツ綴・1冊	あ2120
服岡新田小百姓江貸シ金割符控 神戸	天保9年3月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2121

地租改正

地租改正地價取調帳 字下之郷 神戸控	明治10年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3648
(尾張国海西郡服岡新田地券一括) 愛知県→持主同郡神戸新田神戸分左衛門	明治11年6月29日	地券・2枚	い19-1
地券(尾張国海西郡服岡新田内反別3反3畝22歩) 愛知県→持主服岡新田大谷甚平	明治11年6月29日	地券・1枚	い19-2
地券(尾張国海西郡服岡新田内反別3反6畝24歩) 愛知県→持主同郡神戸新田神戸分左衛門	明治11年6月29日	地券・1枚	い19-3
(尾張国海西郡服岡新田地券一括) 愛知県→持主服岡新田大谷甚平	明治11年6月29日	地券・2枚	い19-4
(尾張国海西郡服岡新田地券一括) 愛知県→持主同郡神戸新田神戸分左衛門	明治11年6月29日	地券・2枚	い19-5
地券(尾張国海西郡服岡新田内田5畝20歩) 愛知県→持主服岡新田大谷甚平	明治11年6月29日	地券・1枚	い19-6
(尾張国海西郡服岡新田地券一括) 愛知県→持主同郡神戸新田神戸分左衛門	明治11年6月29日	地券・2枚	い19-8
地券(尾張国海西郡服岡新田内宅地5畝8歩) 愛知県→持主服岡新田大谷甚平	明治11年6月29日	地券・1枚	い19-9
(尾張国海西郡服岡新田地券一括) 愛知県→持主同郡神戸新田神戸分左衛門	明治11年6月29日	地券・5枚	い19-10
地券(尾張国海西郡服岡新田田1反歩) 愛知県・主事海東西郡長横田太郎→持主同郡神戸新田神戸分左衛門	明治17年10月20日	地券・1枚	い19-7

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

海部郡の新田／鍋蓋新田／諸帳簿

鍋蓋新田勘定帳	享保12年9月	美大/二ツ綴・かぶせ・1冊	あ3394
鍋蓋新田之内田畑式町七反七畝歩納米年々請取通 小川唯助	享保18年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ1683
鍋蓋新田江金子五ヶ年被下候割賦帳 神戸文左衛門・伊藤次郎左衛門	延享2年閏12月（～寛延元年12月）	横長半/一ツ綴・1冊	あ3514
鍋蓋新田検見帳	延享4年11月2日	横長美/三ツ綴・1冊	あ3346
海東郡鍋蓋新田高田畑書上帳 新田庄屋武兵衛	戌4月28日	半/二ツ綴・1冊	あ3442

願書・一件留

(善太新田・犬井村井組中との争論一件)		半/二ツ結・1綴	あ3477
證文書 式通(禿地・潮除井領場所井領米につき取り決め) 井組中惣代善太新田庄屋富八郎、大井村庄屋金兵衛→鍋蓋新田地主中・庄屋武兵衛	延享3年12月・延享4年5月	半/二ツ綴・1冊	あ3477-1
乍恐追々御願申上候御事(御切縮込場所洩潮痛分の年貢、犬井・善太両村不払いにつき訴状下書) 鍋蓋新田庄屋武兵衛→森村甚左衛門御役所	宝暦4年閏3月	半/一ツ綴・1冊	あ3477-2
上(御切縮込場所洩潮痛分の年貢、犬井・善太両村不払いにつき訴状扣) 鍋蓋新田庄屋武兵衛→森村甚左衛門様役所	宝暦4年閏2月	半/二ツ綴・1冊	あ3477-3
乍恐奉願上候御事(年貢定免願) 右(鍋蓋)新田地主元材木町文左衛門・右(鍋蓋新田地主)同断茶屋町次郎左衛門→森村甚左衛門	宝暦2年9月	縦継紙・1通	い285-97
乍恐奉願上候御事(浅潮痛米受取一件二付) 海東郡鍋蓋新田庄屋武兵衛→森村甚左衛門	宝暦2年12月	縦継紙・1通	い285-96
* 鍋蓋新田洩潮痛米追願、鍋蓋新田願、大宝前新田願、三通		綴の表紙・1点	あ3454-9
乍恐奉追願上候御事(犬井村善太新田より上納の洩潮痛米引渡願) 海東郡鍋蓋新田庄屋武兵衛→森村甚左衛門	宝暦3年5月	縦紙・1通	あ3454-9-1
乍恐奉願上候御事(鍋蓋新田年数開けにつき最初御定の通り下されたきにつき) 文左衛門・次郎左衛門→森村甚左衛門	宝暦3年5月	縦紙・2枚	あ3454-9-2
乍恐奉願上候御事(浅潮痛米一件裁許請状) 海東郡鍋蓋新田庄屋武兵衛→土岐市右衛門	戌3月	縦紙・1通	い285-98
乍恐奉願候御事(米穀送手形下付願) 元材木町文左衛門・茶屋町次郎左衛門→船番所	戌11月	縦紙・1通	い285-88
乍恐奉願候御事(米穀送手形下付願) 元材木町文左衛門・茶屋町次郎左衛門→船番所	戌11月	縦紙・1通	い285-89

田畑質取

覚（伊藤扣地一円質取証文） 左衛門	神戸孫右衛門→伊藤治郎	安永2年12月	縦紙・1通	い303
覚（借金返済日限二付） 門	神戸孫右衛門→伊藤治郎左衛門	安永2年12月	縦紙・1通	い308-1
覚（質物元利金請取二付） 藤次郎左衛門代理乎	神戸孫右衛門代嘉兵衛→伊藤次郎左衛門代理乎	安永2年正月21日	縦紙・1通	い308-2
覚（鍋蓋新田内所持地質取二付） 次郎左衛門	神戸孫右衛門→伊藤次郎左衛門	安永3年8月	縦紙・1通	い290-1
*覚（鍋蓋新田内所持地質入借用金返済二付） 宇六→伊藤次郎左衛門	神戸	安永5年3月	縦紙・1通	い290-2
覚（鍋蓋新田内所持地質取二付） 治郎左衛門	神戸孫右衛門→伊藤治郎左衛門	安永2年12月	縦紙・1通	い290-3
覚（田畑質取二付）	神戸孫右衛門→伊藤次郎左衛門	安永3年10月	縦紙・1通	い307
覚（田畑質取二付）	神戸孫右衛門→伊藤次郎左衛門	安永4年3月	縦紙・1通	い298
覚（田畑質取二付）	神戸孫右衛門→伊藤次郎左衛門	安永4年4月	縦紙・1通	い312
覚（田畑質取二付）	神戸孫右衛門→伊藤次郎左衛門	安永4年7月	縦紙・1通	い311
覚（田畑質取二付）	神戸宇六→伊藤次郎左衛門	安永4年10月	縦紙・1通	い313
覚（田畑質取り二付）	神戸宇六→伊藤次郎左衛門	安永4年12月	縦紙・1通	い309
田畑入質物借用申金子事（鍋蓋新田一円） 藤与市・地中間伊藤次郎右衛門・鍋蓋新田庄屋武兵衛→ 神戸分左衛門取次	金借主佐藤与市・地中間伊藤次郎右衛門・鍋蓋新田庄屋武兵衛→神戸分左衛門取次	安永4年閏12月	縦紙・1通	い299

潤屋新田

潤屋新田南野跡検地帳	天保10年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2569
------------	----------	------------	-------

鳥ヶ地新田

(尾張国海西郡鳥ヶ地新田地券一括) ヶ地新田大野正蔵	愛知県→持主鳥	明治11年6月27日～同21年2月13日	地券・7枚	い20-1
(尾張国海西郡鳥ヶ地新田地券一括) 郡六条新田佐藤泰助	愛知県→持主同	明治21年2月13日	地券・2枚	い20-2
(尾張国海西郡鳥ヶ地新田地券一括) ヶ地新田大野正蔵	愛知県→持主鳥	明治11年6月27日～同21年2月13日	地券・2枚	い20-3

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
(尾張国愛知郡前濱村荒田につき地券一括) 愛知 県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神 戸分左衛門・同西春日井郡土器野新田天野佐兵衛・同東 春日井郡味鋤原新田高木悦太郎・同名古屋区関鍛冶町菅 井東作・同区船入町見田七右衛門	明治16年11月16日	地券・37枚	い23-1
(尾張国愛知郡前濱村荒田につき地券一括) 愛知 県・主事愛知郡長高木延世→持主同国同郡千竈村山崎文 治(改名徳左衛門)・同前濱村加藤勝壽他11名	明治16年11月16日	地券・11枚	い23-2
(尾張国愛知郡前濱村荒田につき地券一括) 愛知 県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神 戸分左衛門	明治16年11月16日	地券・9枚	い23-3
(尾張国愛知郡前濱村荒田につき地券一括) 愛知 県・主事愛知郡長高木延世→持主同国同郡千竈村山崎文 治(改名徳左衛門)・同前濱村加藤勝壽他11名	明治16年11月16日	地券・4枚	い23-4
化物新田小作掬米取立帳 五名共有地	明治18年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2588
化物新田小作掬米取立帳 五名共有地	明治19年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2589
*紀左衛門・源兵衛・八左衛門・化物・上和泉新田水 害見舞覚 第八世分左衛門有年	明治22年9月11日	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2590
通称化物新田地價帳		半(罫紙)/一ツ 綴・1冊	あ3650

紀左衛門新田／諸帳簿等

豊田村紀左衛門新田掬麦請作証請求訴之書類	明治13年11月15日	半(罫紙)/一ツ 綴・1冊	あ3471-1
*紀左衛門・源兵衛・八左衛門・化物・上和泉新田水 害見舞覚 第八世分左衛門有年	明治22年9月11日	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2590
紀左衛門新田小作帳 神戸	明治39年12月(～大正 5年)	半(罫紙)/二ツ 綴・1冊	あ3656
(紀左衛門新田納米調書)	昭和2年	神戸用箋/封筒入・ 6枚	あ3656-1

地券

(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県→持主近江国 蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・4枚	い25-1
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県・主事愛知郡 長山崎徳左衛門代理郡書記高木延世→持主同国海西郡神 戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	縦紙・1通	い25-2
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県→持主近江国 蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・21枚	い25-3

愛知郡の新田／紀左衛門新田／地券

(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治19年2月20日	地券・2枚	い25-4
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県→持主近江国蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・2枚	い25-5
地券(尾張国愛知郡豊田村内畑2歩) 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治19年2月20日	地券・1枚	い25-6
地券(尾張国愛知郡豊田村内田5畝24歩) 愛知県→持主近江国蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・1枚	い25-7
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治19年2月20日～同21年2月21日	地券・3枚	い25-8
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県→持主近江国蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・18枚	い25-9
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治19年2月20日	地券・2枚	い25-10
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県→持主近江国蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・19枚	い25-11
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治19年2月20日	地券・2枚	い25-12
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県→持主近江国蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・4枚	い25-13
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治21年2月21日	地券・2枚	い25-14
(尾張国愛知郡豊田村地券一括) 愛知県→持主近江国蒲生郡八幡為心町岡田小八郎	明治11年5月20日	地券・4枚	い25-15

小作証書

地所請作証券(愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人小川伴右衛門・同村保証人渡辺市左衛門→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-1
地所請作証券(愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人安井定右衛門・同村保証人安井由右衛門→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-2
地所請作証券(愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人岡田喜兵衛・同村保証人岡田忠七→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-3
地所請作証券(愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人成田柳四郎・同村保証人成田幸左衛門→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-4
地所請作証券(愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人花井久四郎・同村保証人花井文三郎→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-5
地所請作証券(愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人鬼頭久三郎・同村保証人伊藤善吉→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-6
地所請作証券(愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人岡田勘三郎・同村保証人須原清左衛門→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-7

地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 須原清左衛門・同村保証人須原清四郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-8
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 花井文三郎・同村保証人花井久四郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-9
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 須原清左衛門・同村保証人岡田勘三郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-10
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 須原清四郎・同村保証人須原清五郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-11
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 北川悦三郎・同村保証人坂野栄七→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-12
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 阿部吉右衛門・同村保証人伊藤善吉→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-13
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 二村松右衛門・同村保証人大矢金蔵→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-14
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 早川喜三郎・同村保証人早川平三郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-15
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 早川平三郎・同村保証人早川喜三郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-16
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 宇佐美忠左衛門・同村保証人本部善右衛門→海西郡神戸 新田神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-17
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 坂野源三郎・同村保証人西川戸助→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-1-18
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 久野儀右衛門・同村保証人久野佐兵衛→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-2-1
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 蟹江栄三郎・同村保証人蟹江小兵衛→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-2-2
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 岡田忠七・同村保証人岡田喜兵衛→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-2-3
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 成田幸左衛門・同村保証人成田柳四郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-2-4
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 北川由三郎・同村保証人花井久四郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-2-5
地所請作証券（愛知郡豊田村分） 愛知郡豊田村請作人 岡田善右衛門・同村保証人蟹江角次郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	罫紙・1通	い1-3-1

愛知郡の新田／紀左衛門新田／小作証書

地所請作証券 (愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人 須原清右衛門・同村保証人岡田喜兵衛→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	縦紙・1通	い1-3-2
地所請作証券 (愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人 北川弥左衛門・同村保証人岡田勘三郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	縦紙・1通	い1-3-3
地所請作証券 (愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人 蟹江小兵衛・同村保証人蟹江栄三郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	縦紙・1通	い1-3-4
地所請作証券 (愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人 岡田喜右衛門・同村保証人岡田喜十郎→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	縦紙・1通	い1-3-5
地所請作証券 (愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人 蟹江角次郎・同村保証人岡田善右衛門→海西郡神戸新田 神戸分左衛門	明治13年11月	縦紙・1通	い1-3-6
地所請作証券 (愛知郡豊田村分) 愛知郡豊田村請作人 安井由右衛門・同村保証人安井定右衛門→海西郡神戸新田 神戸分左衛門		地券・2枚	い1-3-7

八左衛門新田／記録

(愛知郡星崎村地所取得一件綴)	明治11年～14年	綴・1綴	あ3471-2
愛知郡星崎村之内字屋敷割・南割・八右田・中割、共 有地關引ヲ以テ地分ケ取計神戸氏所有ニ当ル地所反 別明細書 西春日井郡土器野 (かわらけの) 新田天坐佐 兵衛、天坐俊造→神戸分左衛門	明治14年6月26日	半 (罫紙) /かぶ せ・1冊	あ3661
愛知郡星崎村八左衛門新田天野氏卜地分記事	明治14年6月26日	半/一ツ綴・1冊	あ3667
*紀左衛門・源兵衛・八左衛門・化物・上和泉新田水 害見舞覚 第八世分左衛門有年	明治22年9月11日	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2590

掬米徴収

小作掬米帳 永井銀太郎→神戸分左衛門、天野佐兵衛	明治11年4月15日	横長美大/一ツ綴・ 1冊	あ2581
愛知郡星崎村旧名八左衛門新田小作掬改正反別仕分ケ 帳	明治12年5月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2583
八左衛門新田掬米取立帳 天野作兵衛、神戸分左衛門	明治12年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2584
八左衛門新田掬米取立帳 天野作兵衛、神戸分左衛門	明治12年12月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2585
愛知郡星崎村旧名八左衛門新田小作掬米帳	明治12年	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2582
八左衛門新田検見帳 天野・神戸控	明治13年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2587
八左衛門新田掬米取立帳	明治14年11月	横長半/一ツ綴・1 冊	あ2586

地租改正

地租改正収獲地価帳（八左衛門新田カ）	明治11年4月	半/ニツ綴・かぶせ ・1冊	あ3664
一字屋敷割・四字中割・七字北堤脇地価仕出帳（八左衛門新田カ）		半/ニツ綴・かぶせ ・1冊	あ3665
（尾張国愛知郡星崎村地券一括） 愛知県・主事愛知郡長（郡長心得郡書記）高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治14年6月29日～同21年12月21日	地券・74枚	い24

千竈村／全体

愛知郡千竈村録 神戸分左衛門	明治13年2月（～明治34年7月26日）	半（罫紙）/一ツ綴・1冊	あ3655
----------------	----------------------	--------------	-------

取得

乍恐熟談済口證文奉差上候御事（水室新開築立敷地年貢米争論につき） 若宮神主水宝一学、戸部村庄屋鈴木慶十郎ほか1名、山崎村地主惣代山崎徳左衛門ほか1名→大御代官御役所	明治2年正月18日	半（罫紙）/一ツ綴・1冊	あ3469-1
（愛知郡千竈村地所賣渡証券写三通） 千竈村近藤官兵衛ら→神戸文左衛門ら	明治13年2月24日～3月4日	半（罫紙）/一ツ綴・1冊	あ3469-2
（愛知郡千竈村売渡地所書上） 藤井庄九衛門ら→海西郡神戸新田神戸分左衛門、春日井郡土器野新田天坐星佐兵衛	明治13年3月4日	半（罫紙）/一ツ綴・1冊	あ3469-3

地券

地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷3畝8歩） 愛知県→持主千竈村金原辰壽	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-1
地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷4畝22歩） 愛知県→持主千竈村鈴木八左衛門	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-2
地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷1畝10歩） 愛知県→持主同郡豊田村藤井庄右衛門	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-3
地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷6畝4歩） 愛知県→持主千竈村伴野理平	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-4
地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷4畝20歩） 愛知県→持主同郡熟田富江町濱村善右衛門	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-5
（尾張国愛知郡千竈村地券一括） 愛知県→持主同郡豊田村藤井菊三郎	明治11年5月26日	地券・2枚	い22-6
地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷3畝20歩） 愛知県→持主千竈村浪越千鈞	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-7
地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷3畝4歩） 愛知県→持主同郡豊田村藤井庄右衛門	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-8

愛知郡の新田／千竈村／地券

地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷1畝29歩） 県→持主同郡豊田村藤井要藏	愛知	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-9
地券（尾張国愛知郡千竈村内井路敷3畝15歩） 県→持主同郡豊田村藤井庄右衛門	愛知	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-10
地券（尾張国愛知郡千竈村内堤敷1反5畝2歩） 県→持主千竈村水野徳兵衛	愛知	明治11年5月26日	地券・1枚	い22-11

地番分割

地番分裂御書換願（写）		明治13年	半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3469-4
地番分割配付目録			半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3469-5
地番分割配付目録			半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3469-6
地番分割			半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3469-7
地番分割配付目録			半（罫紙）／一ツ綴・1冊	あ3469-8

その他

檀木江共有地小作米取立帳		明治31年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2013-1
檀木江田方土入仕様書（請負人鏡味慶十）	加藤勝寿	明治32年5月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2013-2

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

大高源兵衛新田／経営収支

大高新田仕簿米之帳（小作料収入の帳簿か）	享保6年正月（～延享2年）	横長美／一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2458
----------------------	---------------	----------------	-------

掬米徴収／検見帳

大高新田酉年検見帳	享保2年10月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2382
知多郡大高新田麦検見帳 小川唯助→中嶋半右衛門	享保3年5月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2385
戊年源兵衛新田（猪右衛門分取米勘定） 庄屋孫次郎→猪右衛門	享保3年12月	折紙・1通	あ2385-1
戊年源兵衛新田（武兵衛分取米勘定） 庄屋孫次郎→武兵衛	享保3年12月	折紙・1通	あ2385-2
源兵衛新田（取米勘定） 庄屋孫次郎→分左衛門 2385-1～3は2385に結びつけられていた東	享保3年12月	折紙・1通	あ2385-3
亥年源兵衛新田畑検見帳	享保4年4月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2386
亥年大高新田検見帳	享保4年9月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2388
大高新田検見帳、後半の部分は「享保5年4月子之年畑検見帳 大高新田」	享保5年9月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2389
子暮神戸文左衛門勘定		折紙・1通	あ2389-1
丑年畑検見帳 源兵衛新田 三人扣	享保6年5月	横長半／一ツ綴・1冊	あ1673
寅之年畑検見帳	享保7年4月18日	横長半／一ツ綴・1冊	あ1626
源兵衛新田検見帳	享保8年10月2日	横長半／一ツ綴・1冊	あ2390
卯年源兵衛新田配符 庄や孫次郎・源兵衛→文左衛門・伊右衛門・武兵衛	（享保8年）卯12月	横長美・1冊	あ2390-1
覚（寅冬普請金勘定） 大高村源兵衛→犬山や半右衛門	（享保8年）卯12月	折紙・1通	あ2390-2
辰之年大高新田畑検見帳	享保9年閏4月7日	横長半／一ツ綴・1冊	あ2391
早方検見之写帳 惣助	享保12年8月	横長半／一ツ綴・1冊	あ1660
大高新田早稲検見帳	享保13年8月25日	横長半／一ツ綴・1冊	あ2392
酉年大高新田麦検見帳	享保14年5月2日	横長半／一ツ綴・1冊	あ2394

大高源兵衛新田／掟米徴収／検見帳

大高新田早稲検見帳	享保14年9月朔日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2393
酉之年大高新田検見帳	享保14年閏9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2395
大高新田早稲検見帳	享保15年8月16日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2396
大高新田検見帳 名古屋分	享保15年9月26日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2397
大高新田検見帳	享保16年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2398
大高新田検見帳	享保17年9月16日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2400
大高新田畑検見帳	享保18年4月22日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2402
大高新田早稲検見帳	享保18年8月21日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2403
丑之年大高新田検見帳	享保18年9月26日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2401
大高新田寅年麦検見帳	享保19年4月晦日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2405
大高新田早稲検見帳	享保19年9月29日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2406
寅之年大高新田検見帳	享保19年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2404
大高新田早稲検見帳	享保20年8月6日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2407
大高新田田畑検見帳 名古屋方	元文4年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2412
大高源兵衛新田田畑検見牒 名古屋方(米金割符目録、申年物成勘定扣)	元文5年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2413
大高新田麦検見帳 半右衛門・五兵衛	寛保元年4月19日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2416
大高新田中田検見帳	寛保元年9月12日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2417
大高新田検見帳 名古屋方	寛保元年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2414
大高新田検見帳 名古屋方	寛保2年10月5日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2415
源兵衛新田晩稲検見帳	寛保3年9月8日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2418
(検見帳断簡)	亥	折紙・2通	あ2418-1
大高新田中稲検見帳	延享元年9月6日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2419
源兵衛新田検見帳	明和9年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2420

卯年大高新田早稲見立帳	9月6日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2421
亥之年早方検見覚		横長半/一ツ綴・1冊	あ1661
(検見帳断簡)		折紙・2通	あ2399

米納帳

大高新田巳年検見帳	正徳3年9月	横長半/不明・1冊	あ2381
午之年大高新田納米并割賦帳	正徳4年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2364
未之年大高新田検見米積帳 半右衛門→大高新田惣助	正徳5年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2362
申之年大高新田検見米納帳 半右衛門→大高新田惣助	享保元年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2195
覚 (大高新田分未進米書付)	申12月	横切紙・1通	あ2195-1
申之年大高新田検見米積帳	享保元年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2363
大高新田酉歳検見帳 半右衛門→惣助	享保2年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2383
戌之年大高新田検見帳 中嶋半右衛門→知多郡源兵衛新田惣助	享保3年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2384
亥之年大高新田検見帳 中嶋半右衛門→大高新田小屋惣助	享保4年9月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2387
子年大高新田検見米納帳 中嶋半右衛門→源兵衛新田惣助	享保5年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2197
丑之年大高新田米納帳	享保6年9月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2426
丑年大高新田検見米納帳	享保6年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2198
卯年大高新田検見米納帳	享保8年10月 (12月27日)	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2199
大高新田検見納米割賦帳 半右衛門	享保9年12月29日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2366
覚 (取米勘定) 源兵衛新田庄屋孫次郎→文左衛門、伊右衛門、武兵衛 あ2366-1・2は一綴	(享保9年) 辰12月23日	折紙・1通	あ2366-1
(預り金差引勘定) 山口源兵衛→神戸文左衛門	(享保9年) 辰12月24日	折紙・1通	あ2366-2
源兵衛新田早稲方反畝改付并検見畝引付 あ2366-1~3はあ2366に結び付けられていた東		横長半・1冊	あ2366-3
巳之年大高新田米納帳 半右衛門→惣助	享保10年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2427
午年大高新田米納帳 半右衛門→惣助	享保11年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2428
大高新田検見米納帳 名古屋方 惣助	享保12年10月(未極月)	横長半/一ツ綴・1冊	あ2200

大高新田申米納帳 中嶋半右衛門→惣助	享保13年11月 (～極月17日)	横長半/一ツ綴・1冊	あ2429
大高新田検見米納帳 源兵衛新田名古屋方 半右衛門→惣助	享保14年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2201
大高新田検見米納帳 半右衛門→惣助 結び付けられているもの一束あり (あ2202-1・2)	享保15年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2202
* 戊年源兵衛新田御年貢勘定帳 源兵衛新田庄屋孫次郎・源兵衛→文左衛門・武兵衛・猪右衛門 2202-1・2は一束	享保15年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2202-1
覚 (拝借金返済につき) 源兵衛新田庄や佐藤孫次郎・山口源兵衛→神戸文左衛門	(享保15) 戊12月3日	横切継紙・1通	あ2202-2
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門	享保16年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2203
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣助	享保16年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2204
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→源兵衛新田惣助 (石高書付)	享保17年9月	横長半/一ツ綴・1冊 小切紙・1通	あ2207 あ2207-1
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣助	享保17年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2206
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣助	享保18年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2208
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣助	享保18年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2209
大高新田検見米納帳 名古屋方 宗助	享保19年10月 (12月28日)	横長半/一ツ綴・1冊	あ2210
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣助	享保20年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2211
大高新田検見帳 名古屋方 半右衛門→惣兵衛	元文元年9月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2408
大高新田検見帳 名古屋方 半右衛門→惣兵衛	元文2年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2409
大高新田検見帳 名古屋方 半右衛門→惣兵衛	元文2年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2410
大高新田検見帳 名古屋方 半右衛門→惣兵衛	元文3年10月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2411
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣兵衛	元文4年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2212
大高新田田畑検見米納帳扣 地方改本扣	元文5年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2214
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣兵衛	元文5年11月	横長半/一ツ綴・角かぶせ・1冊	あ2213
大高新田検見米納帳 半右衛門・五兵衛→大高新田惣兵衛	寛保元年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2216
大高新田検見米納帳 名護屋方 半右衛門・五兵衛→惣兵衛	寛保元年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2215

大高新田検見米納帳ひかへ 半右衛門・五兵衛→大高新田惣兵衛	寛保2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2217
大高新田検見米納帳 五兵衛・半右衛門→大高新田惣兵衛	寛保2年11月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2218
大高新田検見米納帳 五兵衛・半右衛門→大高新田惣兵衛	寛保3年10月15日	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2219
大高新田検見米納帳ひかへ	寛保3年10月15日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2220
大高新田検見米納帳下書ひかへ 五兵衛・半右衛門→惣兵衛	延享2年10月15日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2222
大高新田検見米納帳 五兵衛・半右衛門→惣兵衛	延享2年10月23日	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2221
源兵衛新田検見米納帳下書ひかへ 五兵衛・半右衛門→惣兵衛 (検見書付)	延享3年10月5日	横長半/一ツ綴・1冊 半/一ツ綴・1冊	あ2223 あ2223-1
大高新田検見米納帳 五兵衛・半右衛門→惣兵衛	延享3年10月6日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2224
大高新田検見米納帳 名古屋方 半右衛門→惣兵衛	延享4年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2225
卯年源兵衛新田御年貢 右新田庄屋長右衛門・地主源兵衛→分左衛門	延享4年極月	折紙・1通	あ2225-1
卯年源兵衛新田御年貢 右新田庄屋長右衛門・右地主源兵衛→雲心寺御扣	延享2年極月	折紙・1通	あ2225-2
卯年源兵衛新田御年貢 右新田庄屋長右衛門・地主源兵衛→伊右衛門	延享2年極月	折紙・1通	あ2225-3
大高新田検見米納帳	寛延元年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2226
大高源兵衛新田検見米納帳	寛延2年10月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2227
覚(小作納、取替差引勘定納入通知) 源兵衛新田庄屋長右衛門・地主源兵衛→神戸内兵治	寛延2年極月	折紙・1通	あ2227-1
巳年源兵衛新田(御年貢書付) 庄屋長右衛門・地主源兵衛→分左衛門	極月	折紙・1通	あ2227-2
巳年源兵衛新田(御年貢書付) 庄屋長右衛門・地主源兵衛→伊右衛門	極月	折紙・1通	あ2227-3
大高源兵衛新田検見米納帳	寛延3年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2228
大高源兵衛新田検見米納帳	寛延4年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2229
大高源兵衛新田検見米納帳扣	宝暦2年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2230
大高源兵衛新田検見米納帳	宝暦2年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2231
大高源兵衛新田検見米納帳	宝暦3年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2232

大高源兵衛新田／掟米徴収／米納帳

大高源兵衛新田検見米納帳		宝暦4年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2233
大高源兵衛新田検見米納帳		宝暦5年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2234
大高源兵衛新田検見米納帳		宝暦6年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2235
大高源兵衛新田検見米納帳		宝暦6年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2236
大高源兵衛新田検見米納帳		宝暦7年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2237
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	宝暦8年11月 (12月)	横長半/一ツ綴・1冊	あ2238
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	宝暦9年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2239
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	宝暦10年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2240
大高源兵衛新田検見米納帳	後ニ改ひかへ 名護屋方	宝暦11年10月 (12月)	横長半/一ツ綴・1冊	あ2242
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	宝暦11年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2241
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	宝暦12年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2243
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	宝暦13年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2244
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	明和元年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2245
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	明和2年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2246
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	明和3年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2299
戊年源兵衛新田 (取米書付) 殿御扣	元ノ源兵衛→文左衛門	明和3年極月	折紙・1通	あ2299-1
覚 (出米差引代金送り状) 兵衛	大高山口源兵衛→河合嘉兵衛	明和3年極月	折紙・1通	あ2299-2
戊年源兵衛新田 (取米書付) 殿御扣	元ノ源兵衛→伊右衛門	明和3年極月	折紙・1通	あ2299-3
覚 (出金諸引残金渡しにつき)	大高村山口源兵衛→河合嘉兵衛	明和4年極月	折紙・1通	あ2299-4
亥年源兵衛新田 (取米代金書付)	元ノ源兵衛→伊右衛門	明和4年極月	折紙・1通	あ2299-5
亥年源兵衛新田 (取米代金書付)	元ノ源兵衛→文左衛門	明和4年極月	折紙・1通	あ2299-6
亥年免定写シ 百姓	水清左衛門→源兵衛新田庄屋・組頭・惣百姓	明和4年10月	堅継紙・1通	あ2299-7
大高源兵衛新田検見米納帳	名護屋方	明和5年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2247

大高源兵衛新田検見米納帳 名古屋方	明和6年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2248
(文左衛門分取米書付)		折紙・1通	あ2248-1
覚(御年貢出米代金書付) 山口源兵衛→河合嘉兵衛	明和6年極月	折紙・1通	あ2248-2
丑年源兵衛新田(取米書付) 元ノ源兵衛→文左衛門	丑極月	折紙・1通	あ2248-3
丑年源兵衛新田(取米書付) 元ノ源兵衛→伊右衛門		折紙・1通	あ2248-4
大高新田検見米納帳	明和8年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2249
大高源兵衛新田検見米納帳 名護屋方	明和9年11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2250
源兵衛新田検見納米帳(儀兵衛・源蔵立合諸取勘定)	文化元年12月(丑正月24日)	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2251
源兵衛新田納米勘定帳	文化10年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2370
源兵衛新田検見納米勘定帳(仲間勘定割賦を含む)	文化11年12月(～亥5月26日)	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2371
覚(頼母子金残金請取書) 清兵衛→神戸文左衛門	亥5月26日	切紙・1通	あ2371-1
源兵衛新田検見米付帳	寅11月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2196
(愛知郡源兵衛新田申年免定写) 福助左衛門→源兵衛新田庄屋・組頭・百姓	明和元年11月	縦継紙・1通	あ2196-1

仲間検見

大高源兵衛新田仲満検見引得帳	寛延元年10月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2438
丑之年仲満立合検見帳	(近世)	横長半/一ツ綴・1冊	あ1666

近代

愛知郡源兵衛新田之内反別地價并掬米取調帳 山口源兵衛	明治10年10月	横長美大/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2459
----------------------------	----------	-----------------	-------

経費費用／入用金銀帳

大高新田入用金銀帳	宝永4年5月(～享保2年)	横長美/一ツ綴・1冊	あ2430
-----------	---------------	------------	-------

小買物帳

大高新田小家入用帳	正徳元年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2379
-----------	--------	------------	-------

大高源兵衛新田／経費費用／小買物帳

大高新田小買物帳	宝永6年正月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2360
請取申金子之事 (新田諸色入用懸り金) 山口源兵衛→神戸分左衛門 2360-1・2は2360に結び付けられた束	宝永6年11月晦日	縦紙・1通	あ2360-1
請取申新田物成代事 大高村源兵衛→神戸分左衛門	宝永6年12月28日	縦紙・1通	あ2360-2
大高新田小買物帳	宝永7年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2361
請取申金子之事 (去寅年新田普請入用割符金、手作分物成代金) 大高村山口源兵衛→神戸分左衛門	正徳元年7月	縦紙・1通	あ2361-1
請取申金子之事 (新田諸色入用・普請御用代請取) 大高村山口源兵衛→名古屋材木町神戸分左衛門	正徳元年7月4日	縦紙・1通	あ2361-2
請取申金子之事 (寅年物成代金銀請取) 大高村山口源兵衛→材木町神戸分左衛門	正徳元年7月4日	縦紙・1通	あ2361-3
①覚 (取米書付)、②入用之覚、③寅とし物成指引之覚 ①源兵衛	①6月20日	綴・1綴 (3通)	あ2361-4
小家普請諸入用覚帳 大高新田惣助	享保19年2月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1628

その他

卯年源兵衛へ渡し金請取手形		包紙・1点	い356-8-0
覚 (普請入用金請取二付) 大高村源兵衛→名古屋分左衛門 後欠	正徳元年12月	横切継紙・1通	い356-8-1
請取申金銀之事 (卯年新田入用・普請方日用代金請取二付) 大高村源兵衛→名古屋材木町神戸分左衛門	正徳2年7月4日	縦紙・1通	い356-8-2
覚 (掛り金入用請求につき) 大高村山口源兵衛→神戸分左衛門	卯12月29日	縦紙・1通	い356-8-3
新田諸入用當秋両度大風雨之節破損所日用代并井領米代金入用帳 大高村山口源兵衛	正徳4年12月	半/二ツ結・1冊	あ2457
午之年大高新田入用帳	正徳4年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2253
*大宝大高新田小入用帳	享保2年正月 (~享保6年)	横長美/一ツ綴・1冊	あ1541
大高新田辰之盆前入用割賦帳 名古屋三人扣	元文元年7月11日	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2359
源兵衛新田落伏替并正月七日十月迄之入用帳 源兵衛	享保元年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2380
覚 (米代金預りにつき) 只四郎・源兵衛新田庄屋孫次郎→半右衛門	丑12月24日	横切継紙・1通	あ2205

年貢計算

戌年源兵衛新田 (御年貢出米) (武兵衛・伊右衛門・文左衛門分) 庄屋孫次郎・大高源兵衛	享保4年2月	横長美大/一ツ綴・	あ2453
--	--------	-----------	-------

巳年源兵衛新田配符 大高村源兵衛・新田庄や孫次郎→ 文左衛門・伊右衛門・武兵衛	享保10年12月	横長美／一ツ綴・1冊	あ2257
酉年源兵衛新田御年貢勘定帳 大高村唯四郎・右新田庄 屋孫次郎→文左衛門	享保14年12月	横長美大／一ツ綴・1冊	あ2307
戌年源兵衛新田御年貢勘定帳 庄屋孫次郎・源兵衛→文 左衛門・武兵衛・猪右衛門	享保15年12月	横長美／一ツ綴・1冊	あ2202-1
子年源兵衛新田御年貢勘定帳 庄屋佐藤孫次郎・山口唯 四郎→中嶋半左衛門	子12月	横長美大／一ツ綴・1冊	あ2349
寅之年源兵衛新田御年貢書出シ帳 孫次郎・只四郎→半 右衛門	享保19年極月	横長美大／一ツ綴・1冊	あ2444
卯年源兵衛新田御扣勘定帳 源兵衛新田庄屋孫次郎・只 四郎→武兵衛・伊右衛門・文左衛門	享保20年極月21日	横長美／一ツ綴・1冊	あ2445
丑年源兵衛新田御扣之分勘定帳 源兵衛新田庄屋孫次 郎・只四郎	丑12月	横長美大／一ツ綴・1冊	あ1215
(源兵衛新田御年貢出シ帳) 新田庄屋孫次郎・源兵衛	元文3年	横長美大／一ツ綴・1冊	あ2448
未年源兵衛新田(年貢書出シ帳) 源兵衛・源兵衛新田 庄屋長右衛門→分左衛門	元文4年極月	横長美大／一ツ綴・1冊	あ2449
(神戸文左衛門・武兵衛・猪右衛門取米勘定) 源兵 衛新田庄屋孫次郎	亥12月	折紙・3通=1綴	あ1760-1
(雲心寺・伊右衛門・分左衛門分) 庄屋長右衛門・源 兵衛→五兵衛	丑12月	折紙・4通=1綴	あ1760-2
(伊右衛門・文左衛門分取米勘定帳面写) 源兵衛新田 庄屋与茂七→神戸文左衛門	子正月	横長美／一ツ綴・1冊	あ1760-3
(伊右衛門・文左衛門分取米勘定) 源兵衛新田庄屋利 右衛門→神戸文左衛門	戌2月	横長美／一ツ綴・1冊	あ1760-4
(伊右衛門・文左衛門、取米勘定代金請取) 源兵衛 新田庄屋与茂七→神戸文左衛門	文化元年12月	横長美／一ツ綴・1冊	あ1760-5
覚(伊右衛門・分左衛門分取米勘定差引代金送り状) 大高村山口源兵衛→河合嘉兵衛	未12月	折紙・1通	あ1760-6
(未年源兵衛新田取米書付) 元ノ源兵衛→分左衛門	未極月	折紙・1通	あ1760-7
(未年源兵衛新田取米書付) 元ノ源兵衛→伊右衛門	未極月	折紙・1通	あ1760-8
(午年源兵衛新田取米書付) 元ノ源兵衛→分左衛門殿 御扣	午極月	折紙・1通	あ1760-9
覚(伊右衛門・分左衛門分取米勘定書付) 大高山口 源兵衛→河合嘉兵衛	午極月	折紙・1通	あ1760-10
寅年源兵衛新田(取米書付) 庄屋四郎右衛門・元ノ源 兵衛→伊右衛門	寅極月	折紙・1通	あ2308-1
寅年源兵衛新田(取米書付) 庄屋四郎右衛門・元ノ源 兵衛→文左衛門	寅極月	折紙・1通	あ2308-2
覚(御年貢出米・小作納差引勘定) 大高村山口源兵 衛→河合嘉兵衛	寅12月	折紙・1通	あ2352-1
(新田割符勘定につき書状) 山口源兵衛→川合嘉兵衛 2352-3以下を包む	12月22日	横切継紙・1通	あ2352-2
覚(石高名前書付)		折紙・1通	あ2352-3

大高源兵衛新田／年貢計算／

(伊右衛門分取米勘定)			折紙・1通	あ2352-4
寅年源兵衛新田 (取米勘定) 元ノ源兵衛→文左衛門	寅極月		折紙・1通	あ2352-5
寅年源兵衛新田 (取米勘定) 元ノ源兵衛→伊右衛門	寅極月		折紙・1通	あ2352-6
辰年源兵衛新田御扣分 新田庄屋孫次郎・源兵衛→武兵衛・伊右衛門・分左衛門			横長美大/一ツ綴・1冊	あ2447
巳年源兵衛新田御扣分 新田庄屋孫次郎・源兵衛			横長美大/一ツ綴・1冊	あ2446
申年源兵衛新田 (御年貢出米) 山口源兵衛・山口長右衛門→中嶋半右衛門	申12月		折紙・1通	あ2450-1
申年源兵衛新田配符 新田庄屋長右衛門・源兵衛→分左衛門	申12月		折紙・1通	あ2450-2
申年源兵衛新田配符 新田庄屋長右衛門・源兵衛→伊右衛門	申12月		折紙・1通	あ2450-3
申年源兵衛新田配符 新田庄屋長右衛門・源兵衛→雲心寺	申12月		折紙・1通	あ2450-4
(源兵衛新田新田配符) 庄屋孫次郎→武兵衛	午12月		折紙・1通	あ3646-1
(源兵衛新田新田配符) 庄屋孫次郎→伊右衛門	午12月		折紙・1通	あ3646-2
(源兵衛新田新田配符) 庄屋孫次郎→文左衛門	午年12月		折紙・1通	あ3646-3
覚 (取米代金割符につき) 孫治郎 (源兵衛新田庄屋) →中嶋半右衛門	12月21日		横切継紙・1通	あ3646-4
酉年源兵衛新田御年貢出米 (不足米代御渡可被下につき) 庄屋長右衛門・源兵衛→半右衛門	酉12月22日		横折紙・1通	あ2451-1
酉年源兵衛新田 (配符) 長右衛門→雲心寺様御扣	酉極月		折紙・1通	あ2451-2
酉年源兵衛新田 (配符) 長右衛門→伊右衛門殿御扣	酉極月		折紙・1通	あ2451-3
酉年源兵衛新田 (配符) 長右衛門→分左衛門殿御扣	酉極月		折紙・1通	あ2451-4
戌年源兵衛新田 (配符) (雲心寺・伊右衛門・文左衛門・三カ所分) 長右衛門・源兵衛	戌12月		横長美大/一ツ綴・	あ2452
亥年源兵衛新田 (取米勘定) 地主源兵衛・庄屋長右衛門→分左衛門	亥極月		折紙・1通	あ2455-1
亥年源兵衛新田 (取米勘定) 地主源兵衛・庄屋長右衛門→雲心寺御扣			折紙・1通	あ2455-2
亥年源兵衛新田 (取米勘定) 地主源兵衛・庄屋長右衛門→伊右衛門			折紙・1通	あ2455-3
亥年源兵衛新田御年貢出米 (雲心寺・伊右衛門・分左衛門三人分) 地主源兵衛・庄屋長右衛門→分左衛門	亥極月		折紙・1通	あ2455-4
亥年源兵衛新田御年貢書出シ →文左衛門 新田庄屋孫次郎・只四郎	辰12月		横長美大/一ツ綴・1冊	あ2456

村入用／入用割符帳

未年新田諸入用割符帳 大高村山口源兵衛	正徳5年極月		横長半/一ツ綴・1冊	あ2254
戌之年源兵衛新田入米帳 (入用帳) 庄屋孫次郎・地	享保3年12月6日		横長半/一ツ綴・1冊	あ2356

主源兵衛・惣助・荒井松右衛門・牛毛定右衛門・込高甚右衛門			冊	
辰年源兵衛新田諸入用割符帳 庄屋孫次郎・地主源兵衛(6名略)・大高村立合5名	享保9年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2255	
巳年源兵衛新田入用割符帳 庄屋孫次郎・地主源兵衛(4名略)・大高村立合5名・大高村庄屋次衛衛・地主左近	享保10年12月	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2256	
午之年源兵衛新田入用割符帳 庄屋孫治郎・源兵衛(3名略)・大高村庄や次兵衛・大高村立合5名、他2名	享保11年12月	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2258	
源兵衛新田諸入用割符帳 庄屋孫次郎・源兵衛、他11名	享保12年12月11日	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2259	
源兵衛新田(取米書付) 新田庄屋孫次郎→文左衛門	享保12年12月27日	折紙・1通	あ2259-1	
源兵衛新田(取米書付) 新田庄屋孫次郎→武兵衛	享保12年12月	折紙・1通	あ2259-2	
源兵衛新田(取米書付) 新田庄屋孫次郎→伊右衛門	享保12年12月	折紙・1通	あ2259-3	
源兵衛新田諸入用割符帳 庄屋孫次郎・源兵衛・文左衛門代惣助、他10名略	享保13年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2260	
酉年源兵衛新田入用割符帳 庄屋孫次郎・源兵衛	享保14年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2262	
戌年源兵衛新田入用割符帳 庄屋孫次郎・源兵衛	享保15年極月16日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2263	
亥六月迄源兵衛新田入用割帳 孫次郎・源兵衛	享保16年6月晦日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2264	
亥年源兵衛新田入用割符帳 庄屋孫次郎・只四郎	享保16年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2265	
子年源兵衛新田諸入用割帳 庄屋孫次郎・只四郎	享保17年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2266	
丑年源兵衛新田諸入用割符帳 庄屋孫次郎・只四郎	享保18年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2267	
卯年源兵衛新田諸入用割帳 庄屋孫次郎・只四郎	享保20年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2268	
辰暮源兵衛新田諸入用割符帳 孫次郎・源兵衛	元文元年12月22日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2269	
巳年源兵衛新田諸入用割賦之帳 新田庄屋孫次郎・源兵衛	元文2年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2270	
午之年源兵衛新田諸入用割符帳 源兵衛新田庄屋孫次郎・地主源兵衛	元文3年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2271	
未年源兵衛新田諸入用割符帳 源兵衛新田庄屋長右衛門・地主源兵衛	元文4年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2272	
申年源兵衛新田諸入用割符帳 源兵衛新田庄屋長右衛門・地主源兵衛	元文5年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2273	
酉年源兵衛新田諸入用割符帳 長右衛門・源兵衛	寛保元年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2274	
戌年源兵衛新田諸入用割符帳 新田庄屋長右衛門・源兵衛	寛保2年極月18日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2275	
亥年源兵衛新田諸入用割賦帳 地主源兵衛・新田庄屋長右衛門	寛保3年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2276	

大高源兵衛新田／村入用／入用割符帳

丑年源兵衛新田諸入用割賦帳 源兵衛・新田庄屋長右衛門	延享2年閏極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2277
寅年源兵衛新田諸入用割符帳 源兵衛・庄屋長右衛門・郡平・庄八・惣兵衛・神戸代五兵衛・掃部	延享3年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2278
卯年源兵衛新田諸入用割符小帳 源兵衛・長右衛門・郡平・惣兵衛・掃部・神戸代嘉兵衛・山田傳十郎	延享4年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2279
辰年源兵衛新田諸入用割符小帳	寛延元年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2280
巳年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋長右衛門・地主源兵衛・郡平・儀兵衛・神戸代兵治	寛延2年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2281
午年源兵衛新田諸入用割賦小帳 源兵衛・郡平・儀兵衛・神戸代兵治・松左衛門・高津郡右衛門	寛延3年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2282
未年源兵衛新田諸入用小帳 源兵衛・郡平・儀兵衛・松右衛門・神戸兵次郎・高津郡右衛門	宝暦元年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2283
申年源兵衛新田諸入用割賦小帳 新田庄屋四郎右衛門・地主源兵衛・立合郡平・儀兵衛・松右衛門・定右衛門・若狭・神戸代兵治郎・寺屋伝内	宝暦2年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2284
酉年源兵衛新田諸入用割賦小帳 新田庄屋四郎右衛門・地主源兵衛・立合郡平・儀兵衛・松右衛門・神戸代兵治郎・高津郡右衛門	宝暦3年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2285
戌年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四郎右衛門・元源兵衛・立合郡平・儀兵衛・松右衛門・定右衛門・若狭・兵治郎・高津郡右衛門	宝暦4年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2286
亥年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四郎右衛門・地主源兵衛・立合郡平・儀兵衛・松右衛門・神戸代兵治郎・寺尾傳内	宝暦5年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2287
子年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四郎右衛門・元源兵衛・立合郡平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・寺尾傳内	宝暦6年極月	横長美／一ツ綴・1冊	あ2288
丑年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四郎右衛門・元源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・寺尾傳内	宝暦7年極月	横長半(小)／一ツ綴・1冊	あ2289
寅年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四郎右衛門・元源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・寺尾傳内	宝暦8年極月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2290
卯年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四郎右衛門・元源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・寺尾傳内	宝暦9年極月	横長半(小)／一ツ綴・1冊	あ2291
覚(源兵新田入用書付)	元文元年7月9日	折紙・1通包紙付	あ2291-1
卯年源兵衛新田(出米差引勘定につき) 庄屋四郎右衛門・元源兵衛→神戸御代嘉兵衛	卯極月	折紙・1通	あ2291-2
卯年源兵衛新田(取米書付) 庄や四郎右衛門・元源兵衛→伊右衛門		折紙・1通	あ2291-3
卯年源兵衛新田(取米書付) 庄屋四郎右衛門・元源兵衛→文左衛門	卯極月	折紙・1通	あ2291-4
辰年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四郎右衛門・元源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・寺尾傳内	宝暦10年極月	横長半(小)／一ツ綴・1冊	あ2292
巳年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四良右衛門・元源兵衛	宝暦11年極月	横長半(小)／一	あ2293

源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・太田甚蔵		ツ綴・1冊	
午年源兵衛新田諸入用割賦小帳 庄屋四良右衛門・元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・寺尾直七郎	宝暦12年極月	横長半(小)ノ一ツ綴・1冊	あ2294
未年源兵衛新田諸入用小帳 元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・太田甚蔵	宝暦13年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2295
申年源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・寺尾傳内	明和元年閏極月	横長半(小)ノ一ツ綴・1冊	あ2296
酉歳源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸嘉兵衛・早川喜平次	明和2年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2297
覚(出米代金送り状) 大高元ノ山口源兵衛→河合嘉兵衛	酉(明和2)極月	折紙・1通	あ2297-1
戌歳源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸嘉兵衛・大高村組頭藤市	明和3年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2298
戌年免定ワシ 田四郎右衛門→源兵衛新田庄屋・組頭・百姓	明和3年11月	縦継紙・1通	あ2298-1
亥年源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・太田甚蔵	明和4年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2300
子年源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛	明和5年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2301
丑年源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・佐藤傳左衛門	明和6年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2302
(取米書付)		折紙・2通	あ2302-1
寅年源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合5名・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・太田甚蔵	明和7年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2303
卯年源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合5名・立合軍平・儀兵衛・松右衛門・神戸代嘉兵衛・寺尾傳内	明和8年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2304
辰年源兵衛新田諸入用割賦小帳 元ノ源兵衛・立合儀兵衛・松右衛門・神戸嘉兵衛・寺尾直七郎	明和9年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2305
源兵衛新田戌六月迄入用割符帳 新田庄屋孫次郎・源兵衛	戌2月晦日	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2306
亥年諸入用帳 源兵衛新田孫次郎	12月	横長美ノ一ツ綴・1冊	あ2350

作徳米計算ノ納米入用割符

大高新田割賦勘定帳	正徳3年極月(～享保3年)	横長美大ノ一ツ綴・1冊	あ2431
未之年大高新田納米并入用割賦帳	正徳5年12月	横長美ノ一ツ綴・1冊	あ2367
大高新田申年納米割賦并入用勘定帳 近藤武兵衛・神戸分左衛門	享保元年極月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2351
大高新田酉年納米割賦勘定帳	享保2年12月	横長半ノ一ツ綴・1冊	あ2353

大高新田酉年納米割符勘定帳	享保2年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2354
大高新田戌年入用勘定	享保3年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2372
大高新田戌年入用勘定扣 半右衛門勘定	享保3年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2373
亥之年大高新田勘定帳	享保4年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2374
子年大高新田納米勘定帳	享保5年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2369
丑年大高新田納米割賦帳	享保6年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2365
丑年 (分左衛門分取米計算書) 庄屋孫次郎→文左衛門 2365-1・2は2365に結びつけられた束	(享保6年) 丑極月	横長美・1冊	あ2365-1
覚 (米代金受取) 庄屋孫次郎	丑極月	折紙・	あ2365-2
大高新田米納方并入用金割符帳 近藤武兵衛・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	享保8年12月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2368
午年大高新田勘定目録	享保11年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2376
未之年大高新田勘定帳 半右衛門	享保12年極月28日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2377
酉之年大高新田割賦帳 半右衛門	享保14年極月25日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2261
源兵衛新田勘定目録帳 名古屋分 (入用割賦)	享保15年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2310
源兵衛新田勘定目録帳 名古屋分 近藤伊右衛門・近藤武兵衛・神戸分左衛門	享保16年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2309
大高新田米金割符目録	享保17年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2357
大高新田勘定目録帳 武兵衛・伊右衛門・分左衛門	享保18年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2311
源兵衛新田勘定目録帳 名古屋分 近藤伊右衛門・近藤武兵衛・神戸分左衛門	享保19年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2312
源兵衛新田勘定目録帳 名古屋方 近藤伊右衛門・近藤武兵衛・神戸分左衛門	享保20年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2313
卯年大高新田勘定留 名古屋分 半右衛門	享保20年	横長半/一ツ綴・1冊	あ2375
大高新田勘定目録帳 近藤武兵衛・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	元文元年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2314
源兵衛新田勘定目録 近藤武兵衛・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	元文3年極月	横長半/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2315
大高新田米金勘定目録 雲心寺・伊右衛門・文左衛門	元文4年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2316
大高新田米金割符目録 雲心寺・伊右衛門・分左衛門	元文5年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2443

源兵衛新田勘定目録帳 名護屋分 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	寛保元年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2317
覚（御国方拝借金元利金済切につき） 源兵衛→半右衛門	午12月	横切継紙・1通	あ2317-1
大高新田（勘定書）		横切継紙・1通	あ2317-2
覚（源兵衛新田勘定書） 半右衛門	申12月27日	横切継紙・1通	あ2317-3
覚（拝借金元利計算書） 半右衛門	午12月26日	横切継紙・1通	あ2317-4
申年源兵衛新田割符之覚 山口唯四郎・佐藤孫次郎→中嶋半右衛門 あ2317-1～5は一丁目の丁間史料	12月27日	横切継紙・1通	あ2317-5
大高源兵衛金受書付		包紙・1点	あ2317-6-0
請取申金子之事（新田請事入用、普請入用受取） 大高村源兵衛→神戸分左衛門	正徳4年12月25日	縦切紙・1通	あ2317-6-2
覚（新田入用受取） 大高村源兵衛→神戸分左衛門	正徳5年12月28日	縦紙・1通	あ2317-6-1
大高新田米并入用金割賦帳 半右衛門	元文2年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2358
源兵衛新田勘定目録帳（写） 名護屋分 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	寛保元年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2318
源兵衛新田勘定目録帳 名護屋分 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸文左衛門	寛保2年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2320
源兵衛新田勘定目録帳 名古屋分 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸文左衛門	寛保2年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2319
源兵衛新田勘定目録帳 名護屋分	寛保2年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2321
辰年源兵衛新田（取米勘定） 元ノ源兵衛→文左衛門	辰極月	折紙・1通	あ2321-1
覚（取米差引書付） 源兵衛→神戸内嘉兵衛	辰極月	折紙・1通	あ2321-2
辰年源兵衛新田（取米差引書付） 元ノ源兵衛→伊右衛門	辰極月	折紙・1通	あ2321-3
源兵衛新田勘定目録帳 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	延享元年12月25日	横長半／一ツ綴・1冊	あ2322
源兵衛新田勘定目録帳 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	延享2年12月	横長半／一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2323
源兵衛新田勘定目録帳 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	延享3年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2326
源兵衛新田勘定目録帳（写） 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	延享3年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2325
源兵衛新田勘定目録帳 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	延享4年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2324
源兵衛新田勘定目録帳 雲心寺・近藤伊右衛門・神戸分左衛門	寛延元年12月	横長半／一ツ綴・1冊	あ2327
辰年源兵衛新田（取米勘定） 新田庄屋長右衛門・地主源兵衛→分左衛門	辰12月	折紙・1通	あ2327-1
辰年源兵衛新田（取米勘定） 新田庄屋長右衛門・地主源兵衛→雲心寺御扣	辰12月	折紙・1通	あ2327-2

大高源兵衛新田／作徳米計算／納米入用割符

辰年源兵衛新田（取米勘定） →伊右衛門	辰12月	折紙・1通	あ2327-3
覚（源兵衛新田出米・小作入差引勘定） 山口源兵衛・大高村山口長右衛門→河合嘉兵衛・奥田兵治 2327-1-1～4は一丁目丁間史料一綴	辰12月	折紙・1通	あ2327-4
覚（入用金・利足金勘定）		横切継紙・1通	あ2327-5
源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	寛延2年12月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2328
源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	寛延3年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2329
午年源兵衛新田（取米勘定） 大高村源兵衛→分左衛門 2329-1～3は、一丁目丁間史料	（寛延3）午年極月	折紙・1通	あ2329-1
午年源兵衛新田（取米勘定） 大高村源兵衛→伊右衛門	午極月	折紙・1通	あ2329-2
覚（出米・小作入差引勘定） 大高村源兵衛→奥田兵治	午極月	折紙・1通	あ2329-3
源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦元年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2330
未年源兵衛新田御三カ所分出米覚 山口源兵衛→中嶋半右衛門	宝暦元年12月21日	折紙・1通	あ2330-1
未年源兵衛新田（取米勘定） 新田地主源兵衛→分左衛門御扣 2330-2～4は一綴	未12月	折紙・1通	あ2330-2
未年源兵衛新田（取米勘定） 新田地主源兵衛→伊右衛門御扣	未12月	折紙・1通	あ2330-3
覚（出米・小作納指引勘定書付） 新田地主源兵衛→奥田兵治郎	未12月	折紙・1通	あ2330-4
（反別・初高書付）		折紙・1通	あ2330-5
覚（反別書付）		折紙・1通	あ2330-6
源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦2年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2331
申年源兵衛新田（取米勘定） 庄屋四郎右衛門・地主源兵衛→分左衛門 2331の一丁目にあり、2331-1～3は一綴	宝暦2年12月	折紙・1通	あ2331-1
申年源兵衛新田（取米勘定） 庄屋四郎右衛門・地主源兵衛→伊右衛門	宝暦2年12月	折紙・1通	あ2331-2
覚（出米・小作納差引勘定） 大高鈴木四郎右衛門・大高山口源兵衛→奥田兵治郎	申極月	折紙・1通	あ2331-3
源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦3年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2332
覚（出米・小作納差引勘定） 庄屋鈴木四郎右衛門・地主山口源兵衛→奥田兵次郎 2332-1～3は一綴丁間史料	宝暦3年12月	折紙・1通	あ2332-1
酉年源兵衛新田（取米勘定） 庄屋四郎右衛門・地主源兵衛→文左衛門	宝暦3年12月	折紙・1通	あ2332-2
酉年源兵衛新田（取米勘定） →伊右衛門	宝暦3年12月	折紙・1通	あ2332-3
源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦4年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2333

戌年源兵衛新田（取米勘定） 庄屋四郎右衛門・元ノ源兵衛→分左衛門 2333-1～3は一綴丁間史料	宝暦4年12月	折紙・1通	あ2333-1
戌年源兵衛新田（取米勘定） 庄屋四郎右衛門・元ノ源兵衛→伊右衛門	宝暦4年12月	折紙・1通	あ2333-2
覚（出米・小作納差引勘定） 庄屋四郎右衛門・元ノ源兵衛→兵治郎	宝暦4年12月	折紙・1通	あ2333-3
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦5年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2334
亥年源兵衛新田（取米勘定） 庄屋四郎右衛門・元ノ源兵衛→分左衛門殿御扣 2334-1～3は一綴丁間史料	宝暦5年12月	折紙・1通	あ2334-1
亥年源兵衛新田（取米勘定） 庄屋四郎右衛門・元ノ源兵衛→伊右衛門殿御扣	宝暦5年12月	1通	あ2334-2
覚（出米・小作納差引勘定） 庄屋鈴木四郎右衛門・元ノ山口源兵衛→奥田兵次郎	宝暦5年12月	1通	あ2334-3
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦6年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2335
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦7年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2336
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦8年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2337
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦9年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2338
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	宝暦10年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2339
辰年源兵衛新田（取米勘定） 元ノ源兵衛・庄屋四郎右衛門→分左衛門 2339-1～3は一括丁間史料	宝暦10年12月	折紙・1通	あ2339-1
覚（出米・小作納差引勘定） 元ノ源兵衛・庄屋四郎右衛門→河合嘉兵衛	宝暦10年12月	折紙・1通	あ2339-2
辰年源兵衛新田（取米勘定） 元ノ源兵衛・庄屋四郎右衛門→伊右衛門	宝暦10年12月	折紙・1通	あ2339-3
大高源兵衛新田勘定目録帳	宝暦11年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2340
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸分左衛門	宝暦12年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2344
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸孫右衛門	宝暦13年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2343
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸孫右衛門	明和2年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2341
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸孫右衛門	明和2年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2342
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	明和5年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2345
大高源兵衛新田勘定目録帳 近藤伊右衛門・神戸文左衛門	明和6年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2348
大高源兵衛新田勘定目録	明和8年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2346

大高源兵衛新田勘定目録帳	明和9年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2347
*大高新田年々入方金覚（裏表紙から） 戸）	（名古屋神 戊）	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2252
覚（卯年小作納、御藏入米納、卯年御年貢米配符）、 覚（御年貢米金納代）、源兵衛方より戻り金割		横長半/一ツ綴・1冊	あ1774-1

土地

源兵衛新田扣地覚帳 尾州名古屋神戸分左衛門	享保2年3月	横長美/一ツ綴・かぶせ・1冊	あ2355
掟町反畝作人改之帳 神戸分左衛門扣	享保3年10月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1625
源兵衛新田極地帳	享保3年	横長美半/一ツ綴・1冊	あ2425
（大高源兵衛新田地主所持反別・掛り金書上） 源兵衛新田庄屋孫次郎	享保13年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1775-5
掟小作町反改帳 分左衛門扣	享保16年	横長半/一ツ綴・1冊	あ1657
掟作人上中下改	元文6年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1656
源兵衛新田不納所改割符帳 吉田市右衛門、神戸代半右衛門以下9名、庄屋孫次郎、立合惣助・庄八	元文2年正月24日	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2442
大高新田検地并圖取留帳	卯（近世）2月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2378
源兵衛新田戌年畝引	（近世）	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2454
地分ヶ帳	（近世）	横長半/二ツ結・1冊	あ1649
（愛知郡鳴尾村源兵衛組共有地関係書類綴）	明治28年	綴・1綴	あ3471-3

普請

名古屋手作田方日用帳	享保11年3月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1605
名古屋方之帳	享保13年4月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1606
地ならし見分仕用帳本紙	享保15年正月24日	横長半/結び綴・1冊	あ2423
未之春源兵衛新田御見分并仕様渡方積り覚 日用頭伝吉	元文4年3月19日	横長美/一ツ綴・1冊	あ2441
大高新田畑方覚	辰9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2434
酉之年冬より戌之年二月迄田畑地ならし拂金帳 大高	戌12月8日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2432

新田小屋 惣助 巳春源兵衛新田堤普請渡方		冊 横長半/一ツ綴・1冊	あ2433
-------------------------	--	-----------------	-------

公儀との関係／検地帳

知多郡大高村源兵衛新田検地野帳 二冊之内 案内 源兵衛、只四郎、惣助・孫次郎	享保2年3月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2422-1
西大高村源兵衛新田検地野帳 式冊之内 2422-1と合冊	享保2年3月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2422-2
源兵衛新田御高成検地之内写シ	延享元年4月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2436
愛知郡源兵衛新田御高成検地帳（寛延元年写） 植原金左・今泉忠兵・林又左代相羽和兵衛・山田杢右衛門、地方御日付菌田利左衛門、郡奉行浅野久治→愛知郡源兵衛新田庄屋百姓 案内庄八・惣兵衛	延享元年4月	半/二ツ綴・1冊	あ2437
源兵衛新田御高成検地写帳	延享元年9月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2435
源兵衛新田之内延享元子春御竿入町反附帳	寛延2年3月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2439
源兵衛新田享保二酉年御竿入反畝附帳	寛延2年3月	横長美/一ツ綴・1冊	あ2440

地券

愛知郡鳴尾村源兵衛新田地券証 六拾四通		袋・1点	い18-0
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内田1反23歩） 愛知県→持主同国知多郡大高村山口源兵衛	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-10
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内反別1反1畝1歩） 愛知県→持主同国知多郡大高村山口源兵衛	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-12
地券（尾張国愛知郡鳴尾村反別1反18歩） 愛知県→持主同郡熱田木ノ免町小貝謙三郎	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-14
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主同郡熱田木ノ免町小貝謙三郎	明治11年5月13日	地券・2枚	い18-16
地券（尾張国愛知郡鳴尾村田1反2畝24歩） 愛知県→持主鳴尾村永井松右衛門	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-17
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主同郡熱田木ノ免町小貝謙三郎	明治11年5月13日	地券・4枚	い18-20
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内田1反17歩） 愛知県→持主同国知多郡大高村山盛増右衛門	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-21
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治12年3月5日～同年6月3日	地券・13枚	い18-3
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治12年3月5日	地券・4枚	い18-9
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治12年3月5日～同年6月3日	地券・7枚	い18-11

地券（尾張国愛知郡鳴尾村反別1反26歩） 愛知県→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治12年3月5日	地券・1枚	い18-13
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治12年3月5日	地券・2枚	い18-15
地券（尾張国愛知郡鳴尾村田1反3畝10歩） 愛知県→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治12年3月5日	地券・1枚	い18-18
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内田1反2畝16歩） 愛知県→持主同国知多郡大高村山口源兵衛	明治12年3月5日	地券・1枚	い18-19
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治12年6月3日～同年11月26日	地券・16枚	い18-1
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内反別1反5畝4歩） 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治19年12月27日	地券・1枚	い18-5
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県・主事愛知郡長高木延世→持主同国海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治19年12月27日	地券・2枚	い18-7

明治期購入分

愛知郡鳴尾村之内源兵衛新田譲請入費帳	明治10年10月25日	横半半/一ツ綴・1冊	あ3580
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内田5畝1歩） 愛知県→持主鳴尾村永井松右衛門	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-2
（尾張国愛知郡鳴尾村地券一括） 愛知県→持主鳴尾村永井松右衛門	明治11年5月13日	地券・2枚	い18-4
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内畑3畝4歩） 愛知県→持主鳴尾村永井松右衛門	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-6
地券（尾張国愛知郡鳴尾村内畑3畝8歩） 愛知県→持主鳴尾村永井松右衛門	明治11年5月13日	地券・1枚	い18-8
反別地價仕出帳 売渡人愛知郡鳴尾村永井松右衛門	明治13年11月	半/二ツ綴・かぶせ・1冊	あ3659
反別小作掬米帳 売渡人鳴尾村永井松右衛門→神戸新田神戸分左衛門	明治13年11月	半/二ツ綴・かぶせ・1冊	あ3660
*紀左衛門・源兵衛・八左衛門・化物・上和泉新田水害見舞覚 第八世分左衛門有年	明治22年9月11日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2590

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

知多郡の新田／名和前新田／諸事留帳ほか

名和前新田諸事留帳	文政12年9月（～天保8年12月）	半/二ツ綴・1冊	あ2596
乍恐奉願上候御事（出水なきように当新田川方込糞・廻り糞取り払い願） 名和前新田・名和村→石川弥兵衛様御陣屋	卯正月	半/一ツ綴・1冊	あ3454-12
乍恐奉内願仕候御事（扇子川通り名和前新田堤外御屋敷様扣地を新田百姓居屋敷にすることの願） 名和前新田庄屋勘右衛門・伊右衛門	西正月	半/二ツ綴・1冊	あ3452-13
奉願候御事（米穀送手形を以番所通行願） 犬山神戸弥左衛門→船番所	戌10月	縦紙・1通	い285-90
覚（新田経営規定写） 服部太左衛門・神戸伝八郎→御役人衆宛所		縦継紙・1通	い365

経営帳簿

名和前新田納米帳	元禄9年10月（～享保2年）	半/二ツ綴・1冊	あ2595
名和前新田地帳	元禄15年8月	横美半/列帖綴・1冊	あ2594
（反別書上）	（近世）	横長半/一ツ綴・1冊	あ1776-8

地概

讓請申添証文之事（名和前新田堤引概普請請負二付一札） 普請請負并請作主熱田旗屋町惣助・押萩村証人団右衛門・名和前新田組頭伊右衛門・同断紋四郎・右村庄屋勘右衛門→神戸弥左衛門内仙蔵・丈助	天保12年10月	縦継紙（封紙つき）・1通	い386-1
添書覚（天保十五年地概之者共御救金頂戴之件本文に書忘二付） 犬飼庄兵衛→神戸弥左衛門	弘化5年正月	縦継紙・1通	い386-2-1
御年数引讓渡シ申名前書（御扣新田百姓衆へ相渡人別書上） 御年数引讓主熱田新田十二番割嘉左衛門 い386-2は包紙つき	申正月	縦継紙・1通	い386-2-2
覚（名和前新田堤引概起方普請請負依頼証文） 神戸弥左衛門・丈助→請負人熱田旗屋町惣助	天保12年8月	縦継紙・1通	い386-3-1
覚（熱田旗屋町惣助名和前新田堤引概起方普請請負依頼証文） 神戸弥左衛門・丈助・専蔵→右請負人当名和前新田中	天保12年8月	縦継紙・1通	い386-3-2
覚（名和前新田堤引概起方普請請負依頼証文） 神戸弥左衛門・丈助・専蔵→右請負人熱田旗屋町惣助	天保12年8月	縦継紙・1通	い386-4
御請書之事（字三番割・五番割不納所引概埋方につき） 地概惣代次郎助・同断柴田新田庄七・同断熱田新田十二番割嘉左衛門・同断押萩村文左衛門・同断同村弾右衛門	弘化5年正月	縦継紙・1通（包紙つき）	い386-5

知多郡の新田／名和前新田／地概

門・同断藤高新田利左衛門→犬飼庄兵衛			
名和前新田普請方請負請作仕一札之事 普請請負并請作主熟田旗屋町惣助・請人押萩団右衛門・名和前新田組頭伊右衛門・同断紋四郎・庄屋勘右衛門→神戸弥左衛門内宮嶋丈助・日比野専蔵	天保12年8月	堅継紙・1通 (包紙つき)	い386-6
名和前新田普請方請負添証文之事 普請請負并請作主熟田旗屋町惣助・請人押萩村団右衛門・名和前新田組頭伊右衛門・同断紋四郎・庄屋勘右衛門→神戸弥左衛門内宮嶋丈助・日比野専蔵	天保12年8月	堅継紙・1通 (包紙つき)	い386-7
名和前新田普請方請負請作仕一札之事 名和前新田惣代喜兵衛・源四郎・喜三郎・九左衛門・組頭伊右衛門・同断紋四郎・庄屋勘右衛門→神戸弥左衛門内宮嶋丈助・日比野仙蔵	天保12年8月	堅継紙・1通 (包紙つき)	い386-8

譲渡証文

地所譲渡申添証文之事 (名和前新田一円) 地所譲主 犬山神戸弥左衛門・加判親類惣代名古屋元材木町神戸文左衛門・証人右新田支配人犬山丈助・証人右新田支配人犬山仙蔵→名古屋戸町中嶋屋彦三郎	天保13年6月	堅継紙・1通	い135
質流相渡し申田地之事 (名和前新田一円) 新田譲主 犬山神戸弥左衛門・加判親類惣代名古屋元材木町神戸文左衛門・証人新田支配人犬山丈助・仙蔵→名古屋戸町中嶋屋彦三郎	天保13年6月	堅継紙・1通	い295

武豊町

知多郡武豊町記事 (土地売買、金融、共有地費用、納米勘定などの書類写) 神戸	明治29年8月 (~36年)	半 (野紙) / ニツ綴・1冊	あ3658
--	----------------	-----------------	-------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

三州伏見屋新田／取得／取得

三州伏見屋新田中満証文之事(写) 向井彦左衛門・岡田佐次右衛門・大海彦四郎・神戸分四郎	元禄17年2月	縦継紙・1通	い12-9
新田御役所村方音物代之帳	元禄17年2月15日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3685
覚(池廻り村方へ音物代請取勘定) 勘右衛門→十兵衛 あ3685の綴じ紐に結付		堅切紙・1通	あ3685-1

地主引継文書

指上ケ申新田証文之事(三州碧海郡泉村他6か村入組地新田開発の儀につき証文写) 本人江戸南荳場町伏見屋又兵衛・証人同所瀬戸物町植下屋甚左衛門→松平備前守内山本重左衛門・安田源兵衛・天野六蔵・本多美作守内石原左太夫・伊藤彦右衛門・土方伝左衛門・宮部長右衛門	寛文6年5月24日	縦継紙・1通	い12-10
乍恐書付ヲ以申上候新田御訴訟之事(伏見屋新田開発願書写) 江戸南茅場町伏見屋本人又兵衛・同瀬戸物丁植下屋証人甚左衛門→奉行	寛文6年5月24日	縦継紙・1通	い8-1
乍恐書付ヲ以申上候新田御訴訟之事(伏見屋新田開発願書写) 本人江戸南茅場町伏見屋又兵衛・証人同瀬戸物丁植下屋甚左衛門→奉行	寛文6年5月24日	縦継紙・1通	い8-2
一札(伏見屋新田悪水落堀抜等之儀ニ付) 江戸南茅場町新田譲り主三宅又兵衛・三州伏見屋新田肝煎角谷佐兵衛→坂野新右衛門・塚本源左衛門・佐藤六兵衛	元禄12年閏9月15日	縦継紙・1通	い12-1
永々ニ譲相渡申新田証文之事(伏見屋新田并屋敷松林池川など残らず譲り渡しにつき証文写) 江戸南茅場町新田譲主伏見屋又兵衛・三州伏見屋新田肝煎角谷佐兵衛→尾州茶屋新田坂野新右衛門・同小川村塚本源左衛門・同名古屋佐藤六兵衛	元禄12年閏9月15日	縦継紙・1通	い12-11
乍恐書付を以御訴訟申上候(伏見屋新田悪水抜普請ニ付) →万年三左衛門	元禄13年	縦継紙・1通	い10-1
乍恐書付を以御訴訟申上候(伏見屋新田悪水抜普請ニ付願書下書) 伏見屋又兵衛・同新右衛門	元禄13年	縦継紙・1通	い10-2
乍恐書付を以御訴訟申上候(伏見屋新田悪水抜普請ニ付) →万年三左衛門	元禄13年	縦継紙・1通	い10-3
差上ケ申一札之事(伏見屋新田水抜堀割普請ニ付) 伏見屋新右衛門→野田三郎左衛門・万年三左衛門	元禄14年2月	縦継紙・1通	い10-4
差上ケ申一札之事(伏見屋新田悪水落堀割普請之儀ニ付公儀への訴状写) 伏見や新右衛門→野田三郎左衛門・万年三左衛門	元禄14年2月	縦継紙・1通	い12-4
指上ケ申一札之事(伏見屋新田悪水落堀割普請之儀ニ付) 尾州茶屋新田新右衛門・勢州長嶋清兵衛→万年三左衛門	元禄16年4月	縦継紙・1通	い12-3
御役所払并役人給扶持帳	元禄16年極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3683

覚（伏見屋新田開発証文等半右衛門へ渡し候二付）	(宝永7年) 11月24日	横切継紙・1通	い12-7
伏見屋新田諸帳面諸書物渡シ帳 片山八郎→平野清七・佐次文蔵・中嶋半右衛門	正徳元年8月24日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3689

経営収支／統轄帳簿

三州新田入用金渡并諸入用留帳 神戸分四郎	元禄17年2月（～元禄18年9月）	横長美/下ゲニツ綴・1冊	あ3693
三州伏見屋新田中満帳 向井彦左衛門・岡田佐次右衛門・大海彦四郎・神戸分四郎	元禄17年2月（～宝永7年）	半/ニツ綴・かぶせ・1冊	あ3695
三州新田諸入用帳	元禄17年3月（～宝永2年）	横長美/一ツ綴・1冊	あ3692
(諸入用書付)	元禄17年3月	横長美/一ツ綴・1冊	あ3692-1

経営費用／入用金諸払目録

三州伏見屋新田入用金諸払目録 名古屋分 (若山) 左助	宝永元年7月	半/ニツ綴・1冊	あ3719-2
申八月より極月迄新田入用金諸払目録 伏見屋新田 若山左助→神戸分四郎	宝永元年極月晦日 (宝永2年5月提出)	半/ニツ綴・1冊	あ3719-1
酉年伏見屋新田入用金諸払目録 名古屋分 若山左助→神戸分四郎	宝永2年12月大晦日	半/ニツ綴・1冊	あ3720
酉年請払金高覚 若山左助→神戸分四郎 3720の綴じ紐に結付の束	戊 (宝永3年) 2月	縦継紙・1通	あ3720-1
戌年新田諸入用并納方勘定目録 若山左助	宝永3年極月	半/ニツ綴・1冊	あ3699
亥年伏見屋新田金銀請払目録 中野権兵衛→神戸浄仙	宝永5年8月	半/ニツ綴・かぶせ・1冊	あ3701
亥年伏見屋新田金銀請払目録 若山左助→神戸浄仙	宝永5年8月	半/ニツ綴・1冊	あ3702
子年伏見屋新田金銀請払目録 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永5年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3703
丑年伏見屋新田金銀請払目録 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永6年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3704
寅年伏見屋新田金銀請払目録 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永7年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3705
卯年伏見屋新田金銀請払目録 中嶋半右衛門→神戸浄仙	正徳元年8月	半/ニツ綴・1冊	あ3706
伏見屋新田名古屋分金銭請払目録 中野権兵衛→中嶋半右衛門	正徳元年9月4日	横長美大/一ツ綴・1冊	あ1537

払小帳

申二月十五日より七月晦日迄月払帳 伏見屋新田 名古屋分若山左助	(宝永元年) 2月15日～申7月晦日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3686
申八月より極月迄名古屋直払小帳	(宝永元年) 8月～申極月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3687
所々日雇遣帳 尾州方	宝永2年正月	横長半/下ゲニツ	あ3282

諸色買物帳 尾州方	宝永2年正月	目綴・1冊 横長半/一ツ綴・1冊	あ3283
大工木挽日記帳 尾州方	宝永4年正月	横長半/一ツ綴・1冊	あ2037
台所小払帳 尾州方若山佐助・佐治豊藏	宝永4年正月	横長美/下ゲニツ目綴・1冊	あ2038
長嶋方ト立合帳 尾州方若山佐助・佐治豊藏	宝永4年正月	横長美/下ゲニツ目綴・1冊	あ2043
台所小拂帳 尾州方若山佐助・佐治豊藏	宝永5年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ2039
日雇并職人遣・普請方小買物帳 尾州方	宝永5年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ3284
三間・水門修覆諸入用帳 尾州方	宝永5年3月16日	横長半/一ツ綴・1冊	あ2036
諸払覚 中野権兵衛→伊東庄兵衛	(宝永5年) 6月晦日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3691-1
惣仲間払物 (割賦帳)		横長半/一ツ綴・1冊	あ3691-2
尾州方古道具払		横長半/一ツ綴・1冊	あ3691-3
台所小払帳 ふしみ屋新田尾州方	宝永6年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ2040
長嶋立会帳 ふしみや新田尾州方	宝永6年正月	横長美/下ゲニツ目綴・1冊	あ2046
日雇大工買物帳 尾州方	宝永6年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ3285
台所小払帳 尾州方	宝永7年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ2041
長嶋方立会之帳 尾州方	宝永7年正月	横長美/下ゲニツ目綴・1冊	あ2044
日雇大工買物帳 尾州方元メ	宝永7年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ3286
覚 (丑年貢勘定違につき返納銭請取書) 間之塚村 次郎八→伏見屋新田両元メ衆中	(宝永7年) 8月15日	堅切紙・1通	あ3286-1
(大工手間賃書付) 3286-1に巻き込まれていた		小切紙・1通	あ3286-2
台所小拂帳 尾州方	宝永8年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ2042
長嶋方ト立会帳 尾州方	宝永8年正月	横長美/下ゲニツ目綴・1冊	あ2045
日雇大工買物帳 伏見屋新田尾州方	宝永8年正月	横長半/下ゲニツ目綴・1冊	あ3287
新田小入用帳	(未11月～申正月)	横長半/一ツ綴・1冊	あ3690-1
(音物書付)		横長半/一ツ綴・1冊	あ3690-2

覚（村々庄屋・知行主書付）		横長半／一ツ綴・1冊	あ3690-3
---------------	--	------------	---------

諸帳簿

兵作方江金米相渡扣 尾州方 佐治豊藏	宝永4年12月	横長半／下ゲ綴・1冊	あ3688
亥納米金勘定目録 伏見屋新田 伏見屋新田中野権兵衛→神戸浄仙	宝永5年8月	半／二ツ綴・かぶせ・1冊	あ3700
戌年諸払金高覚 若山左助→神戸浄仙	(宝永4) 亥年2月	縦継紙・1通	あ3700-1
覚（請取金など書付）		横切紙・1通	あ3700-2
（尾州方米高代金請取書付）		堅切紙・1通	あ3700-3
伏見屋新田米目録 名古屋方 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永5年極月	半／二ツ綴・1冊	あ3707
伏見屋新田丑年物成納方并払方目録 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永6年12月	半／二ツ綴・かぶせ・1冊	あ3708

入用金請取

請取申金子之事（三州新田亥之年諸入用金ニ付） 若山左助→神戸浄仙	(宝永4年) 2月晦日	縦紙・1通	い6-2
請取申金子之事（三州伏見屋新田入用） 中嶋半右衛門→伊東庄兵衛	宝永6年正月15日	縦紙・1通	い6-13
請取申金子之事（伏見屋新田入用） 中嶋半右衛門→伊東庄兵衛	宝永7年正月23日	縦紙・1通	い6-7
請取申金子之事（伏見屋新田寅年諸入用） 中嶋半右衛門→伊東庄兵衛	宝永7年8月11日	縦紙・1通	い6-9
請取申金子之事（伏見屋新田卯年入用） 中嶋半右衛門→伊東庄兵衛	宝永8年正月20日	縦継紙・1通	い6-16-1

請払目録

申之年請払金高覚（三河新田収支報告） 若山左助→神分四郎	宝永元年極月	縦継紙・1通	い6-1
亥年伏見屋新田金銀請払目録	(宝永5年) 8月	縦継紙・1通	い6-4
子ノ年請払目録（三州伏見屋新田） 中嶋半右衛門→神戸浄仙	(宝永6年) 9月	縦継紙・1通	い6-8
丑年中金銀請払目録（伏見屋新田） 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永6年極月	縦継紙・1通	い6-5
（断簡） い6-5に添付	年不明	縦継紙・1通	い6-6
寅年米勘定目録 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永7年12月	縦継紙・1通	い13-1
寅年金銀請払目録（伏見屋新田分） 中嶋半右衛門→神戸浄仙	宝永8年12月	縦継紙・1通	い6-16-2

その他

請取申金子之事（子之年合力金） 右衛門	中野権兵衛→中嶋半	（宝永6年）正月15日	縦継紙・1通	い6-14
（断簡）		年不明	縦切紙・1通	い6-15
覚（権兵衛合力金等請求ニ付）	左助→庄兵衛	8月	横切紙・1通	い6-3
伏見屋新田勘定（宝永5～7年分）		（宝永8年）2月	縦継紙・1通	い13-2
覚（諸々請払書上）	半右衛門	（正徳元年）8月	縦継紙・1通	い6-10
覚（伏見屋新田小屋払内代差上ニ付）	半右衛門→浄仙	（正徳元年）8月	縦継紙・1通	い6-12
伏見屋新田畑勘定之覚	中野権兵衛→伊東庄兵衛	（正徳元年）9月3日	縦継紙・1通	い6-11

年貢

三州伏見屋新田未御年貢米并小物成目録帳		元禄16年11月	半/ニツ綴・1冊	あ3694
申御年貢米并小物成目録	若山左助	宝永元年極月	半/ニツ綴・1冊	あ3696
酉御年貢米并小物成目録	尾州方 若山左助	宝永2年極月	半/ニツ綴・1冊	あ3697
三州伏見屋新田戌御年貢米并小物成目録	尾州方 若山左助	宝永3年極月	半/ニツ綴・1冊	あ3698
亥御年貢金納覚帳	伏見屋新田両本メ	宝永4年霜月	横長美大/下ゲニツ目綴・1冊	あ2047
子年御年貢金納帳	ふしみや新田両元メ	宝永5年極月	横長美大/下ゲニツ目綴・1冊	あ2048
丑御年貢可納割付之事	宮嶋作右衛門・宮嶋市郎兵衛→三河国碧海郡伏見屋新田庄屋・組頭・惣百姓中	宝永6年11月	縦紙・1通	い11-1
三州碧海郡伏見屋村当丑御成ヶ割付之事	成嶋園右衛門・松山又左衛門→三河国碧海郡伏見屋村庄屋・組頭中	宝永6年11月	縦紙・1通	い11-2
丑年御年貢金納帳	ふしみや両元メ	宝永6年極月	横長美大/一ツ綴・1冊	あ2049
三州伏見屋新田覚（定免年貢高等書付）		7月	横切紙・1通	い10-12-8

公儀との関係

御尋ニ付申上候事（伏見屋新田堀割潰地高除之儀ニ付） 伏見屋新田清兵衛・源左衛門・分四郎・源兵衛→万年三左衛門		宝永元年4月23日	縦継紙・1通	い12-8
指上ヶ申一札之事（伏見屋新田堀抜之儀ニ付）	伏見屋新田源左衛門・清兵衛・分四郎・源兵衛→植松藤蔵	宝永元年8月6日	縦継紙・1通	い12-5
申渡候覚（伏見屋新田堀割請負之儀ニ付）	植松藤蔵→伏見屋新田清兵衛・源左衛門・分四郎・源兵衛	（宝永元年）8月12日	縦継紙・1通	い12-6
乍恐書付を以申上候（堀割敷地永引願ニ付）	伏見屋新田源左衛門・清兵衛・分四郎・源兵衛→京極仁十郎役	宝永元年9月	縦継紙・1通	い10-5

人			
指上申証文之事(伏見屋新田悪水落堀割普請之儀ニ付) 三州伏見屋新田請負人源左衛門代源兵衛・清兵衛代与右 衛門・分四郎代左助→松田儀兵衛・瀬野甚内	宝永2年3月5日	縦継紙・1通	い12-2
乍恐書付を以申上候(先規之通永ク蔵入願ニ付) 伏 見屋新田請負人清兵衛・同源左衛門・同分四郎→代官	宝永2年6月	縦継紙・1通	い10-7
口上書之覚(拝借金下付もしくは御普請所願につき取 り成し願写) 伏見屋新田請負人清兵衛・源左衛門・分 四郎→杉山所左衛門・角田伊太夫	宝永2年6月	縦継紙・1通	い7-1
乍恐書付を以奉願候御事(御蔵入地に仰せつけられた く) 三州碧海郡伏見屋新田請負人清兵衛・源左衛門・ 分四郎	宝永2年6月	縦継紙・1通	い7-2
乍恐口上書を以奉願候御事(悪水抜水門御普請願ニ付) 伏見屋新田請負人清兵衛・同断源左衛門・同断分四郎→ 代官	宝永2年12月	縦継紙・1通	い10-6
乍恐書付を以御訴訟申上候(領主交替反对訴訟実施ニ 付地割指延願) 三州碧海郡伏見屋新田請負人清兵 衛・源左衛門・文四郎→津田外記内杉山所右衛門・角田 伊太夫・鳥井八郎左衛	宝永3年9月	縦継紙・1通	い10-8
乍恐口上書を以願候(領主交替反对出入り実施ニ付地 割指延願) 三州碧海郡伏見屋新田請負人清兵衛・源左 衛門・分四郎→代官	宝永3年9月	縦継紙・1通	い10-9
乍恐口上書を以願候(悪水修復被仰付度ニ付) 三州 伏見屋新田請負人清兵衛・源左衛門・分四郎→代官	宝永3年11月	縦紙・1通	い10-10
乍恐口上書を以御訴訟申上候(普請費用拝借願等ニ付) 三州碧海郡伏見屋新田請負人清兵衛・源左衛門・分四 郎・庄屋→代官	宝永6年11月	縦継紙・1通	い10-12-3
乍恐口上書を以御訴訟申上候(普請費用拝借等ニ付) 三州碧海郡伏見屋新田請負人清兵衛・源左衛門・分四 郎・庄屋→代官	宝永6年12月	縦継紙・1通	い10-11
乍恐口上書を以御訴訟申上候(普請費用拝借等ニ付) 三州碧海郡伏見屋新田請負人清兵衛・源左衛門・分四 郎・庄屋→代官	宝永6年12月	縦継紙・1通	い10-12-1
乍恐口上書を以奉願候(御割替願ニ付) 三州碧海郡 伏見屋新田請負人清兵衛・源左衛門・分四郎・庄屋→代 官	(宝永6年カ) 極月	縦紙・1通	い10-12-2
書付を以奉願上候御事(買取候堀割地除地願) 三州 碧海郡伏見屋新田庄屋孫左衛門→代官	宝永7年8月	縦紙・1通	い10-12-5
乍恐口上書之御事(村々困窮ニ付水門等御普請願) 孫左衛門・清七・分蔵・半右衛門→代官	宝永7年	縦継紙・1通	い10-12-4
乍恐口上書之事(伏見屋新田矢作川通御普請願) (御使ニ拙者持之証文三通渡し候ニ付書状)	宝永7年 9月8日	縦継紙・1通 横折紙・1通	い10-12-6 い10-12-9
(金子御渡ニ付書状)	10月17日	横切紙・1通	い10-12-7

普請

伏見屋新田普請仕用帳 ふしミヤ新田庄屋孫左衛門	宝永6年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3709
水川修覆木積帳 伏見屋新田	宝永7年2月	半/ニツ結・1冊	あ3710

覚（修覆材料書付）		横切紙・1通	あ3710-1
伏見屋新田撰尾修覆仕用帳 下帳 庄屋孫左衛門・組頭 又作→河合幸右衛門	宝永7年3月	半/ニツ結・1冊	あ3711
伏見屋新田四間水門修覆代用帳 下帳 庄や孫左衛門 門・組頭又作→河合幸右衛門	宝永7年3月	半/ニツ結・1冊	あ3712

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

三河国の新田／吉塩崎永岡新田

参州渥美郡吉潮崎永岡新田檢地帳 棚勢庄八郎・猪坂与 十郎・雪吹傳兵衛・平山九兵衛・鈴木弥大夫	元禄9年10月	半/二ツ綴・1冊	あ3373
手作田方諸入用目録 藤兵衛	元禄16年極月	半/三ツ綴・1冊	あ3352
永岡新田小家入用帳 平左衛門、理兵衛→沢田仁右衛門	宝永5年3月	横長半/一ツ綴・1冊	あ1404

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田10歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-3
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	明治10年4月1日	地券・2枚	い17-4
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	明治10年4月1日	地券・5枚	い17-5
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 三重県→持主同国同郡和泉新田三輪治右衛門	明治10年4月1日	地券・2枚	い17-6
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田7畝11歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-7
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田3畝17歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-8
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内宅地4畝29歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-9
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田1反1畝11歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-10
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田2反1畝6歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎・同彦次郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-11
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	明治10年4月1日	地券・2枚	い17-12
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田1反5歩） 三重県→持主同国同郡和泉新田竹内文三郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-13
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田1畝12歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-14
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田3畝1歩） 三重県→持主同国同郡和泉新田三輪治右衛門	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-15
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田5歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎・同国同郡和泉新田三輪治右衛門	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-16
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田3歩） 三重県→持主同国同郡和泉新田竹内文三郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-17
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田2反9畝11歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎・同国同郡和泉新田持主三輪治右衛門	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-18
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田4畝28歩） 三重県→持主同国同郡和泉新田三輪治右衛門	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-19
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内畑・郡村宅地1畝10歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-20
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内宅地3畝9歩） 三重県→持主同国同郡和泉新田三輪治右衛門	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-21
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田3畝5歩） 三重県→持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎・同彦十郎	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-22

三重県の新田／和泉新田／

地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田6畝5歩） 持主同国同郡和泉新田三輪治右衛門	三重県→	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-23
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田15歩） 持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	三重県→持	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-24
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田2畝13歩） →持主同国同郡和泉新田三輪治右衛門	三重県	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-25
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内畑23歩） 持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	三重県→持	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-26
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田4畝11歩） →持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	三重県	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-27
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 同郡長島村萱町近藤彦次郎	三重県→持主同国	明治10年4月1日	地券・2枚	い17-28
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田7畝19歩） →持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	三重県	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-29
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 同郡長島村萱町近藤彦十郎	三重県→持主同国	明治10年4月1日	地券・3枚	い17-31
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内畑23歩） 持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	三重県→持	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-32
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 同郡和泉新田三輪治右衛門	三重県→持主同国	明治10年4月1日	地券・2枚	い17-33
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田2畝歩） 持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	三重県→持	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-34
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田5畝4歩） 持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	三重県→	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-35
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田13歩） 持主同国同郡長島村萱町近藤彦次郎	三重県→持	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-36
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田9畝19歩） →持主同国同郡長島村萱町近藤彦十郎	三重県	明治10年4月1日	地券・1枚	い17-37
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 郡長酒井礼一→持主愛知県下尾張国海西郡神戸新田神戸分左衛門	三重県・主事桑名	明治14年12月20日	地券・2枚	い17-30
（伊勢国桑名郡和泉新田地券一括） 郡長山本如水→持主愛知県尾張国海西郡神戸新田神戸分左衛門	三重県・主事桑名	明治21年1月20日	地券・7枚	い17-1
地券（伊勢国桑名郡和泉新田内田1反6畝25歩） 三重県・主事桑名郡長酒井礼一→持主愛知県下尾張国海西郡鳥ヶ地新田宮崎十郎二他2名	三重県	明治12年6月6日	地券・1枚	い17-2

中和泉新田

伊勢国桑名郡中和泉新田記録 第壹号 神戸分左衛門	明治10年5月1日（～明治12年5月）	半（野紙）／一ツ綴・1冊	あ3654
中和泉新田地譯假帳 甲 黒宕嘉左衛門	明治10年6月28日	横長半／一ツ綴・1冊	あ2592
中和泉新田地譯假牒 乙 神戸分左衛門、佐野治朗	明治10年6月28日	横長半／一ツ綴・1冊	あ2593

第三大区六ノ小区中和泉新田之内地所賣買願 売渡主 桑名郡見入新田黒宮嘉左衛門、買請人海西郡松名新田佐 野治郎、買請人神戸分左衛門、中和泉新田用懸三輪栄八 →三重県令岩村定高	明治10年8月	半/一ツ綴・1冊	あ3657-1
地所賣買ニ付名面書加願 売渡主桑名郡見入新田黒宮嘉 左衛門、買請人海西郡松名新田佐野治郎、買請人神戸分 左衛門、中和泉新田用懸三輪栄八→三重県令岩村定高	明治10年9月	半/一ツ綴・1冊	あ3657-2
地所売買券帖御書換願(中和泉新田) 売渡主神戸分 左衛門・買受主宮崎十郎二・亀ヶ地新田→三重県令岩村 定高	明治12年7月11日	半/一ツ綴・1冊	あ3668
和泉新田所有地早川忠蔵へ賣渡代金受取覚扣帳 神戸	明治33年10月	横半半/一ツ綴・1 冊	あ3596
和泉新田賣渡地代金受取覚	明治33年11月7日	横半半/一ツ綴・1 冊	あ3597

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

領主御用／全体

* 乍恐奉願上候御事（御金御用御用捨願） 左衛門	犬山屋文	亥2月	半/ニツ綴・1冊	あ3453-1
* 乍恐奉願上候御事（御金御用御用捨願） 左衛門	犬山屋文	亥2月	半/ニツ綴・1冊	あ3453-2

借上金御用

町中御借上金之帳 天満屋与兵衛、犬山屋分左衛門、平田新六、平田惣助		元禄10年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3378
御用金御国方より請取渡帳 天満屋与兵衛、犬山屋分左衛門、平田新六、平田惣助		元禄11年12月	半/ニツ綴・1冊	あ3391
町中御借上金帳 岐阜屋吉右衛門、舟入町喜兵衛、天満屋与兵衛、犬山屋分左衛門		元禄12年	半/ニツ綴・1冊	あ3380
町中御借上金帳 天満屋与兵衛、犬山屋分左衛門、平田新六、平田惣助		元禄12年～13年	半/ニツ綴・1冊	あ3379
御上金被返下金割符帳		宝暦7年3月26日	半/ニツ綴・1冊	あ3400
元禄年中御借上金之内御救金被下人別覚帳		宝暦9年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3181
元禄年中御借上金之内御救金被下人別覚帳		宝暦11年12月28日	横長半/一ツ綴・1冊	あ3182-1
宝暦十一巳年願書出候扣（上金願書目録） 綴	3182は一	宝暦11年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3182-2
御年符金請取手形			包紙・1点	あ3400-0
（御年符金請取手形） 忠次郎以下10名（文左衛門含む）		宝暦12年3月8日	堅紙・1通	あ3400-1
元禄年中御指上金之内御救金被下帳 犬山屋孫左衛門		明和2年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3183-1
明和貳西ノ年元禄年中上金願書目録		明和2年	横長半/一ツ綴・1冊	あ3183-2
中奥 御用御借上帳 神戸文左衛門		（明和4～寛政7年）	半/ニツ綴・1冊	あ3403
御拂米代先納金出入勘定帳		明和8年冬より	横長美大/一ツ綴・1冊	あ3318
御借上米賣買勘定帳		安永4年4月～	横長半/一ツ綴・1冊	あ3329
子暮御借上金勘定帳		天明2年4月（～天明2年7月）	横長半/一ツ綴・1冊	あ3322
元禄年中御指上金之内御救金被下帳		天明4年12月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3184-1
（上金願書目録）		（天明4）辰年8月	横長半/一ツ綴・1冊	あ3184-2

元禄年中御救金諸事留帳		寛政5年10月	半/一ツ綴・1冊	あ3405
鬮引調達金（名簿）		（天保12年）	半/二ツ綴・1冊	あ3433-1
鬮引調達金（名簿）			半/二ツ綴・1冊	あ3433-2
（借上金手形下付につき）		（天保期）	横長美・1綴	あ1737
触状（御救金下付二付廻状） ほか12ヶ町町代衆中	犬山屋文左衛門→大船町	12月27日	縦継紙（封紙糊付け）・1通	い370-1
触状（御救金下付二付廻状） 町ほか8ヶ町町代衆中	犬山屋文左衛門→上長者	12月27日	縦継紙・1通	い370-2
触状（御救金下付二付廻状） ほか11ヶ町町代衆中	犬山屋文左衛門→上畑町	12月27日	縦継紙・1通	い370-3

御勝手御用達

乍恐御歎願奉申上候御事（家格に付き） 達次座神戸文左衛門	御勝手御用	未4月	半/一ツ綴・1冊	あ3456-1
乍恐奉願上候御事（御勝手向御用達退役願） 文左衛門	犬山屋	戌12月	半/一ツ綴・1冊	あ3456-4
乍恐御歎願奉申上候御事（御勝手御用達休役願下書） 犬山屋文左衛門		9月	半/一ツ綴・1冊	あ3453-6
乍恐御歎願奉申上候御事（御勝手御用達休役願） 山屋文左衛門	犬	9月	半/一ツ綴・1冊	あ3453-7
乍恐御歎願奉申上候御事（御勝手御用達休役願下書） 犬山屋文左衛門		9月	半/一ツ綴・1冊	あ3453-8
乍恐御歎願奉申上候御事（御勝手御用達休役願） 山屋文左衛門	犬	9月	半/一ツ綴・1冊	あ3453-9
乍恐奉願上候御事（御勝手御用退役願） 衛門	犬山屋文左	10月	半/二ツ綴・1冊	あ3453-3
乍恐奉内願候御事（御勝手御用達役免除願） 文左衛門	（神戸		半/二ツ綴・1冊	あ3452-6
乍恐御歎願奉申上候御事（御勝手御用休役願につき天下の名品平手肩付茶入献上伺下書） 門	犬山屋文左衛		半/一ツ綴・1冊	あ3453-5
乍恐御歎願奉申上候御事（御勝手御用達休役願） 山屋文左衛門	犬		半/一ツ綴・1冊	あ3453-10

小納戸御用

御小納戸願済諸書附写		（天保12年か）	半/二ツ綴・1冊	あ3475
（小納戸御用用達譲り受け勤務につき） 左衛門	→犬山屋文	12月	横切紙・1通	あ3475-1
（御城役所に可能出につき） 山屋文左衛門	御城御小納戸役所→犬	正月17日	横切紙・1通	あ3475-2
（纏・挑燈非常時使用許可につき） 門	→犬山屋文左衛	正月	横切紙・1通	あ3475-3

(御納戸役への挨拶品書上か) (挑燈・纏代金書付) 小沢屋次助→神戸様	正月17日	小切紙・1通 横切継紙・1通	あ3475-4 あ3475-5
--	-------	-------------------	--------------------

融通講取締役

融通講掛銭勘定帳 犬山屋文左衛門	天保15年4月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3178
覚 (新田検見入用書付) 3178-1~6は一束で、3178の 下げ紐に結びつけられていた		小切紙・1通	あ3178-1
覚 (融通講、神戸分、巳年半季分引残り金計算書)	7月5日	横切紙・1通	あ3178-2
覚 (融通講、神戸分、巳年半季分十一月八日柴屋孫 兵衛方へ差出しにつき計算書)		横切継紙・1通	あ3178-3
掛銭之覚		横切紙・1通	あ3178-4
落圖		小切紙・1冊	あ3178-5
(落くじ書付)		小切紙・1通	あ3178-6

町払金

町拂金錢月々調帳 神戸氏	嘉永元年8月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3252
町拂金錢月々調帳 神戸氏	嘉永2年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3253
町拂月々メ上書抜帳 神戸勘定場	嘉永2年正月 (～嘉永3 年)	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3249
町拂金錢月々調帳 神戸氏	嘉永3年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3254
覚 (町払金書付カ) ときわや太吉→神戸様	嘉永4年正月	小切紙・1通	あ3254-1
町拂月々メ上書抜帳 神戸勘定場	嘉永4年正月 (～嘉永5 年)	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3250
町拂金錢月々調帳	嘉永4年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3255
町拂金錢月々調帳	嘉永5年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3256
町拂月々メ上書抜帳	嘉永6年正月 (～嘉永7 年)	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3251
町拂金錢月々調帳	嘉永6年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3257
町拂金錢月々調帳	嘉永7年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3258
町拂金錢月々調帳	安政2年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3259
町拂月々メ上書抜帳 神戸勘定場	安政2年正月	横長半/下ゲニツ 目録・1冊	あ3246

町拂金錢月々調帳 (金額書付) 3260の下げ紐に結付	安政3年正月	横長半/下ゲニツ 目綴・1冊	あ3260
町拂月々メ上書抜帳 神戸勘定場	安政3年正月	小切紙・1通	あ3260-1
町拂金錢月々調帳 神戸氏	安政4年正月	横長半/下ゲニツ 目綴・1冊	あ3247
町拂月々メ上書抜帳 神戸勘定場	安政4年正月	横長半/下ゲニツ 目綴・1冊	あ3261
巳盆前町拂金覚帳 文左衛門扣	安政4年正月	横長半/下ゲニツ 目綴・1冊	あ3248
		横長半/一ツ綴・1 冊	あ1782

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

元材木町／元材木町

(元材木町間数借家書上)	(享保8年)	縦継紙・1通	い390
(元材木町家間数覚) 丁代分左衛門	辰5月12日	縦継紙・1通	い392

分左衛門組

丁内請帳下書	享保10年	美大/二ツ綴・1冊	あ257
亥年請帳下書 分左衛門組	享保16年	美大/二ツ綴・1冊	あ271
子年請帳下書 分左衛門組	享保17年	美大/二ツ綴・1冊	あ273
丑年請帳下書 分左衛門組	享保18年	美大/二ツ綴・1冊	あ277
寅年請帳下書 分左衛門組	享保19年	美大/二ツ綴・1冊	あ279

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）／家屋敷譲渡証文

家屋舗譲証文之事（初代文左衛門隠居ニ付二代目へ小船町老丁目屋敷譲証文） 靈岸嶋湊町老丁目家持譲人神戸文左衛門事普海病死ニ付親類証人神戸彦七郎・尾州名古屋材木町親類証人神戸文七郎→小沢太郎兵衛	寛保2年11月20日	縦継紙・1通	い289
---	------------	--------	------

町入用書上

覚（町入用書上） 月行事吉兵衛・同源兵衛→太七	未5月晦日	縦継紙・1通	い395-2
覚（町入用書上） 月行事七左衛門・同伊兵衛→太七	未7月晦日	縦継紙・1通	い395-4
覚（町入用書上） 月行事四郎兵衛・同武兵衛→太七	未8月29日	縦継紙・1通	い395-5
覚（町入用書上） 月行事次兵衛・同三右衛門→太七	未9月29日	縦継紙・1通	い395-7
覚（町入用書上） 月行事八郎兵衛・同儀兵衛→太七	未10月晦日	縦継紙・1通	い395-8
覚（町入用書上） 月行事又七・同吉兵衛→太七	未11月29日	縦継紙・1通	い395-9
覚（町入用書上） 月行事次平・佐右衛門→太七	申3月晦日	縦継紙・1通	い395-1
覚（町入用書上） 月行事長右衛門・同甚左衛門→太七	申7月29日	縦継紙・1通	い395-3
覚（町入用書上） 月行事儀兵衛・同弥三郎→太七	申8月晦日	縦継紙・1通	い395-6

書状

（舟町地代等ニ付書状） 理仙→神戸孫右衛門・文左衛門	8月26日	横折紙・1通	い357-11-12
（挨拶状） 理仙→神戸文左衛門	10月22日	横折紙・1通	い357-9
（挨拶状） 里せん→神戸文左衛門	11月2日	横折紙・1通	い357-11-10
（縁組ニ付書状） （理仙カ）		横折紙・1通	い357-10

雛形

家守請状之事（雛形）		縦継紙・1通	い388
永代売渡申家屋敷之事（雛形）		縦紙・1通	い393

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
仕切状之事（蠟カ・同扮売買二付） 才か屋彦右衛門 →中嶋勘四郎	享保21年正月22日	縦継紙・1通	い147
仕切状（縁取り売買二付） いせ屋善右衛門→中嶋半右 衛門・堤文助	元文4年10月15日	横折紙・1通	い210
仕切状（縁取り売買二付） いせ屋善右衛門→中嶋半右 衛門・堤文助	元文4年10月15日	横折紙・1通	い211
実綿仕切之事 和州内膳屋七右衛門→尾州名古屋中嶋半右 衛門	元文4年12月21日	竖切紙・1通	い209
仕切状之事（表入綿売買二付） 京口屋九三郎→中嶋半 右衛門	元文5年3月29日	縦継紙・1通	い182
仕切（わ州わた売買二付） 京口屋九八郎→中嶋半右衛 門	元文5年3月29日	縦継紙・1通	い212
仕切（表入綿売買二付） 京口屋九八郎→中嶋半右衛門	元文5年7月11日	縦継紙・1通	い205
仕切（綿売買二付） 京口屋九八郎→中嶋半右衛門	元文5年8月晦日	縦継紙・1通	い206
買仕切（此わた売買二付） 京口屋九八郎→中嶋半右衛 門	延享元年10月	縦継紙・1通	い148
仕切状之事（実綿売買二付） 平野屋太兵衛→中嶋半右 衛門	延享2年9月	縦継紙・1通	い207
買仕切状之事（南部・上州大豆売買二付） 鳥居久兵 衛→中嶋半右衛門	延享3年8月	縦継紙・1通	い203
仕切状之事（七八立山売買二付） 原野屋太兵衛→中嶋 半右衛門	延享3年10月5日	竖切紙・1通	い208
仕切状之事（尼崎大麦・生蠟燭売買二付） 原野屋太 兵衛→中嶋半右衛門	延享3年11月28日	縦継紙・1通	い200
売仕切状之事（麦売買二付） 関屋十兵衛→中嶋半右衛 門	延享4年4月晦日	縦継紙・1通	い202
仕切状之事（俵入実綿売買二付） 平野屋太兵衛→中嶋 半右衛門	延享5年5月29日	縦継紙・1通	い181
* 売仕切状事（地実綿売買二付） 後藤利右衛門→神戸 分左衛門・半右衛門	子3月	縦継紙・1通	い188
買仕切（南部・上州大豆代金請取二付） 白子屋清右 衛門→中嶋半右衛門	寅9月	縦継紙・1通	い196
仕切状之事（実綿売買二付） 平野屋太兵衛→中嶋半右 衛門	卯11月晦日	縦継紙・1通	い178
実綿仕切覚 桑名屋善右衛門→中嶋半右衛門	未2月22日	縦継紙・1通	い180
堺実綿買仕切 桑名屋善右衛門→中嶋半右衛門	未10月2日	横折紙・1通	い187
堺実綿仕切 桑名屋善右衛門→中嶋半右衛門	未10月12日	横折紙・1通	い184
堺実綿仕切 桑名屋善右衛門→中嶋半右衛門	申3月28日	横折紙・1通	い183

その他

* 永代ニ相渡シ申家屋敷之事 右 (広井村西水主町) 家 屋敷渡シ主正万寺町与市・証人貞助・広井村組頭勘助・ 右同村庄屋六兵衛・右同断善左衛門→元材木町善次郎	元文3年7月	縦継紙・1通	い319
* 覚 (和州今井紙屋七兵衛宛金子請取ニ付) 後藤利 右衛門→神戸文左衛門・中嶋半右衛門	卯8月	縦切紙・1通	い179
覚 (金銭出納ニ付) 半右衛門	酉7月19日	横切継紙・1通	い144

史料館所蔵史料目録 第71集

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書（その2）

印刷発行 平成12年8月31日

編集兼 国文学研究資料館
発行者 史料館

〒142-8585

東京都品川区豊町1丁目16番10号

電話 03-3785-7131(代)

印刷所 株式会社 三協社

〒164-0011

東京都中野区中央4丁目8番9号

(本文用紙は中性紙を使用)